

Aterm® ITX92 BT

Aterm® ITX92 BTSTAR<sup>セット</sup>  
for DESKTOP

Aterm® ITX92 BTSTAR<sup>セット</sup>  
for MOBILE

PC-ITX92D1BT

PC-ITX92/BT01UD

PC-ITX92/BT01UM

# 取扱説明書

目次・マニュアルの使いかた

安全に正しくお使いいただくために

1 はじめにお読みください

2 電話がかけられるようにしよう

3 Windowsのパソコンでインターネット

4 電話機やファクスを使うための設定をしよう(基本編)

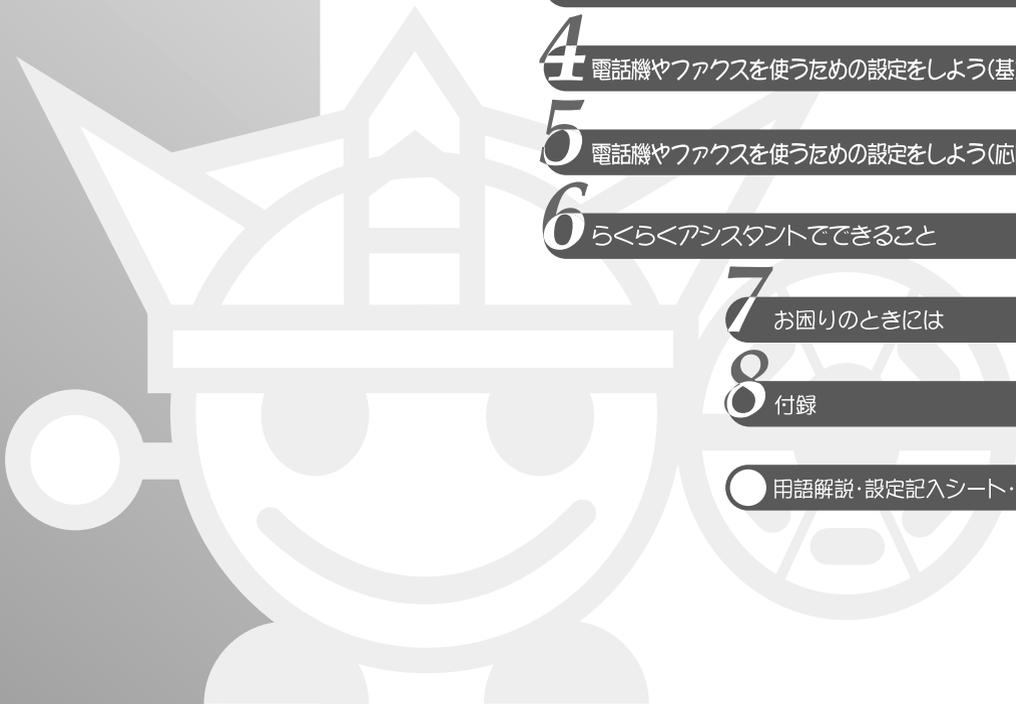
5 電話機やファクスを使うための設定をしよう(応用編)

6 らくらくアシスタントでできること

7 お困りのときには

8 付録

用語解説・設定記入シート・索引



## 『接続早わかりガイド』を見よう

Atermに電話機やパソコンを接続し、インターネットに接続するまでの手順をわかりやすく紹介しています。

## CD-ROM を活用しよう

Atermには、『取扱説明書』以外にもいろいろな電子マニュアルが用意されています。『取扱説明書』には含まれていない内容を知りたいときは、添付CD-ROMに収録されている電子マニュアルを参照してください。

### データ通信ガイド( html形式 )

らくらくアシスタントを使わずにインターネット接続の設定をする方法や、データ通信、Atermで使えるメール機能、USBネットワーク、ITX92BTのバージョンアップ、ATコマンドなどについて詳しく説明したマニュアルです。

### お困りのときには( html形式 )

主にAtermにパソコンを接続して使用しているときのトラブルについて、解決方法などを説明したマニュアルです。『取扱説明書』の「お困りのときには」に該当するトラブルが見つからない場合は、このマニュアルをチェックしてみてください。

### 用語解説( html形式 )

主にAtermとパソコンを接続して使用する場合の用語について解説した用語集です。

電子マニュアルの見かたについては本書の10ページを参照してください。また、本書や添付CD-ROMのマニュアルの活用方法は、本書の「マニュアルの使いかた」(  8 ページ ) をご覧ください。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

Bluetooth™ は、スウェーデンの Telefonaktiebolaget LM Ericsson 社が所有しております。

©2001 Extended System, Inc. All Rights Reserved.

©NEC Corporation 2001

日本電気の許可なくソフトウェアの全部または一部を複製・改版、及び複製物を配付することはできません。

# はじめに

このたびは、<sup>エーターム</sup>『AtermITX92BT』、『AtermITX92 BTSTARセット for DESKTOP』、『AtermITX92 BTSTARセット for MOBILE』(以下、総称して「Aterm」と表記します)をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

『AtermITX92BT』(以下「ITX92BT」と表記します)は、NTT東日本・NTT西日本のISDN(デジタル回線)サービスであるINSネット64で電話機やファクスなどのアナログ通信機器を利用したり、インターネットを快適に利用するためのターミナルアダプタです。

『AtermITX92 BTSTARセット for DESKTOP』や『AtermITX92 BTSTARセット for MOBILE』は、ITX92BTと『AtermBT01U』(以下「BT01U」と表記します)のセットです。相互間をワイヤレス(Bluetooth™)で通信することができます。

本書は、Atermの設置・接続のしかたから、Atermのさまざまな機能の操作や設定方法、困ったときの対処方法に至るまで、Atermを使いこなすために必要な事項について説明しています。ご使用前に、あるいはご使用中に、本書をよくお読みくださいますようお願いいたします。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

なお、本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。本装置をお使いいただく前に必ず「安全に正しくお使いいただくために」(P.11ページ)をお読みください。

## ■電波に関する注意■

本装置は、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。

本装置は2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避することができません。変調方式としてFH-SS方式を採用しており、与干渉距離は80mです。

2.4 FH 8



本装置の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. 本装置を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本装置から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
3. その他、本装置から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などにかお困りのことが起きた場合には、Aterm(エーターム)インフォメーションセンターにお問い合わせください。

# 目次

はじめに・電波に関する注意 .....	1
目次 .....	2
目次(電子マニュアル).....	6
マニュアルの使いかた .....	8
電子マニュアルの見かた .....	10
安全に正しくお使いいただくために .....	11

## 1章 はじめにお読みください ●●●●●●●●●●●●●●

Atermでこんなことができる .....	1-2
添付品を確認する .....	1-6
各部の名称とはたらき .....	1-8

### —— セットアップを始める前に ——

セットアップの流れ .....	1-14
らくらくアシスタントで簡単セットアップ .....	1-16
事前に準備しておくこと .....	1-17
INSネット64を申し込む .....	1-18
インターネットプロバイダへ加入する .....	1-20
全体接続図 .....	1-21
Atermの置き場所を決めよう .....	1-22

## 2章 電話がかけられるようにしよう ▶●●●●●●●●●●●●●●

Step1 INSネット64につなぐ .....	2-2
Step2 電話機やファクスをつなぐ .....	2-3
Step3 電源コードをつなぐ .....	2-6
Step4 電源を入れる .....	2-7
Step5 日時とアニメを設定する .....	2-9
Step6 電話は使えますか? .....	2-11
Step7 使わないアナログポートを設定する .....	2-13

## 3章 Windowsのパソコンでインターネット ●●●●●●●●●●

Step1 パソコンをつなぐポートを確認する .....	3-2
------------------------------	-----

Step2 らくらくアシスタントをインストールする ..... 3-4

Step3 パソコンをつなぐ(Bluetoothポート接続)..... 3-6

Step3 パソコンをつなぐ(USBポート接続)..... 3-25

Step3 パソコンをつなぐ(シリアルポート接続)..... 3-31

Step4 BIGLOBEへのオンラインサインアップ ..... 3-33

Step5 インターネットのセットアップ ..... 3-37

Step6 インターネットへ接続する ..... 3-40

ホームページを見よう ..... 3-43

インターネットへうまく接続できないときは ..... 3-45

Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティの詳細設定 ..... 3-46

らくらくアシスタントでBluetooth™の詳細設定 ..... 3-52

## 4章 電話機やファクスを使うための設定をしよう(基本編) ●●●

Step1 使いかたに近いものを利用例から選ぶ ..... 4-2

Step2 らくらくアシスタントで設定する ..... 4-11

Step3 電話機・ファクスは使えますか? ..... 4-17

## 5章 電話機やファクスを使うための設定をしよう(応用編) ●●●

### —— 電話機能の設定のしかた ——

電話機能を設定する ..... 5-2

### —— 電話機能 ——

電話機能一覧 ..... 5-4

基本機能

    フッキング ..... 5-7

    ダイヤル後に発信するまでの時間を調整する(ダイヤル桁間タイマ)..... 5-9

    発信方法を変更する( # 発信 )..... 5-10

    相手の声の音量を変える(受話音量調節)..... 5-11

    短縮ダイヤルで電話をかける ..... 5-13

    着信履歴の電話番号に電話をかける(着信履歴先発信)..... 5-15

    内線で話す(内線通話)..... 5-18

    外線をはかの電話機に転送する(外線転送)..... 5-20

    内線の着信音を変更する(内線呼出信号)..... 5-22

電話番号や電話機(ポート)を使い分ける

    2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)..... 5-24

    複数の電話番号を使う(ダイヤルインサービス)..... 5-27

接続している電話機でダイヤルインを使う

    モデム・ダイヤルイン ..... 5-31

    アナログ・ダイヤルイン ..... 5-35

特定の電話機に着信させる	
1台の電話機で複数の電話番号を使う(着信ダイヤルイン複数選択).....	5-39
メインの電話機に優先的に着信させる(優先着信ポート指定).....	5-41
サブアドレスで特定の電話機に着信させる.....	5-43
お話し中に	
電話中に別の電話を受ける(INSキャッチホン/疑似キャッチホン).....	5-46
三人で同時に話す(三者通話/疑似三者通話).....	5-49
電話番号を表示する	
自分の電話番号を相手に知らせる(発信者番号通知).....	5-53
かけてきた相手の電話番号を表示する(INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト).....	5-57
キャッチホンで受ける電話の番号も表示する(キャッチホン・ディスプレイ).....	5-61
電話に出られないとき	
外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定).....	5-64
電話を転送する	
かかってきた電話を転送する(着信転送/疑似着信転送/電話番号着信通知).....	5-69
ボイスワープで転送する(INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)....	5-76
電話中に別の電話番号へ転送する(通信中転送).....	5-80
特定の相手を対象にする	
電話を受ける相手を限定する(INSなりわけ識別着信/疑似識別着信).....	5-82
特定の相手からの着信音を変える(INSなりわけ識別リングング/疑似なりわけ).....	5-87
キャッチホンを受け付ける相手を限定する(選択キャッチホン/疑似選択キャッチホン).....	5-92
迷惑電話をシャットアウトする(迷惑電話おことわりサービス/迷惑電話防止).....	5-94
相手によって着信させる電話機を指定する(マイプライベート着信).....	5-98
特定の電話だけを転送する(識別着信転送).....	5-102
————— 電話機で設定する —————	
電話機での設定一覧.....	5-104
アナログポート個別の設定項目.....	5-104
アナログポート共通の設定項目 - 1.....	5-108
アナログポート共通の設定項目 - 2.....	5-112
その他の設定項目.....	5-115
<b>6章 らくらくアシスタントでできること</b> ●●●●●●●●●●●●●●	
らくらくアシスタント一覧.....	6-2
らくらくアシスタントの使いかた.....	6-4
ITX92BTをバージョンアップする.....	6-6
<b>7章 お困りのときには</b> ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	
トラブルシューティング.....	7-2
設置に関するトラブル.....	7-2



# 目次(電子マニュアル)

添付のCD-ROM『BTSTARユーティリティ集』には、Atermについて説明した電子マニュアルが入っています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては10ページを参照してください。

『データ通信ガイド(ファイル名:通信BT¥index.html)』 ● ●

## —— 手動セットアップ ——

- USBドライバとモデム情報のインストール
- USBドライバをアンインストールする
- インターネットの手動セットアップ
- インターネットへ接続する

## —— データ通信 ——

- 64K通信(非同期/同期PPP変換)・・・64kbps同期アクセスポイントにつなぐ
- 128kbpsマルチリンクPPP通信・・・Bチャンネル2本で高速通信する
- ITMUX・・・電話しながらパソコン2台で同時にアクセスする
- マルチアクセス・・・パソコン2台で同時にアクセスする
- PIAFS(ピアフ)データ通信・・・PHSと通信する
- スティルスコールバック・・・通信料金を相手側(サーバー)に負担させる
- 応答平均化・・・複数のAtermを均等に使う
- 無通信監視タイマ・・・通信の切断忘れを防止する
- 強制切断タイマ・・・切断の失敗を防止する
- 通信中データ切断・・・通信中にデータを手動で切断する
- CTI機能・・・着信情報をパソコンに通知する
- OCNエコノミー・・・インターネットに常時接続する
- 発信者番号通知・・・自分の電話番号を相手に知らせる
- i・ナンバー・・・i・ナンバー利用時のデータ着信
- ダイヤルインサービス・・・ダイヤルイン利用時のデータ着信
- 優先着信ポート指定・・・Bluetoothポート/シリアルポート/USBポートの優先指定
- サブアドレス・・・サブアドレスでポートに着信させる
- 疑似識別着信・・・着信する相手を限定する
- HLC・・・HLCが一致する相手と通信する
- リバースパルス・・・電話が切断できないときに
- 着信履歴表示・・・かかってきた電話の相手を確認する
- 着信履歴 for USBユーティリティ・・・パソコンに着信履歴を表示したり、着信履歴の相手にパソコンから電話をかける
- ITMUXステータス for USBユーティリティ・・・チャンネル状態や通信状態をパソコンに表示する

### ———— Atermで使えるメール機能 ————

- 利用できるUIメールサービス
- 準備
- 電子メールの着信をランプで知らせる(電子メール着信通知)
- Aterm同士でメールを送る(UIメール)
- メールを安く送る(遊遊メール)
- 電話機からUIメールを送る(テレホンUIメール)
- 電話機から遊遊メールを送る(テレホン遊遊メール)

### ———— USBネットワーク ————

- USBネットワークとは
- 準備
- 設定と操作のしかた
- サーバーパソコンがWindows Me/98の場合
- サーバーパソコンがWindows 2000の場合
- 外部から着信可能なダイヤルアップサーバー

### ———— BTSTARネットワーク ————

別売りオプション「BT01U」などを増設した時にご覧ください。  
(ただし、利用できる機器は限定されています)

- ファイルやプリンタを共有する
- BTSTARネットワークを行うための準備
- フォルダやプリンタに共有を設定する
- BT01Uの接続と設定
- 共有フォルダや共有プリンタを利用する

### ———— Atermのその他の機能 ————

- AtermITX92BTの現在の状態を確認する
- AtermITX92BTの設定内容を確認・記録する
- AtermITX92BTをバージョンアップする
- 天気情報を表示する
- 通信中のデータを切断する
- SmartWakeup!サービス(外出先からパソコンを遠隔起動する)

『お困りのときには』(ファイル名：お困り¥index.html)

『用語解説』(ファイル名：用語解説¥index.html)

# マニュアルの使いかた

ここでは、パソコンをお使いの方とお使いでない方に分けて、Atermのいろいろなマニュアルをどのように読み進めればいいのかについての目安を示します。

## パソコンをお使いの方は ●

Atermを使う際の重要な注意事項などを知っておこう  
「安全に正しくお使いいただくために」 (☞ 11ページ~22ページ)

Atermに電話機やファクス、パソコンを接続するには  
『接続早わかりガイド』  
「電話がかけられるようにしましょう」 (☞ 2-1ページ~)

Atermにパソコンをつなぎ、インターネットに接続するには  
『接続早わかりガイド』  
「Windowsのパソコンでインターネット」 (☞ 3-1ページ~)

i・ナンバーなどINSネット64のサービスを契約している方は  
「電話機やファクスを使うための設定をしよう(基本編)」 (☞ 4-1ページ~)

必要に応じて読もう

- 電話機能を便利に使いこなすには  
「電話機やファクスを使うための設定をしよう(応用編)」 (☞ 5-1ページ)
- 手動でUSBドライバやインターネットをセットアップするには  
『データ通信ガイド』 「手動セットアップ」
- インターネットやリモートアクセスで、データ通信機能を使いこなしたいときは  
『データ通信ガイド』 「データ通信」
- Atermのメール機能を使いたいときは  
『データ通信ガイド』 「Atermのメール機能」
- Windowsパソコンを2台接続して簡易LANを構築したいときは  
『データ通信ガイド』 「USBネットワーク」
- 別売りオプションの「BT01U」などを増設して、  
2台のパソコン間でファイル共有やプリンタ共有をしたいときは  
『データ通信ガイド』 「BTSTARネットワーク」
- Atermをバージョンアップしたいときは  
『データ通信ガイド』 「Atermのその他の機能」

トラブルが起こって困ったときは  
『お困りのときには』(html)  
わからない言葉があるときは  
『用語解説』(html)  
ATコマンドを使うには  
『データ通信ガイド』『ATコマンド解説』

## パソコンをお使いでない方は ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

Atermを使う際の重要な注意事項などを知っておこう  
「安全に正しくお使いいただくために」(☞P 11ページ～22ページ)



ITX92BTに電話機やファクスを接続するには  
『接続早わかりガイド』  
「電話がかけられるようにしましょう」(☞P 2-1～2-13ページ)



i・ナンバーなどINSネット64のサービスを契約している方は  
「電話機やファクスを使うための設定をしよう(基本編)」(☞P 4-1ページ)



必要に応じて読もう

電話機能を便利に使いこなすには  
「電話機やファクスを使うための設定をしよう(応用編)」(☞P 5-1ページ)  
トラブルが起こって困ったときは  
『お困りのときには』(html)  
わからない言葉があるときは  
『用語解説』(html)



マニュアルの  
使いかた

## お知らせ

セットアップ作業を有料で承っております。詳細については、「NEC PCクリーンスポットの訪問サービス」(☞P 8-47ページ)を参照してください。

# 電子マニュアルの見かた

電子マニュアルはhtml形式またはPDF形式で作成されています。Acrobat Reader 3.0以上をお持ちでない方、またはWindows 2000 Professional(以下「Windows 2000」と表記します)をお使いの方は、CD-ROMの中からインストールしてください。

## 1 パソコンを起動し、添付のCD-ROM「BTSTARユーティリティ集」をセットする

メニュー画面が表示されるまでしばらくお待ちください。メニュー画面が開かないときは、3-5ページを参照してください。

## 2 読みたい電子マニュアルのボタンをクリックする



## お知らせ

- ・『BT01U取扱説明書』は別売りオプション品「BT01U」の取扱説明書のpdfファイルです。
- ・電子マニュアルは、htmlまたはpdfというファイル形式になっています。htmlファイルはWebブラウザ(Internet ExplorerやNetscape Navigatorなど)を使って、pdfファイルはAcrobat Readerを使って読みます。
- ・Acrobat Readerをお持ちでない方は、「PDF」とついている電子マニュアルのボタンをクリックする前に「Acrobat Readerのインストール」ボタンをクリックしてください。Acrobat Reader 4.05のインストールが始まります。
- ・Windows 2000では、Acrobat Reader 4.05をお使いください。

# 安全に正しくお使いいただくために

本書では、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示してあります。本装置をご使用前に必ずお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示と絵表示の意味は次のようになっています。

## 安全に正しくお使いいただくための表示について

- |  |  |
|--|--|
|  <b>危険</b>  | 人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。    |
|  <b>警告</b>  | 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。              |
|  <b>注意</b>  | 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  <b>お願い</b> | 本装置の本来の性能を発揮できなったり、機能停止をまねく内容を示しています。          |

### 絵表示の例

-  △記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。記号の中には、具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。記号の中には、具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

# 危険

## ■ ニカド電池パック使用時の注意 ■

電池パックを使用する場合は次のことを必ず守ってください。電池パックの漏液・発熱・破裂の原因となります。

- ・ 充電は、Aterm 以外では行わないでください。
- ・ 電池パックは、コネクタの向きが決められています。Aterm に接続するときは、コネクタの向きを確かめ正しく差し込んでください。
- ・ 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。
- ・ 火の中に投入したり、加熱しないでください。
- ・ 直接はんだ付けをしないでください。
- ・ 電池パックを分解・改造しないでください。
- ・ 電池パックを金属製品と一緒に持ち運んだり保管したりしないでください。
- ・ 電池パックのコードをショートさせないように注意してください。また、プラスとマイナスを針金などの金属類で接続しないでください。



電池パック内部の液が入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



## ■ アルカリ乾電池ご使用時の注意 ■

アルカリ乾電池内部の液が入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



# 警告

## ■ 設置場所について ■

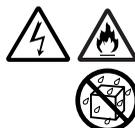
### 風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



### 水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



## ■ 電源について ■

### 商用電源以外の禁止

AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントにほかの電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因になります。



### 電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。



### ぬれた手での操作の禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



指定のACアダプタ以外は使用しない(AtermBT01Uの場合)

火災や感電の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために

## 警告

### たこ足配線の禁止

本装置の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



### ■ もしもこんなときは ■

#### 発煙した場合への対処

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



#### 水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



#### 異物が装置内部に入った場合の対処

本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



#### 電源コードが傷んだ場合の対処

電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。



# 警告

## 破損時の対処

万一、落したり、破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



## ■ 禁止事項について ■

本装置は、家庭用のOA機器として設計されております人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。



### 分解・改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



### ぬらすことの禁止

本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。



### ぬれた手でのご操作の禁止

ぬれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



### 本装置の安全性の劣化につながる使用の禁止

ニカド電池コネクタの充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。また、充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために

# 警告

## ■ ニカド電池ご使用上の注意 ■

電池パックの外装チューブをはがしたり、キズをつけないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂させる原因となります。



万一、電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



電池パックを水や海水につけたりぬらしたりしないでください。電池パックを発熱させたり、さびの原因となります。液漏れ、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。



## ■ アルカリ乾電池ご使用上の注意 ■

電池の+と-を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。



新しい電池と一度使用した古い電池や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。



この電池は充電式ではないので、充電すると液もれ・破裂のおそれがあります。



電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液・発熱・破裂するおそれがあります。



ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱・破裂の原因となります。



万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合には皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。眼に入ったときはきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



## 警告

### ■ その他の注意 ■

#### 使用禁止区域での注意

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。



#### ペースメーカを装着されている方への注意

植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本装置をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。



#### 異物を入れないための注意

本装置の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



#### ISDN回線以外に接続しないでください

本装置をホームテレホン・ビジネスホン用の回線や構内交換機(PBX)へ接続すると、本装置に必要な以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因になります。



本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、Bluetooth™の機能をオフにする電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



安全に正しくお使いいただくために

## 注意

### ■ 設置場所について ■

#### 火気のそばへの設置禁止

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



#### 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



#### 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



## ⚠ 注 意

### 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



### 通風孔をふさぐことの禁止

本装置の通風孔をふさがないようにください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。



- ・ あお向けや逆さまにする
- ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける

### 重ね置き禁止

本装置を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



## ■ 電源について ■

### プラグの取り扱い注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



### アース線の取り付け

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。



移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



# ⚠ 注 意

## ■ 電源について ■

### 長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、停電用電池も取りはずしてください。



### 電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



## ■ 禁止事項について ■

### 乗ることの禁止

本装置に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



本装置のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。



## ■ その他の注意 ■

### 雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



取扱説明書にしたがって接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



補聴器を装着されている方は、本装置のご使用により、補聴器にノイズなどを引き起こすおそれがありますので、ご使用前にご確認ください。



## ■ ニカド電池パックご使用上の注意 ■

電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。



電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。



## ⚠ 注 意

### ■ アルカリ乾電池ご使用上の注意 ■

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。



- ・ 使用推奨期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません)。
- ・ 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。使い切った電池を機器に接続したまま長時間放置すると、電池から発生するガスにより、電池を漏液・発熱・破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。
- ・ 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。過放電・高温放置による電池の液もれでの本装置の故障については当社は保証いたしかねます。
- ・ 電池に直接ハンダ付けをしないでください。
- ・ 電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- ・ 電池を取りはずした場合は、小さなお子様が電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。
- ・ 停電がなくても、1年に1度の割合で新しい電池と交換してください。長期間電池を装着したままでご使用になると、電池が漏液するおそれがあります。
- ・ 電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。ほかの電池や金属製のものと混ぜると、漏液・発熱・破裂のおそれがあります。
- ・ 電池を入れた電池ホルダー側の面を、発熱する機器の近くや直射日光・高温・高湿の場所に置かないでください。また、通風孔をふさがないでください。漏液・発熱・破裂のおそれがあります。

## STOP お願い

### ■ 設置場所について ■

本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ ほこりや振動が多い場所
- ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ テレビやラジオなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン・電気溶接機などが近くにある場所

本装置を一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

AtermITX92BTやAtermBT01U間で電波の届く範囲は見通しで約100mです。

周囲の電波状況や壁の構造(鉄筋壁、防音壁、断熱壁)などにより、距離が短くなります。また距離が近すぎると、通話にノイズが入ったりデータ通信でエラーが発生する場合があります。

本装置をコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎるとデータ通信が切れる場合があります。また通話にノイズが入ったり、ファクスのデータが正しく送れない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

## **お願い**

### ■ 禁止事項について ■

動作中に接続コードがはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

夏期の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器具の近くで使用したり、放置しないでください。

変形、変色または故障の原因となることがあります。

落下するなど、強い衝撃や振動を与えないでください。

本装置が破損したり、故障の原因となることがあります。

AtermBT01Uを持ち運びするときは、パソコンから取り外してください。

AtermBT01Uが破損したり、故障の原因となることがあります。

### ■ その他のご注意 ■

本装置プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがあるのですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

### ■ 日頃のお手入れ ■

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン・シンナーなどの有機溶剤やアルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

# 1 章 はじめにお読みください

Atermの知っておきたい便利な使いかたや、各部の名称とはたらき、添付品の確認方法について説明しています。Atermを使い始めるときは、まず、ここをお読みください。

Aterm でこんなことができる .....	1-2
添付品を確認する .....	1-6
各部の名称とはたらき .....	1-8
セットアップを始める前に .....	1-14

1

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。  
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。  
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

# Atermでこんなことができる

ITX92BTは、INSネット64を利用するのに欠かせないTA(ターミナルアダプタ)と呼ばれる装置です。TAのしくみやその役割、Atermの知っておきたい便利な使いかたをご紹介します。

## TA(ターミナルアダプタ)って何?

今まで使っていた電話機やファクスは、アナログ通信機器といって、従来の電話網(アナログ回線)で使えるように作られたものです。一方、INSネット64は、ISDN網(デジタル回線)といって音声やデータをすべてデジタル信号でやりとりするため、従来のアナログ回線で使っていた電話機やファクスを直接つなぐことはできません。TAは、これらのアナログ通信機器をINSネット64でも使えるようにしたり<sup>1</sup>、パソコンのデータをデジタル信号として送り受けしたりするための装置です。

- 1 INSネット64にTAをつなぐにはDSU(回線接続装置)と呼ぶ装置が必要ですが、ITX92BTには、DSUが内蔵されているので、モジュラコンセントに直接つなぐことができます。また、いままでお使いの電話機やファクスをそのまま使うことができます。

Bluetoothポート接続にすれば、TAとパソコンが離れていても大丈夫。TAとパソコンをケーブルで接続するときは、ケーブルの長さには限りがあるので双方を近くに置く必要があります。ところが、パソコンにBT01Uをつないで、ITX92BT(TA)との間を無線のBluetoothポート接続にすれば、ケーブルが届かない場所<sup>2</sup>でもTAとパソコンを接続することができます。



- 2 電波の届く範囲は、間に障害物が何もない状態で約100mです。ただし建物の設備環境(鉄筋壁・防音壁・断熱壁、電波を出す他の機器の有無など)によっては、100m以内でも電波が届かないことがあります。

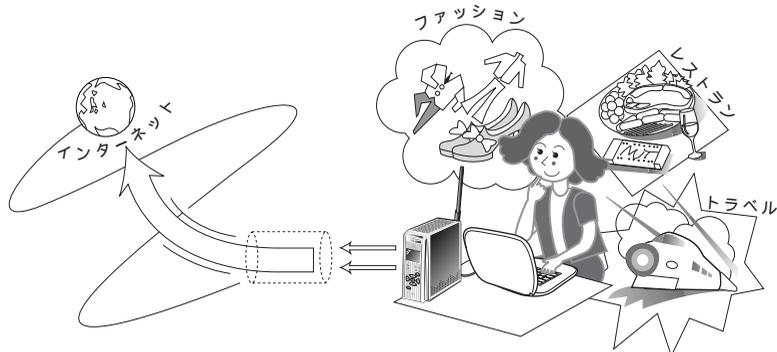
## 電話回線(アナログ回線)2本分として使う

INSネット64のケーブルは今までお使いのアナログ回線と同じですが、1本の回線契約でアナログ回線2本分として利用できます。1本のケーブルの中に音声やデータの通り道が2本あると考えてください。この通り道のことをBチャンネルといいます(2本をそれぞれB1チャンネル、B2チャンネルと呼びます)。電話と電話、電話とファクス、電話とインターネット、ファクスとインターネットなど、ITX92BTにつないだ<sup>3</sup>2台の機器が同時に使える<sup>3</sup>のがポイントです。



## インターネットにつなぐ

電子メールを送ったり、ホームページを見たり、今やインターネットは趣味やビジネスに欠かせません。Atermなら、モデムを使ってアナログ回線でインターネットに接続するのに比べて、接続もスピーディ。さらに、高速<sup>3</sup>で安定した品質でインターネットを楽しむことができます。



3 通常の同期通信では、Bチャンネル1本を使い、64kbpsで接続できます。

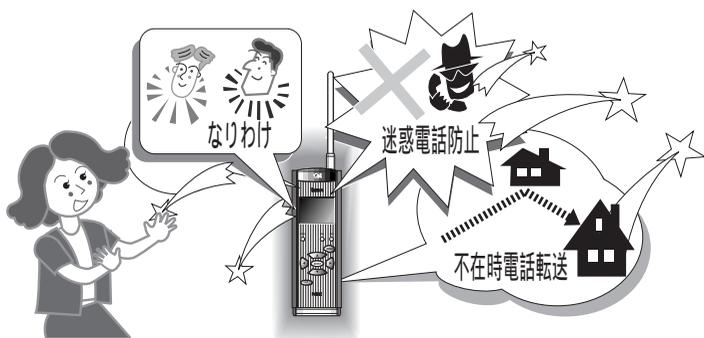
## 複数の電話番号を使う

INSネット64には、1本の回線契約で3つまでの電話番号を使えるi・ナンバーと、もっとたくさんの電話番号を使えるダイヤルインサービスがあります。Atermはこれらのサービスに対応しているので、つないだ電話やファクスにそれぞれ別の電話番号を割り振って使うことができます。



## 便利で多彩な電話機能を使う

ITX92BTは便利な電話機能をたくさん備えています。でかけるボタンを押すだけでセットできる不在時の電話着信転送、INSネット64の付加サービスの契約なしで使える疑似キャッチホン、INSナンバー・ディスプレイ、相手によって着信音を切り替える疑似なりわけや迷惑電話防止機能など、ITX92BTをつなぐことで今までの電話機がぐっと便利になります。



## 最大パソコン3台と電話またはファクスを同時に利用( ITMUX )

2台のパソコンから、一つのプロバイダの同じアクセスポイントへ同時にアクセスすることもできます。この方法では、Bチャンネルを1本しか使わないので、データ量が少ないときなどは通信費を節約することができます。また、もう1本のBチャンネルが空いているので、3台のパソコンでインターネットにアクセスしていても、電話やファクスを利用できます。



## 2台のパソコンからインターネットにつなぐ(マルチアクセス)

ITX92BTのシリアルポートとUSBポートにつないだパソコンまたはBTOIUにつないだパソコンのうち2台を別々のプロバイダや、同じプロバイダでも別々のアクセスポイントへ同時に接続することができます<sup>4</sup>。Atermなら2台のパソコンで同時にインターネットを楽しめます。

- 4 2台のパソコンから同時にインターネットに接続する場合は2本の通り道を使うので、その間、電話やファクスは使用できません。

## インターネットプロバイダBIGLOBEならさらに便利に

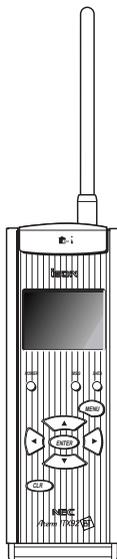
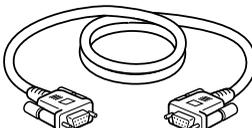
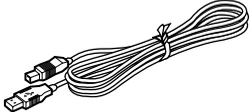
AtermとBIGLOBEの強力コンビで、さらに便利な機能が有償で利用できます。電子メールの着信をMSGランプで知らせる電子メール着信通知、1回わずか0.4円で送れる遊遊メールやAterm同士でメールをやりとりできるUUIメール、液晶ディスプレイに天気予報を表示するAterm天気通知サービス<sup>5</sup>、ご自宅のパソコンを遠隔起動するSmartWakeUp!機能(☞8-38ページ)など、Atermの使いかたがさらに広がります。

- 5 「電子メール着信通知」、「遊遊メール」、「Aterm天気通知サービス」はBIGLOBE接続会員以外の方もサービス料金のみでご利用いただけます。

# 添付品を確認する

取りつけをはじめの前に、まず、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## ■ Aterm の構成品 ■

AtermITX92BT / AtermITX92 BTSTARセット共通品	
本体 ITX92BT 	RS-232Cケーブル(9ピン) 
	INS回線ケーブル 
	USBケーブル( ) 
取扱説明書(本書) CD-ROM AtermITX92BT保証書	無線注意シール 接続早わかりガイド

『AtermITX92BT』は1本添付

『AtermITX92 BTSTARセット for DESKTOP』は2本添付

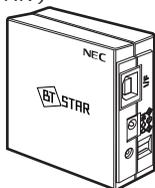
『AtermITX92 BTSTARセット for MOBILE』には2本添付(うち1本は約40cmの長さです)

1

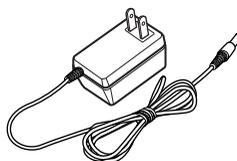
添付品を確認する

## AtermITX92 BTSTARセット共通品

BT01U( BTSTAR )

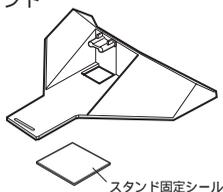


ACアダプタ



## AtermITX92 BTSTARセット for DESKTOP

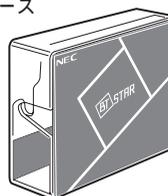
縦置きスタンド



保証書

## AtermITX92 BTSTARセット for MOBILE

キャリングケース



保証書

## ■ CD-ROM の内容 ■

### ▶Aterm用各種ユーティリティ

- ・ Atermらくらくアシスタント
- ・ Atermらくらくバージョンアップ
- ・ UUIメールEX
- ・ Bluetooth( TM ) PC Driverユーティリティ( BTSTARユーティリティ )
- ・ USB関連ソフトウェアなど

### ▶電子マニュアル

- ・ データ通信ガイド( html 形式 )
- ・ 用語解説( html 形式 )
- ・ お困りのときには( html 形式 )
- ・ 取扱説明書( pdf 形式 )
- ・ BT01U取扱説明書( pdf 形式 )

電子マニュアルは、htmlまたはpdfというファイル形式になっています。pdfファイルはAcrobat Readerで、htmlファイルはWebブラウザを使って読みます。電子マニュアルの見かたは「電子マニュアルの見かた」( ページ 10 ) を参照してください。

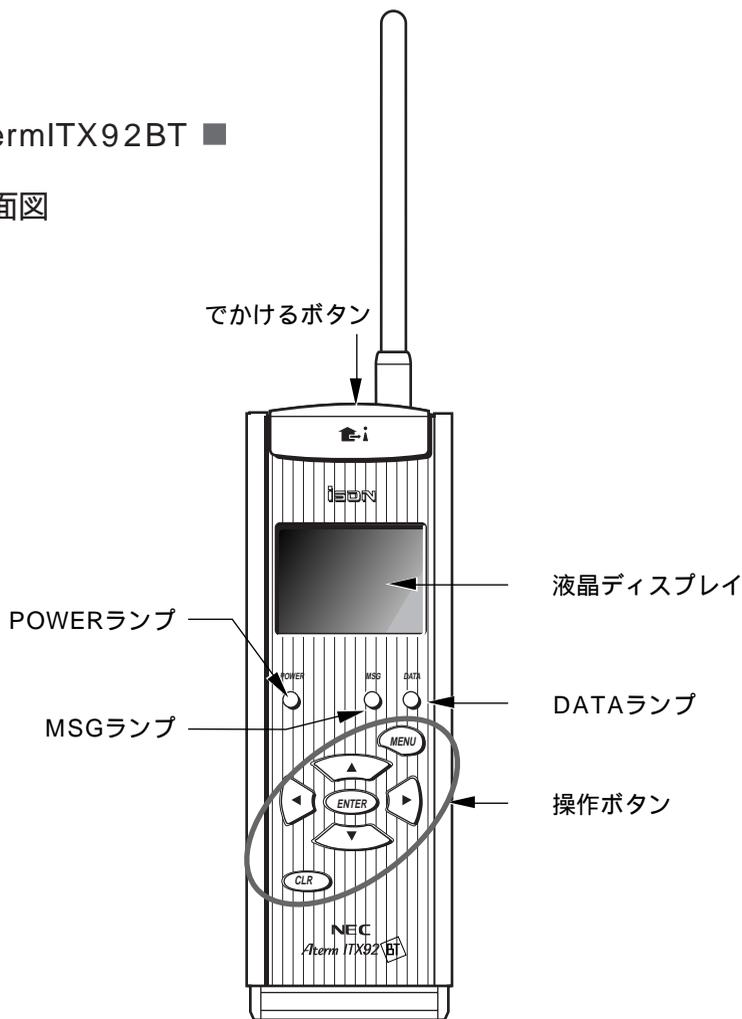
1

添付品を確認する

# 各部の名称とはたらき

## ■ AtermITX92BT ■

### 前面図



本装置プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック製品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

1

各部の名称とはたらき

## でかけるボタン

お出かけ設定(☞5-64ページ)をするときに押します。

オレンジ色で点灯 : ・お出かけ設定がセットされているとき

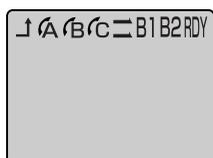
- ・バージョンアップに失敗したときに行う強制ローダモードが開始されているとき(☞6-10ページ)

オレンジ色で点滅 : ・おやすみモードまたはフラッシュモードで着信があったとき

- ・強制ローダモードが終了したとき

## 液晶ディスプレイ

回線や通信機器の使用状況、設定時の内容、日時などが表示されます。表示される内容については「液晶ディスプレイの表示一覧」(☞8-2ページ)を参照してください。本書の設定手順中の画面はすべてこの液晶ディスプレイ画面です。



- ↑ 着信転送が設定してあるときに表示されます。
- A/B/C 電話Aポート、電話Bポートまたは電話Cポートに接続されている通信機器の受話器を上げているときに表示されます。
- データ通信をしているときに表示されます。
  - Bチャンネル1つ(64kbps)で通信中のときに表示されます。
  - 二 Bチャンネル2つ(128kbps)で通信中のときに表示されます。
- B1/B2 B1またはB2チャンネルを使用しているときに表示されます。
- RDY シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコンのER(Equipment Ready)信号がONのときに表示されます。

## POWERランプ(電源ランプ)

緑色で点灯 : 電源が入っているとき

緑色で早く点滅(1秒間に2回): 電池で動作しているとき

緑色で遅く点滅(1秒間に1回): 電池で動作中、電池残量が少なくなったとき

赤く点灯 : バージョンアップ中

赤く点滅 : ファームウェアのバージョンアップに失敗したとき  
(☞6-10ページ)

## DATAランプ

緑色で点灯 : USBポート、Bluetoothポートに接続されたパソコンでデータを送受信しているとき

赤く点灯 : シリアルポートに接続されたパソコンでデータを送受信しているとき

## MSG(Message)ランプ

オレンジ色で点灯 : バージョンアップ中

オレンジ色で点滅 : 電子メール着信が通知されたときまたはUIメールを受信したとき(☞『データ通信ガイド』Atermで使えるメール機能)

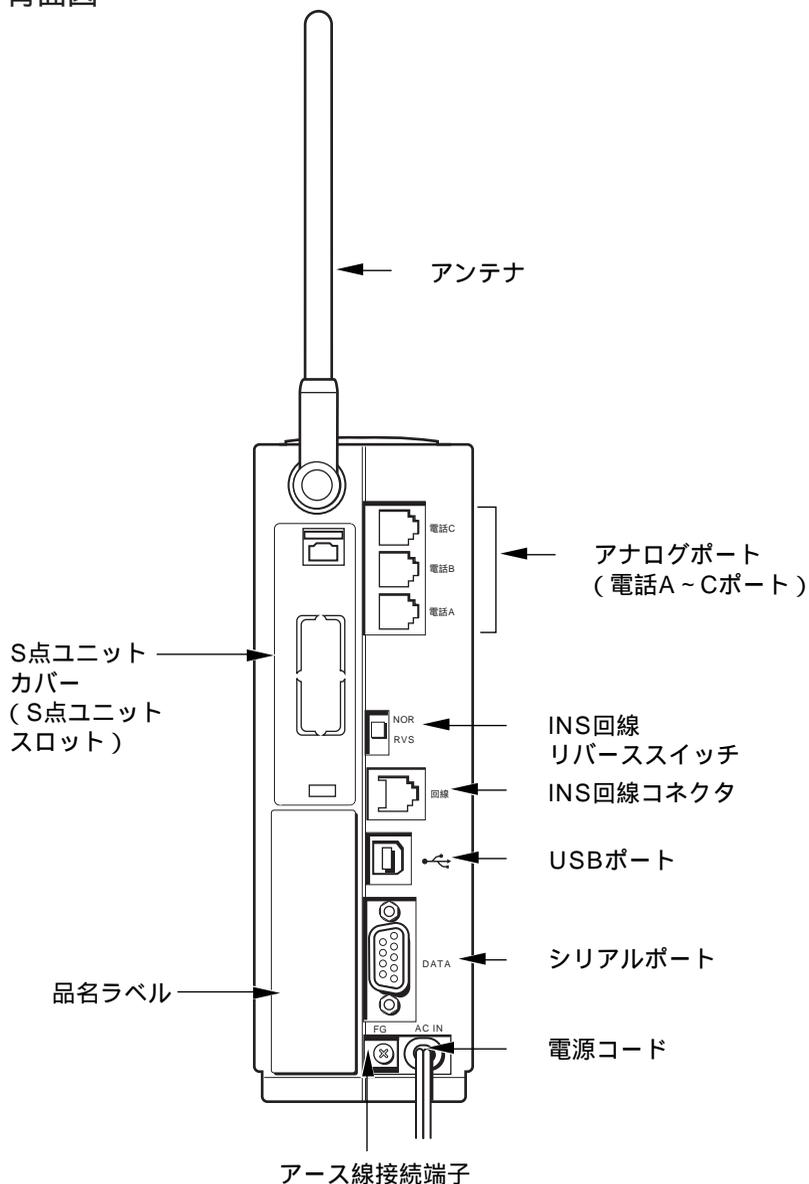
## 操作ボタン

着信履歴表示やアニメの選択など、液晶ディスプレイ表示で設定できる機能を利用するときに使用します(☞8-8ページ)。

# 背面図

1

各部の名称をはたらき



## アンテナ

BT01Uとの間で無線電波の送受信をします。

アナログポート( 電話Aポート・電話Bポート・電話Cポート )

モジュラケーブルを使って、電話機やファクス、モデムなどのアナログ通信機器を接続します。

## S点ユニットカバー

別売りのS点ユニット( PC-IT/U03 )、高機能S点ユニット( PC-IT/UX2 )、DSU切り離しユニット( PC-IT/US1 )を使用時にこのカバーをはずしてS点ユニットなどをS点ユニットスロットに差し込みます。

## INS回線リバーススイッチ

INSネット64の配線が逆転しているとき( 同期がとれないとき )に切り替えます。切り替えるときは、細く硬いもの( つまようじの先など )を使ってください。

## INS回線コネクタ

添付のINS回線ケーブルを使って、INSネット64と接続します。

## USBポート

添付のUSBケーブルを使って、パソコンのUSBポートと接続します。

## シリアルポート

添付のRS-232Cケーブルを使って、パソコンのCOMポートと接続します。

## 品名ラベル

ITX92BTの認証番号や製造番号などが記載されています。

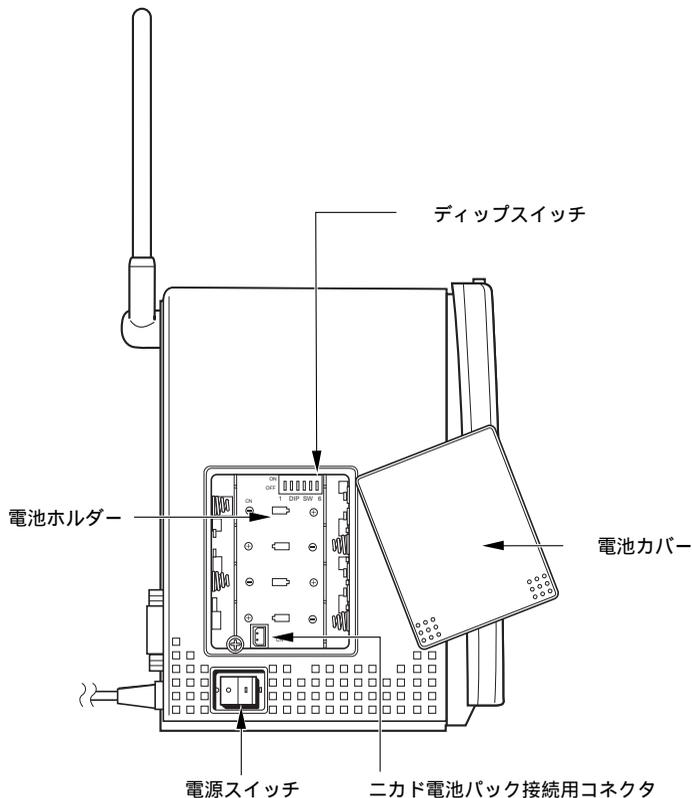
## 電源コード

AC100 Vの家庭用電源コンセントに接続します。

## アース線接続端子( FG )

アース線を取り付ける端子です( アース線は添付していません )。

## 左側面図



### ディップスイッチ

USBの通信モードの設定や自己診断(☞7-18ページ)をするときなどに使用します。

### 電池ホルダー

停電時にも使用できるように、別売りのニカド電池パック(PC-IT/BO2)または市販の単3アルカリ乾電池(4本)を入れます(☞8-28ページ)。

### 電池カバー

カバー下部の両端部分を押しとはずれます。

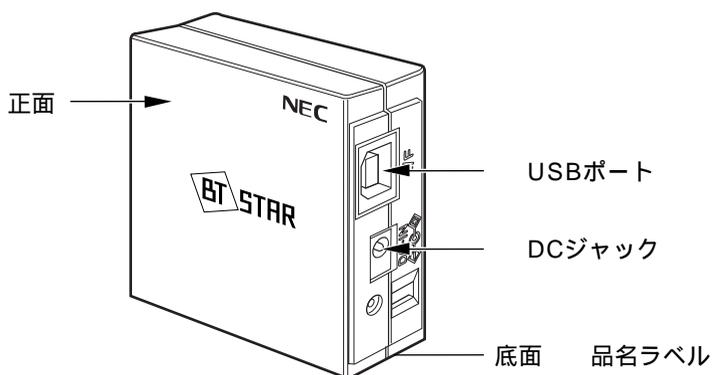
### 電源スイッチ

電源の入/切を切り替えるスイッチです。電源を入れるときは「**■**」側を押します。

### ニカド電池パック接続用コネクタ

別売りのニカド電池パック(PC-IT/BO2)を接続します。

## ■ Aterm BT01U (BT STAR) ■



### USBポート

Bluetooth™接続で使用します。他の機器と通信するときは、添付のUSBケーブルを使ってパソコンのUSBポートと接続します。

### DCジャック

『AtermITX92 BTSTARセット for DESKTOP』、『AtermITX92 BTSTARセット for MOBILE』に添付しているACアダプタと接続することができます。

### 品名ラベル

BT01Uの認証番号や製造番号などが記載されています。

1

各部の名称とはたらき

# セットアップを始める前に

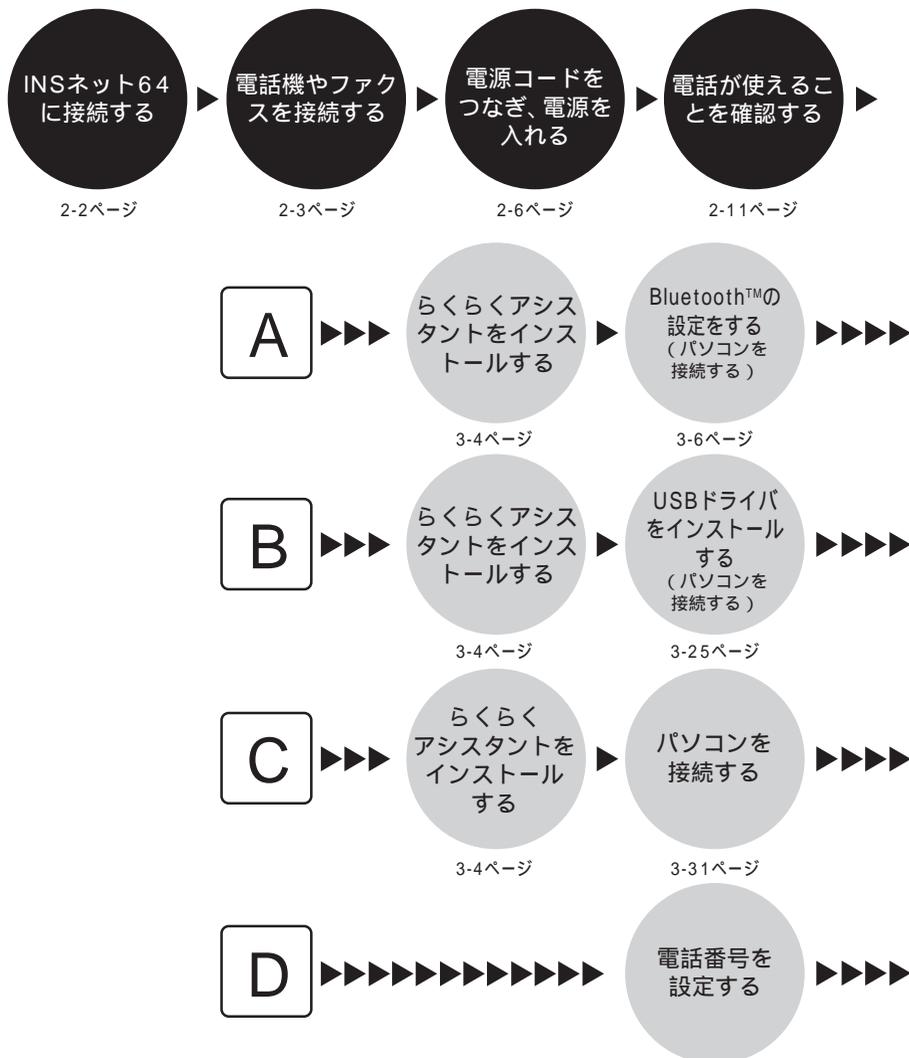
## セットアップの流れ

Atermが使えるようになるまでの基本的な流れを示します。  
セットアップを始める前に、INSネット64の契約と工事が完了していることを確認してください。

セットアップを始める前に

1

セットアップの流れ



設定例 : i・ナンバー 5-24ページ  
: ダイヤルインサービス 5-27ページ

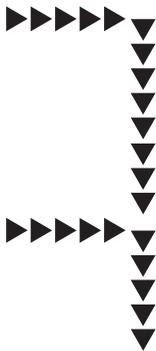
## 📖 お知らせ

ケーブルの接続からインターネット接続までを説明した『接続早わかりガイド』があります。セットアップを始める前にぜひご覧ください。

使わないアナログ  
ポートを設定する

2-13ページ

パソコンとBluetoothポートで接続する方は **A** へ  
パソコンとUSBポートで接続する方は **B** へ  
パソコンとシリアルポートで接続する方は **C** へ  
パソコンを接続しない方は **D** へ



インターネット  
接続の設定をする

3-37ページ

インターネット  
に接続する

3-40ページ

アナログポート  
を設定する

4-1ページ

正しく  
設定されたか  
確認する

4-17ページ

その他の  
サービス  
を設定する

パソコンを接続しない方は、「電話機やファクスを  
用いるようにしよう(応用編)」(5-1ページ~)と「電話機  
で設定する」(5-104ページ~)を参照して正しく設定  
してください。

セットアップを始める前に

## らくらくアシスタントで簡単セットアップ

パソコンを接続する場合、「らくらくアシスタント」という添付のツールを使うと、Atermを簡単にセットアップできます。

はじめてAtermを利用するときは、電話番号、INSナンバー・ディスプレイなどのサービスを使う / 使わないといった情報、インターネット接続用の情報などを自分の使い方に合わせてAtermに設定する必要があります。専門用語などが出てきてなんだか難しいような感じを受けますが、ご安心ください。「らくらくアシスタント」を使うと簡単に設定を行うことができます。



今までインターネットを利用したことのある方ならご存知だと思いますが、インターネットに接続できるようにするには、パソコン側にもさまざまな設定が必要です。らくらくアシスタントは、パソコンの設定も「あっ」という間にやってくれます。パソコンには自信がないという方も大丈夫。まだインターネットプロバイダに加入していない場合でも、らくらくアシスタントを使うと、BIGLOBE(☎3-33ページ)に入会できます。

# 事前に準備しておくこと

セットアップを始める前に次の準備ができているか確認しましょう。

## INSネット64の申し込みと工事

INSネット64をまだ契約していない場合は、NTT東日本・NTT西日本に申し込み、工事を依頼します。現在お使いのアナログ回線をINSネット64に変える場合は、簡単な工事で済みます(☎「INSネット64を申し込む」1-18ページ)。

## プロバイダへの加入

インターネットを利用するには、プロバイダ(インターネットプロバイダ)への加入が必要です。すでに加入している方は、今までのアクセスポイントがINSネット64に対応しているかを確認してください。Atermから接続する場合は、INSネット64のアクセスポイントに接続しますが、プロバイダによっては、INSネット64とアナログ回線でアクセスポイントの電話番号が異なることがあります。

これから加入する方は、Atermのセットアップの際に、プロバイダ「BIGLOBE(ビッグロブ)」への加入手続きが行えますのでご利用ください。

(☎「BIGLOBEへのオンラインサインアップ」3-33ページ)

## 電話機やファクス

プッシュ回線につないでいた電話機やファクスなら、そのまま使用できます。プッシュ回線につなげない電話機やファクスは使用できません。

## パソコン

Windowsの下記のバージョンのパソコンに対応しています。

Windows Me 日本語版

Windows 98 日本語版 Windows 98 SE も含みます。ただしWindows 98 SE と特定してある箇所ではWindows 98 SE のみが対象となります。)

Windows 2000 Professional 日本語版

電話機やファクスだけを利用する場合は、パソコンはなくてもかまいません。

セットアップを始める前に

# INSネット64を申し込む

INSネット64の申し込みを済ませていない方は、以下を参考にしてNTT東日本・NTT西日本に申し込んでください。

## ■ サービスを選ぶ ■

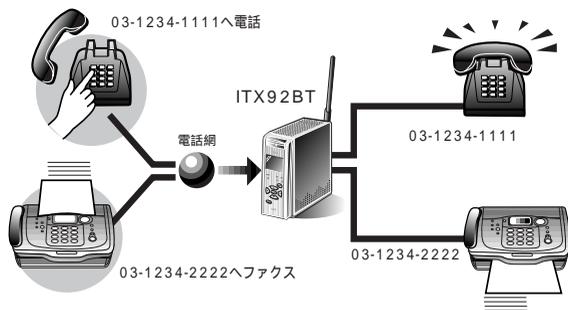
INSネット64には、便利なサービスがいくつも用意されていますので、ご自分の使用目的にあった利用サービスを選び、申し込んでください。

- ・サービスの申し込みは、後日必要に応じて変更・取り消し・追加もできます(有料)。
- ・INSネット64のサービスについて詳しくは、NTT東日本・NTT西日本にお問い合わせください。

ここでは、INSネット64で提供される代表的なサービスを目的別に紹介します。

電話機とファクスで呼び分けしたい(<sup>アイ</sup>i・ナンバーまたはダイヤルインサービス)

電話機やファクスを異なる電話番号で呼び分けるサービスです。2つまたは3つの電話番号で呼び分ける場合はi・ナンバー(☎5-24ページ)がお得です。4つ以上の電話番号で呼び分ける場合はダイヤルインサービス(☎5-27ページ)をご契約ください。

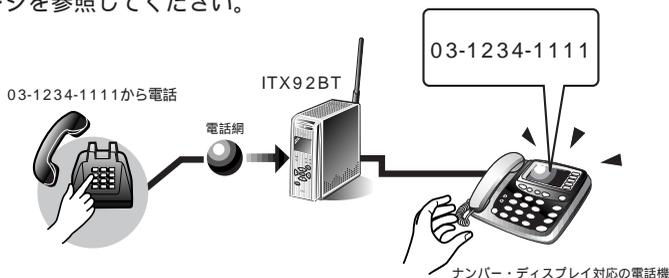


## 📎 お知らせ

電話機とファクスを使用する場合、1つの電話番号だけでご契約になると、電話がかかってきても先にファクスが応答し、ファクスで電話を受けてしまうことがあります。この場合、電話機で電話を受けることができません。また、ファクス付き電話機の自動切り替えの間、相手に通話料がかかるという問題点もあります。電話機とファクスを使用する場合は、i・ナンバー(またはダイヤルインサービス)のご契約をおすすめします。

## 相手の電話番号を知りたい（INSナンバー・ディスプレイ）

電話を受ける前に相手の電話番号を電話機のディスプレイに表示するサービスです。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機・ファクスなどが必要です。詳しくは5-57ページを参照してください。



INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、電話の相手がISDN回線・携帯電話・PHSなどからかけてきている場合は、ITX92BTの液晶ディスプレイに相手の電話番号を表示します。

## 月々定額料金をISDNしたい（フレッツ・ISDN）

いくらインターネットにアクセスしても月々の通信料金は定額です。ただし、提供エリアでなければご利用になれません。また、プロバイダとフレッツ・ISDNオプションの契約が必要になります。

## ■ 申し込む ■

最寄りのNTT窓口でINSネット64の加入手続きを行ってください。手続きの詳細については、NTT窓口にご相談ください。なお、申し込みの際は、DSU(ディー・エス・ユー)を内蔵していることを必ず伝えてください。

## ■ 「INS ネット 64 お申込票」記入上のヒント ■

- ・ インターフェース形態及びプレイヤ1起動種別欄では「P-MP常時」をお勧めします。「P-P」は利用できません。
- ・ ユーザ間情報通知サービス欄では「着信許可」をチェックします。
- ・ 「通信中着信通知サービス」をチェックします。
- ・ 配線・DSU等欄のTAでは「他社(DSU内蔵型)」をチェックします。

# インターネットプロバイダへ加入する

## 1

インターネットを利用するためには、インターネットプロバイダ(以下プロバイダと呼びます)への加入が必要です。プロバイダは家庭のパソコンとインターネットの世界を接続してくれます。INSネット64でフレッツ・ISDNを契約している場合は、合わせてフレッツ・ISDNオプションの契約をしてください。

### プロバイダにこれから加入する場合 ●●●●●●●●●●

プロバイダにこれから加入する方は、Atermのセットアップの際に、らくらくアシスタントを使ってプロバイダ「BIGLOBE」への加入手続きを行うことができます。この場合には、事前の準備は不要です(☞「BIGLOBEへのオンラインサインアップ」3-33ページ)。

### 👁️ お願い

オンラインサインアップを行うにはクレジットカードが必要です。BIGLOBEへの支払いをクレジットカード以外の方でご希望の場合は、添付の『インターネットスタートブック』(BIGLOBE入会申込書)を使い、郵送またはファクスでお申し込みください。

### すでにプロバイダに加入している場合 ●●●●●●●●●●

すでに加入している方は、今までのアクセスポイントがINSネット64に対応しているかを確認してください。プロバイダによっては、INSネット64とアナログ回線でアクセスポイントの電話番号が異なることがあります。Atermから接続する場合は、INSネット64用のアクセスポイントに接続します。

インターネット接続のためには、プロバイダから通知された以下の情報が必要です。セットアップ時に必要となりますので、あらかじめ用意しておいてください。

#### 接続情報

- ・プロバイダ名称
- ・ユーザID<sup>注1</sup>
- ・パスワード
- ・アクセスポイント
- ・ネームサーバアドレス<sup>注2</sup>
- ・プライマリDNS
- ・セカンダリDNS

#### メール情報

- ・POPサーバ(メールサーバ)
- ・SMTPサーバ(メールサーバ)
- ・メールアカウント
- ・メールパスワード
- ・メールアドレス

#### その他

- ・ニュースサーバ<sup>注3</sup>

注1 「ユーザID」はプロバイダによっては、「ユーザ名」「アカウント」などと呼ばれることがあります。

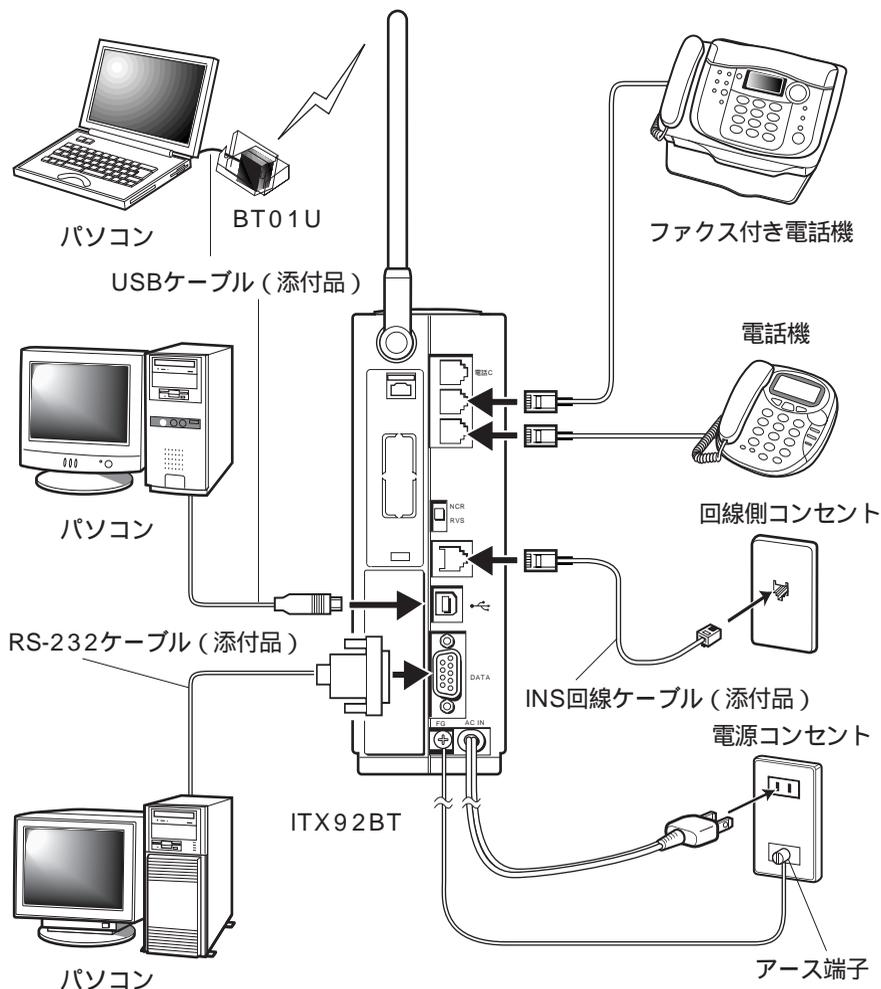
注2 「ネームサーバアドレス」はプロバイダによっては、自動設定のため、ない場合があります。

注3 プロバイダによっては、ない場合があります。

セットアップを始める前に

## 全体接続図

契約手続きとINSネット64の工事が済んだら、Atermを接続します。ここでは全体の接続図を示しますが、実際の接続作業は次ページからの手順に従って着実に行ってください。



### 👁️ お願い

パソコンの接続は必ず本書の指示どおりに行ってください。

セットアップを始める前に

## Atermの置き場所を決めよう

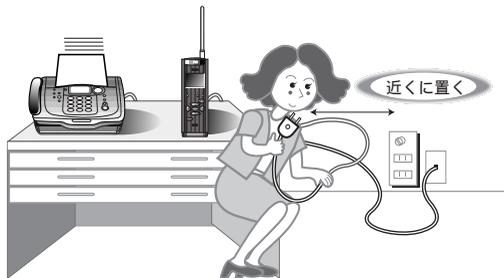
Atermには、電源・回線・電話機・ファクス・パソコンなど、たくさんものを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、Atermの置き場所は十分に考えて決めましょう。ポイントとなる点をいくつかあげます。

回線側コンセントはITX92BTのそばに置こう。

Atermと回線側コンセントは、添付のINS回線ケーブル(3m)で接続します。

ITX92BT用の電源コンセントはありますか？

ITX92BTの電源コンセントを確保しましょう。ITX92BTをパソコン連動のコンセント(パソコンの電源が入っているときだけITX92BTの電源が入る)につないではいけません。パソコンの電源が入っていないとITX92BTの電源も入らないので、電話が使えなくなります。注意しましょう。



BT01UはITX92BTの見通し100m以内に置こう

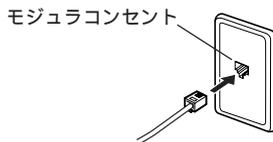
BT01UとITX92BTの電波が届く距離は、何もささぎるものがない場合で約100mです。ただし、鉄筋壁、防音壁、断熱壁、電波を出す他の機器の有無などの設備環境によっては、100m以内でも電波が届かないことがあります。

回線側コンセントの形はどうなっていますか？

回線側コンセントがモジュラタイプ以外では、ITX92BTを接続できません。

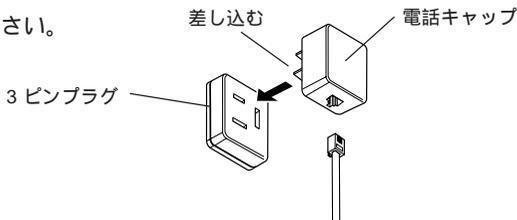
回線側コンセントがモジュラタイプの場合

そのまま接続できます。



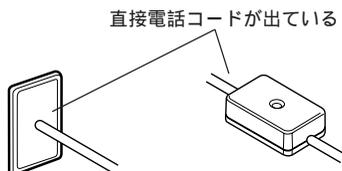
コンセントのタイプが3ピンプラグの場合

電話キャップを別途購入してください。



電話コードが壁から直接出ている場合

NTT東日本・NTT西日本に工事を依頼してください。



電話機やファクスの置き場所を決める

電話機やファクスは今までとは異なり、ITX92BTに接続します。電話機やファクスに添付のモジュラケーブルを使ってください。ケーブルの長さが足りない場合は、モジュラケーブルを別途購入してください。

## 👁️ お願い

電話機またはファクスを接続するモジュラケーブルの長さは200m(太さ0.5mm)以内にしてください。機器の種類によってはさらに短くしなければならないことがあります。

*1*

## 2 章 電話がかけられるようにしよう

では、早速電話をかけられるようにしましょう。Step 順にセットアップしてください。

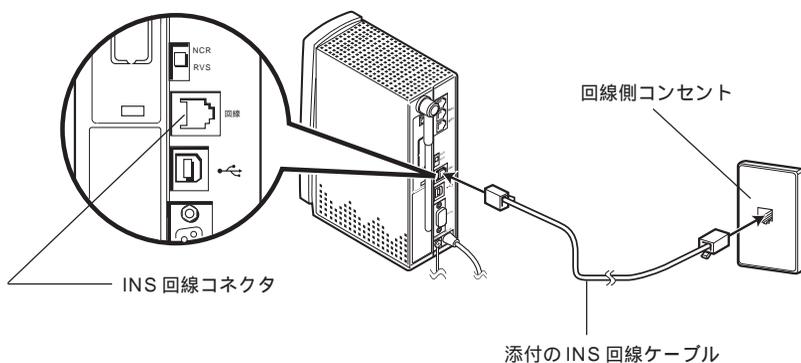
Step1 INS ネット 64 につなぐ .....	2-2
Step2 電話機やファクスをつなぐ .....	2-3
Step3 電源コードをつなぐ .....	2-6
Step4 電源を入れる .....	2-7
Step5 日時とアニメを設定する .....	2-9
Step6 電話は使えますか? .....	2-11
Step7 使わないアナログポートを設定する .....	2-13

電話がかけられるようにしよう

## step 1 INSネット64につなぐ

ITX92BTと回線側コンセントを接続します。

- 1 ITX92BTを壁の電源コンセントのそばに置く
- 2 ITX92BTのINS回線コネクタと壁の回線側コンセントを接続する  
添付のINS回線ケーブルを使って接続します。



### 👁️ お願い

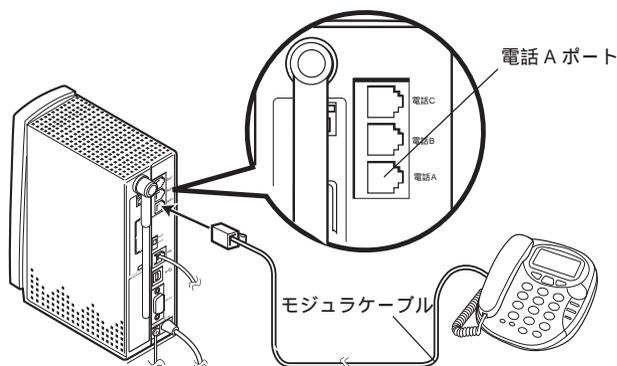
INSネット64の工事が完了してから接続してください。完了前ではITX92BTは使用できません。

電話がかけられるようにしよう

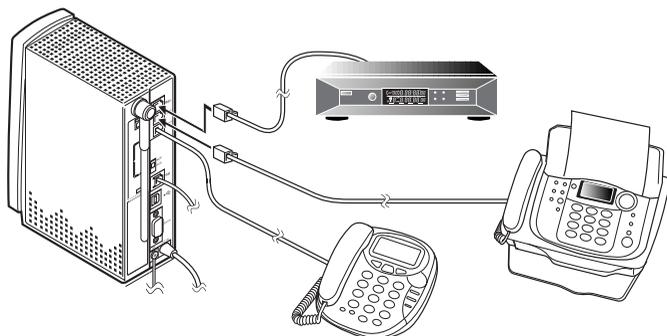
## step 2 電話機やファクスをつなぐ

電話機やファクスを、ITX92BTの電話Aポート・電話Bポート・電話Cポートに接続します。電話Aポートには、停電時に使いたいメインの機器や1台のみを使うときに接続してください。

- 1 ITX92BTの電話Aポートに、メインで使う電話機やファクスを接続するモジュラケーブルを使って接続します。  
モジュラケーブルとは電話機やファクスに添付のケーブルです。アナログ回線のときに回線側コンセントに差し込んでいたケーブルをそのまま使うことができます。



- 2 2台目の電話機、ファクスやBSデジタルTVチューナをITX92BTの電話Bポートに、3台目を電話Cポートに接続する1台目と同様に接続します。



### 3 電話機やファクスの回線種別を「トーン」に切り替える

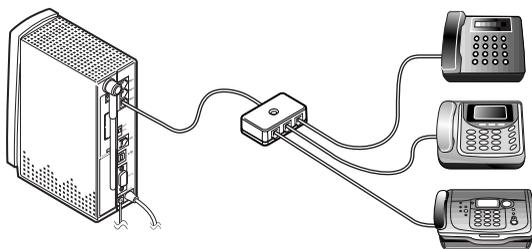
接続したすべての電話機やファクスの回線種別を、電話機やファクスの操作で「トーン(プッシュ)」に切り替えます。切り替えの方法は、電話機やファクスの取扱説明書をお読みください。ただし、今までプッシュホン契約をしていた場合は、この操作は不要です。

#### 👁️ お願い

- ・ ケーブルは絶対に屋外に出さないように配線してください。雷などによる障害の原因となります。
- ・ 停電時でも、電話Aポートに接続した電話機またはファクス(電話機能のみ)を利用することができます。停電対策については、「停電対策」(☞ 8-26ページ)をお読みください。
- ・ アナログポートに接続できるのは、端末審査協会適合マーク「㊤」または「㊤」がついている通信機器です。ただし、ITX92BTのアナログポートでは疑似的にアナログ回線相当に見せており本当のアナログ回線とは異なるため、使用できない通信機器もあります。
- ・ 電話機またはファクスを接続するモジュラケーブルの長さは200m(太さ0.5mm)以内にしてください。機器の種類によってはさらに短くしなければならないことがあります。

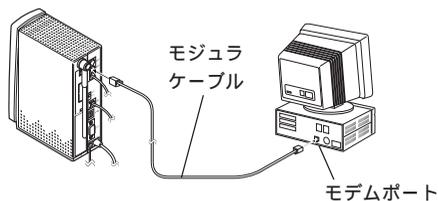
#### 📎 お知らせ

- ・ 3口の分岐用ローゼットなどを使うと、1つのアナログポートに3台(合計容量：3mF/2kW以下)までブランチ接続ができます。ただし、通話できるのはその中の1台だけです。また、INSナンバー・ディスプレイを利用する場合は、ブランチ接続できません。

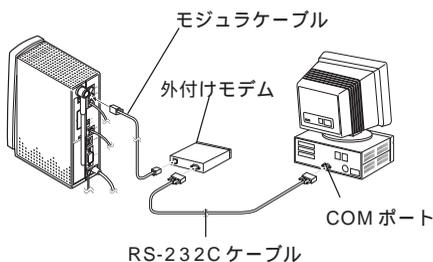


- ・モデムのFAX機能を使う場合には、下記のようにモデムとITX92BTを接続してください( ITX92BTにはFAX機能はありません )

モデム内蔵パソコンの場合：パソコンのモデムポートとITX92BTのアナログポートをモジュラケーブルで接続します。



外付けモデムの場合：ITX92BTのアナログポートとモデムをモジュラケーブルで接続し、モデムとパソコンのCOMポートをRS-232Cケーブルで接続します。



- ・停電時にITX92BTを使うために  
あらかじめ電池ホルダーに停電用のアルカリ乾電池をセットしておくと、電源が切れたときに自動的に停電モードに入ります。停電モードでは、電話Aポートに接続した電話機とBluetoothポートやUSBポート、シリアルポートに接続したパソコンを使うことができますが、お客様の環境によっては使用できないこともあります。詳しくは、「停電対策」(P. 8-26ページ)をお読みください。

電話がかけられるようにしよう

## step 3 電源コードをつなぐ

電源コードを電源コンセントに接続します。

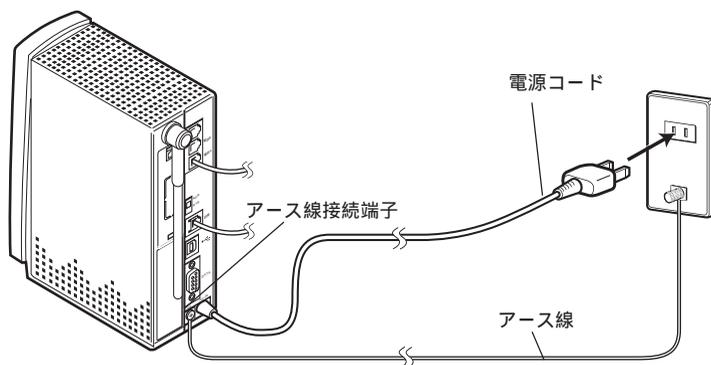
### 1 ITX92BTのアース線接続端子と壁のアース端子を接続する

アース線は添付していません。別途購入してください。

アース線は落雷などが起こった場合に、人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。

### 2 ITX92BTの電源コードを壁の電源コンセントに接続する

ITX92BTには常時電源を供給する必要があります。パソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接、接続してください。



## 👁️ お願い

#### ・落雷およびノイズ対策

回線や電源コードから入り込むノイズ(雷など)から装置を保護するためにアース線の接続と、別売りの落雷プロテクタ(PC-IT/SP01)の使用をお勧めします(アース線は別途ご用意ください)。ただし、落雷プロテクタを使用しても落雷の程度によっては、二次災害を防止するために装置内の一部分が破壊されることがあります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。

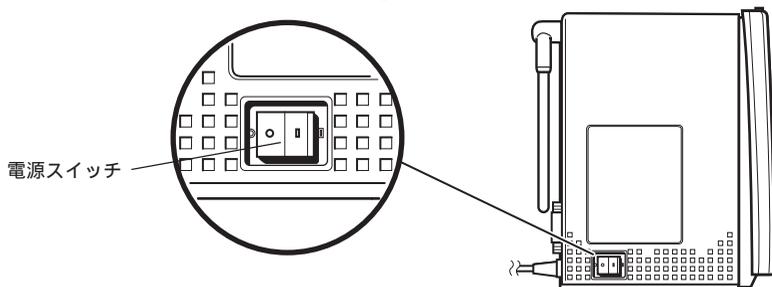
#### ・アース線をつなぐ際は、ITX92BTの電源コードがぬけていることを必ず確認してください。

電話がかけられるようにしよう

## step 4 電源を入れる

ここでITX92BTの電源を入れてみましょう。

- 1 ITX92BT側面の電源スイッチの「I」側を押す



- 2 POWERランプが緑で点灯する

ITX92BTの液晶ディスプレイに日付と時刻が表示されたら、正常に接続できています。

📶マークが約20秒間表示された後、📶マークが表示されます。

📶マークは、Bluetoothポート接続する際に使用するITX92BTのパスキーが設定されていないことを表しています。

Bluetoothポート接続しない方で、📶マークを表示したくない場合は、3-8ページ「パスキーを登録する」でダミーのパスキーを入力してください。

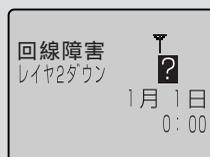
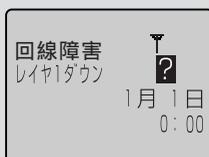


### 👁️ お願い

電源を切ると、ITX92BTに接続した電話機やファクスなどで通話や通信ができなくなります。

### 📱 こんなときは

液晶ディスプレイに「回線障害 レイヤ1ダウン」または「回線障害 レイヤ2ダウン」と表示される！



この状態ではITX92BTを使用できません。次ページの項目を順番に確認して「回線障害」が消えることを確認してください。

### 1 INS回線ケーブルの接続を確認する

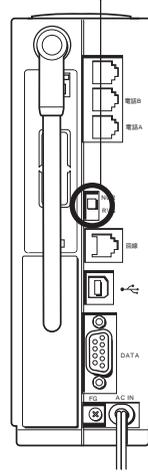
ITX92BTのINS回線コネクタと回線側コンセントがINS回線ケーブル(または市販のモジュラケーブル)で正しく接続されていることを確認します。

### 2 リバーススイッチの設定(回線の極性)を確認する

ITX92BT背面のINS回線リバーススイッチの突起を「RVS」側に移動させ(切り替え)そのまま約10秒間お待ちください。

これで問題が解消されない場合は、必ずリバーススイッチをもと(「NOR」側)に戻してください。

INS回線リバーススイッチ



### 3 ITX92BTを初期化する

ITX92BTの設定を購入時の状態に戻します。ITX92BTを初期化する方法については、「ITX92BTを購入時の状態に戻す」(P.7-15ページ)をお読みください。

### 4 INSネット64への切り替えが完了しているかをNTT東日本・NTT西日本に確認する

ITX92BTの電源を切り、INSネット64への切り替えが完了しているかどうかを、NTT東日本・NTT西日本に確認してください。

### 5 回線にガスの自動検針器が接続されていないことを確認する

アナログ回線からINSネット64に契約を切り替えた場合、回線にガスの自動検針器が接続されたままになっていることがあります。ガス供給業者に問い合わせ、接続されている場合は、撤去を依頼してください。

### 6 ITX92BTの自己診断を行う

「ITX92BTが故障していないか確認する」(P.7-18ページ)を参照して、ITX92BTの自己診断を行ってください。

上記のすべてを確認しても解決しないときは、NTT東日本・NTT西日本へお問い合わせください。

電話がかけられるようにしよう

## step 5 日時とアニメを設定する

ITX92BTの液晶ディスプレイに表示されている日時を正しい日時に設定し、お好みのアニメを選びます。日時設定やアニメ設定には、ITX92BT前面の操作ボタンを使用します。

### 日時を設定する

1  ボタンを押す

2  ボタンを押して「日時設定」を  
反転表示させて  ボタンを押す



日時設定の画面が表示され、年の最初の数字が点滅します。

3 年を設定する

ここでは、西暦の下2桁を1桁ずつ入力します。



#### ボタン操作動作

 ボタン	押すたびに点滅している桁の数字が増える
 ボタン	押すたびに点滅している桁の数字が減る
 ボタン	次の桁に移動する
 ボタン	前の桁に戻る

4 年を設定したら、 ボタンを押す

5 同じように、月・日・時・分の1桁目・2桁目を順に設定する

時間は、24時間制で設定します。例えば午後1時なら「13」となります。

6  ボタンを押す



電話がかけられるようにしよう

2

Steps 日時とアニメを設定する

### お知らせ

数字を間違えて入力して次の桁に移っても、 ボタンを押せば元の桁に戻ります。

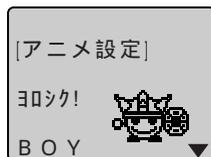
## アニメを選ぶ

1  ボタンを押す

2  ボタンを押して「アニメ設定」を反転表示させて  ボタンを押す



3  ボタンや  ボタンを押して、気に入ったアニメを選択する



4  ボタンを押す

電話がかけられるようにしよう

2

Steps 日時とアニメを設定する

電話がかけられるようにしよう

## step 6 電話は使えますか？

契約者回線番号を使って、電話が使えることを確認します。パソコンを接続する前に必ず確認してください。

### 電話をかける

電話機またはファクスの受話器をあげて電話をかけます。発音音が聞こえ、相手が出たら通話できることを確認してください。2台以上接続しているときは、それぞれについて確認してください。

- 1 電話機の受話器をあげる  
「ツーン」という音が聞こえます。
- 2 相手の電話番号をダイヤルする(時報 117 など)  
ダイヤル後、約5秒(初期値)たってから発信します。  
ダイヤル後、続けて【#】を押すと、すぐに発信します。
- 3 相手の方と通話する(または相手の声を聞く)
- 4 通話が終わったら、受話器を戻す  
受話器を戻すと、液晶ディスプレイに通話料金が表示されます。  
ただし、NTT東日本・NTT西日本から請求される金額とは異なります。

A	B1
電話 A	発信
117	5月 5日
	0:11

電話 A	切断
016	9円
	5月 5日
	0:31

### 👂 お願い

i・ナンバーやダイヤルインサービスの追加番号、ファクス機能、各種サービスなどはまだ使用できません。

### 🔍 こんなときは 電話がつながらない！

#### 受話器をあげても音がしない場合

- ・ITX92BTと電話機が正しく接続されていない  
ITX92BTのアナログポートと電話機の回線(LINE)コネクタを電話機に添付されているモジュラケーブルで接続してください。
- ・ITX92BTの電源が入っていない  
電源コードを電源コンセントに差し込んでください。  
電源スイッチの「I」側を押した状態にしてください。  
電源コードをパソコンの電源などに連動したコンセントに差し込んでいるときは、壁などの電源コンセントに接続し直してください。

#### 電話がつながらない場合

- ・電話機の回線種別の設定がトーン(PB)になっていない  
電話機の回線種別をトーン(PB)に設定してください。設定方法については、電話機の取扱説明書をお読みください。

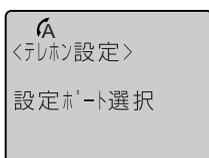


## step 7 使わないアナログポートを設定する

電話Bポートや電話Cポートに電話機やファクスなどを接続していないときは、そのポートを「使用しない」という設定が必要です。この設定をしないと、電話Aポートを使用中に電話がかかってきたとき、相手の方にはずっと呼出音が聞こえ、電話につながりません。

1 受話器をあげる

2 \* \* 1 \* を押す

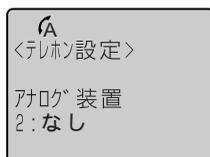


3 設定するアナログポートの番号を押す

2 : 電話Bポート

3 : 電話Cポート

4 \* 0 1 \* 2 を押す



5 # を押す

6 ほかに何も接続していないポートがあれば、同様に手順3から手順5を繰り返します

7 # を押す

8 受話器を戻す

パソコンを使用する方は、次章(3章)に進んでください。

パソコンを使用しない方は、この他に電話機を使って電話番号やサービスの設定を行います。

- ・ファクス付き電話機などのファクスやモデムをアナログポートに接続した場合  
No.1 アナログポートの接続機器(☎5-105)
- ・着信機能のないBSデジタルチューナを接続したアナログポートを、使わない着信ポートとして設定します。
  - ・ ナンバーを使用している場合(☎5-26ページ)
  - ・ ダイヤルインサービスを使用している場合(☎5-30ページ)
  - ・ ナンバー/ダイヤルインサービスとも使用しない場合(☎5-30ページ)
- ・INSネット64の付加サービスを利用している場合(主なものは下記の通りです)
  - ・ ナンバー(☎5-24ページ)
  - ・ ダイヤルインサービス(☎5-27ページ)
  - ・ INSナンバー・ディスプレイ(☎5-57ページ/No.23 情報通知サービス☎5-107ページ)

その他についても、5章「電話機やファクスを使うための設定をしよう(応用編)」(☎5-1ページ)を参考に設定を行ってください。

2

# 3 章 Windowsのパソコンでインターネット

ITX92BT、BT01Uにパソコンをつなぎ、インターネットへ接続します。ユーティリティのインストールやインターネットをするために必要な設定もここで行ないます。Step1 から順に作業を進めてください。

Step1 パソコンをつなぐポートを確認する .....	3-2
Step2 らくらくアシスタントをインストールする .....	3-4
Step3 パソコンをつなぐ ( Bluetooth ポート接続 ) .....	3-6
Step3 パソコンをつなぐ ( USB ポート接続 ) .....	3-25
Step3 パソコンをつなぐ ( シリアルポート接続 ) .....	3-31
Step4 BIGLOBE へのオンラインサインアップ .....	3-33
Step5 インターネットのセットアップ .....	3-37
Step6 インターネットへ接続する .....	3-40
ホームページを見よう .....	3-43
インターネットへうまく接続できないときは .....	3-45
Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティの詳細設定 ....	3-46
らくらくアシスタントで Bluetooth の詳細設定 .....	3-52

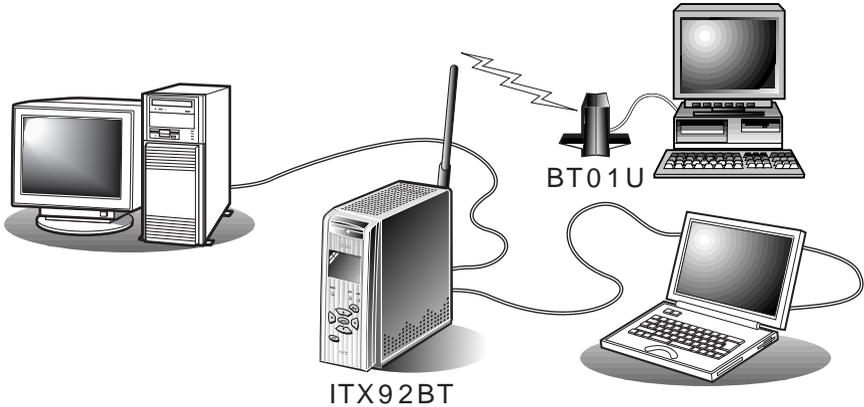
Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

# step 1 パソコンをつなぐポートを確認する

電話が使えることが2章で確認できたら、パソコンを接続します。Bluetoothポート接続・USBポート接続・シリアルポート接続の3つの接続方法の中から、お使いのパソコンのOSや使いたい機能などに合わせて、1つを選択してください。



## 3つの接続方法それぞれの主な特長

### Bluetoothポート接続

パソコンをBT01U(BTSTAR)に接続して、ITX92BTとは無線でBluetooth™接続する。  
ITX92BTとBT01U間の距離が見通し約100m\*以内なら、パソコンを自由に移動できる。ただし、環境によっては距離が短くなることがあります。

### USBポート接続

シリアルポート接続に比べ高速で通信。CDCモードとAtermモードの2つのモード(☞3-25ページ)がある。

### シリアルポート接続

USBポートのないパソコンでも使用できる。

\* 鉄筋壁、防音壁、断熱壁、電波を出す他の機器の有無などにより、100m以内でも電波が届かないことがあります。

## 使用できるOSの種類・バージョン・ポート

		Bluetoothポート接続	USBポート接続	シリアルポート接続
OSの種類	Windows Me			
	Windows 98 SE		1	
	Windows 98	x	1	
	Windows 2000			
Aterm側の接続ポート		BT01UのUSBポート	ITX92BTのUSBポート	ITX92BTのシリアルポート
接続するパソコン側のポート		USBポート	USBポート	シリアルポート(COMポート)

1 CDCモードは利用できません。



## step 2 らくらくアシスタントをインストールする

らくらくアシスタントはAtermの設定やインターネット接続用のセットアップが簡単にできる便利なツールです。らくらくアシスタントをぜひインストールしてお使いください。

### お願い

Windows2000で以降の操作を行うためには、Administrator( 権限のあるアカウント )でログオンしてください。

- 1 Windows Me/98SE/98/2000 を起動する
- 2 添付のCD-ROM「BTSTARユーティリティ集」をセットする
- 3 メニュー画面が表示されたら[ らくらくアシスタントのインストール ]ボタンをクリックする



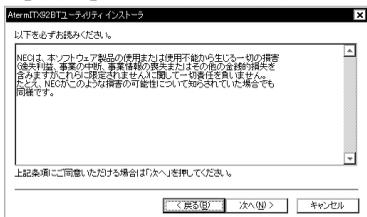
- 4 [ 次へ ] ボタンをクリックする



- 5 [ 次へ ] ボタンをクリックする



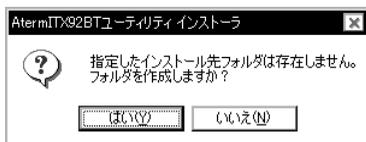
- 6 画面の同意書を読み、同意できる場合は [ 次へ ] ボタンをクリックする



- 7 インストール先に変更がなければ、[ 次へ ] ボタンをクリックする  
インストール先のドライブやフォルダを変更する場合は、[ 参照 ] ボタンをクリックし、表示された画面でインストール先を指定します。



## 8 [ はい ] ボタンをクリックする



プログラムフォルダが作成され、各アイコンが表示されます。

しばらくすると、らくらくユーティリティインストーラ画面に戻り、「インストールが完了しました」というメッセージが表示されます。

## 9 「READMEの表示」にチェックが入っていることを確認したら、「Atermらくらくアシスタントの実行」のチェックをはずし、[ 完了 ] ボタンをクリックする



## 10 READMEをよく読んだ後、画面右上の [ × ] ボタンをクリックする

インストールが完了します。

- ・Bluetoothポート接続は3-6ページへ
- ・USBポート接続は3-25ページへ
- ・シリアルポート接続は3-31ページへ

## 3 こんなときは メニュー画面が表示されない

メニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

- 1) Windowsの [ スタート ] ボタンをクリックし、[ ファイル名を指定して実行 ] を選択する
- 2) 名前の欄に、CD-ROMドライブ名: ¥ Menu.exe と入力し、[ OK ] ボタンをクリックする

例：CDドライブ名がQの場合、Q:¥Menu.exeとなります。

## お知らせ

らくらくアシスタント・らくらくバージョンアップなど、すべてのユーティリティをアンインストールすることができます。

- 1) Windowsの [ スタート ] ボタンをクリックし、[ プログラム ]-[ AtermIT92BT ユーティリティ ]-[ ユーティリティのアンインストール ] を順に選択する
- 2) [ はい ] ボタンをクリックする
- 3) [ OK ] ボタンをクリックする





## ITX92BT側の準備

ITX92BTの前面の操作ボタンを使用し、ITX92BTのBluetooth™機能が使えるようにします。

### パスキーを登録する

パスキーは、BT01UとBluetooth™接続をする際に必要な番号です。1～10桁までの任意の数字を設定することができます。

1

[MENU] ボタンを押す

2

▼ ボタンや ▲ ボタンを押して [Bluetooth] を反転表示させ、[ENTER] ボタンを押す



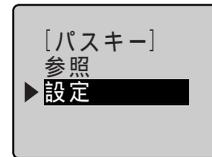
3

[パスキー] に矢印をあわせ、[ENTER] ボタンを押す



4

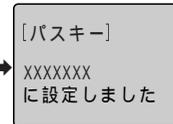
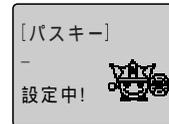
[設定] に矢印をあわせ、[ENTER] ボタンを押す



5

▼ ボタンや ▲ ボタンを押してパスキー(1～10桁の任意の数字)を入力し、[ENTER] ボタンを押す

▲ : 数字が増えます / ▼ : 数字が減ります / ◁ : 次の桁に移ります / ▷ : 前の桁に移ります



(Xは設定した数字を示します)

ITX92BTの液晶ディスプレイから  マークが消えます。

### お願い

- ・ パスキーは非常に重要なものです。第三者に知られないように十分ご注意ください。
- ・ ITX92BTを初期化するとパスキーとBluetoothの動作モードがクリアされます。ITX92BT前面の操作ボタンで再設定する必要があります。(動作モードはパスキーを設定すると「動作可能」になります)

## ITX92BTのデバイスアドレスを確認する

ITX92BTやBT01Uには、Bluetooth™接続をする際に必要なデバイスアドレスという固有の番号があります。ここではITX92BTのデバイスアドレスを確認します。

1  ボタンを押す

2  ボタンや  ボタンを押して [Bluetooth] を反転表示させ、  
 ボタンを押す



3  ボタンや  ボタンを押して、[BD\_ADDR] を反転表示させ、  
 ボタンを押す



4 [参照] に矢印をあわせ、 ボタンを押す



5 ITX92BTのデバイスアドレス番号が表示されるので、確認する



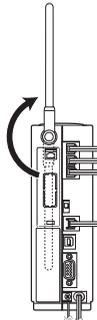
(デバイスアドレス番号は一例です)  
紙などにメモしておくくと便利です。

## お知らせ

ITX92BTとパソコンをBluetooth™接続すると、ITX92BTのデバイスアドレスの確認やパスキーの再設定はらくらくアシスタントで行うこともできます。

## ITX92BTのアンテナを立てる

1 アンテナを垂直に立てる



# BT01U側の準備

ITX92BTの準備が終わったら、BT01U側の準備を行いません。

## お願い

他のアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了させてください。

## Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティをインストールする

- 1 添付CD-ROM「BTSTARユーティリティ集」をセットする  
自動的にメニュー画面が起動します。

- 2 [BTSTARユーティリティのインストール] ボタンをクリックする



- 3 [次へ] ボタンをクリックする



- 4 製品ライセンス契約の内容を確認し、同意できる場合は、[はい] ボタンをクリックする

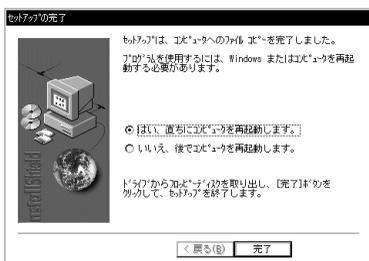
- 5 [次へ] ボタンをクリックする



- 6 [次へ] ボタンをクリックする



- 7 「はい、直ちにコンピュータを再起動します」がチェックされていることを確認し、[完了] ボタンをクリックする  
パソコンが再起動します。



## パソコンとBT01UをUSBケーブルでつなく

添付のUSBケーブルでパソコンとBT01Uをつなぎます。『AtermITX92 BTSTARセット for DESKTOP』の場合は下記を、『AtermITX92 BTSTARセット for MOBILE』の場合は3-12ページをご覧ください。

### お知らせ

- ・BT01UとパソコンをUSBケーブルでつなぐと、BT01U用ドライバのインストールが始まります。お使いのOSに合わせてドライバをインストールしてください。

Windows Meの場合(  3-14ページ )

Windows 98 SEの場合(  3-15ページ )

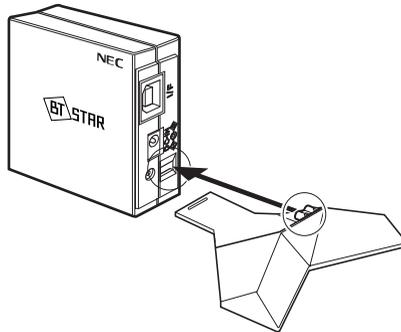
Windows 2000の場合(  3-16ページ )

- ・BT01UはパソコンからのUSB給電のみで動作しますが、スタンバイモードやサスペンドモードでご使用になる場合は、添付のACアダプタをご使用ください。その場合は、添付のACアダプタ以外は使用しないでください。またパソコンによってはスタンバイモードやサスペンドモードでご使用になれない場合があります。

『AtermITX92 BTSTARセット for DESKTOP』の場合

### 1 BT01Uに添付の縦置きスタンドを取りつける

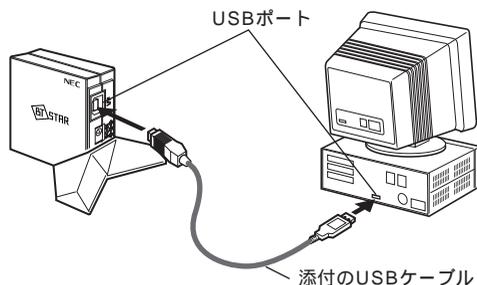
縦置きスタンドの爪の部分にBT01Uの差し込み口に入れます。  
BT01Uを縦置きスタンドの底面に沿って水平に滑らせます。



### お願い

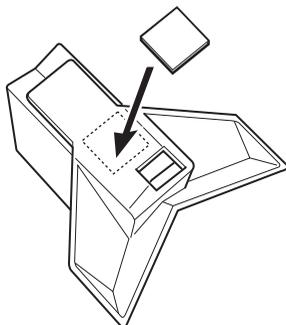
縦置きスタンドを抜くときは、水平に抜いてください。縦置きスタンドの爪が折れてしまうことがあります。

## 2 添付のUSBケーブルでパソコンのUSBポートとBT01Uをつなぐ



### お知らせ

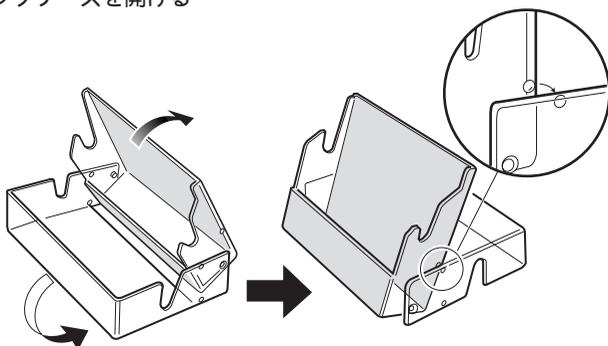
添付のスタンド固定シールでBT01Uの位置を固定することができます。



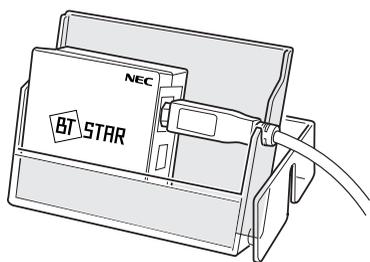
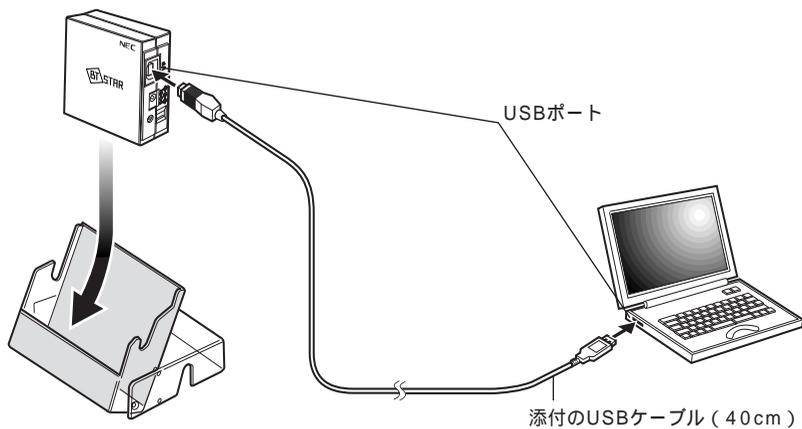
設置場所や距離または向きによって、通信速度が遅くなったり、ITX92BTを認識できない場合があります。位置を固定する際は、まずインターネット接続 (☞ 3-40ページ) を行って、通信状態を確認してください。

『AtermITX92 BTSTARセット for MOBILE』の場合

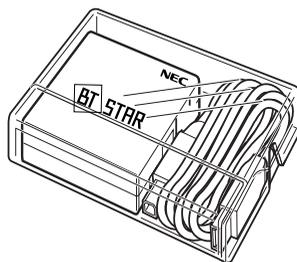
### 1 キャリングケースを開ける



- 2 添付のUSBケーブルでパソコンのUSBポートとBT01Uを接続する  
添付のUSBケーブルのうち、短い方(約40cm)のUSBケーブルを使用します。



接続したら、キャリングケースにBT01Uを置きます。



USBケーブル(約40cm)をたんでBT01Uと一緒にキャリングケースに収納することができます。

## お知らせ

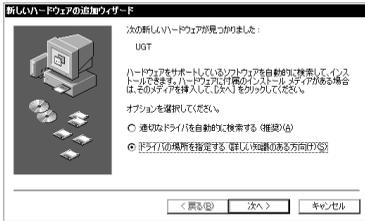
このあとは

- Windows Meの場合  3-14ページ
- Windows 98 SEの場合  3-15ページ
- Windows 2000の場合  3-16ページ

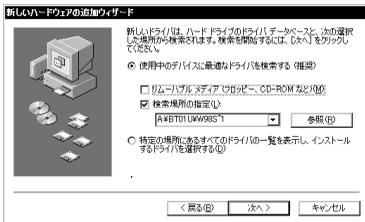
## BT01U用のドライバをインストールする(Windows Meの場合)

パソコンにBT01U用のドライバをインストールします。  
インストールの間は、USBケーブルを絶対に抜かないでください。

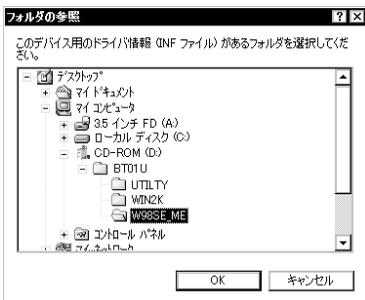
- 1 パソコンに「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、「ドライバの場所を指定する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする



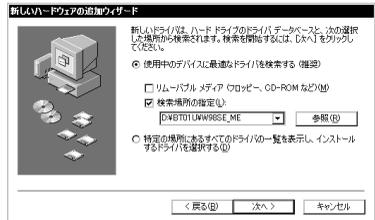
- 2 「検索場所の指定」をチェックし、「参照」ボタンをクリックする



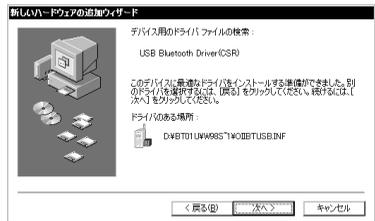
- 3 CD-ROM 内の ¥ B T 0 1 U ¥ W 9 8 S E \_ M E フォルダを選択して、「OK」ボタンをクリックする



- 4 [次へ]ボタンをクリックする



- 5 [次へ]ボタンをクリックする



- 6 インストールが完了したら、「完了」ボタンをクリックする

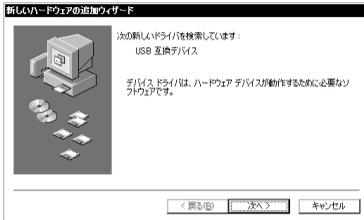


CD-ROMをとり出します。  
このあとは、「ドライバがインストールされたか確認する」(3-19ページ)へ。

## BT01U用のドライバをインストールする(Windows98SEの場合)

パソコンにBT01U用のドライバをインストールします。  
インストールの間は、USBケーブルを絶対に抜かないでください。

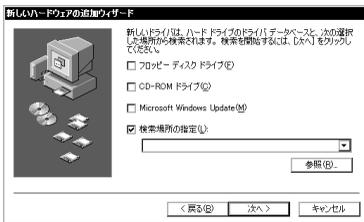
- 1 パソコンに「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、  
[次へ] ボタンをクリックする



- 2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

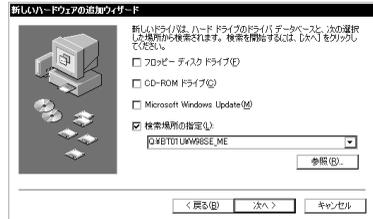


- 3 「検索場所の指定」を選択し、[参照] ボタンをクリックする

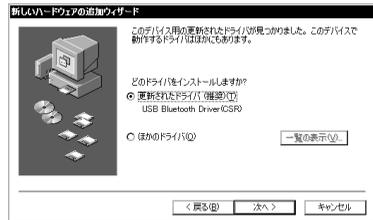


- 4 CD-ROM 内の ¥ BT01U ¥ W98SE\_ME フォルダを選択し、  
[OK] ボタンをクリックする

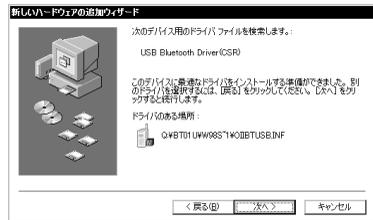
- 5 [次へ] ボタンをクリックする



- 6 [次へ] ボタンをクリックする



- 7 [次へ] ボタンをクリックする



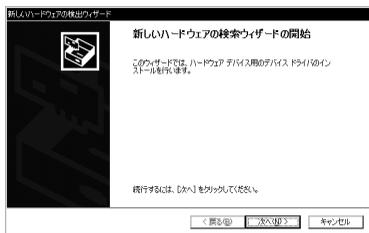
- 8 インストールが完了したら、[完了] ボタンをクリックする

CD-ROMをとり出します。  
このあとは、「ドライバがインストールされたか確認する」(3-19ページ)へ。

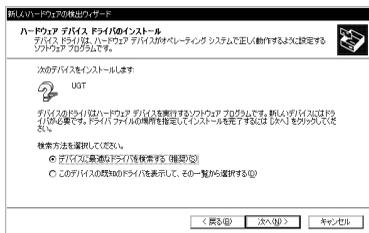
## BT01U用のドライバをインストールする(Windows2000の場合)

パソコンにBT01U用のドライバをインストールします。  
インストールの間は、USBケーブルを絶対に抜かないください。

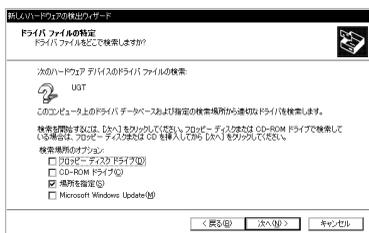
- 1 パソコンに「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら [次へ] ボタンをクリックする



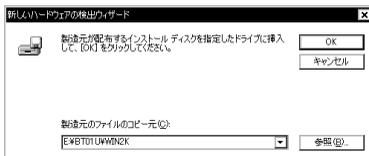
- 2 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ] ボタンをクリックする



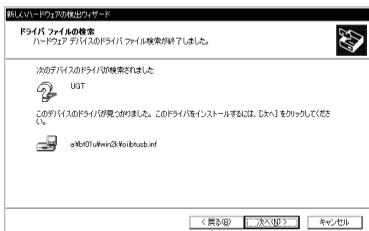
- 3 「場所を指定」にチェックし、[次へ] ボタンをクリックする



- 4 [参照] ボタンをクリックし、CD-ROM 内の ¥BT01U¥WIN2K フォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックする



- 5 [次へ] ボタンをクリックする

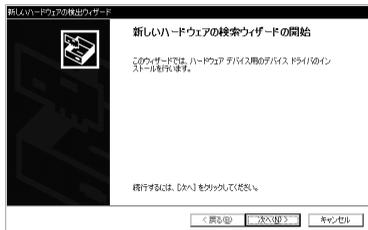


- 6 インストールが完了したら、[完了] ボタンをクリックする

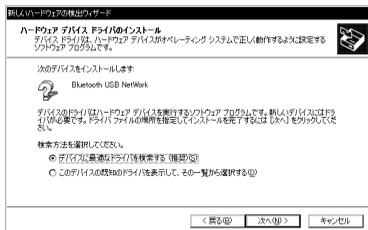
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。



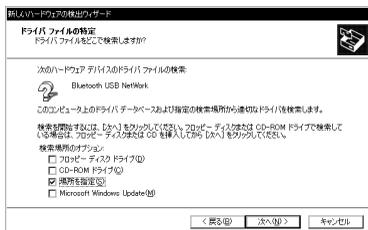
- 7 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリックする



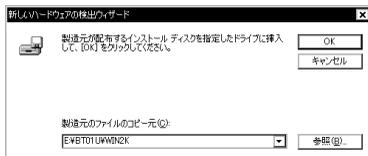
- 8 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ] ボタンをクリックする



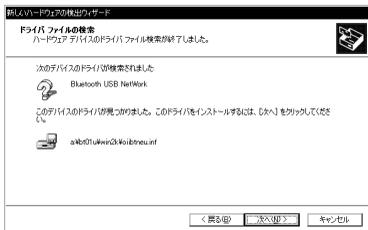
- 9 「場所を指定」にチェックし、[次へ] ボタンをクリックする



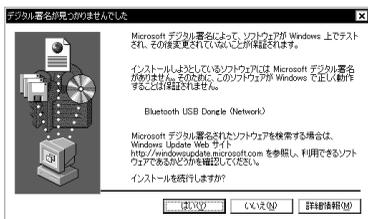
- 10 [参照] ボタンをクリックしてCD-ROM内の¥BT01U¥WIN2Kフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックする



- 11 [次へ] ボタンをクリックする



- 12 次の画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックする



- 13 インストールが完了したら、[完了] ボタンをクリックする



- 14 Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティを起動する

[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]-[NEC Bluetooth(TM) PC ユーティリティ]-[NEC Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティ]を選択します。

- 15 画面右下のタスクバーにアイコンが表示されたら、そのアイコンをダブルクリックする



- 16 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら[次へ]ボタンをクリックする

画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

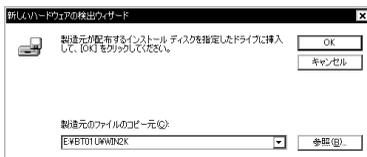
- 17 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



- 18 「場所を指定」にチェックし、[次へ]ボタンをクリックする



- 19 [参照]ボタンをクリックし、CD-ROM内の¥BT01U¥WIN2Kフォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックする

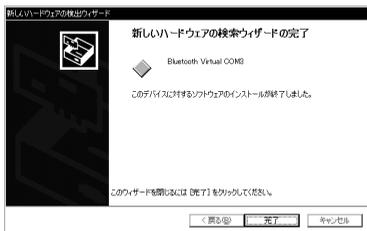


- 20 [次へ]ボタンをクリックする



- 21 インストールが完了したら、[完了]ボタンをクリックする

CD-ROMをとり出します。



## ドライバがインストールされたか確認する

BT01U用のドライバをインストールしたら、正しくインストールされていることを確認してください。

### 1 デバイスマネージャ画面を開く

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-を選択し、[システム]アイコンをダブルクリックします。Windows Me、Windows 98の場合は[デバイスマネージャ]タブをクリックし、Windows 2000の場合はBluetooth(TM) PC Driverユーティリティを起動し、[ハードウェア]タブを選択して[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

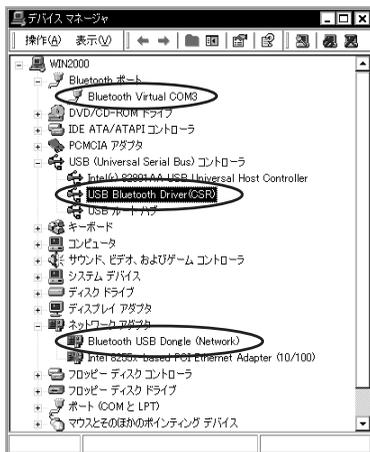
### 2 Windows Me、Windows 98の場合は[更新]ボタンをクリックする

### 3 デバイスマネージャに次のデバイスが表示されていることを確認する

表示されているデバイスの種類をダブルクリックするか、左側の[+]マークをクリックして、表示されるデバイスに次のデバイスがあるか確認してください。

デバイスの種類	確認するデバイス
ネットワークアダプタ	Bluetooth USB Dongle(Network)
USB(Universal Serial Bus)コントローラ またはユニバーサルシリアルバスコントローラ	USB Bluetooth Driver(CSR)
Windows Meの場合はポート(COMとLPT) Windows 98 SEの場合はポート(COM/LPT)	Bluetooth Virtual COM Port(COM x *1)
Windows 2000の場合はBluetoothポート	Bluetooth Virtual COM x *1 Bluetooth(TM) PC Driverユーティリティを 起動しないと表示されません

\*1 xには数字が表示されます。接続しているパソコンによって異なります。



(画面はWindows 2000の場合の一例です)

デバイス表示に「！」や「x」などが付いているときは、正しくインストールされていません。再インストールが必要です。詳しくは添付CD-ROMに収録されている『お困りのときには』をご参照ください。

# ITX92BTとBluetooth™接続する ●●●●●●●●●●

準備が終わったらパソコンとITX92BTをBluetooth™接続します。  
画面上の値は一例です。

## 👁️ お願い

- ・ Bluetooth™接続中は、絶対にBT01UのUSBケーブルを抜かないでください。
- ・ ITX92BTと同時にBluetooth™接続できるのは1台のみです。
- ・ ITX92BTでBluetooth™接続中に、ITX92BTの他のポート(シリアル/USBポート)でPIAFS通信は利用できません。
- ・ シリアルポートまたはUSBポートでPIAFS通信中は、ITX92BTでBluetooth™接続はできません。

### 1 Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティを起動する

[ スタート ] ボタンをクリックし、[ プログラム ]-[ NEC Bluetooth(TM)PC ユーティリティ ]-[ NEC Bluetooth (TM)PC Driver ユーティリティ ] を選択します。Windows2000をご使用の方は手順2へ進んでください。

### 2 パソコン画面右下のタスクトレイにアイコンがでてきたら、そのアイコンをダブルクリックする



### 3 [ デバイス探索 ] ボタンをクリックする

BT01Uが、Bluetooth™接続ができる機器(ここではITX92BT)を探します。ローカルデバイスは、パソコンに接続されているBT01Uを表示しています。



(ローカルデバイスアドレスやSerial Serviceに表示されているCOMの後の数字は、それぞれ異なります。)

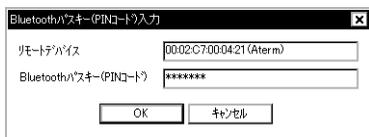
- 4 リモートデバイスに表示されたデバイスアドレスからITX92BTのデバイスアドレス(☞3-9ページ)を選択し、[ サービスブラウズ ] ボタンをクリックする



## お願い

- ・リモートデバイスにITX92BTのデバイスアドレスが表示されないときは、BT01UをITX92BTに近づけてみてください。

- 5 リモートデバイス(ここではITX92BT)のパスキー(☞3-8ページ)を入力し、[ OK ] ボタンをクリックする



## お知らせ

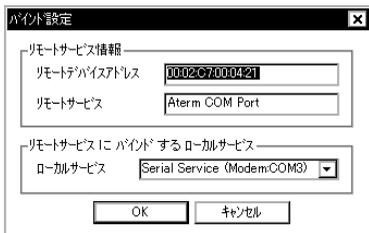
パスキーを忘れてしまったときは、「パスキーを登録する」(☞3-8ページ)の手順4で「参照」を選択します。

- 6 ITX92BTのAterm COM Portを選択し、[ バインド ] ボタンをクリックする



- 7 [ OK ] ボタンをクリックする

ローカルサービスは、BT01UのBluetooth™接続のポートを選択します。



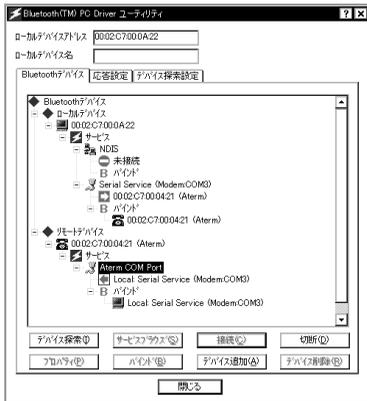
(画面は一例です)

- 8 [ 接続 ] ボタンをクリックする



9 ローカルデバイスには  アイコンと接続したりリモートデバイス名が、リモートデバイスには  アイコンと接続したローカルデバイス名がそれぞれ表示されていることを確認する

アイコンが矢印になっているときは、パソコンとITX92BTはBluetooth™接続しています。また、ITX92BTの液晶ディスプレイに  が表示されていることを確認してください。



10 らくらくアシスタントを起動する

[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] [Aterm ITX92BTユーティリティ] [Aterm らくらくアシスタント] を選択してください。

## お知らせ

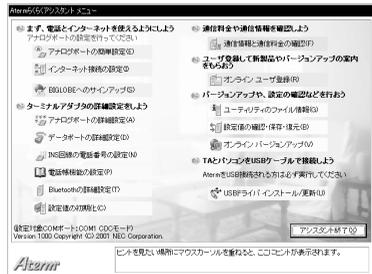
- Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティの詳細設定をすることができます( [3-46ページ](#) )。また、ITX92BTとBluetooth™接続したあと、らくらくアシスタントの「Bluetoothの詳細設定」でITX92BTのデバイスアドレスの確認などをすることができます( [3-52ページ](#) )。
- Bluetooth™接続を切断( [3-23ページ](#) )したあと、再接続するときは、ITX92BTのAterm COM Portを選択し、[接続] ボタンをクリックしてください。

11 [次回以降はこの画面を表示しない] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする



12 らくらくアシスタント画面が表示されます

Bluetooth™接続している間は、BT01Uに接続したパソコンから、らくらくアシスタントでインターネットのセットアップやITX92BTのアナログポート/Bluetoothポートなどの設定をおこなうことができます。



このあとは、「Step4 BIGLOBEへのオンラインサインアップ」( [3-33ページ](#) )へ。

## Bluetooth™接続を切断する

- 1 [切断] ボタンをクリックする  
ITX92BTとの接続を切断します。  
Bluetooth™接続が切断されると、や  
アイコンがになります。

- 2 [閉じる] ボタンをクリックする  
画面が閉じます。

画面を表示したいときは、パソコン画面右下のタスクトレイにあるBluetooth(TM) PC Driver ユーティリティのアイコンをダブルクリックします。



## Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティを終了する

- 1 パソコン画面右下のタスクトレイにあるBluetooth(TM) PC Driver ユーティリティのアイコンを右クリックする
- 2 [Bluetooth(TM)タスクマネージャの終了]を選択する

タスクトレイにあるBluetooth(TM) PC Driver ユーティリティのアイコンが消えます。

### お知らせ

- Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティを再起動した時に、リモートデバイス情報が表示されている場合には、ITX92BTのAterm COM Portを選択し、[接続] ボタンをクリックしてください。
- Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティをアンインストールするときは、[スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]で、[NEC Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティ]を選択し、Windows Me/98SEは[追加と削除] ボタン、Windows 2000は[削除] ボタンをクリックします。
- 別売りオプションのBT01Uを増設して、2台のBT01Uにつないだそれぞれのパソコン間でファイルを共有することもできます。『データ通信ガイド』の「BTSTARネットワーク」をご覧ください。

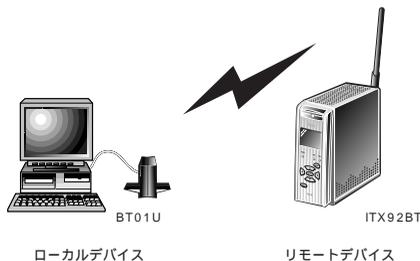
## ② こんなときは

Bluetooth™のドライバインストール中やBluetooth™接続中には、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。USBケーブルを抜くときは、下記の手順の通りにしてください。

- 1) Bluetooth™接続している場合は切断する
- 2) Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティを終了する(☞3-23ページ)
- 3) USBケーブルを抜く

## リンクキーとBluetooth認証

Bluetooth™通信では、Bluetooth™接続をしている自分のデバイスを「ローカルデバイス」、Bluetooth™接続の相手になるデバイスを「リモートデバイス」と言います。たとえば下図のようにBT01Uをローカルデバイスとした場合、ITX92BTはリモートデバイスとなります。



BT01Uが初めてのITX92BTにBluetooth™接続するときには、ITX92BT側からBT01Uにパスキー入力を要求してきます。、BT01Uが正しいパスキーを入力することにより、両方のデバイスで共通の「リンクキー」というキーが作成されます。このような動作を「ペアリング」といいます。リンクキーは、接続する相手が間違いないことを確認するためのキーでいったん作成されると両方のデバイスで保持されます。再度Bluetooth™接続するときには、共通のリンクキーを使用して、お互いを確認します。これを「Bluetooth認証」と言います。

ITX92BTとBluetooth™接続したBT01Uから再度Bluetooth™接続を行うときは、パスキーなどが聞かれることなく、Bluetooth™接続されます。これは一度作成されたリンクキーでBluetooth認証がされているからです。

共通のリンクキーを持っているデバイス同士は、それ以後は共通のリンクキーが存在する限り、Bluetooth認証を行うことができます。改めてペアリングの必要が出てくるのは、以下のような場合です。

- ・ITX92BTを初期化した
- ・ITX92BTのリモートデバイスのリンク履歴(アドレス・デバイス名)を削除した(☞3-53ページ)
- ・Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティ上にある、TX92BTのリモートデバイスプロパティの情報保持期間を過ぎてしまった(☞3-49ページ)



## USBポート接続の流れ



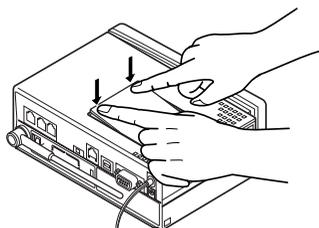
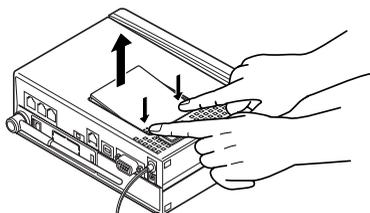
- 1 ディップスイッチの設定をする
- 2 USBの通信モードを確認する
- 3 USBドライバをインストールする

パソコンとの接続は、ドライバのインストールの途中で行ないます。

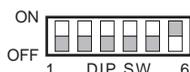
### ディップスイッチの設定をする

出荷時は「CDCモード」になっています。Atermモードで接続する場合は、ディップスイッチの設定が必要です。

- 1 電源スイッチの「」を押して電源を切る
- 2 電池カバーを開ける  
停電時のための電池をセットしている場合は、電池を抜きます。
- 4 停電時のための電池をセットする場合は、電池を入れる
- 5 電池カバーを閉じ、電源スイッチの「」を押して電源を入れる



- 3 ディップスイッチの6を設定する  
つまようじなど先の細いもので、ディップスイッチを移動させます。  
CDCモード.....ディップスイッチ6  
「ON」側(工場出荷時状態)  
Atermモード.....ディップスイッチ6  
「OFF」側



(CDCモードの場合)

## USBの通信モードを確認する

ディップスイッチの変更が正しくできたか確認します。

- 1 ITX92BT前面の **(MENU)** ボタンを押す
- 2  ボタンを押して、「バージョン」を反転表示させ、**(ENTER)** ボタンを押す

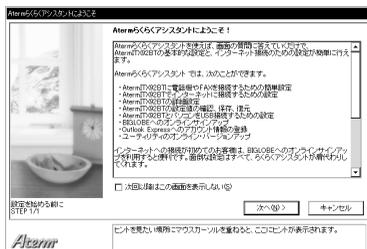


- 3 液晶ディスプレイに、設定した通信モードが表示されることを確認する  
液晶ディスプレイに「CDCモード」または「Atermモード」と表示されます。設定したモードと異なる表示の場合は、ディップスイッチ6を再度設定し直してください。

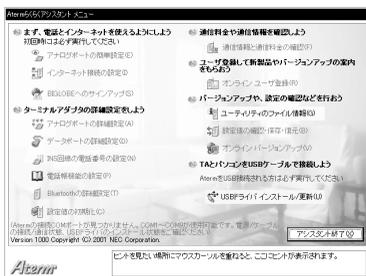
## USBドライバをインストールする

らくらくアシスタントを使って、USBドライバをインストールします。インストールの途中で画面の指示があるまで、パソコンとITX92BTは接続しないでください。

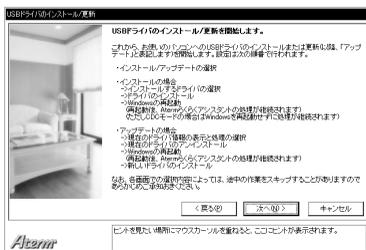
- 1 らくらくアシスタントを起動する  
[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] [AtermITX92BTユーティリティ] [Atermらくらくアシスタント] を選択してください。
- 2 「次回以降はこの画面を表示しない」をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする



- 3 [USBドライバインストール/更新] ボタンをクリックする

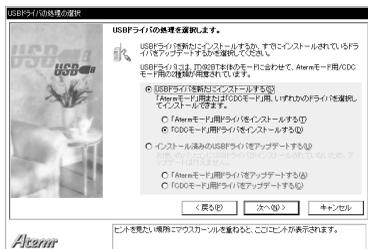


- 4 [次へ] ボタンをクリックする。



- 5 [ USBドライバを新たにインストールする ] をクリックし、デフォルトで設定したモードを選択して [ 次へ ] をクリックする

Windows98の場合は、「Atermモード」用ドライバをインストールする が選択されています。



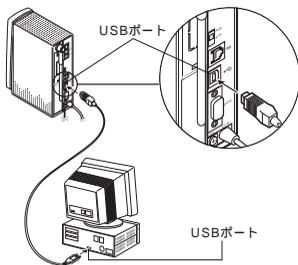
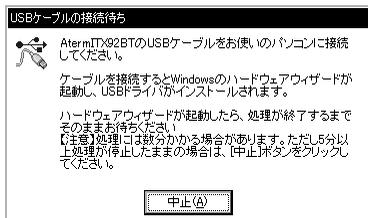
(CDCモードの場合の画面)

- 6 [ 実行 ] をクリックする



- 7 USBケーブルの接続待ち画面が表示されたら、Atermとパソコンを添付のUSBケーブルで接続する。

USBドライバのインストールが開始します。



- 8 CDCモードの場合は、[ メニューに戻る ] ボタンをクリックする。Atermモードの場合は、再起動 ボタンをクリックする

Atermモードの場合は、パソコンが再起動します。



(CDCモードの場合の画面)



(Atermモードの場合の画面)

- 9 しばらくアシスタントのメニュー画面が表示されたら、画面下に「設定対象COMポート」が「CDCモード」または「Atermモード」と表示されていることを確認する  
このあとは、「Step4 BIGLOBEへのオンラインサインアップ」(3-33ページ)へ。

間違っってケーブルを接続し、ハードウェアウィザードが起動した場合は、[キャンセル]をクリックしてください。ただし、この場合はAtermが「不明なデバイス」として認識されてしまっているので、次の手順で「不明なデバイス」を削除してください。

- 1) [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル][システム]をダブルクリックする
- 2) [デバイスマネージャ]タブの[不明なデバイス]を選択し、[削除]ボタンをクリックする

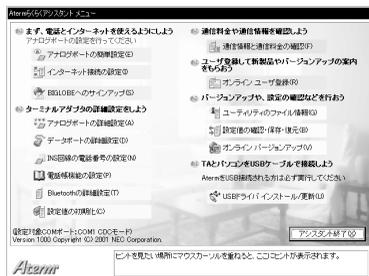
## USBドライバを削除する

らくらくアシスタントを使って、インストール済みのUSBドライバを削除することができます。

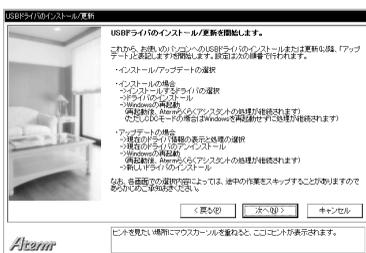
### 1 らくらくアシスタントを起動する

[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム][AtermITX92BTユーティリティ][Atermらくらくアシスタント]を選択してください。

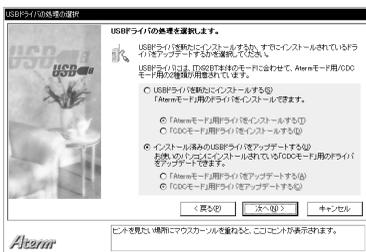
### 2 [USBドライバインストール/更新]ボタンをクリックする



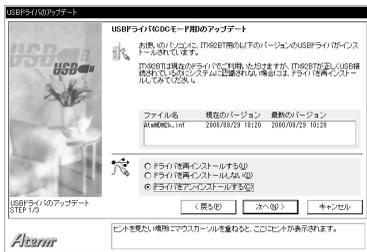
### 3 [次へ]ボタンをクリックする



### 4 「インストール済みのUSBドライバをアップデートする」を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



- 5 「ドライバをアンインストールする」を選択し、[次へ]をクリックする



(CDCモードの場合の画面)

- 6 パソコン接続しているUSBケーブルを抜いて [実行] をクリックする



- 7 [再起動] をクリックする  
パソコンが再起動します。

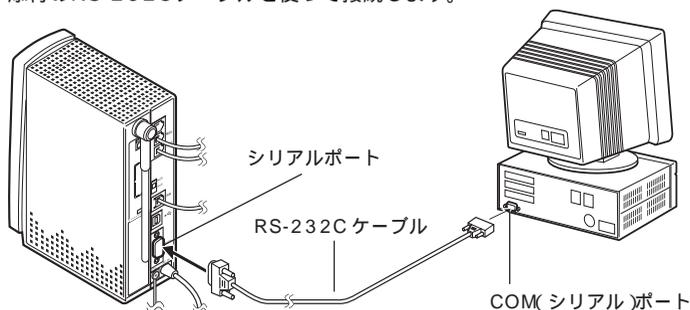


# step 3 パソコンをつなく (シリアルポート接続)

お使いのパソコンをITX92BTのシリアルポートに接続します。

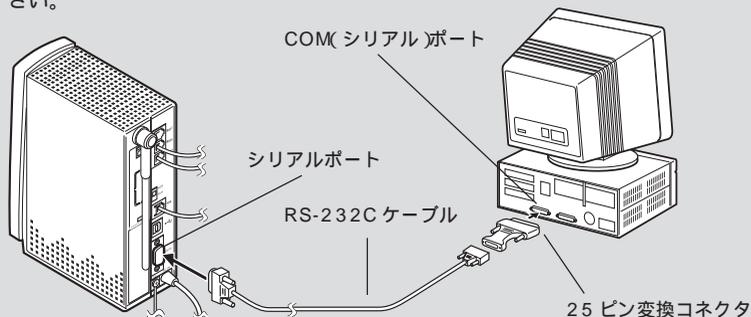
## 1 ITX92BTのシリアルポートとパソコンのCOM(シリアル)ポートを接続する

添付のRS-232Cケーブルを使って接続します。



## 👁️ お願い

添付のRS-232Cケーブルのコネクタが、パソコンのCOMポートの形状に合わない場合、お使いのパソコンに合った変換コネクタまたは対応ケーブルを別途ご用意ください。



ケーブル結線図

パソコン側 (25ピンオス)	2 ピン	3 ピン	4 ピン	5 ピン	6 ピン	7 ピン	8 ピン	20 ピン	22 ピン
RS-232C ケーブル側 (9ピンオス)	3 ピン	2 ピン	7 ピン	8 ピン	6 ピン	5 ピン	1 ピン	4 ピン	9 ピン

購入の際は、左記結線図を参照して正しくお求めください。

## 2 らくらくアシスタントを起動する

「スタート」ボタンをクリックし、[プログラム]-[AtermITX92BTユーティリティ]-[Atermらくらくアシスタント]を選択してください。

## 3 [次回以降はこの画面を表示しない]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックする



## 4 らくらくアシスタント画面が表示されます

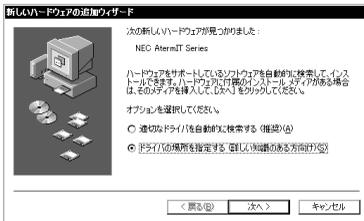
次は、「Step4 BIGLOBEへのオンラインサインアップ」(☞3-33ページ)へ。

## お知らせ

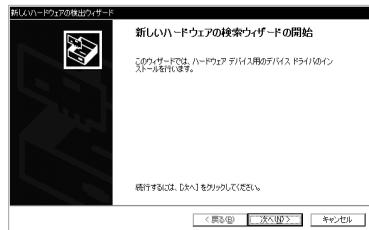
CDCモード(ディップスイッチ6をONにした状態)で、シリアルポートにITX92BTを接続してパソコンを起動すると、プラグアンドプレイ\*が有効となります。プラグアンドプレイでITX92BTが検出された場合は、「新しいモデムを検出しました」画面が表示され、自動的にモデム定義ファイルをインストールします。また、下記の画面が表示された場合は、添付CD-ROMを使用して、下記フォルダを指定し、モデム定義ファイルをインストールしてください(☞『データ通信ガイド』手動インストール)。

Windows Me/98の場合 : [INTNET]-[CDC]-[WINME]

Windows 2000の場合 : [INTNET]-[CDC]-[WIN2000]



(Windows Meの画面例)



(Windows 2000の画面例)

\* プラグアンドプレイとは、パソコンの起動時などに周辺機器を自動的に検出する機能です。ITX92BTでは、CDCモードにすることにより、シリアルポートのプラグアンドプレイがサポートされます。本機能を無効にするには、ディップスイッチをAtermモードに変更してください(☞3-26ページ「ディップスイッチの設定をする」)。

## step 4 BIGLOBEへのオンラインサインアップ

インターネットのセットアップに進むには、プロバイダに加入している必要があります。プロバイダにまだ加入していない場合は、パソコンを使ってBIGLOBEへ入会手続きを行うことができます(オンラインサインアップ)。

プロバイダにすでに加入している方は、Step5(☞3-37ページ)へお進みください。BIGLOBEについての詳細は、8-36ページをご覧ください。

### お願い

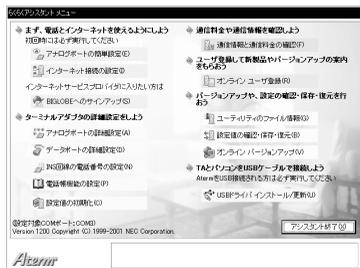
- ・オンラインサインアップを行うにはクレジットカードが必要です。BIGLOBEへの支払いをクレジットカード以外の方法でご希望の場合は、添付の<sup>9</sup>インターネットスタートブック『BIGLOBE入会申込書』を使い、郵送またはファクスでお申し込みください。
- ・Windows2000で以降の操作を行うためには、Administrator(権限のあるアカウント)でログオンする必要があります。

### 1 らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面を表示する

Bluetoothポート接続の場合は、ITX92BTとBluetooth™接続させた後にらくらくアシスタントを起動します(「ITX92BTとBluetooth™接続する」☞3-20ページ)。

らくらくアシスタントが起動していないときは、[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]-[ITX92BTユーティリティ]-[Atermらくらくアシスタント]を選択します。

### 2 メニュー画面の「BIGLOBEへのサインアップ」ボタンをクリックする



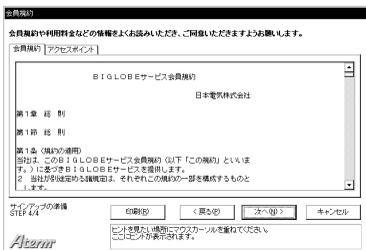
### 3 [次へ]ボタンをクリックする

### 4 表示された注意事項などを読み、[次へ]ボタンをクリックする

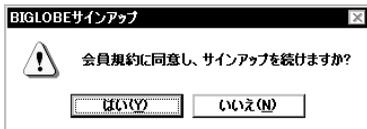
### 5 [実行]ボタンをクリックする



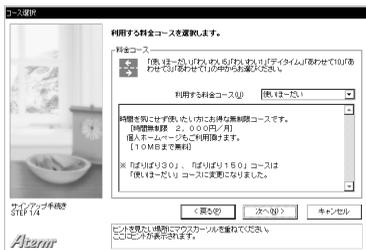
### 6 表示された会員規約、利用料金、サービス案内などをよく読み、[次へ]ボタンをクリックする



- 7 会員規約に同意し、入会手続きを続けてよいときは **はい** ボタンをクリックする



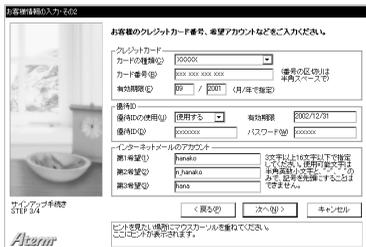
- 8 料金コースを選択し、**次へ** ボタンをクリックする



- 9 自分の名前や住所などを入力し、**次へ** ボタンをクリックする



- 10 クレジットカード情報と、希望するメールアドレスを入力し、**次へ** ボタンをクリックする



- 11 入力した情報をセンターに送信してよいときは **実行** ボタンをクリックする



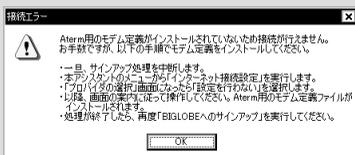
- 12 以降、画面の指示に従って操作する  
オンラインサインアップを終了すると、  
らくらくアシスタントのメニュー画面に  
戻ります。

- 13 らくらくアシスタントを終了するには、  
メニュー画面の **アシスタント終了** ボタンをクリックする

- 14 **はい** ボタンをクリックする

## ② こんなときは オンラインサインアップがうまくいかない!

- ・オンラインサインアップがうまくいかない場合は、添付の『インターネットスタートブック』(BIGLOBE入会申込書)を使い、郵送またはファクスでお申し込みください。
- ・手順5で次の画面が表示された場合は、モデム情報をインストールする必要があります。下記の手順で設定してください。下記の手順でインストールできないとき、または手でインストールしたいときは、モデム情報を手でインストールすることもできます(『データ通信ガイド』「手動インストール」)。

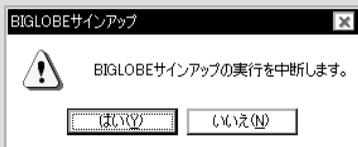


### モデム情報のインストール

- 1 [OK] ボタンをクリックする
- 2 [キャンセル] ボタンをクリックする

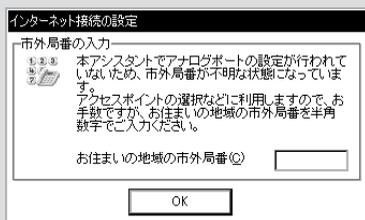


- 3 [はい] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

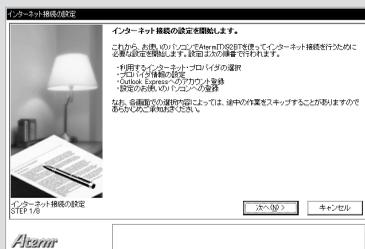


- 4 [インターネット接続の設定] ボタンをクリックする
- 5 [次へ] ボタンをクリックする

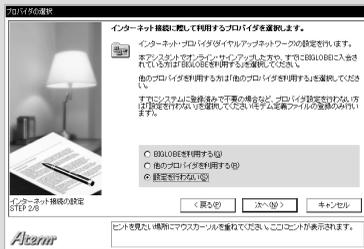
- 6 下記画面が表示されたら、市外局番を半角数字で入力し、[OK] ボタンをクリックする



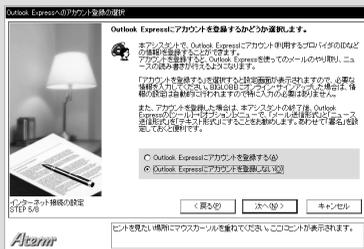
- 7 [次へ]ボタンをクリックする



## 8 「設定を行わない」を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



## 9 「Outlook Expressをアカウント登録しない」を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



## 10 [設定終了]ボタンをクリックする



3-33ページの手順2に戻ります。

# step 5 インターネットのセットアップ

らくらくアシスタントの「インターネット接続の設定」を使い、インターネットに接続するための各種設定を行います。インターネットのセットアップには、プロバイダ名称やユーザIDなどの情報が必要です(☞1-20ページ)。

## 👁️ お願い

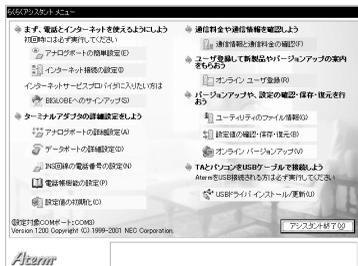
- Windows 2000 で以降の操作を行うためには、Administrator(権限のあるアカウント)でログオンする必要があります。
- INS ネット 64 を契約する以前からインターネットを使っていた方も、下記の設定操作は必要です。
- 画面で表示しているプロバイダ名称やユーザIDなどは例です。ご利用のプロバイダから通知された情報を入力してください。
- もうすでにAtermを他のデータポート(シリアルポート・USBポート・Bluetoothポート)でお使いの方で、もう一つのデータポートをお使いになる場合は、手動でモデム情報を組み込む必要があります(☞『データ通信ガイド』手動セットアップ)。

### 1 らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面を表示する

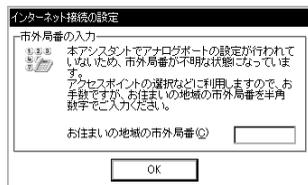
Bluetoothポート接続の場合は、ITX92BTとBluetooth™接続させた後にらくらくアシスタントを起動します(「ITX92BTとBluetooth™接続する」☞3-20ページ)。

らくらくアシスタントが起動していないときは、[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]-[AtermITX92BTユーティリティ]-[Atermらくらくアシスタント]を選択します。

### 2 メニュー画面の「インターネット接続の設定」ボタンをクリックする

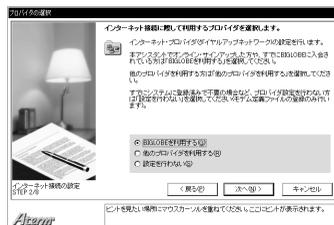


下記の画面が表示されたら、市外局番を半角数字で入力し、[OK]ボタンをクリックします。



### 3 [次へ]ボタンをクリックする

4 BIGLOBE を利用する場合は「BIGLOBEを利用する」を、その他のプロバイダを利用する場合は「他のプロバイダを利用する」を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



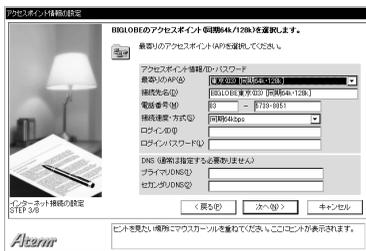
## 5 プロバイダ接続するための情報を入力し、次へ ボタンをクリックする

・BIGLOBEの場合

- 1) パソコンに設定してある所在地情報に基づいて最寄りのアクセスポイントが表示されます。プルダウンメニューから、ほかのアクセスポイントに変えることもできます。
- 2) 接続速度は通常、「同期64kbps」を選択します。
- 3) さらに、ログインID(ユーザID)とログインパスワードを半角英数字で入力します。

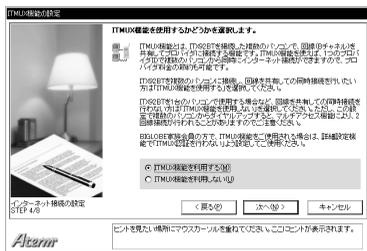
・他のプロバイダの場合

- 1) プロバイダの名称、アクセスポイントの電話番号を入力します。
- 2) 接続速度は通常、「同期64kbps」を選択します。
- 3) ログインID(ユーザID)、パスワード、プライマリDNS、セカンダリDNSを半角英数字で入力します(プロバイダによってはプライマリDNS・セカンダリDNSの入力は不要です)。



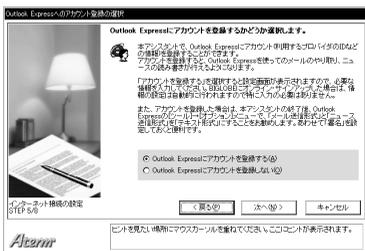
## 6 ITMUXの利用を選択する

ITMUXの詳細については『データ通信ガイド』『データ通信-ITMUX』を参照してください。



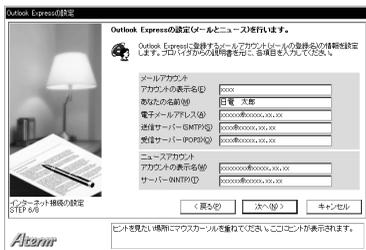
## 7 Outlook Expressを使用する場合はメールアドレス情報が登録できます。その場合は、Outlook Expressにアカウントを登録する [ 次へ ] ボタンをクリックする

Outlook Expressを使わない場合、あとから登録する場合などは、[ Outlook Expressにアカウントを登録しない ] を選択し、手順9に進んでください。



## 8 メールアカウントやニュースアカウント関連の情報を入力し、[ 次へ ] ボタンをクリックする

プロバイダによっては、各設定項目の名称が異なっていることがあります。入力内容について不明な点がある場合は、ご契約の各プロバイダへお問い合わせください。



- 9 設定する内容を画面上で確認し、[実行] ボタンをクリックする

Atermで通信するためのモデム情報の組み込み、ダイヤルアップ接続情報の作成などが自動で行われます。



## 👁️ お願い

らくらくアシスタントのメニュー画面で何かボタンを押したときに、次の画面が表示された場合は、下記の点を確認した後、[OK] ボタンをクリックしてください。

- RS-232CケーブルまたはUSBケーブルは、ITX92BTとパソコンに正しく接続されていますか？
- ITX92BTの電源が入っていますか？
- Bluetoothポート接続の場合、Bluetooth™接続されていますか？
- らくらくバージョンアップやUIメールEXなど、Atermのソフトウェアを起動している場合やUSBネットワークを使用している場合は終了させてください。タスクトレイに常駐している場合もはずして終了させてください。

## 📎 お知らせ

らくらくアシスタントを使わずにインターネット接続を行う場合は、モデム情報・ダイヤルアップ接続情報のインストールや設定を手動で行うことができます。具体的な手順は添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』『手動セットアップ』を参照してください。

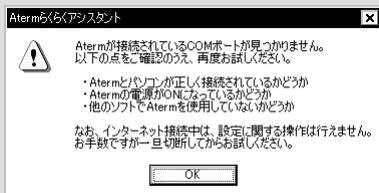
- 10 次の画面が表示されたら[設定終了] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。



Windowsのダイヤルアップ接続用のフォルダには、ここで設定した接続先のダイヤルアップネットワークアイコンが作成されます(図3-40ページ)。

- 11 らくらくアシスタントを終了するには、メニュー画面の[アシスタント終了] ボタンをクリックする



## step 6 インターネットへ接続する

インターネットのセットアップが正しくできたか、実際にインターネットへ接続して、確認してみましょう。

### 1 ダイアルアップ接続用のフォルダをダブルクリックして開く

Bluetoothポートを使用する場合は、ITX92BTとBluetooth™接続します(「ITX92BTとBluetooth™接続する」(P.3-20ページ))。

・Windows Meの場合

[マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[ダイアルアップネットワーク]フォルダ

・Windows 98の場合

[マイコンピュータ]-[ダイアルアップネットワーク]フォルダ

・Windows 2000の場合

[マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[ネットワークとダイアルアップ接続]アイコン

### 2 Step5で作成した接続先のダイアルアップネットワークアイコンをダブルクリックする

接続先名がアイコン名になります。



(Windows Me/98の場合)



(Windows 2000の場合)

### 3 ユーザー名とパスワードを入力し、Windows Me/98の場合は「接続」ボタンを、Windows 2000の場合は「ダイヤル」ボタンをクリックする。

フレッツ・ISDNを契約している場合、ユーザー名は各プロバイダからフレッツ・ISDN用に指定されたものを入力してください。また、電話番号はNTT東日本・西日本から指定された番号が表示されているか確認してください。この画面で変更することもできます。Windows 2000では「プロパティ」ボタンをクリックすると表示されます。

[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワード入力の手間が省けます。



#### 4 サーバーに接続される

回線がつながると、ユーザー名とパスワードが確認されます。サーバーへの接続が受け付けられると、画面右下のタスクトレイにダイヤルアップネットワークモニタインジケータが表示されます。



ITX92BTの液晶ディスプレイにもピクトグラム( B1 B2 )が表示されます。

ピクトグラム表示は通信状態によって、それぞれ異なります。

(シリアルポート接続でB1チャンネルに64Kで接続している場合)

#### 5 電子メールソフトやWWWブラウザなどのアプリケーションを起動する

この状態でさまざまなインターネットアプリケーション\*を使用できます。

\* Atermにはインターネットアプリケーションは付属していません。Windowsに付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

### お願い

アクセスポイントまで接続したあと、認証の失敗などでインターネットに接続できないことがあります。その場合は、接続できなくても通信料金がかかります。

### お知らせ

- ・自動発信の場合、話中時の再発信の回数は、「最初の発信から3分間に2回以内」と制限されています。したがって、3回目からの再発信は受け付けられません。時間を置いてから再発信してください。
- ・ITX92BTと同時にBluetooth™接続できるのは1台のみです。ITX92BTでは、Bluetooth™接続で、複数のBT01UやBluetooth™機能内蔵パソコンを同時にインターネット接続させることはできません。
- ・Bluetooth™接続によるインターネット接続は64kbpsになります。

## インターネットへの接続を切断する ●●●●●●●●●●●●●●●●

### 1 タスクトレイのダイヤルアップネットワークインジケータをダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックする

回線が正常に切断されると、ITX92BTの液晶ディスプレイのピクトグラム(  B1 B2 )の表示が消えます。



### 👁️ お願い

- ・インターネット接続しているときにBluetooth™接続を切断する場合は、まず上記手順1で回線を切断してから、Bluetooth™接続を切断してください。
- ・ダイヤルアップネットワークモニタインジケータが表示されている間は、ずっと電話がつながったままで、通信料金がかかります( WWWブラウザを終了しても切断されません)。インターネットを使用していないときは、[切断]ボタンをクリックするのを忘れないでください。
- ・パソコンのストールなどにより、パソコンから回線を切断できない場合があります。インターネットの利用を終了して回線を切断したあとは、必ずITX92BTの液晶ディスプレイ上からピクトグラムの表示が消えていることを確認し、確実に回線が切断されたことを確かめてください。
- ・ITX92BTの液晶ディスプレイのピクトグラムが表示されているときは、回線がつながったままです。そのまま放置すると通信費用がかかります。このようなときは、他の機器が通信中( 通話中 )でないことを確認してから、下記のいずれかの方法で回線を強制的に切断してください。
  - ITX92BTとINSネット64を接続している回線ケーブルを抜く
  - ITX92BT本体の電源を切る  
電源を切った場合は、累積料金や着信履歴のデータは消去されます。また、このときは10秒以上おいてから、再度電源を入れてください。
  -  ボタンを7秒以上押す  
通話中に ボタンを押しても電話は切断されません。
- ・ターミナルソフトを使用した非同期通信を行うと、転送速度が遅くなったり、データ抜けが発生する場合があります。
- ・ITX92BTのUSBポートにパソコンを接続して通信アプリケーションを実行中に、ITX92BTのUSBケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションとUSBドライバとの結合をシステムで解放します。引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合は、通信アプリケーションをいったん終了して、再度実行してください。これは、Atermを初期化するコマンド( atz98、 atz99 など )を通信アプリケーションで実行したときも同様です。通信アプリケーションをいったん終了して、再度実行してください。

# ホームページを見よう

セットアップが終わったら、さっそくネットサーフィンしてみましょう。ホームページを閲覧するためのWWWブラウザ(Internet Explorerなど)はインストールされていますか? まずは、AtermStationを訪ねてみます。

- 1 ダイアルアップ接続をする  
Bluetooth™接続の場合は、ITX92BTとBluetooth™接続させた後にらくらくアシスタントを起動します(「ITX92BTとBluetooth™接続する」(P.3-20ページ))。
- 2 WWWブラウザを起動する
- 3 Internet Explorerを使う場合は、デスクトップの[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックする  
ほかのWWWブラウザを使う場合は、それらのソフトウェアの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。



Internet Explorer

デスクトップ上に上記アイコンが見つからない場合は、次ページをご覧ください。

- 4 見たいホームページのURLをアドレス欄に入力し、Enterキーを押す  
ホームページが表示されます。画面は、AtermStation(URL <http://aterm.cplaza.ne.jp/>)の例です。AtermStationでは、Atermに関するさまざまな情報を提供しています。



(平成13年4月現在)

## 👁️ お願い

ホームページを見たあとにWWWブラウザ(Internet Explorerなど)を終了させるだけでは、プロバイダへの回線接続は切断されません。「インターネットへの接続を切断する」(P.3-42ページ)を参照して、必ず回線を切断してください。

## ② こんなときは デスクトップにInternet Explorerのアイコンが見あたらないときは

Windows98でInternet Explorerを初めて使うときは、[インターネットに接続]アイコンをダブルクリックしてください。



インターネット接続ウィザードが起動したら、[既にインターネット接続の設定が・・・表示しない]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



### データ通信中のランプ表示

データ通信中、ITX92BT前面のDATAランプは次のように点灯します。  
Bluetoothポート接続、USBポート接続の場合は緑色点灯。  
シリアルポート接続の場合は赤色点灯。

# インターネットへうまく接続できないときは

接続手順や設定内容などを確認してください。

接続できない原因は、下記のような理由であることがしばしばあります。もう一度確認してみてください。

- ・ ケーブルがはずれている、またはゆるんでいる
- ・ 各項目の入力ミス
- ・ ITX92BTの電源が入っていない

時間をおいて接続し直してみてください。

プロバイダのサーバーのトラブルなどによって接続できないこともあります。原因が見つからないときは、時間をおいてやり直してみてください。

また、いつもとは違うアクセスポイントに接続してみたり、複数のプロバイダに加入している場合は、別のプロバイダに接続できるかを確認してください。

電子マニュアルの「お困りのときには」を参考にしてください。

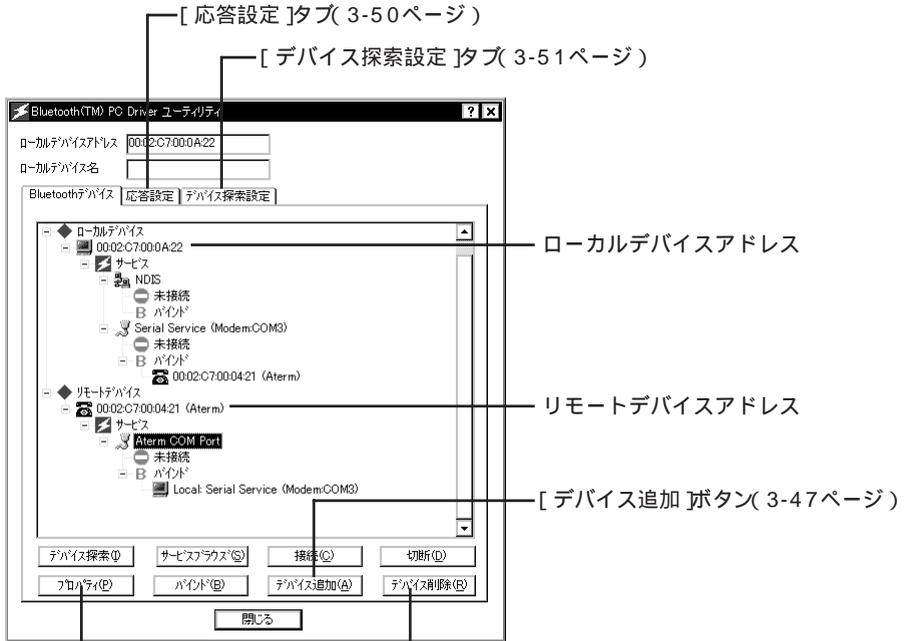
「お困りのときには」には、さまざまなトラブルに合わせた対処方法がのっています。

自分で解決できないときは、Aterm(エーターム)インフォメーションセンターにお問い合わせください(☎8-46ページ)。

# Bluetooth(TM)PC Driver ユーティリティの詳細設定

## [Bluetoothデバイス]タブ

ローカルデバイスやリモートデバイスの情報を詳細に表示します。



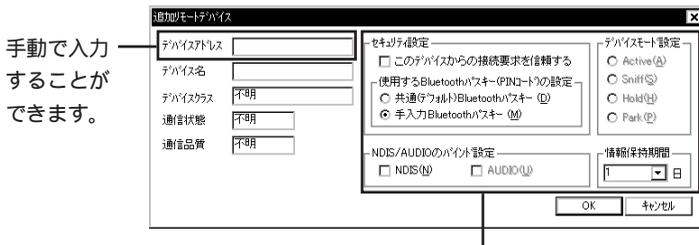
[ プロパティ ]ボタン( 3-47ページ )

[ デバイス削除 ]ボタン  
リモートデバイスを削除します。

(この画面では、ボタンをすべて表示しています)

## [ デバイス追加 ] ボタン

[ 追加リモートデバイス ] 画面が表示されます。リモートデバイスが表示されないときに手で追加することができます。



手動で入力  
することが  
できます。

この画面の説明は3-49ページをご覧ください。

## [ プロパティ ] ボタン

選択したローカルデバイスアドレスまたはリモートデバイスアドレスの情報を表示・設定することができます。

[ Bluetoothデバイス ] タブ内の画面でデバイスアドレス(ローカルデバイスアドレスまたはリモートデバイスアドレス)をクリックし、[ プロパティ ] ボタンをクリックしてください。

### ローカルデバイスプロパティ

ローカルデバイスの情報を表示・設定することができます。また設定を終了したら、必ず [ OK ] ボタンをクリックしてください。設定内容が登録されます。



デバイスアドレスが表示されます。

デバイス名を表示・設定することができます(初期値:なし)。

設定されると、[Bluetoothデバイス]タブ内画面のデバイスアドレスの後ろに(デバイス名)が表示されます。

デバイスクラスが表示されます。

初期値のままご使用ください。

セキュリティの設定をすることができます。

[応答設定]タブ内の画面「他のデバイスからの接続要求に対する応答設定」で指定したデバイスからの接続要求があったときのパスキーの設定をすることができます。各デバイスごとに設定する場合は、「リモートデバイスプロパティ」で設定してください。

- ・ 全デバイスからの接続要求を信頼する(初期値:チェックなし)  
このチェックボックスをチェックすると、リモートデバイスからの接続要求に対して、パスキーが必要なくなり、Bluetooth認証を行うことなく接続できるようになります。接続が簡単にできる反面、どのデバイスからも接続できるようになるためノーセキュリティとなります。セキュリティ保護の観点から、通常はチェックなしでご使用ください。
- ・ 共通(デフォルト)のBluetoothパスキー(PINコード)(初期値:なし)  
ここで設定するパスキーは、リモートデバイスのプロパティで「使用するBluetoothパスキー(PINコード)の設定」を「共通(デフォルト)Bluetoothパスキー」にしているときに使用されます。この設定になっていると、Bluetooth認証時にパスキーが必要な場合、パスキーを自動でリモートデバイスに送信します。入力は、半角英数字16文字以内です。第三者に知られないようにしてください。

デバイスが接続しているパソコンの接続ポートを表示・設定することができます(☞3-21ページ手順7の画面「リモートデバイスにバインドするローカルサービス」)。

## リモートデバイスプロパティ

リモートデバイスの情報を表示・設定することができます。また設定を終了したら、必ず「OK」ボタンをクリックしてください。設定内容が登録されます。



デバイスアドレスが表示されます。

デバイス名が表示されます。

[Bluetoothデバイス]タブ内画面のリモートデバイスアドレスの後ろに(デバイス名)にも表示されます。

デバイスクラス / 通信状態 / 通信品質が表示されます。

このデバイスから接続要求されたときのセキュリティの設定をすることができます。

- ・ このデバイスからの接続要求を信頼する(初期値:チェックなし)  
ここにチェックすると、このデバイスからの接続要求に対してBluetooth認証やパスキーなしで接続を受け入れます。
- ・ 使用するBluetoothパスキー(PINコード)の設定(初期値:手入力Bluetoothパスキー)  
「共通」を選択すると、このデバイスの接続要求でパスキーが必要な場合に「ローカルデバイスのプロパティ」の「共通のBluetoothパスキー」で設定したパスキーを使用します。  
「手入力でBluetoothパスキー」を選択すると、このデバイスの接続要求でパスキーが必要な場合に、毎回手入力でパスキーを入力します。

NDISにチェックすると、このリモートデバイスとファイル共有することができます(初期値:なし)。ファイル共有は別売りオプションのBT01Uを増設した時に使用することができます。

必ず「Active」(初期値)を選択してください。

このデバイスに関する情報(パスキーなど)を保持する日数を設定します。

デバイス側が接続するときにパスキーを入力設定した日数だけ0日~999日・無制限から設定することができます(初期値:1日<24時間>)。0日と設定すると、タスクトレイからBluetooth(TM) PC Driverユーティリティを終了した時点で、このデバイスに関する情報が削除されます。

## [応答設定]タブ

ローカルデバイス(ここではBT01U)がリモートデバイスに応答するときの設定をすることができます。設定を終了したら、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。設定内容が登録されます。



相手のデバイス(Bluetooth™接続できる機器)からデバイス探索された時に、このデバイスは探索されるかどうかを選択します(初期値:「全てのデバイスに対して応答」)。

相手のデバイス(Bluetooth™接続できる機器)から接続の要求があった時に、受け入れるデバイスの設定をします(初期値:「全てのデバイスからの要求を受け入れる」)。

「指定されたデバイスからの要求を受け入れる」にチェックをした場合、デバイスアドレス・デバイスクラスを指定することができます。

# [デバイス探索設定]タブ

デバイス探索する時の詳細を設定することができます。設定を終了したら、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。設定内容が登録されます。



デバイス探索する時間を設定します。

5～30秒内で設定することができます(初期値：10秒)。

探索するデバイスの数を設定します。

1～30個まで設定することができます(初期値：5個)。

探索する相手のデバイスを指定することができます(初期値：「全てのデバイスを探索する」)。

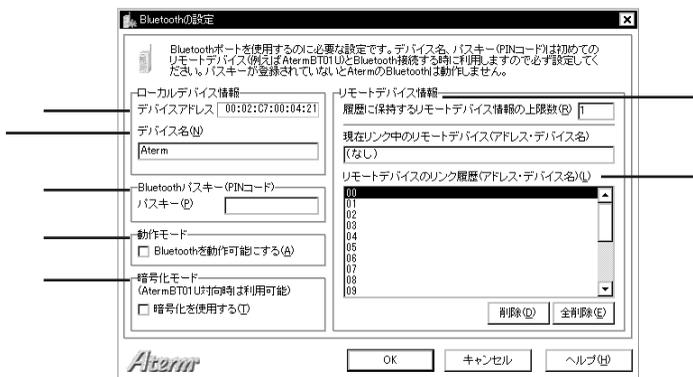
「指定されたデバイスを探索する」を選択した場合は、探索するデバイスクラスを選択し「追加」ボタンをクリックします。

例えば、I T X 9 2 B T のデバイスクラスは、「電話」となります。B T 0 1 U のようにパソコンにつないでいる機器のデバイスクラスは「コンピュータ」となります。

# らくらくアシスタントでBluetoothの詳細設定

らくらくアシスタントでBluetoothの詳細設定を行うことができます。

らくらくアシスタントの「Bluetoothの詳細設定」で、ITX92BTのデバイス情報を設定することができます。ITX92BTと接続をしてから、らくらくアシスタントを起動させてください。また設定を終了したら、必ず「OK」ボタンをクリックしてください。設定内容が登録されます。



デバイスアドレスが表示されます

デバイス名を表示・設定することができます(初期値:Aterm)

デバイス(ここではBT01U)からデバイス探索をしたときに、デバイスアドレスの後ろにデバイス名を表示させることができます。

パスキーの設定をすることができます(初期値:なし)

1～10桁の0～9の数字で設定します。第三者に知られないようにご注意ください。

ITX92BTを初期化すると設定値が消えてしまいます。再設定してください。

ITX92BTがBluetooth™接続するかどうかの設定をします(初期値:動作しない/パスキーを設定していない場合)

動作しないに設定するとBluetooth™接続することができなくなります。ITX92BTの前面の操作ボタンでパスキーを入力した場合、自動的に「動作可能」になります。

ITX92BTとBT01Uの無線間でのデータのやりとりを暗号化して、秘匿性を高めます(初期値:使用しない)

但し、BT01U以外のデバイスとの接続を行う場合は、「暗号化を使用しない」に設定してください。

ITX92BTに接続を許可するデバイスの上限数を設定します(初期値:1台)上限数は、1～20台まで数を設定することができます。ここで設定した上限数を超えてITX92BTに接続することはできなくなります。万が一に第三者にパスキーを知られてしまってもこの上限数を超えて接続することができません。上限数は、ITX92BTに接続する可能性のあるデバイスの数までとします。

注)ITX92BTに同時にデバイスを接続できるのは1台だけです。例えば、上限数2と設定しても、ITX92BTが既にBluetooth™接続を行っている、もう1台のデバイスは同時にITX92BTに接続できません。

ITX92BTと接続したデバイスアドレスやデバイス名の履歴が表示されます。履歴は、設定した上限数までの件数が表示されます。パスキーを変更した場合でもリンク履歴は残っています。

注)もし、見知らぬデバイスアドレス履歴を見つけたときは、不正なアクセスが行われている可能性があります。その時は、デバイスアドレスを削除し、パスキーを変更してください。

## お知らせ

～ までの項目は、ITX92BTの液晶ディスプレイを使って参照や設定することができます。

1)  ボタンをクリックする

2)  ボタンや  ボタンを押して[Bluetooth]を反転させ、 ボタンをクリックする

BD\_ADDR (参照のみで、設定することはできません)

BD\_NAME (参照のみで、設定することはできません)

動作モード

パスキー

暗号化モード

3) 参照や設定をしたら、 ボタンをクリックする



## 4 章 電話機やファクスを使うための設定をしよう(基本編)

ここでは、らくらくアシスタントの「アナログポートの簡単設定」を使って基本的な設定をします。電話機を使って設定する方は、この章のStep1にある利用例を参考にして、5章に進んでください。

Step1 使いかたに近いものを利用例から選ぶ .....	4-2
Step2 らくらくアシスタントで設定する .....	4-11
Step3 電話機・ファクスは使えますか? .....	4-17

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。  
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。  
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

## step 1 使いかたに近いものを利用例から選ぶ

らくらくアシスタントの「アナログポートの簡単設定」を使い、アナログポートに接続する機器の種類、i・ナンバーやダイヤルインサービスの利用の有無、電話番号など、電話機やファクスを利用するための基本の設定を行います。

まず1-18ページと次ページ以降の利用例を参考にして、設定内容を決めてください。実際の設定は4-11ページから説明しています。また、電話機から設定する方は、このStep1を参考にして5章に進んでください。

### 👁️ お願い

設定内容は、今後の予定ではなく、現在の状況に合わせてください。実際の契約内容（工事完了済みのもの）や接続機器と設定内容が一致していないと、電話やファクスを正しくご利用いただけません。サービスを追加したり機器を購入するなど、状況が変わったときは、設定し直してください。

## ITX92BTの利用例一覧

ここでは、電話機やファクスの代表的な利用例を8つ示します。ご自分の利用パターンに最も近い例を探してください。ぴったりの利用例がない場合は、i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの有無が一致するものの中から一番近いものを参考にしてください。それぞれの利用例に対応する設定方法を4-11ページ以降で説明しています。

利用例1：電話機1台、電話番号1つ（☎️ 4-4ページ）

電話Aポート	電話Bポート	電話Cポート	INSネット64の契約
電話機	-	-	基本サービスのみ

利用例2：電話機2台、電話番号1つ（☎️ 4-4ページ）

電話Aポート	電話Bポート	電話Cポート	INSネット64の契約
電話機	電話機	-	INSナンバー・ディスプレイ

利用例3:電話機1台、ファクス1台、電話番号2つ(☎ 4-5ページ)

電話Aポート	電話Bポート	電話Cポート	INSネット64の契約
電話機	ファクス	-	i・ナンバー

利用例4:電話機2台、ファクス1台、電話番号3つ(☎ 4-6ページ)

電話Aポート	電話Bポート	電話Cポート	INSネット64の契約
電話機	電話機	ファクス	i・ナンバー

利用例5:ファクス付き電話機1台、電話番号2つ(☎ 4-7ページ)

電話Aポート	電話Bポート	電話Cポート	INSネット64の契約
ファクス付き電話機	-	-	i・ナンバー

利用例6:電話機1台、ファクス付き電話機1台、電話番号3つ(☎ 4-8ページ)

電話Aポート	電話Bポート	電話Cポート	INSネット64の契約
電話機	ファクス付き電話機	-	i・ナンバー INSナンバー・ディスプレイ

利用例7:電話機1台、BSデジタルTVチューナ1台、電話番号1つ(☎ 4-9ページ)

電話Aポート	電話Bポート	電話Cポート	INSネット64の契約
電話機	BSデジタルTV チューナ	-	基本サービスのみ

利用例8:ファクス付き電話機2台、電話番号4つ(☎ 4-10ページ)

電話Aポート	電話Bポート	電話Cポート	INSネット64の契約
ファクス付き電話機	ファクス付き電話機	-	ダイヤルインサービス グローバル着信 INSナンバー・ディスプレイ

## 利用例1(電話機1台・電話番号1つ) ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

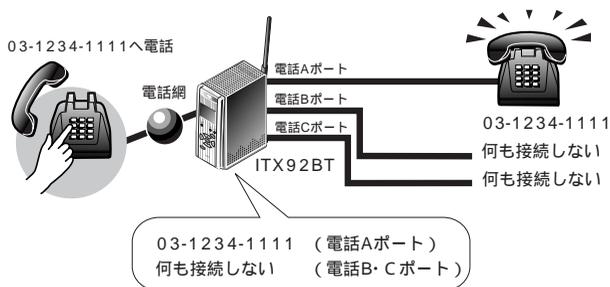
1台の電話機(またはファクス付き電話機)のみを使用し、電話番号を追加契約しない例です。

INSネット64の契約内容...基本サービスのみ

接続形態...電話Aポート: 電話機(またはファクス付き電話機)

例 03-1234-1111

電話B・Cポート: 何も接続しない



## 利用例2(電話機2台・電話番号1つ) ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

電話Aポートと電話Bポートに電話機を接続し、1つの電話番号を1階と2階で使うようなケースです。電話がかかってくると両方の電話が鳴り、どちらでも受けることができます。

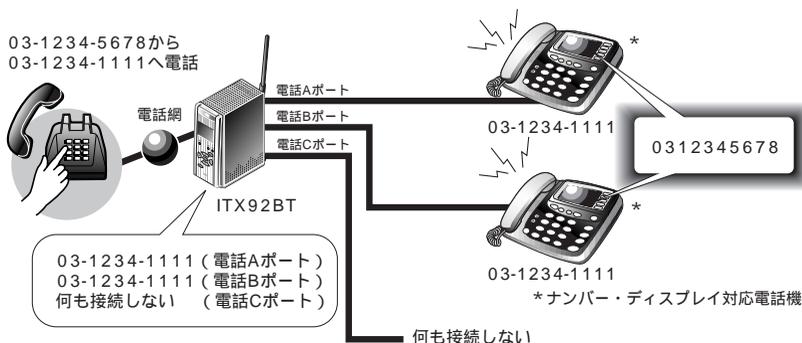
電話がかかってきたときに相手の番号がわかるように、INSナンバー・ディスプレイを契約している例です。

INSネット64の契約内容...INSナンバー・ディスプレイ: 利用する

接続形態...電話Aポート: 電話機 例 03-1234-1111

電話Bポート: 電話機 例 03-1234-1111

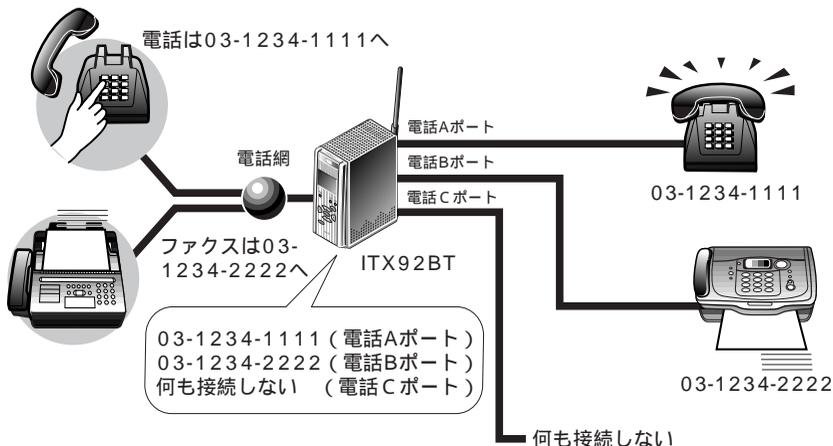
電話Cポート: 何も接続しない



### 利用例3( 電話機1台・ファクス1台・電話番号2つ) ●●●●●●●●●●

電話Aポートに電話機を、電話Bポートにファクスを接続し、それぞれに別の電話番号を割り当てるケースです。ファクスを自動受信にしておく、と、ファクス受信のために電話に出る必要がありません。ファクス受信件数が多い場合に適しています。電話番号を2つももらうために、i・ナンバーを契約している例です。

INSネット64の契約内容...i・ナンバー：利用する・追加番号( 03-1234-2222 )  
接続形態...電話Aポート：電話機 例 03-1234-1111( i・ナンバー情報1 )  
電話Bポート：ファクス 例 03-1234-2222( i・ナンバー情報2 )  
電話Cポート：何も接続しない



電話機やファクスを使うための設定をしよう(基本編)



STEP

使いかたに近いものを利用例から選ぶ

### 👁️ お願い

電話番号を1つしか契約していないときに、電話機とファクス付き電話機を使用すると、電話がかかってきても先にファクスが電話を受けてしまうことがあります。この場合、電話機では電話を受けることができません。また、ファクス付き電話機の自動切り替えの間、相手に通話料がかかるという問題点もあります。電話機とファクスを使用する場合は、i・ナンバー(またはダイヤルインサービス)のご契約をおすすめします。

## 利用例4( 電話機2台・ファクス1台・電話番号3つ) ●●●●●●●●●●

電話Aポートおよび電話Bポートに電話機を、電話Cポートにファクスを接続し、それぞれに別々の番号を割り当てるケースです。電話機はそれぞれ別の番号で呼び出されるので、電話を切り替えたり、転送したりする必要がなくなります。また、ファクスを自動受信にしておくと、ファクス受信のために電話に出る必要もありません。i・ナンバーを契約して、電話番号を3つ使用する場合の例です。

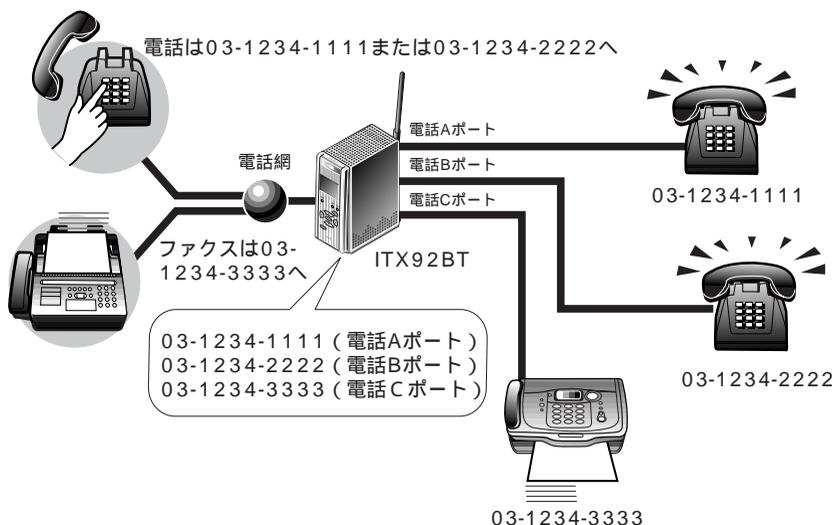
INSネット64の契約内容...i・ナンバー：利用する

追加番号2つ( 03-1234-2222、03-1234-3333 )

接続形態...電話Aポート：電話機 例 03-1234-1111( i・ナンバー情報1 )

電話Bポート：電話機 例 03-1234-2222( i・ナンバー情報2 )

電話Cポート：ファクス 例 03-1234-3333( i・ナンバー情報3 )



## 利用例5(ファクス付き電話機1台・電話番号2つ) ●●●●●●●●●●

ファクス付き電話機(ダイヤルイン機能付き)1台を電話Aポートに接続し、i・ナンバーを契約して電話用の電話番号とファクス用の電話番号を別にする例です。このようにすると、電話がかかってきたときには着信音が鳴るようにし、ファクスは自動受信にすることができます。

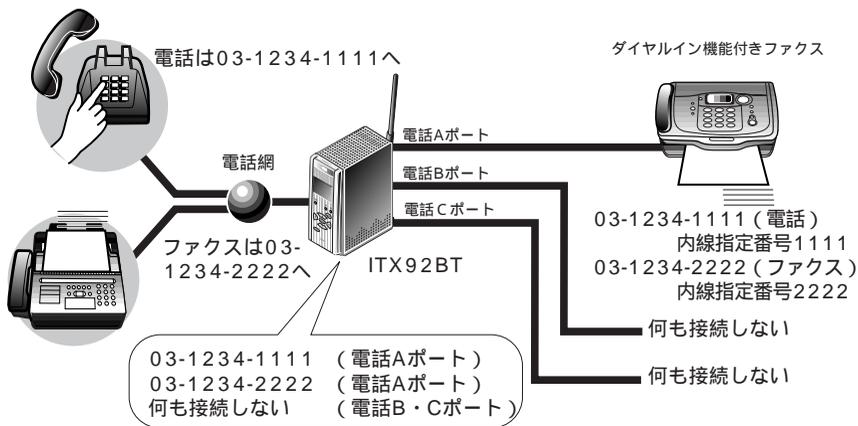
INSネット64の契約内容...i・ナンバー：利用する・追加番号(03-1234-2222)

接続形態...電話Aポート：ファクス付き電話機

例 03-1234-1111(電話/i・ナンバー情報1) 内線指定番号1111

03-1234-2222(ファクス/i・ナンバー情報2) 内線指定番号2222

電話B・Cポート：何も接続しない



電話機やファクスを使うための設定をしよ(基本編)

4

Step 1

使いかたに近いものを利用例から選ぶ

## ポイント

電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるには、ファクスのダイヤルイン機能を使用します。ファクスのダイヤルイン機能を動作させるには、ITX92BTからファクスに対し、電話機とファクスの着信を区別するための信号を送出する設定が必要になります。この設定が、アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインです。

アナログ・ダイヤルインとモデム・ダイヤルインの違いは、ファクスに送出する信号の形式の違いです。お使いのファクス付き電話機がナンバー・ディスプレイに対応している場合は、通常、モデム・ダイヤルインとなりますが、詳しくはファクス付き電話機の取扱説明書でお調べください。

また、アナログ・ダイヤルインを使用する場合は、内線指定番号というダイヤルインの内線番号を指定する必要があります(☞P5-35ページ)。

さらに、ITX92BTの設定だけでなくファクス側にもダイヤルインの番号や内線指定番号の設定が必要です。

## 利用例6(電話機1台・ファクス付き電話機1台・電話番号3つ) ●●●●●

電話Aポートに電話機を、電話Bポートにファクス付き電話機を接続し、i・ナンバーを契約して、電話Aポートの電話機に1つ、電話Bポートのファクス付き電話機に2つ、合計3つの電話番号を割り当てた例です。

INSネット64の契約内容... i・ナンバー：利用する

追加番号2つ(03-1234-2222、03-1234-3333)

INSナンバー・ディスプレイ：利用する

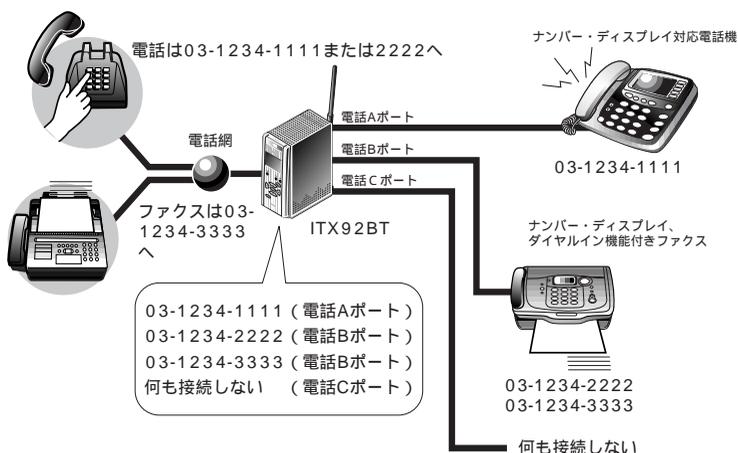
接続形態...電話Aポート：電話機 03-1234-1111(i・ナンバー情報1)

電話Bポート：ファクス付き電話機

例 03-1234-2222(電話) i・ナンバー情報2)

03-1234-3333(ファクス) i・ナンバー情報3)

電話Cポート：何も接続しない



## ポイント

この例では、ITX92BTにモデム・ダイヤルイン(☎5-31ページ)の設定が必要です。利用例5とは異なり、ここではナンバー・ディスプレイを使用するため、アナログ・ダイヤルインは使用できません。

電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるには、ファクスのダイヤルイン機能を使用します。ファクスのダイヤルイン機能を動作させるには、ITX92BTからファクスに対し、電話機とファクスの着信を区別するための信号を送出する設定が必要になります。この設定が、アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインです。

アナログ・ダイヤルインとモデム・ダイヤルインの違いは、ファクスに送出する信号の形式の違いです。お使いのファクス付き電話機がナンバー・ディスプレイに対応している場合は、通常、モデム・ダイヤルインとなりますが、詳しくはファクス付き電話機の取扱説明書でお調べください。

さらに、ITX92BTの設定だけでなくファクス側にもダイヤルインの番号の設定が必要です。

## 利用例7( 電話機1台・BSデジタルTVチューナ1台・電話番号1つ ) ●●●●

電話Aポートに電話機を、電話BポートにBSデジタルTVチューナを接続し、電話Cポートには何も接続しない例です。

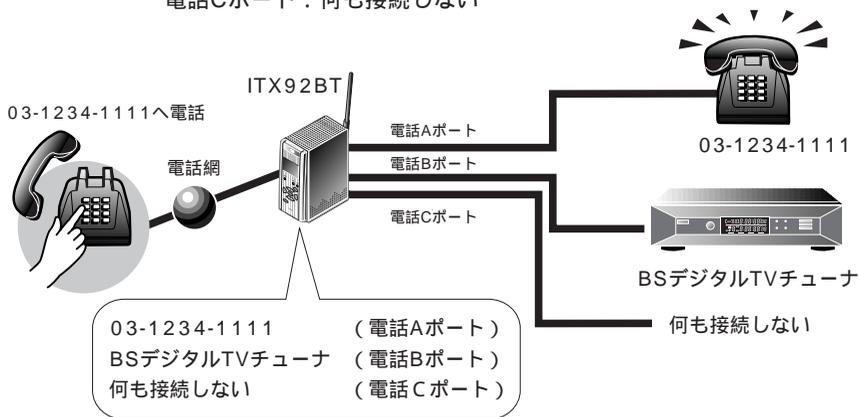
INSネット64の契約内容...基本サービスのみ 例 03-1234-1111

接続形態...電話Aポート：電話機

例 03-1234-1111

電話Bポート：着信機能のないBSデジタルTVチューナ

電話Cポート：何も接続しない



電話機やファクスを使うための設定をしよう(基本編)

## ポイント

この利用例では、BSデジタルTVチューナを接続しています。着信機能のないBSデジタルTVチューナの場合、着信するポートのチェックを外す設定が必要です。

あとから5章「電話機やファクスを使うための設定をしよう(応用編)」で設定します。

i・ナンバーを利用する場合 ☞ 5-24ページ

i・ナンバーを利用しない場合 ☞ 5-27ページ

4

のてら 使いかたに近いものを利用例から選ぶ

## 利用例8(ファクス付き電話機2台・電話番号4つ) ●●●●●●●●●●

ファクス付き電話機を電話Aポートと電話Bポートに接続し、電話とファクスをそれぞれ別の電話番号で受ける例です。電話番号が4つ必要になるため、ダイヤルインサービスを契約します。

INSネット64の契約内容...ダイヤルインサービス：利用する

追加番号3つ(03-1234-2222、03-1234-3333、03-1234-4444)

グローバル着信：利用する

INSナンバー・ディスプレイ：利用する

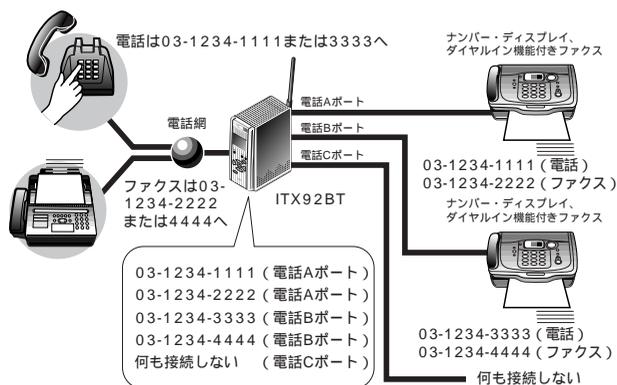
接続形態...電話Aポート：ファクス付き電話機

例 03-1234-1111(電話/契約者回線番号) 03-1234-2222(ファクス/ダイヤルイン1番)

電話Bポート：ファクス付き電話機

例 03-1234-3333(電話/ダイヤルイン2番) 03-1234-4444(ファクス/ダイヤルイン3番)

電話Cポート：何も接続しない



## ポイント

電話番号を4つ以上使うためにはダイヤルインサービスとグローバル着信(☎5-27ページ)の契約が必要です。また、利用例6と同様に、ITX92BTにモデム・ダイヤルインの設定が必要です。さらに、ファクス側にもダイヤルインの番号の設定が必要です。

電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるには、ファクスのダイヤルイン機能を使用します。ファクスのダイヤルイン機能を動作させるためには、ITX92BTからファクスに対し、電話機とファクスの着信を区別するための信号を送出する設定が必要になります。この設定が、アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインです。

アナログ・ダイヤルインとモデム・ダイヤルインの違いは、ファクスに送出する信号の形式の違いです。お使いのファクス付き電話機がナンバー・ディスプレイに対応している場合は、通常、モデム・ダイヤルインとなりますが、詳しくはファクス付き電話機の取扱説明書でお調べください。

ただし、ナンバー・ディスプレイを使用する場合は、アナログ・ダイヤルインは使用できません。

## step 2 らくらくアシスタントで設定する

Step1で選択した利用例ごとに、らくらくアシスタントの「アナログポートの簡単設定」の使いかたを説明します。

### ポイント

- ☑ アナログポートの簡単設定について

らくらくアシスタントの「アナログポートの簡単設定」は、電話やファクスを使うために必要な設定を、間違いなく簡単に行うためのものです。電話番号が1つの場合や、i・ナンバーを契約している場合、電話番号が3つまでのダイヤルインサービスを契約している場合に、電話機やファクスを使えるようにします。ダイヤルインサービスで4つ以上の電話番号を設定する機能や、ナンバー・ディスプレイ以外の各種サービス、ITX92BTの電話機能を設定する機能は含まれておりません。これらの設定は、「アナログポートの簡単設定」が終了してから行います（5章「電話機やファクスを使うための設定をしよう（応用編）」[P.5-1ページ](#)）。

- ☑ 「アナログポートの簡単設定」では、次の流れで設定していきます

ITX92BTに接続したアナログ機器（電話機やファクスなど）の種類を選択し、その機器のナンバー・ディスプレイを利用するかチェック

i・ナンバーやダイヤルイン・サービスの利用の有無をチェック

契約した電話番号を入力する

アナログポートに電話番号を割りあてる  
（契約した電話番号が1つの場合は設定しません）

設定内容を確認し、登録・終了

# 設定 接続機器と電話番号を設定する

## お願い

Windows2000で以降の操作を行うためには、Administrator( 権限のあるアカウント )でログオンする必要があります。

電話機やファクスを使うための設定をしよう(基本編)

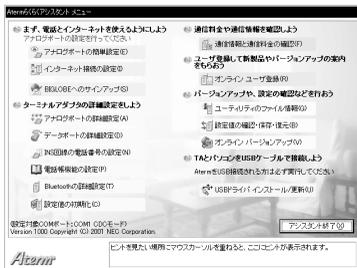
4

Step2 らくらくアシスタントで設定する

1 らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面を表示する

[ スタート ] ボタンをクリックし、[ プログラム ]-[ AtermITX92BTユーティリティ ]-[ Atermらくらくアシスタント ] を選択します。

2 メニュー画面の [ アナログポートの簡単設定 ] ボタンをクリックする



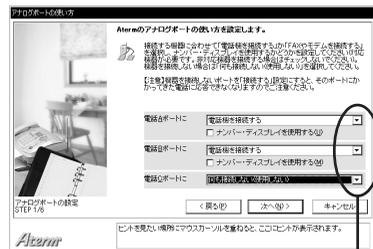
3 [ 次へ ] ボタンをクリックする



4 アナログポート( 電話A、B、Cポート )に接続した機器とナンバー・ディスプレイの利用の有無を選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックする

・電話Aポート・電話Bポート・電話Cポート 接続した機器を選択します。ファクス付き電話機やBSデジタルTVチューナを接続した場合は、「FAXやモデムを接続する」を選択してください。何も接続しない場合は、「何も接続しない( 使用しない )」が選択されているか確認してください。この選択がされていないと、電話がかかってきたとき、かけてきた相手はずっと呼び出し中のままで、電話がつかない場合があります。

・ナンバー・ディスプレイを使用する INSナンバー・ディスプレイの契約と工事が完了し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスを接続している場合だけ、接続したポートにチェックを入れてください。ナンバー・ディスプレイ対応以外の電話機が接続されている場合、この欄にチェックを入れてしまうと、電話の呼び出しが短くなったり、受話器をあげても電話が切れてしまう場合があります。



クリックして、プルダウンメニューから選択する

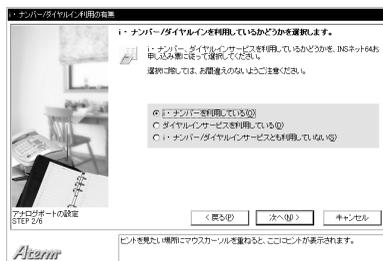
Step1の 利用例	電話Aポート	ナンバー・ディスプレイを使用する	電話Bポート	ナンバー・ディスプレイを使用する
利用例1	電話機を接続する (ファクス付き電話機の場合は、「FAXやモデムを接続する」)	チェックしない	何も接続しない(使用しない)	チェックしない
利用例2	電話機を接続する	チェックする	電話機を接続する	チェックする
利用例3	電話機を接続する	チェックしない	FAXやモデムを接続する	チェックしない
利用例4	電話機を接続する	チェックしない	電話機を接続する	チェックしない
利用例5	FAXやモデムを接続する	チェックしない	何も接続しない(使用しない)	チェックしない
利用例6	電話機を接続する	チェックする	FAXやモデムを接続する	チェックする
利用例7	電話機を接続する	チェックしない	FAXやモデムを接続する	チェックしない
利用例8	FAXやモデムを接続する	チェックする	FAXやモデムを接続する	チェックする

	電話Cポート	ナンバー・ディスプレイを使用する
利用例1	何も接続しない(使用しない)	チェックしない
利用例2	何も接続しない(使用しない)	チェックしない
利用例3	何も接続しない(使用しない)	チェックしない
利用例4	FAXやモデムを接続する	チェックしない
利用例5	何も接続しない(使用しない)	チェックしない
利用例6	何も接続しない(使用しない)	チェックしない
利用例7	何も接続しない(使用しない)	チェックしない
利用例8	何も接続しない(使用しない)	チェックしない

## 5

i-ナンバー、ダイヤルインサービスの利用の有無を選択し、次へ ボタンをクリックする

現在利用できるサービスを選択します。

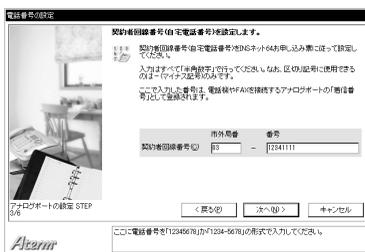


	i・ナンバー / ダイヤルインサービス
利用例1	i・ナンバー / ダイヤルインサービスとも利用していない
利用例2	i・ナンバー / ダイヤルインサービスとも利用していない
利用例3	i・ナンバーを利用している
利用例4	i・ナンバーを利用している
利用例5	i・ナンバーを利用している
利用例6	i・ナンバーを利用している
利用例7	i・ナンバー / ダイヤルインサービスとも利用していない
利用例8	ダイヤルインサービスを利用している

## 6 電話番号を入力し、[次へ] ボタンをクリックする

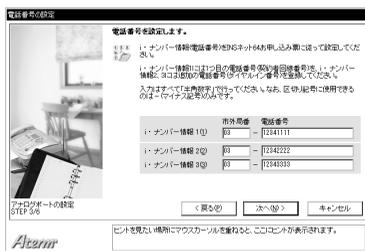
契約した電話番号を入力します。利用するサービスによって画面は異なります。

- ・ i・ナンバーもダイヤルインサービスも利用しない場合 - 利用例1、利用例2、利用例7  
[ 契約者回線番号 ] に契約者回線番号の市外局番と電話番号を入力します。



	契約者回線番号
利用例1	03-12341111
利用例2	03-12341111
利用例7	03-12341111

- ・ i・ナンバーを利用する場合 - 利用例3、利用例4、利用例5、利用例6  
[ i・ナンバー情報1 ] に契約者回線番号の市外局番と電話番号を入力します。[ i・ナンバー情報2 ] に追加番号の電話番号を入力します(市外局番は自動で入力されます)。電話番号が3つある場合は、[ i・ナンバー情報3 ] に入力します。



	i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2	i・ナンバー情報3
利用例3	03-12341111	03-12342222	-
利用例4	03-12341111	03-12342222	03-12343333
利用例5	03-12341111	03-12342222	-
利用例6	03-12341111	03-12342222	03-12343333

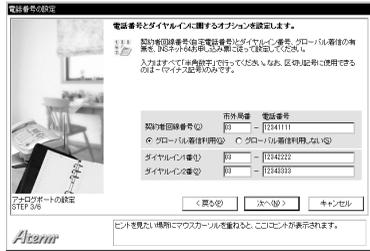
・ダイヤルインサービス利用の場合 - 利用例8

[ 契約者回線番号 ]に契約者回線番号の市外局番と電話番号を入力します。通常は、[ グローバル着信利用 ]を選択します。

[ ダイヤルイン1番 ]に1つ目の追加番号の電話番号を入力します(市外局番は自動で入力されます)。

[ ダイヤルイン2番 ]に2つ目の追加番号の電話番号を入力します(市外局番は自動で入力されます)。

ダイヤルイン3番以降の追加番号(利用例8では03-12344444)は、あとから[ INS回線の電話番号の設定 ]で追加します。「ダイヤルインサービス」( [P.5-27ページ](#) )



	契約者回線番号	グローバル着信	ダイヤルイン1番	ダイヤルイン2番
利用例8	03-12341111	グローバル着信利用	03-12342222	03-12343333

7 アナログポートごとに電話番号を選択し、[ 次へ ]ボタンをクリックする

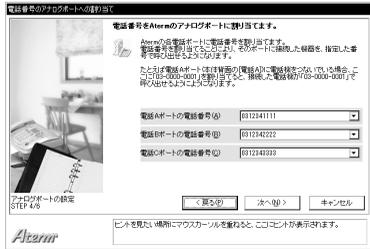
i・ナンバー、ダイヤルインサービスを利用する場合、アナログポートごとに電話番号を設定します。

ここでは1つのアナログポートに1つの電話番号を設定します。利用例5・利用例6・利用例8のように、1つのアナログポートに複数の電話番号を割り当てたい場合は、あとから[ INS回線の電話番号の設定 ]で変更します。

「i・ナンバー」( [P.5-24ページ](#) ) 「ダイヤルインサービス」( [P.5-27ページ](#) )

また、利用例7のように着信機能のないBSデジタルTVチューナを接続している場合は、あとから[ INS回線の電話番号の設定 ]の着信するポートの選択で着信しないように設定します。

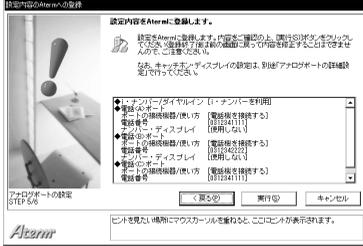
「i・ナンバー」( [P.5-24ページ](#) ) 「ダイヤルインサービス」( [P.5-27ページ](#) )



	電話Aポートの電話番号	電話Bポートの電話番号	電話Cポートの電話番号
利用例1	(この画面は表示されません)		
利用例2	(この画面は表示されません)		
利用例3	03-12341111	03-12342222	(設定する必要はありません)
利用例4	03-12341111	03-12342222	03-12343333
利用例5	03-12341111 (03-12342222はあとで設定)	(設定する必要はありません)	(設定する必要はありません)
利用例6	03-12341111	03-12342222 (03-12343333はあとで設定)	(設定する必要はありません)
利用例7	(この画面は表示されません / 電話Bポートに電話を着信しない設定はあとで行います)		
利用例8	03-12341111 (03-12342222はあとで設定)	03-12343333 (03-12344444はあとで設定)	(設定する必要はありません)

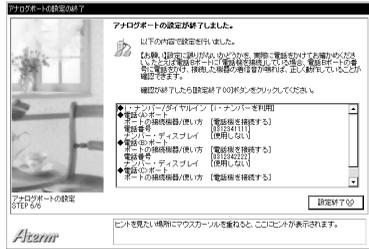
## 8 設定した内容を画面で確認し、[実行]ボタンをクリックする

[実行]ボタンをクリックすると、電話番号などがITX92BTに書き込まれます。



## 9 [設定終了]ボタンをクリックする

アナログポートの簡単設定を終了し、  
らくらくアシスタントのメニュー画面  
に戻ります。



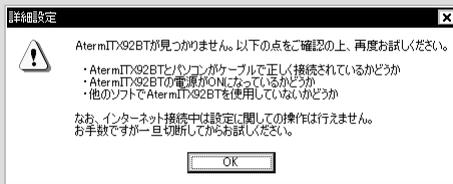
## 10 らくらくアシスタントを終了するには、メニュー画面の[アシスタント終了]ボタンをクリックする

## 11 [はい]ボタンをクリックする

利用例5・利用例6・利用例7・利用例8の場合は、このあとで該当するページの設定を行ってください。また、ITX92BTには他にもさまざまな電話機能があります。5章「電話機やファクスを使うための設定をしよう(応用編)」をご覧ください。

## 👁️ お願い

らくらくアシスタントのメニュー画面で何かボタンを押したときに次の画面が表示された場合は、下記の点を確認したあと、[OK]ボタンをクリックしてください。



- RS-232CケーブルまたはUSBケーブルは、ITX92BTとパソコンに正しく接続されていますか？
- ITX92BTの電源は入っていますか？
- Bluetoothポート接続の場合、Bluetooth™接続されていますか？
- らくらくバージョンアップやUIメールEXなど、Atermのソフトウェアを起動している場合や、USBネットワークを使用している場合はそれらを終了させてください。タスクトレイに常駐している場合も終了させてください。

## step 3 電話機・ファクスは使えますか？

アナログポートの設定が正しく行われたかどうかを確認するため、携帯電話・PHSなどを利用して、ITX92BTに接続した電話機やファクスを使ってみます。

電話機・ファクスの操作方法については、接続した機器の取扱説明書をお読みください。

### 電話をかける・ファクスを送る ●●●●●●●●●●●●●●●●

- ・ 接続したすべての電話機やファクスから「117(時報)」や携帯電話・PHSなどに電話をかけます。発信音が鳴り、通話できることを確認してください。  
電話をかける方法については、2章「Step6 電話は使えますか？」(☞ 2-11 ページ)を参照してください。
- ・ ファクスを接続した場合は、ファクスが送信できることを確認してください。
- ・ モデムを接続した場合は、パソコン通信ができることを確認してください。

### 電話を受ける・ファクスを受ける ●●●●●●●●●●●●●●●●

- ・ 携帯電話やPHSから契約者回線番号に(複数の電話番号を契約した場合はi・ナンバーやダイヤルイン番号にも)電話をかけます。対応するポートに接続した電話機の着信音が鳴り、通話できることを確認してください。  
電話を受ける方法については、2章「Step6 電話は使えますか？」(☞ 2-11 ページ)を参照してください。
- ・ ファクスを接続した場合は、ファクスが受信できることを確認してください。



## 5 章 電話機やファクスを使うための設定をしよう(応用編)

ITX92BTには電話機やファクスを便利に利用するための電話機能がたくさんあります。ここでは、各電話機能の内容と設定方法を詳しく説明しています。

電話機能の設定のしかた .....	5-2
電話機能 .....	5-4
電話機で設定する .....	5-104

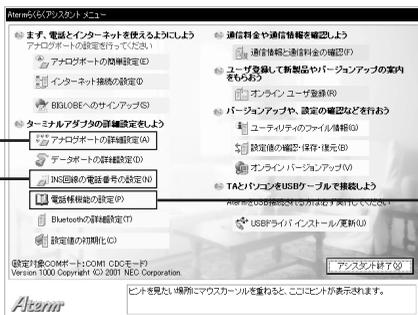
# 電話機能を設定する

前章で設定した電話の基本的な使いかた以外の、さまざまな機能や便利なサービスは、らくらくアシスタントまたは電話機を使って設定します。設定の際は、お使いの電話機やファクスの接続状況・INSネット64の契約状況を必ず確認してください。

## らくらくアシスタントでの設定のしかた

### [ アナログポートの詳細設定 ]

電話Aポート、電話Bポート、電話Cポートの詳細設定を行います。キャッチホン・ディスプレイや内線通話など電話関係のサービスや機能を利用する場合に使います。



### [ INS回線の電話番号の設定 ]

使用する電話番号を登録します。[ アナログポートの簡単設定 ] で入力した電話番号を変更したり、i-ナンバーやダイヤルイン番号でシリアルポートやUSBポートに着信させる場合に使います。

### [ 電話帳機能の設定 ]

短縮ダイヤル用、マイプライベート着信用、疑似識別着信用、疑似なりわけ用、迷惑電話防止用などの電話帳に電話番号を登録します。

## お知らせ

らくらくアシスタントの起動のしかたは、6-5ページをご覧ください。

## < 各設定欄の使いかた >

各設定欄の使いかたを「アナログポートの詳細設定」ボタンをクリックしたときの画面を例にして説明しています。

タブ  
クリックすると、別の画面が表示されます。

設定項目選択  
項目をクリックすると画面が切り替わります。

表示ボックス  
すでに入力されている電話番号などが表示されます。

チェックボックス  
 をクリックすると、チェックをしたりチェックをはずしたりできます。

ドロップダウンリストボックス  
 をクリックすると、1つの項目を選択できます。



ボタン  
クリックすると、次の画面が表示されます。

オプションボタン  
 をクリックすると、どれか1つだけ選択できます。

ヘルプボタン  
ヘルプボタンをクリックすると設定項目の説明が表示されます。

## 電話機での設定のしかた ●●●●●●●●●●●●●●●●

電話機で設定する方は、「電話機能（☎ 5-4ページ～）をご覧のうえ、「電話機で設定する（☎ 5-104ページ～）で設定してください。

## 電話機能一覧

ITX92BTで使える電話機能・サービスの一覧です。INSネット64やBIGLOBEでの契約が必要なサービスも含まれていますのでご注意ください。

機能・サービスの名称		必要な契約	内容	
基本機能	フッキング		電話の保留や切り替えなどのためにフックスイッチなどを押す操作です(☎ 5-7ページ)。	
	ダイヤル桁間タイマ		ダイヤル後、発信するまでの時間を設定します(☎ 5-9ページ)。	
	#発信		#で発信するか、#を2回押すと発信するかを設定します(☎ 5-10ページ)。	
	受話音量調節		相手の声の音量を調節します(☎ 5-11ページ)。	
	短縮ダイヤル		短縮ダイヤルで電話をかけます(☎ 5-13ページ)。	
	着信履歴先発信		一度かけてきた相手に、着信履歴を使って電話をかけます(☎ 5-15ページ)。	
	内線通話		ITX92BTにつないだ電話機同士で通話します(☎ 5-18ページ)。	
	内線転送		外線からの電話をITX92BTにつないだほかの電話機に転送します(☎ 5-20ページ)。	
	内線呼出信号		内線でかかってきた電話の着信音を変更することができます(☎ 5-22ページ)。	
電話番号を使い分ける	i・ナンバー	<b>INS</b> i・ナンバー	2つまたは3つの電話番号を使い分けます(☎ 5-24ページ)。	
	ダイヤルインサービス	<b>INS</b> ダイヤルインサービス	4つ以上の電話番号を使い分けます(☎ 5-27ページ)。	
接続している電話機でダイヤルインを使う	モデム・ダイヤルイン	<b>INS</b> i・ナンバーまたはダイヤルインサービス	着信した電話番号をモデム信号としてアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します(☎ 5-31ページ)。	
	アナログ・ダイヤルイン	<b>INS</b> i・ナンバーまたはダイヤルインサービス	着信した電話番号をプッシュボタン信号としてアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します(☎ 5-35ページ)。	
特定の電話機に着信させる	着信ダイヤルイン複数選択	<b>INS</b> i・ナンバーまたはダイヤルインサービス	1つのアナログポートに複数の電話番号を着信させます(☎ 5-39ページ)。	
	優先着信ポート指定		着信する電話機に優先順位を付けます(☎ 5-41ページ)。	
	サブアドレス		電話番号にサブアドレスを付けて発信・着信させます(☎ 5-43ページ)。	
お話し中に	キャッチホン	<b>INS</b> キャッチホン	通話中に別の相手からの電話を受けることができます(☎ 5-46ページ)。	
		疑似キャッチホン		
	三者通話	三者通話	<b>INS</b> 三者通話	三人で通話します(☎ 5-49ページ)。
		疑似三者通話	<b>INS</b> 通信中転送	

機能・サービスの名称		必要な契約	内容	
電話番号を表示する	発信者番号通知		電話をかけたとき、自分の電話番号を相手に知らせます(☎ 5-53ページ)。	
	INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト	<b>INS</b> ナンバー・ディスプレイ <b>INS</b> ナンバー・リクエスト	電話がかかってきたとき、相手の電話番号をアナログ通信機器に表示します(☎ 5-57ページ)。	
	キャッチホン・ディスプレイ	<b>INS</b> ナンバー・ディスプレイ <b>INS</b> キャッチホン <b>INS</b> キャッチホン・ディスプレイ	通話中に別の電話がかかってきたとき、相手の電話番号をアナログ通信機器に表示します(☎ 5-61ページ)。	
電話に出られないとき	お出かけ設定	おやすみモード	ITX92BTのでかけるボタンを押すとお出かけ設定が始まります。お出かけ設定には4つのモードがあります。おやすみ設定モードやフラッシュモードは、電話機のベル(着信音)を鳴らさずに、液晶ディスプレイ表示の一部やでかけるボタンを点滅させてお知らせします。電話転送モードやボイスワープ転送モードは、着信転送(☎ 5-69ページ)やボイスワープまたはボイスワープ・セレクト(☎ 5-76ページ)で設定した電話番号に転送してくれる機能です。外出時や就寝時など、電話に出られないときにお使いください(☎ 5-64ページ)。	
		電話着信転送モード		<b>INS</b> 着信転送 <b>BIGLOBE</b>
		ボイスワープ転送モード		<b>INS</b> ボイスワープ <b>INS</b> ボイスワープ・セレクト
		フラッシュモード		
転送する	着信転送	着信転送	<b>INS</b> 着信転送	
		疑似着信転送		
		電話番号着信通知		<b>INS</b> ユーザ間情報通知サービス <b>BIGLOBE</b>
	INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト	<b>INS</b> ボイスワープ <b>INS</b> ボイスワープ・セレクト	電話がかかってきたとき、NTTの交換機側で転送するサービスです(☎ 5-76ページ)。	
通信中転送		<b>INS</b> 通信中転送	通話中に、別の相手に転送します(☎ 5-80ページ)。	
特定の相手を対象にする	識別着信	INSなりわけ識別着信	<b>INS</b> なりわけサービス	
		疑似識別着信		<b>INS</b> ナンバー・ディスプレイ
	なりわけ	INSなりわけ識別リング	<b>INS</b> なりわけサービス	あらかじめ登録した相手からの着信があったとき、特別な呼出音を鳴らしてお知らせします(☎ 5-87ページ)。
		疑似なりわけ		
	選択キャッチホン	選択キャッチホン	<b>INS</b> なりわけサービス <b>INS</b> キャッチホン	通話中に別の電話がかかってきたとき、あらかじめ登録した相手に限って、電話を受けることができます(☎ 5-92ページ)。
		疑似選択キャッチホン	<b>INS</b> ナンバー・ディスプレイ	
迷惑電話おことわり	迷惑電話おことわり	<b>INS</b> 迷惑電話おことわりサービス	迷惑電話やいたずら電話を着信させないようにします(☎ 5-94ページ)。	
	迷惑電話防止	<b>INS</b> ナンバー・ディスプレイ		
( 続く )				

機能・サービスの名称		必要な契約	内容
特定の 相手を対象 にする	マイプライベート着信	<b>INS</b> ナンバー・ ディスプレイ	相手によって、着信させる電話機を変えます (☎ 5-98ページ)。
	識別着信転送	識別着信転送	<b>INS</b> なりわけ サービス  <b>INS</b> ナンバー・ ディスプレイ
		疑似識別着 信転送	

1. 必要な契約欄の **INS** は、INSネット64の付加サービスの契約が必要であることを示しています。また、**BIGLOBE** は、インターネットプロバイダBIGLOBEで追加の申し込みが必要であることを示しています。
2. INSキャッチホン・三者通話・着信転送・通信中転送は、INSネット64のフレックスホンサービスです。
3. INSキャッチホンは、以前コールウェイティングと呼ばれていたサービスです。

# フッキング

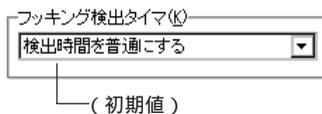
通話中に別の電話がかかってきたとき(キャッチホン使用時)などは、電話を「フッキング」して切り替えます。

## ポイント

- ・フッキングは、内線通話と外線通話の切り替えや、内線転送、三者通話のときにも使います。
- ・フッキングがうまく働かないとき(受話器を置くと呼び返しがあるときなど)は、フッキング検出タイマを調整してください。

## 設定 フッキング検出タイマを調整する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]/[電話Cポート]タブをクリックする
- 4 設定項目から[高度な設定]を選択する
- 5 フッキング検出タイマの時間を設定する



(初期値)

- 6 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

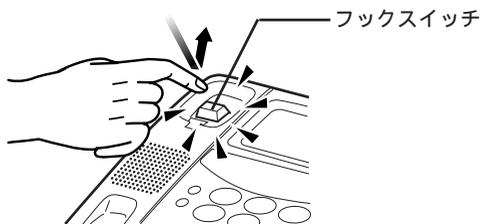
電話機から設定することができます。

No.8 : フッキング検出タイム(  5-105ページ )

## 操作

### 電話をフッキングする

電話機にフッキングの機能ボタンがある場合はそのボタン(例 : 「フック」 「キャッチ」 など) を押します。フッキングの機能ボタンがない場合は、フックスイッチを軽く( 1秒以内 )押して離します( 長い時間押すと電話が切れます )。



# ダイヤル後に発信するまでの時間を調整する

(ダイヤル桁間タイム)

ダイヤル後、実際に発信するまでの時間を調整します。

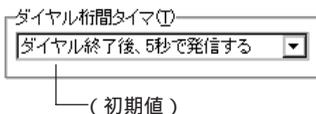
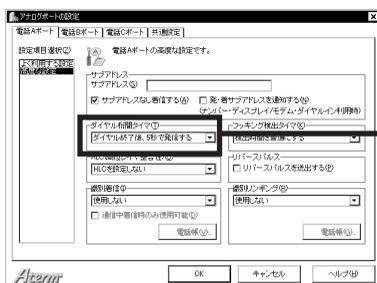
## ポイント

ダイヤル桁間タイムは、電話番号の最後のボタンを押した後、実際に電話機から発信するまでの時間を設定しています。初期状態では、ダイヤル後に発信するまでの時間は5秒です。ダイヤル後にすぐに発信するには、最後に **[#]** を押してください。

## 設定

### ダイヤル桁間タイムを調整する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [電話 A ポート]/[電話 B ポート]/[電話 C ポート] タブをクリックする
- 4 設定項目から[高度な設定] を選択する
- 5 ダイヤル桁間タイムの時間を設定する



- 6 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。

No.7 : ダイヤル桁間タイム(☎5-105ページ)

# 発信方法を変更する（#発信）

最後に **#** を押すと発信するか、**#** を2回押すと発信するか、または **#** を押しでも発信しないようにするかを設定します。

## ポイント

初期設定では、ダイヤル後、**#** を押すと発信するように設定されています。途中に **#** が含まれている電話番号に電話をかけたい場合などは、**#** で発信しないように設定するか、または **#** を2回押すと発信するように、設定を変更することができます。

## 設定

### # 発信の方法を変更する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログボートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から[その他の設定] を選択する
- 5 **#** 発信を設定する



[#で発信]  
 [#で発信しない] (既定電話番号として扱う)  
 [#で発信動作を行う] (既定より後ろは発信されません)  
 [#(2)で発信動作を行う] (既定より後ろは発信されません)

(初期値)

- 6 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。  
 No.39 : #発信 (☞5-111ページ)

## 相手の声の音量を変える(受話音量調節)

通話中、相手の話が聞きづらいときに音量を調節します。

### ポイント

受話音量調節には、あらかじめ音量を調整しておく方法と、通話中に音量を変更できるようにしておく方法があります。ただし初期状態では、通話中に音量を変更できないようになっています。まず音量が変更できるように設定を変えてから、通話中に電話機のボタンを押して音量を調整します。

### 設定 あらかじめ受話音量を調節する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定]ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]/[電話Cポート]タブをクリックする
- 4 設定項目から[よく利用する設定]を選択する
- 5 受話音量を選択する  
音量・小/音量・中/音量・大のいずれかを選択します。
- 6 [OK]ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

### お知らせ

電話機から設定することができます。  
No.11：受話音量(☎5-106ページ)

### 設定 通話中に受話音量を調整できるようにする

この設定をしておくと、通話中に[\*][#]を押すたびに音量の調整をすることができます。なお、らくらくアシスタントで設定することはできません。電話機から設定するか、下記のATコマンドを入力して、[\*][#]が使えるように設定を変えてください(ATコマンドについて、詳しくは、添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』「ATコマンド解説」を参照してください)。

電話Aポート：AT\$A14=1

電話Bポート：AT\$B14=1

電話Cポート：AT\$C14=1



## 通話中に受話音量を調整する

### 1 通話中に[\*][#]を押す

押すたびに、中 大 小の3段階で音量が切り替わります。

### 👁️ お願い

- ・相手の電話機の機種によっては、相手が[\*][#]を押すと、こちら側の電話機の音量が切り替わることがあります。このような場合は、ATコマンドで受話音量を変更できない設定に戻してください。
- ・ファクスなどを接続していると、発信するたびに音量が切り替わってファクスの送受信ができなくなることがあります。このような場合は、ATコマンドで受話音量を変更できない設定に戻してください。
- ・ACRの電話機を接続していると、データの受信の際に音量が切り替わってデータの送受信に失敗することがあります。このような場合は、ATコマンドで受話音量を変更できない設定に戻してください。

# 短縮ダイヤルで電話をかける

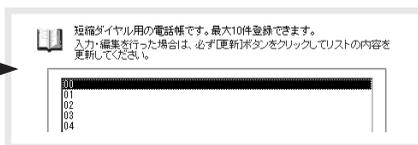
長い電話番号も **\*** と **0** ~ **9** (短縮ダイヤル番号) を押すだけで電話をかけることができます。

## ポイント

相手の電話番号を電話帳に登録しておく、短縮ダイヤルで電話をかけることができます。短縮ダイヤルは10件まで登録できます。

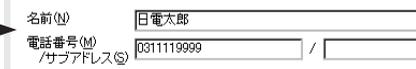
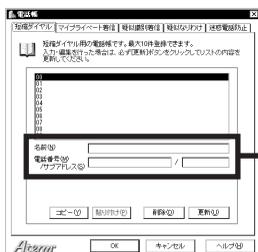
## 設定 相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [電話帳機能の設定] ボタンをクリックする
- 3 [短縮ダイヤル] タブをクリックする
- 4 一覧から空いている番号を選択する



## 5 名前・電話番号・サブアドレスを入力する

- 1) 相手の名前を入力する
- 2) 電話番号を市外局番から入力する
- 3) 必要ならサブアドレスを入力する



- 6 [更新] ボタンをクリックする
- 7 続けてほかの番号を登録するときは、手順4～6を繰り返す
- 8 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

- ・登録済みの電話番号を変更したい場合は、手順4で修正する番号を選択し、新しい電話番号に変更したあとで、[更新] ボタンをクリックしてください。
- ・登録済みの電話番号を削除したい場合は、手順4で削除する番号を選択したあと、[削除] ボタンをクリックしてください。
- ・電話機から設定することができます。  
No.33：短縮番号(☎5-110ページ)

## 操作 短縮ダイヤルで電話をかける

登録した短縮ダイヤルを使って電話をかけます。

- 1 電話機の受話器をあげる  
「ツー」という音が聞こえます。
- 2  [短縮ダイヤル番号(0～9)] を押す  
短縮ダイヤルの電話帳に登録した「00」～「09」までの短縮ダイヤル番号を押します。「01」に登録したときは、  と押します。
- 3 相手の方が出たら、通話する
- 4 通話が終わったら、受話器を戻す

# 着信履歴の電話番号に電話をかける

(着信履歴先発信)

ITX92BTに記録されている着信履歴(かかってきた相手の電話番号など)を利用して、以前に電話をかけてきた相手に電話をかけることができます。

## ポイント

ITX92BTには、かかってきた相手やかかってきた時間などの着信履歴が最新の50件分まで記録されています。ITX92BTの液晶ディスプレイに着信履歴を表示して確認したり、表示された番号に電話をかけることができます。

## 操作

### 着信履歴の電話番号に電話をかける

ITX92BT前面の操作ボタンまたは電話機のボタンを使って、着信履歴に残っている相手の電話番号に電話をかけることができます。

#### 操作ボタンを使う

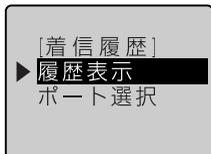
1  ボタンを押す

2  ボタンまたは  ボタンを押して「着信履歴」を反転表示させ、  
 ボタンを押す



着信履歴のメニューが表示されます。

3  ボタンまたは  ボタンを押して「履歴表示」に矢印を合わせ、  
 ボタンを押す



最新の着信履歴が表示されます。

4 1つ前の着信履歴を表示するには、  
 ボタンを押します。

 ボタンまたは  ボタンを押すたびに、表示される履歴を前後に切り替えることができます。



5 目的の電話番号が表示されたら、 ボタンを押す

6 呼出音が鳴っている電話機の受話器をあげる  
表示されていた相手に電話がかかります。

## 電話機のボタンを使う

1 受話器をあげる

2 \* \* 5 1 を押す

最新の着信履歴が表示されます。

応答したポート  
応答しなかった場合は「x」

着信した日付  
と時刻



着信した相手の電話番号

3 1つ前の履歴を表示するには [8] を、  
1つ後の履歴を表示するには [2] を押す

4 目的の電話番号が表示されたら [#] を押す  
表示されていた相手に電話がかかりません。

## お知らせ

- ・かかってきた相手の電話番号が非通知・公衆電話・表示圏外の場合は電話をかけることはできません。
- ・着信件数が50件を超えると、古いものから順に消去されます。
- ・着信履歴を消去したいときは、電話機のボタンを使って着信履歴を表示し、着信履歴が表示されている状態で [\*] を2回押します。
- ・ITX92BTの電源を切ると、すべての着信履歴が消去されます。
- ・呼出音を鳴らす電話機のアナログポートを変更することもできます(☞5-17ページ)。
- ・らくらくアシスタントでは、着信履歴先発信はできませんが、最新の着信番号を表示することができます(☞『データ通信ガイド』Atermのその他の機能 - AtermITX92BTの現在の状態を確認する)。

## 設定 着信履歴先発信で使う電話機を変更する

着信履歴先発信をするときに、通話に使用する電話機のアナログポートを変更することができます。

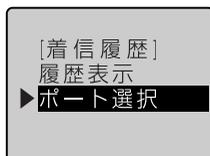
1 (MENU) ボタンを押す

2 (▼) ボタンまたは (▲) ボタンを押して「着信履歴」を反転表示させ、(ENTER) ボタンを押す

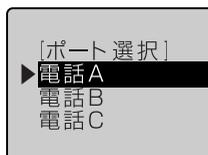


着信履歴のメニューが表示されます。

3 (▼) ボタンまたは (▲) ボタンを押して「ポート選択」に矢印を合わせ、(ENTER) ボタンを押す



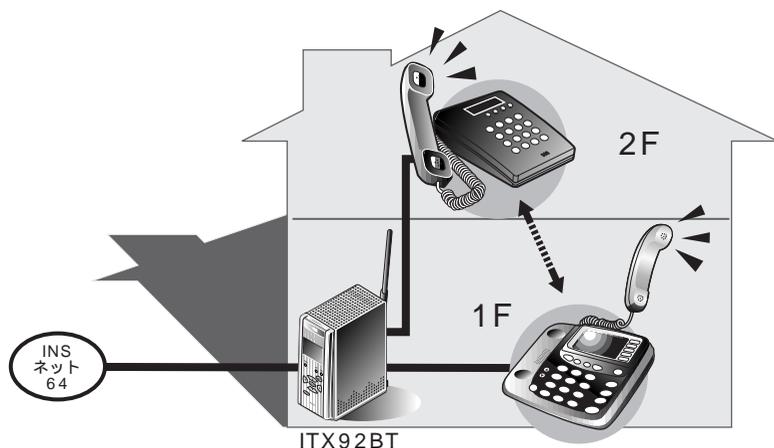
4 (▼) ボタンまたは (▲) ボタンを押して、使用するアナログポートに矢印を合わせる



5 (ENTER) ボタンを押す

## 内線で話す(内線通話)

アナログポートにつないだ2台の電話機同士で通話できます。



### 操作 内線で話す

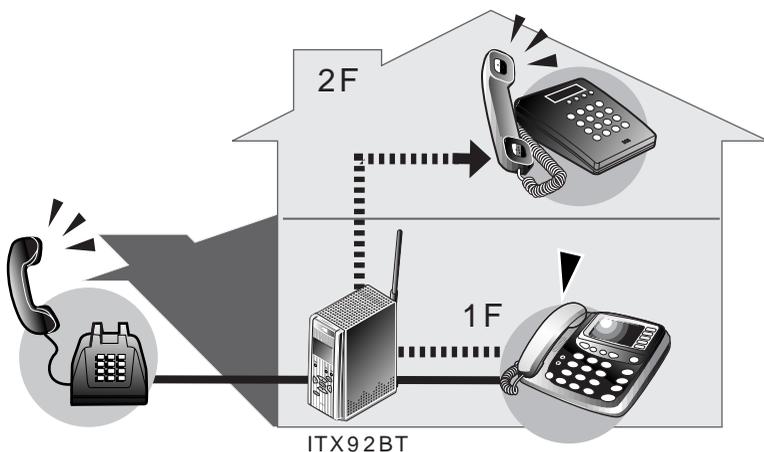
- 1 電話機の受話器をあげる  
「ツー」という音が聞こえます。
- 2   [ポート番号] を押す  
[相手の電話機のポート番号]  
 : 電話Aポート  
 : 電話Bポート  
 : 電話Cポート  
ダイヤル後、約5秒(初期値)たってから呼び出します。  
ダイヤル後、続けて  を押すと、すぐに呼び出します。
- 3 相手の方が出たら通話する
- 4 通話が終わったら、受話器を戻す

## お知らせ

- ・内線の着信音を変更することができます(  5-22ページ )
- ・内線通話中に外線から電話がかかってきたときは、「ブップ」と割込音を鳴らしてお知らせします。フッキングすると内線通話は終了し、外線との通話に切り替わります。
- ・フッキングがうまく働かないときは、フッキング検出タイマを調整してください(  5-7ページ )
- ・停電時は利用できません。

# 外線をほかの電話機に転送する (内線転送)

外からかかってきた電話を、別のアナログポートにつないだ電話機に転送します。



電話機能

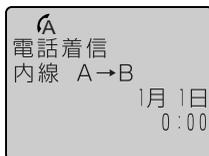
## 操作 外線をほかの電話機に転送する

- 1 外線と通話中にフッキングする(☎  
5-8 ページ)  
「ブブブ」という音が聞こえます。外線で通話中の相手には、疑似保留音(「ピッポッパ」)が聞こえます。

- 2   [ポート番号] を押す

[内線相手の電話機のポート番号]

- : 電話Aポート
- : 電話Bポート
- : 電話Cポート



(電話Aポートの例)

- 3 転送先の電話機が鳴る

そのまま受話器を戻すか、転送先が電話に出てから、転送する旨を伝えて受話器を戻します。

- 4 転送先と外線相手が通話する

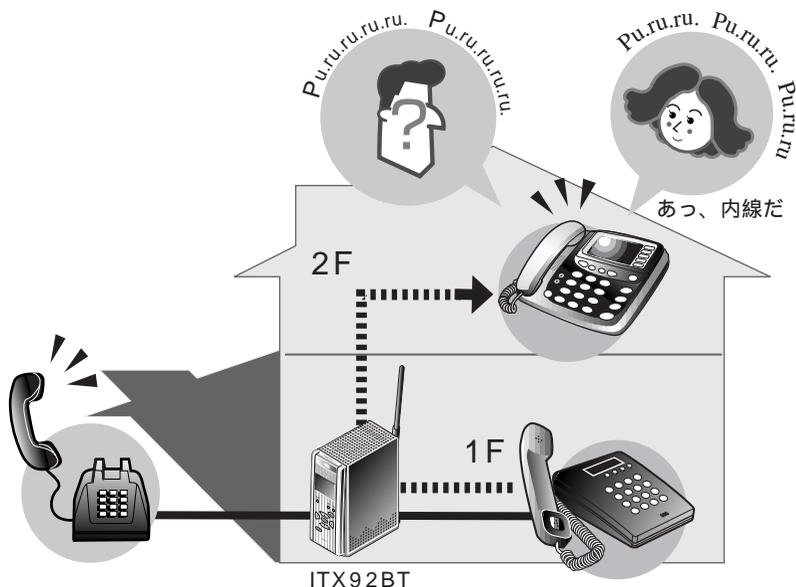
5 外線をほかの電話機に転送する(内線転送)

## お知らせ

- ・内線の着信音を変更することができます(☎5-22ページ)
- ・同一回線にバス接続されている別のターミナルアダプタに接続された電話機へは、内線転送できません。内線転送できるようにするには別売りの高機能S点ユニット(☎8-31ページ)が必要です。
- ・フッキングしたあと、すぐに次の操作をしないと、外線との通話に戻ります。「プププ」音が止んだときは、もう一度フッキングしてください。
- ・転送中(内線相手を呼出中)にフッキングすると、外線との通話に戻ります。
- ・停電時は利用できません。

## 内線の着信音を変更する(内線呼出信号)

内線の着信音を外線の着信音とは別の着信音でお知らせすることができます。



“ブルルル、ブルルルル” 普通の着信音

“ブルル、ブルル、ブルル” 内線からの電話がすぐわかる

### ポイント

ITX92BTでは通常着信音とSIR着信音の2つの着信音があります。通常着信音は“ブルルル、ブルルルル”、SIR着信音は“ブルル、ブルル、ブルル”と鳴ります。SIR着信音に設定しておくと、電話をとる前に内線か外線かを知ることができます。

### お知らせ

INSなりわけ識別リングング/疑似なりわけ(☎5-87ページ)の着信音とSIR着信音は同じ着信音になります。

## 設定

### 内線の着信音を選択する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]/[電話Cポート] タブをクリックする
- 4 設定項目から [よく利用する設定] を選択する
- 5 着信音を選択する

通常着信音/SIR着信音のいずれかを選択します。



内線呼出信号

(初期値 通常着信音)

- 6 [OK] ボタンをクリックする
- らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。  
No.16 : 内線呼出信号 (☎ 5-106ページ)

## 2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)

電話とファクスを別々の電話番号で受けるなど、1回線で2つまたは3つの電話番号を使いたいときは、INSネット64のi・ナンバーを利用します。

### ポイント

1回線で複数の電話番号を使いたいときは、i・ナンバーかダイヤルインサービスを契約します。使いたい電話番号が3つまでのときは、i・ナンバーがお得です。

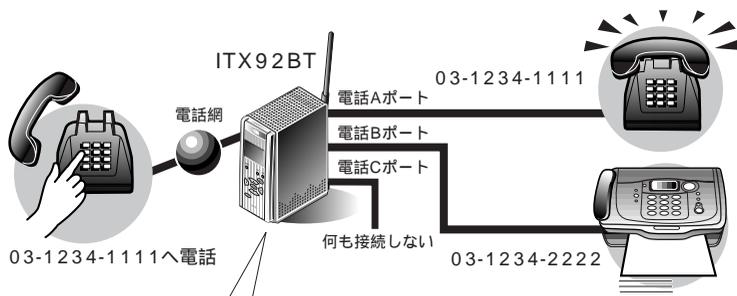
i・ナンバーを契約すると、契約時の電話番号(契約者回線番号)のほかに追加番号を1つまたは2つもらうことができます。

#### 利用条件

i・ナンバー	
追加契約	i・ナンバー
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	-
その他	i・ナンバーで使える電話番号は3つまでです。4つ以上の電話番号を使用したいときは、ダイヤルインサービスをご利用ください。

#### 呼び分けの設定

i・ナンバーの設定では、契約者回線番号をi・ナンバー情報1に、追加番号が1つの場合はi・ナンバー情報2に、追加番号が2つの場合はi・ナンバー情報2および3に、それぞれ正しく設定してください。また、各電話番号で呼び出されたとき、どのポートの電話機を鳴らすか(着信させるか)を決めなければなりません。i・ナンバー情報ごとに、着信させるポートを選択してください。



i・ナンバー情報1 03-1234-1111 電話Aポートの電話機へ着信

i・ナンバー情報2 03-1234-2222 電話Bポートのファクスへ着信

## お知らせ

ファクス付き電話機で電話とファクスを別々の番号で呼び分けるなど、1台のアナログ通信機器を複数の電話番号で呼び分けるときは、モデム・ダイヤルイン(☎ 5-31ページ)またはアナログ・ダイヤルイン(☎ 5-35ページ)もあわせて設定します。

## 設定 i・ナンバーを設定する

i・ナンバーを利用する設定、着信番号の登録、着信させるポートの設定を行います。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [INS回線の電話番号の設定] ボタンをクリックする
- 3 i・ナンバー使用を選択する



「i・ナンバーを使用する」を選択します。

i・ナンバー(☎)  
契約に合わせて選択してください

(初期値)

- 4 電話番号を入力する

i・ナンバー情報1に契約者回線番号を、i・ナンバー情報2、i・ナンバー情報3に追加番号を入力します。

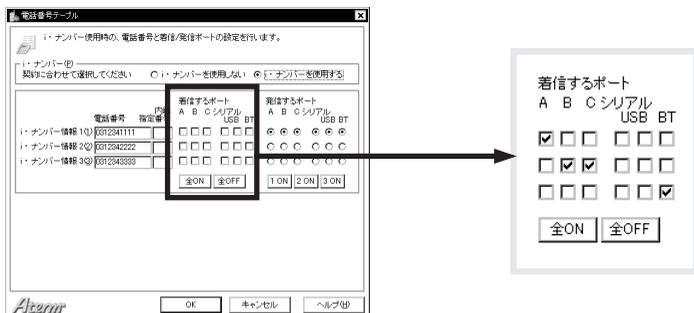


	電話番号	内線 指定番号
i・ナンバー情報 1(☎)	0312341111	
i・ナンバー情報 2(☎)	0312342222	
i・ナンバー情報 3(☎)	0312343333	

## 5 着信させるポートを選択する

i・ナンバー情報ごとに、着信させるポートをチェックします。複数のポートをチェックしてもかまいません。

[全ON]ボタンをクリックすると、すべてのポートにすべての電話番号が着信するようになります。[全OFF]ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックがはずれます。着信機能のないBSデジタルTVチューナーを接続している場合は、接続しているアナログポートのチェックをはずします。



## 6 [OK]ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。次の順番で行います。

アナログポートに接続した機器を設定する

No.1：アナログポート接続機器(☞5-105ページ)

ファクス付き電話機/BSデジタルTVチューナーを接続する場合は、設定内容の「FAX/モデム/ファクス付き電話機」を選択します。

i・ナンバーを使用できるように設定する

No.40：i・ナンバー(☞5-111ページ)

i・ナンバー情報の電話番号を登録する

No.46：i・ナンバー情報と電話番号(☞5-114ページ)

着信させるアナログポートを設定する

No.21：i・ナンバー利用時のi・ナンバー情報の割り当て(☞5-107ページ)

## 複数の電話番号を使う (ダイヤルインサービス)

1回線で4つ以上の電話番号(8つまで)を使いたいときは、INSネット64のダイヤルインサービスを利用します。

### ポイント

1回線で4つ以上の電話番号を使いたいときは、ダイヤルインサービスを契約します。

#### 利用条件

	ダイヤルインサービス
追加契約	ダイヤルインサービス
追加料金	付加サービス使用料(追加した番号分だけ料金が加算される)
利用条件	グローバル着信「利用する」を同時に契約してください。
その他	電話番号は7つまで追加できます。契約者回線番号と合わせて、8つの電話番号が使えます。

#### グローバル着信

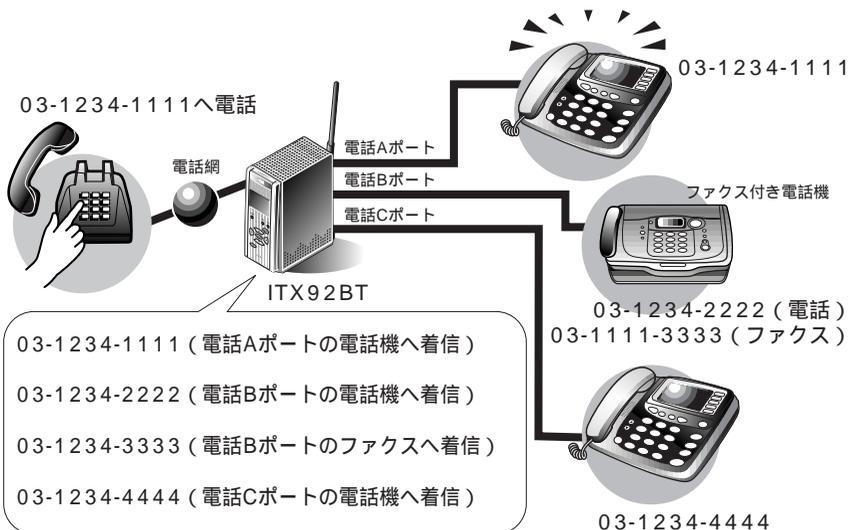
ダイヤルインサービスだけで電話番号を追加契約すると、契約者回線番号への電話番号の通知も電話番号1個分としてカウントされ、仮にダイヤルインで番号を3つ追加すれば、計4つ分のダイヤルインサービスの料金がかかります。

しかし、グローバル着信の利用とあわせて契約する(追加料金不要)と、契約者回線番号への着信時は電話番号が通知されないの、料金が追加の3つ分だけで済みます。このとき、ITX92BTにグローバル着信を設定すると、「電話番号が通知されない=契約者回線番号への着信」と解釈し、契約者回線番号への着信とダイヤルイン番号への着信を区別することができます。

## ☑ 呼び分けの設定

ダイヤルインサービスの設定では、グローバル着信の利用の有無、契約者回線番号と追加したダイヤルイン番号を正しく設定してください。また、各電話番号で呼び出されたとき、どのポートの電話機を鳴らすか(着信させるか)を決めなければなりません。電話番号ごとに、着信させるポートを選択してください。

例：契約者回線番号 03-1234-1111(電話機)  
ダイヤルイン番号1 03-1234-2222(電話機)  
ダイヤルイン番号2 03-1234-3333(ファクス)  
ダイヤルイン番号3 03-1234-4444(電話機)



## 👁️ お願い

INSネット64の契約が、「グローバル着信を利用する」となっている場合、ITX92BTの設定が「グローバル着信しない」になっていると、契約者回線番号で着信できなくなります。ご注意ください。

## 📎 お知らせ

ファクス付き電話機で電話とファクスを別々の番号で呼び分けるなど、1台のアナログ通信機器を複数の電話番号で呼び分けるときは、モデム・ダイヤルイン(☎️ 5-31ページ)またはアナログ・ダイヤルイン(☎️ 5-35ページ)もあわせて設定します。

# 設定

## ダイヤルインサービスを設定する

グローバル着信を利用する設定、着信番号の登録、着信させるポートの設定を行います。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [INS回線の電話番号の設定] ボタンをクリックする
- 3 「i・ナンバーを使用しない」を選択する



i・ナンバー②  
契約に合わせて選択してください  
 i・ナンバーを使用しない  
 i・ナンバーを使用する

(初期値)

- 4 「グローバル着信する」を選択する

契約者回線番号のグローバル着信③  
契約に合わせて選択してください  
 グローバル着信しない  
 グローバル着信する

(初期値)

- 5 電話番号を入力する

契約者回線番号とダイヤルイン番号を入力します。



	電話番号
契約者回線番号①	0312341111
ダイヤルイン1番①	0312342222
ダイヤルイン2番②	0312343333
ダイヤルイン3番③	0312344444
ダイヤルイン4番④	
ダイヤルイン5番⑤	
ダイヤルイン6番⑥	
ダイヤルイン7番⑦	

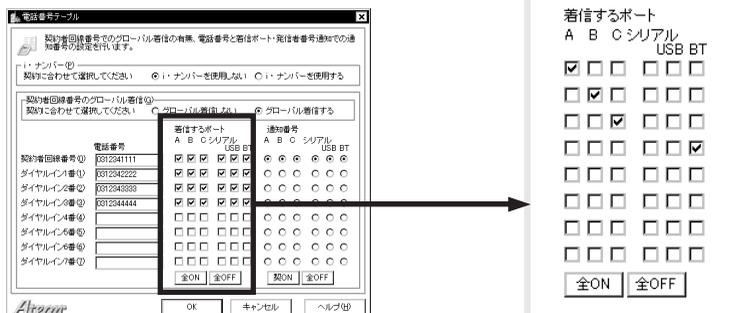
電話機能

# 5

複数の電話番号を使うダイヤルインサービス

## 6 電話番号ごとに着信させるポートを選択する

電話番号ごとに、着信させるポートをチェックします。複数のポートをチェックしてもかまいません。



[全ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートにすべての電話番号が着信ようになります。[全OFF] ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックがはずれます。また着信機能のないBSデジタルTVチューナーを接続している場合は、接続しているアナログポートのチェックをはずします。

## 7 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。次の順番で行います。

アナログポートに接続した機器を設定する

No.1：アナログポート接続機器(☞5-105ページ)

ファクス付き電話機 / BSデジタルTVチューナーを接続する場合は、設定内容の「FAX / モデム / ファクス付き電話機」を選択します。

i・ナンバーを使用しないように設定する

No.40：i・ナンバー(☞5-111ページ)

「グローバル着信を使用する」に設定をする

No.5：グローバル着信(☞5-105ページ)

着信させるアナログポートを設定する

No.18：ダイヤルインサービス利用時の着信番号の割り当て(☞5-106ページ)

# モデム・ダイヤルイン

ファクス付き電話機の電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるなど、モデム・ダイヤルイン対応のアナログ通信機器では、複数の電話番号で呼び分けることができます。

## ポイント

1台のアナログ通信機器を複数の電話番号で呼び分けるためには、交換機から通知された電話番号をアナログ通信機器に通知する必要があります。モデム・ダイヤルインは、この電話番号をモデム信号で通知する方式です。

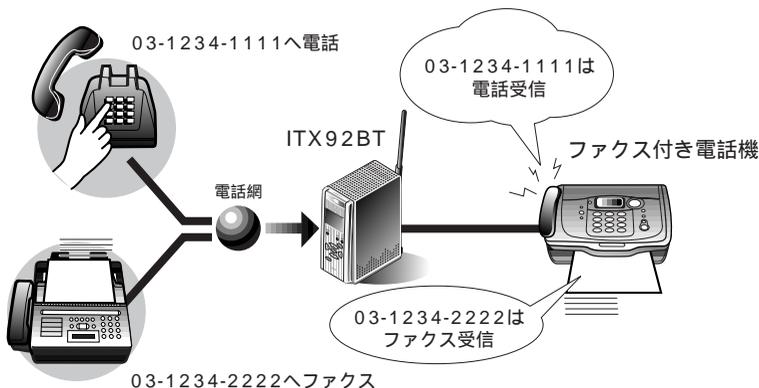
### 利用条件

	モデム・ダイヤルイン
追加契約	INSネット64のi・ナンバーか、ダイヤルインサービスで最低1つの追加番号の契約が必要です。
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	モデム・ダイヤルインに対応したアナログ通信機器が必要です。
その他	電話Cポートにはモデム・ダイヤルインを設定できません。電話Aポートまたは電話Bポートを使用してください。

### 呼び分けの設定

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの電話番号と着信するアナログポートを設定します(☎5-24、5-27ページ)。さらにモデム・ダイヤルインを選択し、アナログ通信機器に送出する番号(電話番号または内線指定番号)を設定します。この番号はアナログ通信機器にも登録してください。

例：電話Aポートにファクス付き電話機を接続し、電話は03-1234-1111、ファクスは03-1234-2222(自動受信)で受けるようにします。



- ・03-1234-1111( 電話用 )の番号に電話がかかってきた場合  
ITX92BTは、ファクス付き電話機に03-1234-1111をモデム信号で通知します。  
電話機の着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- ・03-1234-2222( ファクス用 )の番号に電話がかかってきた場合  
ITX92BTは、ファクス付き電話機に03-1234-2222をモデム信号で通知します。  
ファクスが呼び出され、ファクスを自動的に受信します。

## お知らせ

- ・ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器は、モデム・ダイヤルイン対応となっていますので、モデム・ダイヤルイン機能での呼び分けをご利用ください。
- ・サブアドレスを設定すると、サブアドレスも送われます。ただし、アナログ通信機器によってはサブアドレスが付いていると呼び分けできない場合があります。そのような場合は、「発・着サブアドレスを通知する」のチェックをはずしてください(☎5-45ページ)。
- ・ファクス付き電話機でキャッチホンを設定したときは、通話中にファクスあての着信が入った場合も、通話中の電話機に「プブツ」という音が聞こえます。
- ・ファクス付き電話機でリング呼び返し動作の場合は、ファクスと電話機の両方が呼び出されます。

## 設定 **step 1** モデム・ダイヤルインを設定する

モデム・ダイヤルインを選択し、アナログ通信機器に送出する番号を登録します。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定]ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]タブをクリックする  
設定するポートのタブをクリックします。
- 4 設定項目から[よく利用する設定]を選択する

## 5 情報通知サービスからモデム・ダイヤルインを選択する

「モデム・ダイヤルインを使用する」または「ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する」を選択します。



## 6 必要に応じて内線指定番号を入力する(アナログポートへの番号を4桁以内で出したとき)

### i・ナンバーの場合

[ 着信番号 ]欄にある[ 番号設定 ]ボタンをクリックする



内線指定番号( 4桁以内 )を入力し、[ OK ]ボタンをクリックする



	電話番号	内線指定番号
i・ナンバー情報 1①	0312341111	1234
i・ナンバー情報 2②	0312342222	5678
i・ナンバー情報 3③	0312343333	

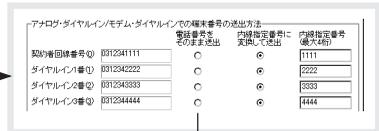
## ダイヤルイン・サービスの場合

[ 番号の送出方法 ] ボタンをクリックする



必要に応じて内線指定番号の設定をする

- 1) [ 内線指定番号に変換して送出 ] を選択する
- 2) 内線指定番号を 4 桁以内で入力する
- 3) [ OK ] ボタンをクリックする



( 初期値 : 電話番号をそのまま送出する )

## お知らせ

- ・ モデム・ダイヤルインは、電話機から設定することができます。  
No.23 : 情報通知サービス(☎5-107ページ)
- ・ 内線指定番号は、電話機から設定することができます。  
i・ナンバー使用時は、No.46 : i・ナンバー情報と電話番号(☎5-114ページ)  
ダイヤルイン・サービス使用時は、No.42 : 着信番号(☎5-111ページ)

## 設定 step 2 アナログ通信機器にダイヤルイン番号を登録する 一

登録方法は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書をお読みください。  
登録する電話番号は、ITX92BTに設定した(送出する)電話番号と一致させてください。

## アナログ・ダイヤルイン

ファクス付き電話機の電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるなど、アナログ・ダイヤルイン対応のアナログ通信機器では、複数の電話番号で呼び分けることができます。

### ポイント

1台のアナログ通信機器を複数の電話番号で呼び分けるためには、交換機から通知された電話番号をアナログ通信機器に通知する必要があります。アナログ・ダイヤルインは、この電話番号をプッシュボタン信号で通知する方式です。

#### 利用条件

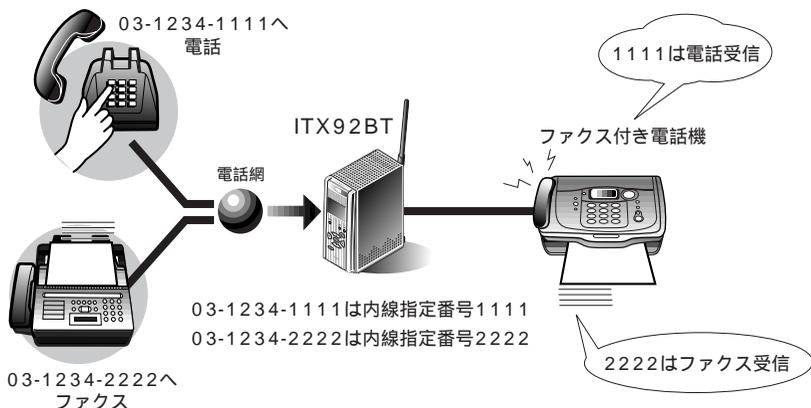
	アナログ・ダイヤルイン
追加契約	INSネット64のi・ナンバーか、ダイヤルインサービスで最低1つの追加番号の契約が必要です。
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	アナログ・ダイヤルインに対応したアナログ通信機器が必要です。
その他	電話Cポートにはアナログ・ダイヤルインを設定できません。電話Aポートまたは電話Bポートを使用してください。

#### 呼び分けの設定

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの電話番号と着信するアナログポートを設定します(☞5-24、5-27ページ)。さらにアナログ・ダイヤルインを選択し、アナログ通信機器に送出する番号(電話番号または内線指定番号)を設定します。この番号をアナログ通信機器にも登録してください。

例：電話Aポートにファクス付き電話機を接続し、電話は03-1234-1111、ファクスは03-1234-2222(自動受信)で受けるようにします。

電話Aポートに接続されたファクス付き電話機を、電話は03-1234-1111(内線指定番号1111)、ファクスは03-1234-2222(内線指定番号2222)で受けるように設定しておきます。ファクス受信のときは、着信音を鳴らさず、自動受信するように設定しておきます。



- ・03-1234-1111(電話用)の番号に電話がかかってきた場合  
ITX92BTは、ファクス付き電話機に1111をプッシュボタン信号で通知します。電話機の着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- ・03-1234-2222(ファクス用)の番号に電話がかかってきた場合  
ITX92BTは、ファクス付き電話機に2222をプッシュボタン信号で通知します。ファクスが呼び出され、ファクスを自動的に受信します。

## 👁️ お願い

INSナンバー・ディスプレイ契約時は、アナログ・ダイヤルインの使用はできませんので、モデム・ダイヤルインをご使用ください。

## 📎 お知らせ

フラッシュモード中、INSなりわけ・疑似なりわけ利用中およびブザー呼出時は利用できません。

# 設定 step 1 アナログ・ダイヤルインを設定する

アナログ・ダイヤルインを選択し、アナログ通信機器に送出する番号を登録します。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート] タブをクリックする  
設定するポートのタブをクリックします。
- 4 設定項目から[よく利用する設定] を選択する
- 5 情報通知サービスからアナログ・ダイヤルインを選択する  
「アナログ・ダイヤルインを使用する」を選択します。



情報通知サービス①  
アナログ・ダイヤルインを使用する  
(初期値 使用しない)

## 6 内線指定番号を設定する

i・ナンバーの場合

内線指定番号は以下の手順で設定します。

- 1) [着信番号] 欄にある[番号設定] ボタンをクリックする
- 2) 内線指定番号4桁を入力する
- 3) [OK] ボタンをクリックする



	電話番号	内線指定番号
i・ナンバー情報 1①	0312341111	1234
i・ナンバー情報 2②	0312342222	5678
i・ナンバー情報 3③	0312343333	

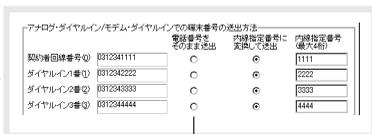
## ダイヤルインサービスの場合

内線指定番号は以下の手順で設定します。

- 1) [番号の送出方法]ボタンをクリックする



- 2) 「内線指定番号に変換して送出」を選択する
- 3) 内線指定番号4桁を入力する
- 4) [OK]ボタンをクリックする



(初期値:電話番号をそのまま送出する)

## 7 [OK]ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

- ・アナログ・ダイヤルインは、電話機から設定することができます。  
No.23: 情報通知サービス(☎5-107ページ)
- ・内線指定番号は、電話機から設定することができます。  
i・ナンバー使用時は、No.46:i・ナンバー情報と電話番号(☎5-114ページ)  
ダイヤルイン・サービス使用時は、No.42:着信番号(☎5-111ページ)

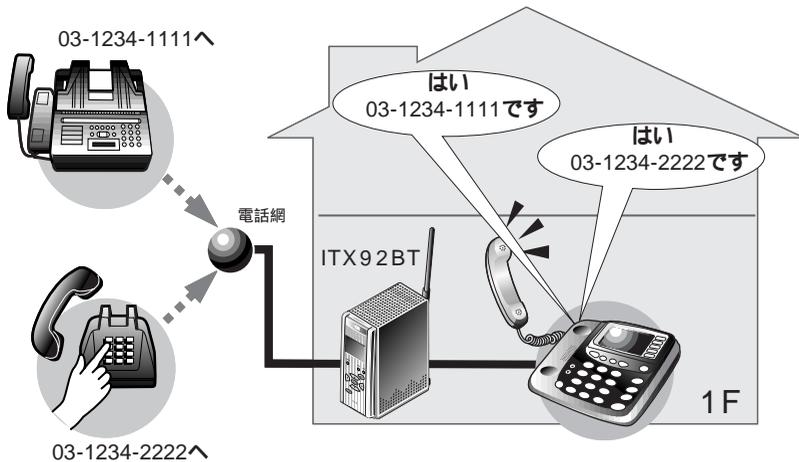
## 設定 step 2 アナログ通信機器にダイヤルイン番号を登録する

登録方法は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書をお読みください。  
登録する電話番号は、ITX92BTに設定した(送出する)電話番号と一致させてください。

# 1台の電話機で複数の電話番号を使う

(着信ダイヤルイン複数選択)

1台の電話機に複数の電話番号を割り当てることができます。相手がどの電話番号にかけても、同じ電話機が鳴ります。



## ポイント

複数の電話番号を使うとき、電話番号と着信させるアナログポートを1対1に対応させるのが一般的ですが、複数の電話番号を1つのアナログポートに着信させることもできます。

利用条件

	着信ダイヤルイン複数選択
追加契約	i・ナンバーまたはダイヤルインサービス
追加料金	付加サービス利用料
利用条件	i・ナンバーまたはダイヤルインサービスで複数の追加番号の契約が必要です。

## お知らせ

- ・i・ナンバーを使用する場合は、使用するi・ナンバー情報を登録しておきます(☎ 5-24ページ)。
- ・ダイヤルインサービスを使用する場合は、グローバル着信を使用する設定をし、使用する電話番号を登録しておきます(☎ 5-27ページ)。
- ・ファクス付き電話機の電話機能とファクス機能を別の電話番号で使い分ける場合は、モデム・ダイヤルイン(☎ 5-31ページ)またはアナログ・ダイヤルイン(☎ 5-35ページ)を設定してください。

## 設定 各ポートに電話番号を設定する

契約者回線番号や i・ナンバー情報、ダイヤルイン番号を、着信させたいポートに割り当てます。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [INS回線の電話番号の設定] ボタンをクリックする
- 3 追加の電話番号を入力する

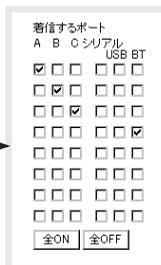
i・ナンバー情報またはダイヤルイン番号を追加で契約した場合は、追加分を入力します。



(画面は「i・ナンバーを使用しない」を選択したとき)

- 4 電話番号ごとに着信させるポートを選択する

電話番号ごとに、着信させるポートをチェックします。



[全ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートにすべての電話番号が着信するようになります。[全OFF] ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックがはずれます。

- 5 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

着信番号の割り当ては、電話機から設定することもできます。

- ・ i・ナンバーの場合は、No.21 : i・ナンバー利用時の i・ナンバー情報の割り当て (☎5-107ページ)
- ・ ダイヤルインサービスの場合は、No.18 : ダイヤルインサービス利用時の着信番号の割り当て (☎5-106ページ)

# メインの電話機に優先的に着信させる

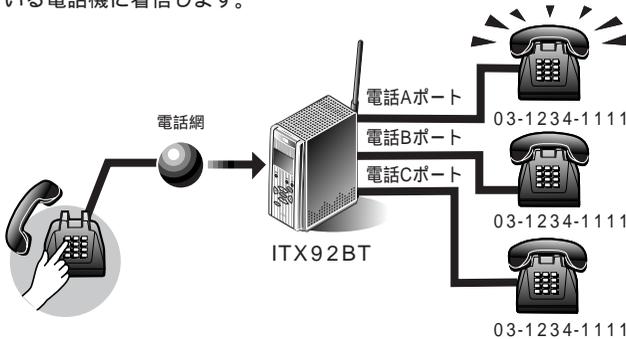
(優先着信ポート指定)

同じ電話番号で複数の電話機やファクスを使っている場合でも、メインで使いたい電話機が空いていれば、その電話機だけに着信させることができます。

## ポイント

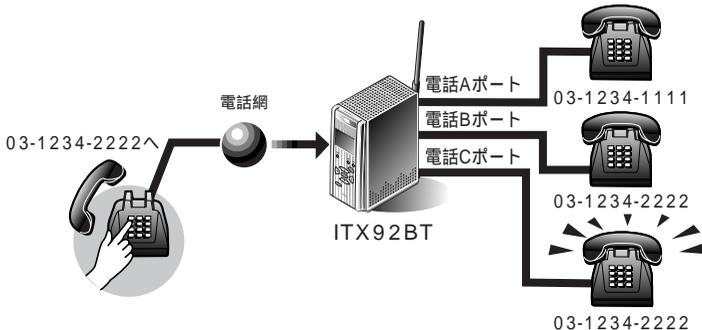
同じ電話番号を複数のアナログポートの着信電話番号に割り当てた場合に、優先的に着信させるアナログポートが指定できます。

たとえば、電話A・B・Cの各ポートが同じ電話番号の場合、電話Aポートを優先着信ポートにすると、電話Aポートが空いていれば電話Aポートに接続している電話機だけに着信します。電話Aポートが空いていないときだけ、電話Bポートおよび電話Cポートに接続している電話機に着信します。



i・ナンバーやダイヤルインサービスで複数の電話番号を利用している場合は、優先着信で選択したアナログポートと同じ電話番号が割り当てられているアナログポートだけが、優先着信の対象となります。

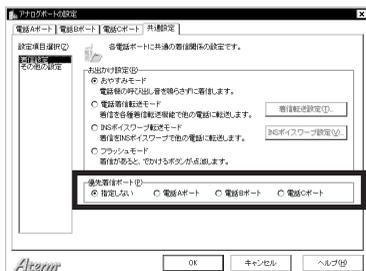
たとえば、下図のように電話番号が割り当てられていて、電話Cポートを優先着信ポートに設定したとします。03-1234-2222に電話がかかると、電話Cポートが電話Bポートよりも優先されます(電話Aポートには影響しません)。



## 設定

## 優先するポートを選択する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から[着信設定]を選択する
- 5 優先着信ポートを選択する  
優先着信ポートを1つ選択します。



- 6 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

- ・データポートにも同様に優先順位をつけることができます。
- ・ホームテレホン/ビジネスホンと接続する場合(☎8-34ページ)は、優先着信させるポートを必ず指定してください。
- ・電話機から設定することができます。  
No.25：優先着信ポート(☎5-109ページ)

## サブアドレスで特定の電話機に着信させる

サブアドレスを利用すると、電話番号が1つしかなくても電話機を呼び分けることができます。サブアドレスが正しいときだけ着信させることができるので、着信を制限するために使うこともできます。

## ポイント

INSネット64やPHSでは、電話をかけるときに電話番号にサブアドレスを加えることができます。サブアドレスは、電話番号に加えることのできる補助番号で、19桁までの任意の番号を使用できます。

着信側でサブアドレスを設定し、サブアドレスが一致したときだけ着信させるようにしておくと、相手が正しいサブアドレスを付けてダイヤルしたときにしか着信しません。サブアドレスはポートごとに設定できるので、電話番号が同じでも、異なるサブアドレスを使うことによって、特定のポートに着信させることが可能になります。

 利用条件

	サブアドレス
追加契約	不要
追加料金	不要
利用条件	INSネット64の基本サービスです。
その他	-

 通話可能な組み合わせ

発信側のサブアドレス通知の有無と、着信側の設定の組み合わせによって、実際に通話できるかどうかが決まります。

			発信側の設定	
			サブアドレス通知なし	サブアドレス通知あり
着信側の設定	サブアドレスなし着信する	サブアドレス登録なし		×
		サブアドレス登録あり		アドレス一致 アドレス不一致 ×
	サブアドレスなし着信しない	サブアドレス登録なし	×	×
		サブアドレス登録あり	×	アドレス一致 アドレス不一致 ×

:通話可能 ×:通話拒否

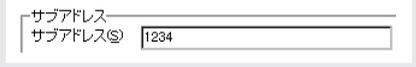


## 自己サブアドレスを設定する(着信側)

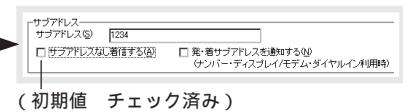
着信側は、あらかじめポートごとにサブアドレスを設定しておきます。サブアドレスに使う番号は自由に決めることができます。

相手に電話番号と設定したサブアドレスを知らせてください。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定]ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]/[電話Cポート]タブをクリックする
- 4 設定項目から、[高度な設定]を選択する
- 5 サブアドレスを入力する  
サブアドレスを19桁以内の数字で入力します。



- 6 必要ならサブアドレスなし着信を解除する  
サブアドレスが指定されない着信を拒否するときは、「サブアドレスなし着信する」のチェックをはずします。



電話機能

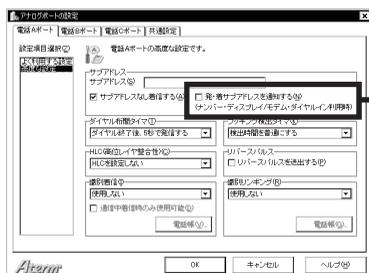
5

サブアドレスで特定の電話機に着信させる

## お願い

「サブアドレスなし着信をしない」に設定すると、サブアドレスが指定されない着信を一切受け付けなくなります。相手が電話回線(アナログ網)のときは、サブアドレスを付けて電話をかけることはできないので、着信することができません。ご注意ください。

- 7 必要に応じて発・着サブアドレス通知を選択する(電話Cポートは設定できません)  
 ナンバー・ディスプレイまたはモデム・ダイヤルインを使用する際に、相手のサブアドレスをサブアドレス表示機能のあるアナログ通信機器に通知するとき、以下の設定を行います。



「発・着サブアドレスを通知する」をチェックします。

発・着サブアドレスを通知する(N)  
 (ナンバー・ディスプレイ/モデム・ダイヤルイン利用時)

(初期値 チェックなし)

- 8 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。次の順番で行います。

サブアドレスの番号を登録する

No.20：自己サブアドレス(☎5-107ページ)

「サブアドレスのない着信をしない」に設定する

No.6：サブアドレスのない着信(☎5-105ページ)

必要に応じて「発・着サブアドレスを通知する」に設定する

No.10：発・着サブアドレス(☎5-106ページ)

## 操作 サブアドレスを付けて電話をかける(発信側) 一

相手を呼び出す際にサブアドレスを使用する場合、相手の電話番号にサブアドレスを付けて電話をかけます。双方がINSネット64に加入している必要があります。

- 1 電話機の受話器をあげる

- 2 [電話番号]+[\*]+[サブアドレス]をダイヤルする

(例)電話番号 03-1111-1234、  
 サブアドレス 100の場合

0 3 1 1 1 1  
 1 2 3 4 \* 1 0 0

を押します。

## お知らせ

着信時はサブアドレスを自動的にチェックするので、特別な操作は必要ありません。

## 電話中に別の電話を受ける

(INSキャッチホン/疑似キャッチホン)

通話中に別の相手から電話がかかってきたときに「プブ、プブ・・・」という割込音でお知らせします。

INSキャッチホンと疑似キャッチホンがあります。

### ポイント

- ☑ フレックスホンのINSキャッチホン(INSネット64)と疑似キャッチホン(ITX92BT機能)の違い

	INSネット64フレックスホン INSキャッチホン	ITX92BT 疑似キャッチホン
追加契約	フレックスホンのINSキャッチホン	不要
追加料金	付加サービス使用料	不要
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、空いているポートで通話や通信ができます。	B1・B2チャンネルを両方使うため、ほかのポートを使用できません(内線通話のみ可能)。
利用条件	通信中着信通知サービスも契約してください。	-

### お知らせ

- ・INSナンバー・ディスプレイ契約時はキャッチホン・ディスプレイ機能を使うことができます(☎ 5-61ページ)。
- ・INSキャッチホンで割り込みさせる相手をあらかじめ制限しておくことができます。「キャッチホンを受け付ける相手を限定する(選択キャッチホン/疑似選択キャッチホン)」(☎ 5-92ページ)。
- ・フレックスホン(INSキャッチホン・通信中転送・三者通話・着信転送)を契約している場合も疑似キャッチホンは利用できますが、INSキャッチホンと疑似キャッチホンを同時に利用することはできません。
- ・ITX92BTに接続した2台の電話機がそれぞれ通話中に、さらに別の相手から電話がかかってきたときは、INSキャッチホンを設定しているアナログポートの中で若いアルファベットのポートにのみ「プブ、プブ...」という割込音が聞こえます。たとえば、電話Aポートと電話BポートにINSキャッチホンを設定している場合は、電話Aポートに割込音が聞こえます。

## 設定 キャッチホンを設定する

フレックスホンのINSキャッチホンと疑似キャッチホンの、どちらを利用するかをポートごとに設定します。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]/[電話Cポート] タブをクリックする  
設定するポートのタブをクリックします。
- 4 設定項目から[よく利用する設定] を選択する
- 5 キャッチホンの方法を選択する

「INSキャッチホンを使用する」または「疑似キャッチホンを使用する」を選択します。



(初期値 使用しない)

- 6 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お願い

ファクスやモデムを接続したポートには、キャッチホンを設定しないでください。通信中に割込音が入ると、通信エラーとなります。

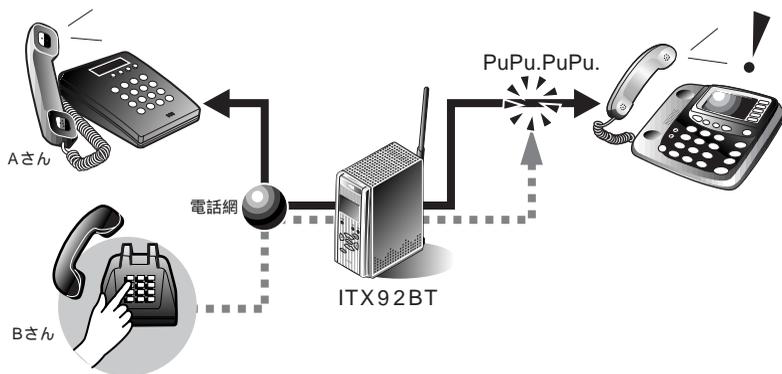
## お知らせ

電話機から設定することができます。

No.2 : キャッチホン(☎ 5-105ページ)

## 操作 キャッチホンを受ける

通話中に別の電話がかかってきたとき( 割込音が聞こえたとき )は、フッキングで相手を切り替えます。



**1** Aさんとの通話中に「プブ、プブ...」という割込音が聞こえる

Bさんから電話がかかっています。Bさんには、呼出音が聞こえています。

**2** フッキングする(  5-8 ページ )

Bさんとの電話に出ることができます。Bさんと話している間、Aさんには保留音が流れます。もし、この間にAさんが電話を切ると、Aさんとの通話は終了します。

**3** もう一度フッキングする

Aさんとの通話に戻り、Bさんには保留音が流れます。

以降、フッキングするたびに、相手が交互に切り替わります。

## 三人で同時に話す (三者通話/疑似三者通話)

通話中にもう一人を呼び出して三人で通話します。INSネット64のフレックスホンの三者通話と疑似三者通話があります。

### ポイント

INSネット64のフレックスホンの三者通話とITX92BTの機能の疑似三者通話には、次のような違いがあります。

INSネット64三者通話と疑似三者通話の違い

	INSネット64フレックスホン 三者通話	ITX92BT 疑似三者通話
追加契約	フレックスホンの三者通話	不要
追加料金	付加サービス使用料	不要
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、三者通話中でも空いているポートで通話や通信が可能です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B1・B2チャンネルを両方使うため、三者通話中は他のポートは使用できません。(内線電話のみ可能)</li> <li>・通信中転送は利用できません。</li> <li>・ミキシングモードから切替モードには移行できません。</li> </ul>
利用条件	-	-
その他	通信中転送も同時に契約してください。	-

### お知らせ

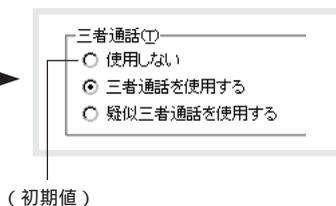
疑似三者通話(ミキシングモード)の終了時は、最後の発信にかかった通話料金がらくらくアシスタントの直前通信料金に表示されます(『データ通信ガイド』Atermのその他の機能 - AtermITX92BTの現在の状態を確認する)。

## 設定 三者通話を設定する

フレックスホンの三者通話と疑似三者通話のどちらを利用するかを設定します。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から[その他の設定] を選択する
- 5 三者通話の方法を選択する

「三者通話を使用する」または「疑似三者通話を使用する」を選択します。



- 6 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

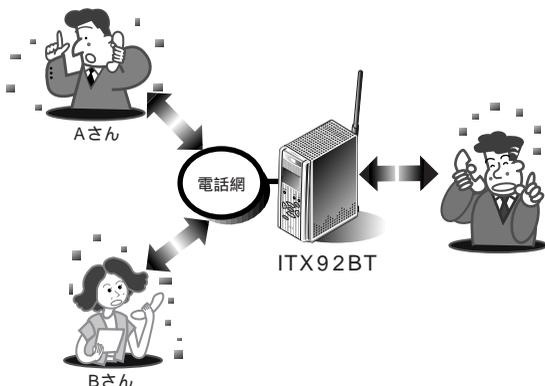
電話機から設定することができます。  
No.27 : 三者通話 (☎5-109ページ)

## 操作 三者通話する

三者同時に会話するミキシングモードと、二者を切り替えて会話する切替モードがあります。

### ミキシングモード(三者同時に会話する)

三人で同時に会話できます。



- 1 Aさんとの通話中にBさん呼び出す  
1) フッキングします。(☎ 5-8ページ)

Aさんには、保留音が聞こえます。

- 2) 「ブブブ・・・」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルします。

Bさんが電話に出れば、話ができます。

- 2 Aさん、Bさん、自分の三人で会話する  
フッキングし、「ブブブ・・・」という音が聞こえたらもう一度フッキングします。

Aさん、Bさん、自分の三人で同時に会話できます。

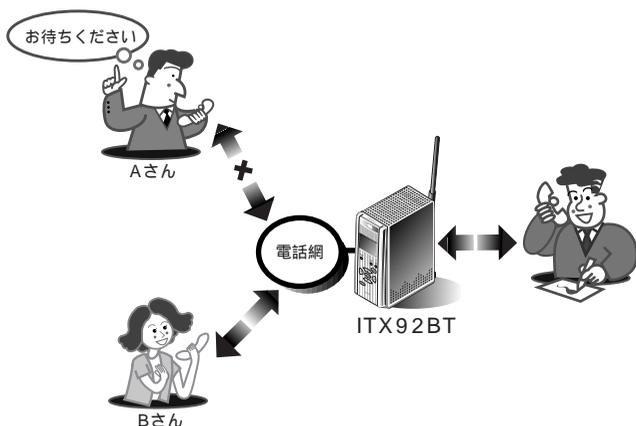
- 3 電話を切る

1秒以上受話器を戻すか、フックスイッチを長く押します。

AさんとBさん両方との電話が切れます。

## 切替モード(二者を切り替えて会話する)

通話中の相手を切り替えて交互に会話します。同時に会話できるのは二人です。



### 1 Aさんとの通話中にBさん呼び出す

- 1) フッキングする(☞5-8ページ)  
Aさんには、保留音が聞こえます。
- 2) 「プププ・・・」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルします。  
Bさんが電話に出れば、話ができます。

### 2 Aさんとの通話に戻る

Bさんとの通話中にフッキングすると「ププッ、ププッ」という音が聞こえ、その音が停止した後にAさんとの通話に戻ります。  
この操作を繰り返し、何度でも通話を切り替えることができます。

### 3 電話を切る

- 1) 1秒以上受話器を戻すか、フックスイッチを長く押します。  
現在通話中の相手との電話が切れます。
- 2) 着信音が鳴ったら、受話器を取ります。  
保留中の相手と話ができます。

## お知らせ

切替モードとミキシングモードを切り替えるには、2回続けてフッキングします。ただし、疑似三者通話の場合は、切替モードからミキシングモードへは移行できませんが、ミキシングモードから切替モードに切り替えることはできません。

# 自分の電話番号を相手に知らせる

(発信者番号通知)

電話をかけるときに、自分の電話番号を相手に知らせます。相手の方がナンバー・ディスプレイを使っている場合やINSネット64を使っている場合、相手側の電話機にこちらの電話番号を表示します。

## ポイント

通知した電話番号が相手側に表示されるのは、次のような場合です。

- ・INSナンバー・ディスプレイを契約し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を使っている場合
- ・PHSやデジタル携帯電話の場合

186 / 184 を付ける

発信者番号の通知する / しないを一時的に変更したい場合は、相手の電話番号をダイヤルする前に、 または  をダイヤルしてください。INSネット64の契約やITX92BTの設定内容に関係なく、通知する / 通知しないを指定できます。

186(通知する) : 電話番号が通知されます。

184(通知しない): 電話番号は通知されません。

発信者番号を通知する / 通知しないの組み合わせ

INSネット64の契約やITX92BTの設定、186 / 184の付加の組み合わせによって、実際に通知する / しないは次のようになります。

INSネット64の契約	発信時のダイヤル	ITX92BTの設定		
		通知しない	通知する	INSネット64の申込内容に従う
通常通知 (通話ごと非通知)	相手の電話番号	×		
	184 + 相手の電話番号	×	×	×
	186 + 相手の電話番号			
通常非通知 (回線ごと非通知)	相手の電話番号	×		×
	184 + 相手の電話番号	×	×	×
	186 + 相手の電話番号			

:通知する    ×:通知しない

## お知らせ

INSネット64で常時通知拒否をご契約の場合、ITX92BTの設定や186 / 184の付加に  
関係なく、常に通知されません(常時通知拒否は以前にあった契約パターンです。現在、  
新しく常時通知拒否を契約することはできません)。

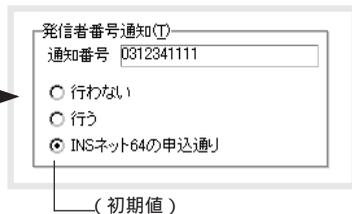
## 設定 step 1 発信者番号通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを、ポートごとに設定します。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定]ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]/  
[電話Cポート]タブをクリックする  
設定するポートのタブをクリックし  
ます。
- 4 設定項目から[よく利用する設定]  
を選択する

### 5 番号通知を選択する

契約内容に関わりなく通知するときは「行う」を、契約通りとするときは「INSネット64の  
申込通り」を選択します。



### 6 [OK]ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お願い

発信者番号通知の設定はアナログポートごとに設定してください。

## お知らせ

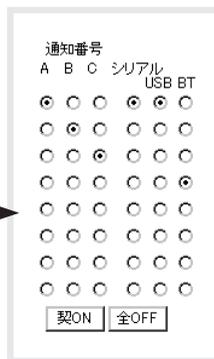
- ・電話機から設定することができます。  
No.9：発信者番号通知(☎ア5-106ページ)
- ・データポートの設定は、添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』の「データ通信」を参照してください。

## 設定 step 2 通知する電話番号を設定する

相手に通知する電話番号を、ポートごとに設定します。契約者回線番号、ダイヤルイン番号、i・ナンバー情報として登録した番号の中から、通知する番号をポートごとに選択できます。何も設定しなければ、契約者回線番号が通知されます。

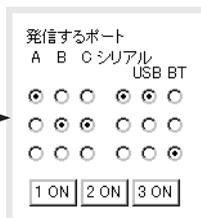
- 1 しばらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [INS回線の電話番号の設定] ボタンをクリックする
- 3 ポートごとに電話番号を選択する  
通知する電話番号を選択します。ポートごとに1つの電話番号を選択できます。

- ・i・ナンバーを使用しないとき



[契ON]ボタンをクリックすると、すべてのポートの通知番号が契約者回線番号となります。[全OFF]ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックがはずれます。

・i・ナンバーを使用するとき



[1 ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートの通知番号が i・ナンバー情報 1 となります。[2 ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートの通知番号が i・ナンバー情報 2 となります。[3 ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートの通知番号が i・ナンバー情報 3 となります。

4 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります

お知らせ

電話機から設定することができます。

i・ナンバーを利用する場合は、No.22 : i・ナンバー利用時の発信者通知番号 (☎5-107ページ)

i・ナンバーを利用しない場合は、No.19 : i・ナンバー以外での発信者通知番号 (☎5-107ページ)

# かけてきた相手の電話番号を表示する

(INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト)

電話がかかってきたときに、相手の電話番号をナンバー・ディスプレイに対応した電話機に表示します。電話に出る前に相手が誰なのかわかるので安心です。

## ポイント

### INSナンバー・ディスプレイ

INSナンバー・ディスプレイを契約し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクス(アナログ通信機器)を使用すると、電話がかかってきたときに相手の電話番号が電話機やファクスのディスプレイに表示されます。相手が電話番号を通知(発信者番号通知)してこない場合は、電話番号が表示されず、通知しない理由(非通知・公衆電話・表示圏外)が表示されます。

### INSナンバー・リクエスト

電話番号を通知してこない相手に、音声で電話番号を通知してかけ直すようメッセージを流します。電話番号を通知してこない電話は、こちらには着信しません。

### 利用条件

	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・リクエスト
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイ INSナンバー・リクエスト
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
利用条件	相手の電話番号を表示させるには、ナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。	INSナンバー・リクエストは、INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。
その他	電話Cポートでは、INSナンバー・ディスプレイが働きません。電話Aポートまたは電話Bポートを使用してください。	

## 👁️ お願い

- ・INSナンバー・ディスプレイを契約しないでITX92BTにナンバー・ディスプレイを設定しても、接続したナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に電話番号は表示されません。
- ・1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続した場合、ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を使用している場合でも電話番号が正常に表示されません。
- ・INSナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、着信中はらくらくアシスタントの[OK]ボタンや[登録]ボタンをクリックしないでください。

## お知らせ

- ・INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、電話をかけてきた相手がISDN回線・携帯電話・PHSなどからかけてきている場合は、ITX92BTの液晶ディスプレイに、それらの電話番号を表示します。
- ・相手が使用しているPHSやデジタル携帯電話の機種によっては、電話番号が表示されないことがあります。
- ・INSナンバー・リクエストで相手に応答している場合、こちらの電話機の着信音は鳴りません。電話をかけた人には電話料金がかかります。
- ・INSネット64加入者・デジタル携帯電話・PHSから発信者番号を通知して電話がかかってきた場合は、INSナンバー・ディスプレイの契約をしなくても、ITX92BTの液晶ディスプレイやナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に相手の電話番号が表示されます。INSナンバー・ディスプレイを契約すると、アナログ回線からかかってきた電話番号も表示されるようになります。
- ・発信者番号通知については、「自分の電話番号を相手に知らせる(発信者番号通知)」( 5-53ページ)をお読みください。
- ・お使いのアナログ通信機器がナンバー・ディスプレイに対応していても、機種によっては、発信者番号が正常に表示されないことがあります。
- ・INSキャッチホン( 5-46ページ)を契約すると、キャッチホンの相手の電話番号も表示されます( 5-61ページ)。
- ・通話が終了してすぐに着信音が鳴った場合、発信者番号は表示されません。

# 設定 ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを使用するように設定します。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート] タブをクリックする  
設定するポートのタブをクリックします。
- 4 設定項目から[よく利用する設定] を選択する
- 5 情報通知サービスからナンバー・ディスプレイを選択する  
「ナンバー・ディスプレイを使用する」または「ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する (モデム・ダイヤルイン使用の場合)」を選択します。



情報通知サービス①  
ナンバー・ディスプレイを使用する  
(初期値 使用しない)

- 6 設定項目から、[高度な設定] を選択する
- 7 必要に応じて発・着サブアドレス通知を選択する

接続するアナログ通信機器にサブアドレスの表示機能がある場合には、相手のサブアドレスを表示することができます。

「発・着サブアドレスを通知する」をチェックします。



サブアドレス  
サブアドレス②  
 サブアドレスなし着信する③  発・着サブアドレスを通知する④  
(ナンバー・ディスプレイ/モデム・ダイヤルイン利用時)  
(初期値 チェックなし)

電話機能

5

かけてきた相手の電話番号を表示する (このナンバー・ディスプレイとこのナンバー・リクエスト)

## 8 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お願い

相手からサブアドレスが通知された場合、ITX92BTは電話番号とサブアドレスを / (スラッシュ) などで区切って、アナログ通信機器に通知します。アナログ通信機器にサブアドレスの表示機能がない場合は、ITX92BTの「発・着サブアドレスを通知する」のチェックをはずしてください(☎5-45ページ)。

## お知らせ

電話機から設定することができます。

No.23：情報通知サービス(☎5-107ページ)

# キャッチホンで受ける電話の番号も表示する

(キャッチホン・ディスプレイ)

通話中に別の相手から電話がかかってきたときにも、相手の電話番号を電話機に表示します。

## ポイント

キャッチホン・ディスプレイは、ナンバー・ディスプレイをキャッチホンのときにも表示できるように機能を拡張したものです。INSナンバー・ディスプレイを利用する場合の条件に加えて、電話機やファクス付き電話機がキャッチホン・ディスプレイに対応していなければなりません。さらに、INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンの設定が必要です。

### ☑ 利用条件

	INSキャッチホンを利用する場合	疑似キャッチホンを利用する場合
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ INSキャッチホン	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	両方のサービスの付加サービス使用料	付加サービス使用料
利用条件	キャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。	

電話Cポートでは、キャッチホン・ディスプレイがはたらきません。電話Aポートまたは電話Bポートを使用してください。

## 🔧 設定 step 1 ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを使用するように設定します。

「かけてきた相手の電話番号を表示する(INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト)」(☎5-57ページ)

## 🔧 設定 step 2 キャッチホンを設定する

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンの設定をします。

「電話中に別の電話を受ける(INSキャッチホン/疑似キャッチホン)」(☎5-46ページ)

## 🔧 設定 step 3 キャッチホン・ディスプレイを設定する

1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する

2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする

3 [電話Aポート]/[電話Bポート] タブをクリックする

設定するポートのタブをクリックします。

4 設定項目から[ よく利用する設定 ]を選択する

5 キャッチホン・ディスプレイの使用をチェックする

キャッチホン・ディスプレイを使用するかどうかを、電話ポートごとに設定します。



**キャッチホン・ディスプレイを使用する**  
(初期値 チェックなし)

6 必要に応じて、発・着サブアドレスを選択する

接続するアナログ通信機器にサブアドレス機能がある場合には、相手のサブアドレスを表示することができます。設定項目から[ 高度の設定 ]を選択し、「発・着サブアドレスを通知する」をチェックします。

7 [ OK ] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

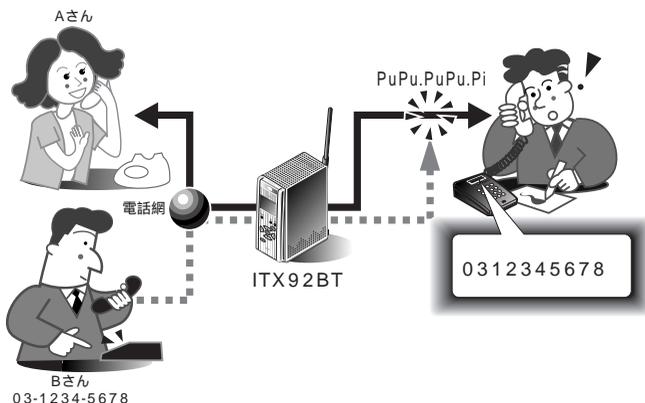
## お知らせ

電話機から設定することができます。

No.17 : キャッチホン・ディスプレイ(☎5-106ページ)

## 操作 キャッチホンを受ける

通話中に別の電話がかかってくると、新しい相手の電話番号が電話機のディスプレイに表示されます。受ける操作は通常のキャッチホンと同じです。



1 Aさんとの通話中に「ブブ、ブブ…、ピッ」という音が聞こえる

電話機のディスプレイに新しくかけてきた相手であるBさんの電話番号が表示されます。

2 フッキングする

Bさんの電話に出ることができます。Bさんと話している間、Aさんには保留音が流れます。

3 もう一度フッキングする

Aさんとの通話に戻り、Bさんには保留音が流れます。以降、フッキングするたびに相手が交互に切り替わります。

## お願い

- ・お使いのアナログ通信機器がキャッチホン・ディスプレイに対応していても、機種によっては、発信者番号が正常に表示されないことがあります。
- ・相手からサブアドレスが通知された場合、ITX92BTは電話番号とサブアドレスを / (スラッシュ)などで区切って、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に通知します。ただし、アナログ通信機器にサブアドレスの表示機能がない場合は、ITX92BTの発・着サブアドレスを通知しないように設定してください(☞P5-45ページ手順7)。
- ・キャッチホン・ディスプレイの割り込み音は、「ブブ、ブブ…」のあとに「ピッ」という音が聞こえます。「ピッ」が通話の声などに重なると、電話番号が正しく表示されないことがあります。また、1秒程度通話がとぎれます。
- ・お出かけ設定の「フラッシュモード」、または「停電時にブザーを鳴らす」を設定していると、電話番号が正しく表示されないことがあります。
- ・内線通話中に外線から着信があったときは、キャッチホンの設定をしていなくても、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に電話番号を表示します。

## お知らせ

相手から電話番号が通知されなかったときは、通知されない理由(非通知・公衆・表示圏外)が表示されます。

## 外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する (お出かけ設定)

外出時や就寝中など電話に出られないときは、お出かけ設定を使うと便利です。でかけるボタンを押すだけで、電話を転送したり、電話のベル(着信音)を鳴らさないようにしたりできます。

### ポイント

お出かけ設定には4種類のモードがあります。前もって下記のいずれか1つのモードを選択し、転送条件などの設定作業を行います。

お出かけ設定を開始するときは、でかけるボタンを押してください(☎5-68ページ)。

#### おやすみモード

電話がかかってきたとき、着信音を鳴らす代わりにITX92BTのディスプレイのピクトグラム A B C を点滅させて知らせます。着信ポートがわかるので、電話に出ることができます。

#### 電話着信転送モード

フレックスホンの「着信転送」やITX92BTの「疑似着信転送」でかかってきた電話を転送します。

また、BIGLOBEに加入し遊遊メールを契約している場合は、「電話番号着信通知」を使って相手の電話番号を電子メールで知らせることもできます。

フレックスホンの着信転送を使う場合はINSネット64の追加契約が、電子メールで通知する場合はBIGLOBEの遊遊メールの契約が必要です。また、転送方法や転送条件などの設定作業も必要です。以下のページもあわせてお読みください。

「かかってきた電話を転送する(着信転送 / 疑似着信転送 / 電話番号着信通知)」(☎5-69ページ)

なお、疑似着信転送を使用する場合は、Bチャンネルが2本とも空いている状態のときだけ電話を転送することができます。

#### ボイスワープ転送モード

INSボイスワープを使って電話を転送します。INSボイスワープ / INSボイスワープ・セレクトの契約や転送条件などの設定作業が必要です。以下のページもあわせてお読みください。

「ボイスワープで転送する(INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)」(☎5-76ページ)

#### フラッシュモード

電話のベル(着信音)を鳴らしたくないときは、フラッシュモードにします。着信時は、でかけるボタンが点滅します。どのポートに着信したかはわかりません。

## 👁️ お願い

おやすみモードの利用時は、次のことに注意してください。

- ・着信にコードレス子機で応答する場合は、子機の「通話」ボタンや「外線」ボタンを押してください。ボタンを押さないと、数十秒で電話が切れることがあります。
- ・ナンバー・ディスプレイを設定したアナログポートに着信があった場合でも、接続している電話機の種類によっては電話番号が表示されないものがあります。
- ・モデム・ダイヤルインを設定したアナログポートに着信があった場合、着信音を鳴らさないで、着信している電話機がわからなくなることがあります。
- ・アナログ・ダイヤルインを設定しているアナログポートへは着信しません。

### ☑️ 各モードの違い

	おやすみモード	電話着信転送モード	ボイスワープ転送モード	フラッシュモード
追加契約	不要	「着信転送」利用時は必要 「疑似着信転送」利用時は不要	INSボイスワープ / INSボイスワープ・セレクト	不要
追加料金	不要	「着信転送」利用時は付加サービス使用料が必要 「疑似着信転送」利用時は不要	付加サービス使用料	不要
着信時の動作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・でかけるボタンを点滅させます。また、着信したアナログポートのビクトグラム(A、B、C)を点滅させます。</li> <li>・一度着信すると、その後はでかけるボタンが点滅したままになります。</li> </ul>	着信転送と疑似着信転送の場合は、設定された電話番号に転送されます。電話番号着信通知の場合は、相手の電話番号が電子メールで通知されます。	設定された電話番号に転送されます。	でかけるボタンを点滅させます。どのポートに着信したかはわかりません。電話が切断されると点灯が変わります。
利用条件	-	「電話番号着信通知」を利用するには、BIGLOBEへの加入、遊遊メールの契約、INSネット64の発信者番号通知の契約が必要です。	-	-
その他	点滅したアナログポートに接続した電話機の手話器をあげると、通話できます。	ITX92BTに設定が必要です(「かかってきた電話を転送する」 <a href="#">P5-69ページ</a> )	ITX92BTに設定が必要です(「ボイスワープで転送する」 <a href="#">P5-76ページ</a> )	-

## 設定 step 1 電話着信転送モード/ボイスワープ転送モードの設定をする

電話着信転送モードまたはボイスワープ転送モードを使用する場合は、それぞれ設定が必要です。

着信転送 / 疑似着信転送 / 電話番号着信通知の場合

「かかってきた電話を転送する(着信転送 / 疑似着信転送 / 電話番号着信通知)」(☞5-69ページ)

INSボイスワープまたはINSボイスワープ・セレクトの場合

「ボイスワープで転送する(INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)」(☞5-76ページ)

## 設定 step 2 お出かけ設定のモードを選択する

ITX92BT前面の操作ボタン、らくらくアシスタントまたは電話機のボタンを使って、お出かけ設定の4種類のモードから使用するモードを選択します。

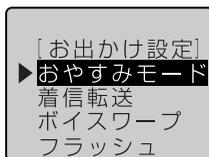
操作ボタンを使って選択する

1 (MENU) ボタンを押す

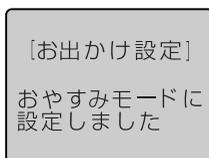
2 (▼) ボタンまたは(▲) ボタンを押して、「お出かけ設定」を反転表示させ、(ENTER) ボタンを押す



3 (▼) ボタンまたは(▲) ボタンを押して、使用するモードに矢印を合わせ、(ENTER) ボタンを押す



メッセージが表示され、使用するモードが選択されます。



## お知らせ

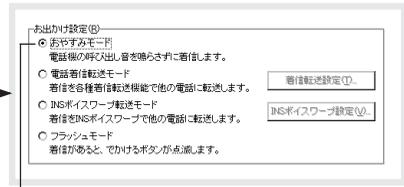
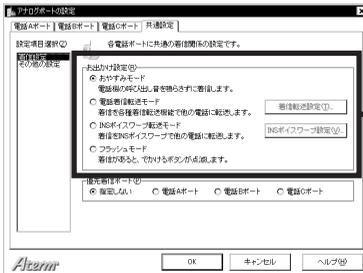
操作を中止するときは、(CLR) ボタンを押します。

## お願い

「番号を設定してください」と表示されたときは、(CLR) ボタンを押して操作を中止し、電話番号や設定条件などを登録してから再度操作してください(☞5-69ページおよび5-76ページ)。

## らくらくアシスタントを使って選択する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から[着信設定] を選択する
- 5 モードを選択する  
使用するモードを選択します。

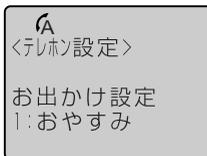


(初期値 おやすみモード)

- 6 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## 電話機のボタンを使って選択する

- 1 受話器をあげる
- 2 \* \* 1 \* 4 \* 7 3 \* を押す
- 3 選択するモードのボタンを押す
  - 1 : おやすみモード(初期値)
  - 2 : 電話着信転送モード
  - 3 : ボイスワープ転送モード
  - 4 : フラッシュモード
- 4 # # を押す
- 5 受話器を戻す





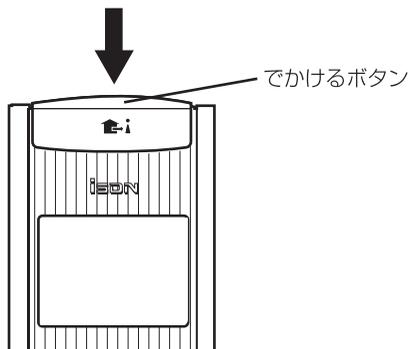
## 操作

### お出かけ設定を開始 / 停止する

でかけるボタンを押して、お出かけ設定を開始します。

#### 1 でかけるボタンを上から1秒以上押す

「ピッ」と音がして、でかけるボタンがオレンジ色に点灯します。また、液晶ディスプレイに、設定されているお出かけ設定のモードが表示されます。これでお出かけ設定が開始されます。表示されたモードがご利用になりたいモードと違う場合は、次の手順2でお出かけ設定を停止してから、Step2(  5-66ページ)に戻って、モードの選択を行ってください。



#### 2 お出かけ設定を停止するときは、でかけるボタンをもう一度1秒以上押す

### お知らせ

でかけるボタンを押したあとで、もう一度押すときは、1秒以上待ってから押ししてください。



## 操作

### でかけるボタンをロックする / 解除する

間違えて、でかけるボタンを押してお出かけ設定を開始してしまわないように、でかけるボタンをロックすることができます。

#### 1 ボタンを6秒続けて押す

#### 2 「でかけるボタンをロックしました」または「でかけるボタンをロック解除しました」と液晶ディスプレイに表示されたら手を離す

でかけるボタンがロック(または解除)されます。

### お知らせ

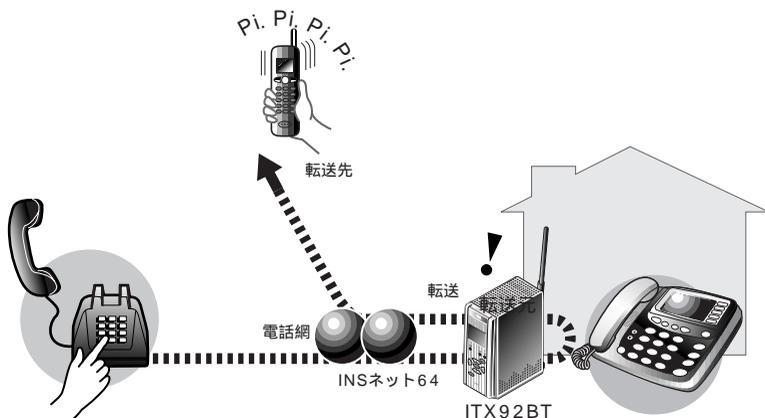
購入時は、でかけるボタンはロックされています。最初にロックを解除してください。

# かかってきた電話を転送する

(着信転送/疑似着信転送/電話番号着信通知)

かかってきた電話をほかの電話番号に自動的に転送します。INSネット64の着信転送と疑似着信転送があります。電話への転送ではなく、かけてきた相手の電話番号をメールで知らせる電話番号着信通知も利用できます。

着信転送または疑似着信転送を利用される方は☎ 5-71ページ  
電話番号着信通知を利用される方は☎ 5-73ページ



## ポイント

着信転送には、INSネット64の着信転送と、ITX92BTの機能の疑似着信転送があります。

電話番号着信通知は、電話を転送する代わりに、電子メールで相手の電話番号を知らせるもので、BIGLOBEの遊遊メールサービスを使います。アナログポートには、通常どおり着信しますので、留守番電話に残されたメッセージの相手の確認や着信したファクスの送り主の確認などに便利です。

着信転送か電話番号着信通知のいずれか1つを選択し、転送条件などの設定を行います。転送を開始するときは、でかけるボタンを押すだけです。

- ☑ フレックスホン 着信転送 (INSネット64)/疑似着信転送 (ITX92BT機能)/電話番号着信通知 (遊遊メール)の違い

	INSネット64 フレックスホン 着信転送	ITX92BT 疑似着信転送	電話番号着信通知 (遊遊メール)
追加契約	フレックスホンの着信転送	不要	NECのインターネットプロバイダ「BIGLOBE」の「遊遊メール」の契約が必要 INSネット64のユーザー間情報通知サービスの契約が必要
追加料金	付加サービス使用料	不要	「遊遊メール」利用料など
サービスの違い	・転送中はBチャンネルを1本しか使わないため、空いているポートで通話や通信が可能です。 ・着信時に転送トーク <sup>*1</sup> 、転送元トーク <sup>*2</sup> の流し方を指定できます。	・B1・B2チャンネルを両方使うため、着信転送時は、他のポートは使用できません(内線電話のみ可能)。 ・転送トークや転送元トークが流れません。	かけてきた相手の電話番号を遊遊メール形式にして「BIGLOBE」のメールサーバへ自動的に送信します。電子メールで、かけてきた相手の電話番号を知ることができます。
利用条件	-	-	発信者番号通知を行う必要があります。
その他	-	INSネット64の申込内容が通常通知(通話ごと非通知)の場合は、転送先には電話番号を通知します。i・ナンバー利用の時は、着信したi・ナンバー情報を、それ以外は契約者回線番号を通知します。	遊遊メールについて詳しくは、「Atermで使えるメール機能」(添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』)をお読みください。

\*1 転送トーク:「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください」という音声メッセージ

\*2 転送元トーク:「電話が転送されますので、そのままお待ちください」という音声メッセージ

## お知らせ

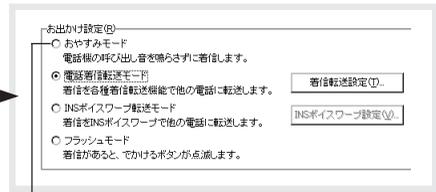
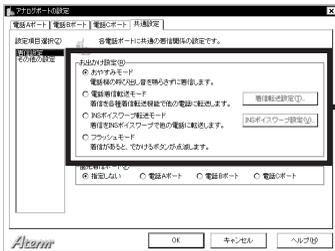
- これらの機能を開始するときは、でかけるボタンを使用します。  
「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」(添付5-64ページ)

- ・特定の相手からの電話のみを転送する場合は、識別着信転送を使います。  
「特定の電話だけを転送する(識別着信転送)」(☞5-102ページ)
- ・話中時や無応答時など条件付きで転送する場合は、INSボイスワープを使います。  
「ボイスワープで転送する(INSボイスワープとINSボイスワープセレクト)」(☞5-76ページ)
- ・ITX92BTまでの通話料金は発信者に、ITX92BTから転送先の通話料金はITX92BT側にかかります。疑似着信転送を使う場合、かかった料金は電話Aポートに蓄積されます。
- ・着信転送 / 疑似着信転送はアナログポートに電話機を接続しなくても利用できます。
- ・ITX92BTに着信があっても着信音は鳴りません。

## 設定 着信転送または疑似着信転送を利用する場合

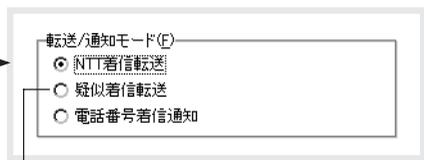
電話着信転送モードを選び、転送の種類や転送条件などを登録します。転送元や転送先電話番号も登録してください。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から [着信設定] を選択する
- 5 「電話着信転送モード」を選択する



(初期値 おやすみモード)

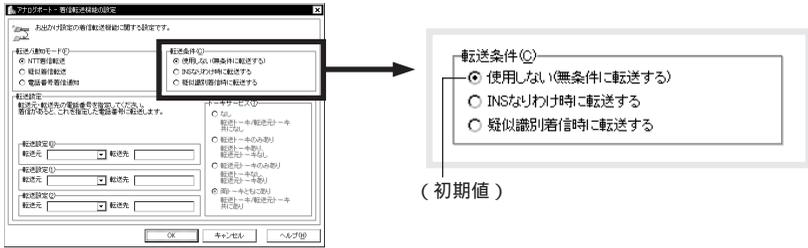
- 6 [着信転送設定] ボタンをクリックする
- 7 「着信転送」または「疑似着信転送」を選択する



(初期値)

## 8 無条件転送を選択する

「使用しない(無条件に転送する)」を選択します。



## 9 転送元と転送先の電話番号とトーキの有無を選択する

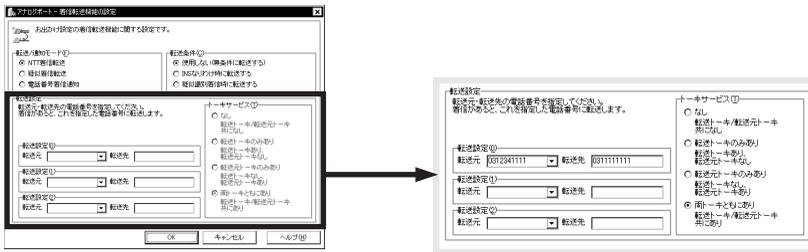
### 1) 転送元の電話番号を選択する

ITX92BTに登録してある、契約者回線番号やi・ナンバーまたはダイヤルイン番号を3つまで登録できます。

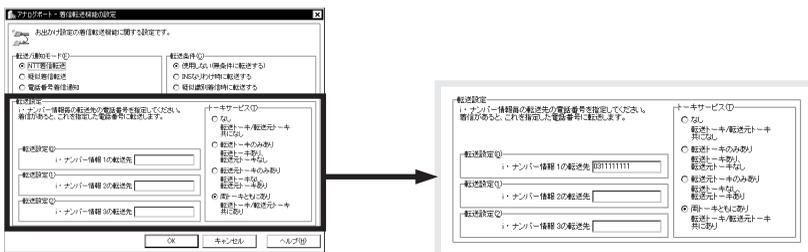
### 2) 転送先の電話番号を入力する

### 3) 着信転送の場合は、トーキの有無を選択する

・i・ナンバーを使用しないとき



・i・ナンバーを使用するとき



## 10 [OK] ボタンをクリックする

## 11 [OK] ボタンをクリックする

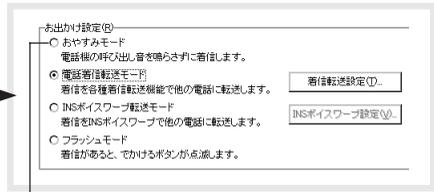
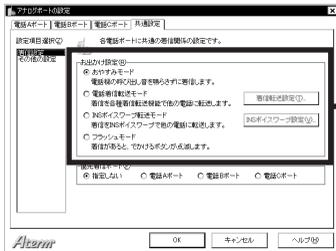
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。5-74ページの「お知らせ」をご覧ください。

遊遊メールの電話番号着信通知を利用するときは、電話着信転送モードと電話番号着信通知を設定します。着信転送先メールアドレスとBIGLOBE-IDを登録してください。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から [着信設定] を選択する
- 5 「電話着信転送モード」を選択する



(初期値 おやすみモード)

- 6 [着信転送設定] ボタンをクリックする
- 7 「電話番号着信通知」を選択する



(初期値)

- 8 BIGLOBE-ID、転送元電話番号、転送先メールアドレスを設定する

- 1) BIGLOBEのIDを入力する
- 2) 転送元の電話番号を選択する  
ITX92BTに登録してある、契約者回線番号やi・ナンバーまたはダイヤルイン番号を3つまで登録できます。
- 3) 転送先のメールアドレスを入力する

転送元電話番号、転送先メールアドレスは、3パターン設定できます。

・i・ナンバーを使用しないとき

・i・ナンバーを使用するとき

9 [ OK ] ボタンをクリックする

10 [ OK ] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。下記を設定します。

No.37 : お出かけ設定 (☎5-110ページ / 「電話着信転送」モードにする)

No.41 : 着信転送 (☎5-111ページ)

No.29 : 転送条件 (☎5-109ページ / 「無条件転送」にする)

No.32 : 着信転送元アドレス・サブアドレス (☎5-110ページ)

着信転送 / 疑似着信転送を利用する場合は、No.30 : 着信転送先アドレス (☎5-109ページ / 着信転送)

電話番号着信通知を利用する場合は、No.31 : 電話番号転送先メールアドレス (☎5-109ページ)



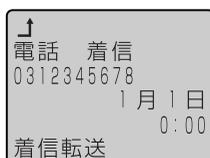
## 着信転送を開始 / 停止する

でかけるボタンを押すと、お出かけ設定になり、転送を開始します。液晶ディスプレイに「着信転送」と表示されることを確認してください。「おやすみ」などお出かけ設定の別のモードが表示されたときは、「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する（お出かけ設定）」のStep2(☎5-66ページ)を参照して、電話着信転送モードに設定し直してください。

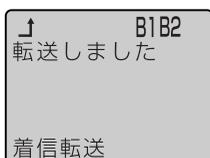
### 1 でかけるボタンを1秒以上押す

「ピッ」と音がして、でかけるボタンがオレンジ色に点灯します。以降の着信が転送されます。着信すると、ディスプレイに以下のように表示されます。

着信時



転送完了時



(表示は疑似着信転送の例です)

### 2 転送を停止するときは、でかけるボタンをもう一度1秒以上押す でかけるボタンが消灯します。

## お知らせ

- ・でかけるボタンを押したあと、もう一度押すときは、1秒以上待ってから押してください。
- ・購入時は、でかけるボタンがロックされています。(MENU)ボタンを6秒以上押して、ロックを解除してください(☎5-68ページ)。

## ボイスワープで転送する

(INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)

通話中や応答できなかった場合など条件に応じた着信転送を行うには、INSボイスワープやINSボイスワープ・セレクトを使います。INSボイスワープ・セレクトは、登録済みの相手だけを転送の対象にするものです。

## ポイント

INSボイスワープ、INSボイスワープ・セレクトは、ネットワーク転送型の転送サービスです。以下の4つの転送条件から1つを選択することができます。

- ・かかってきた電話を無条件で転送する(無条件転送)
- ・無応答のまま設定した時間を超えた場合に転送する(無応答時転送)
- ・通話中でふさがっているときのみ転送する(話中時転送)
- ・無応答または話中時に転送する(無応答時または話中時転送)

INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクトの違い

INSボイスワープは、契約者回線番号や追加番号ごとに契約できます。

INSボイスワープ、INSボイスワープ・セレクトの詳細については、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

	INSボイスワープ	INSボイスワープ・セレクト
追加契約	INSボイスワープ	INSボイスワープ・セレクト
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	相手を問わず、転送します。	あらかじめ登録された相手からの着信のみ転送することなどができます。
利用条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITX92BTは「スティミュラスプロトコル(キーパッドプロトコル)手順」をサポートしています。</li> <li>・INSネット64に転送先の電話番号などを登録する必要があります。登録方法などサービスの詳細は、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。</li> </ul>	

## 設定 step 1 転送先電話番号を登録する

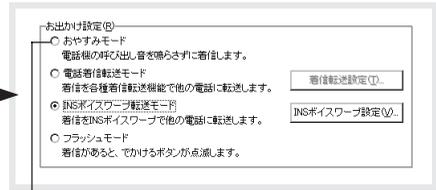
転送先電話番号の登録は電話機から行います。設定方法については、NTT 東日本またはNTT 西日本から配布される『INS ボイスワープの操作方法』をあわせてお読みください。また詳細はNTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

## 設定 step 2 ボイスワープ転送を設定する

ボイスワープ転送モードを選び、転送開始モードを登録します。初めてのときは、INS ボイスワープを契約した電話番号も登録してください。

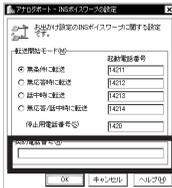
設定は、下記のほか、NTT東日本またはNTT西日本から配布される『INSボイスワープの操作方法』もあわせて参照してください。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から [着信設定] を選択する
- 5 お出かけ設定のモードからINSボイスワープ転送モードを選択する  
「INSボイスワープ転送モード」を選択します。

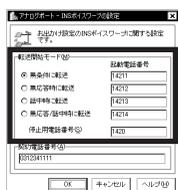


(初期値 おやすみモード)

- 6 [INSボイスワープ設定] ボタンをクリックする
- 7 ボイスワープを契約した電話番号を入力する  
ボイスワープを契約した電話番号を入力します。



- 8 転送開始モードを選択する  
転送開始モードから1つを選択します。



(初期値)

転送開始モード(M)	起動電話番号
<input type="radio"/> 無条件に転送	14211
<input type="radio"/> 無応答時に転送	14212
<input checked="" type="radio"/> 話中時に転送	14213
<input type="radio"/> 無応答/話中時に転送	14214
停止用電話番号(S)	1420

- 9 [OK] ボタンをクリックする

- 10 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## 🎧 お願い

- できるボタンで転送できる電話番号は1つです。複数の電話番号を転送したい場合は、INSボイスワープの説明書を参照して、残りの電話番号の転送操作を電話機から行ってください。
- 起動電話番号、停止用電話番号とはボイスワープサービス開始 / 停止用の電話番号です。INSボイスワープサービスの番号が変更されたときだけ、この番号を変更します。通常は初期値のままにして、変更しないでください。

## 📌 お知らせ

電話機から設定することができます。下記を設定します。

- No.37 : お出かけ設定 (☎️ 5-110 ページ / 「ボイスワープ転送モード」にする)  
 No.47 : ボイスワープ設定 (☎️ 5-114 ページ / ボイスワープを契約した電話番号)  
 No.38 : ボイスワープ転送モード (☎️ 5-110 ページ)

## 操作 ボイスワープ転送を開始 / 停止する

でかけるボタンを押して転送を開始します。

- 1 でかけるボタンを1秒以上押す  
「ピッ」と音がしてでかけるボタンがオレンジ色に点灯し、液晶ディスプレイに「ボイスワープ」と表示され、ボイスワープが開始されます。ITX92BTがボイスワープセンタに自動的に電話をかけて、転送サービスを開始します。  
液晶ディスプレイに「おやすみ」などお出かけ設定の別のモードが表示されたときは、「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」のStep2(☎5-66ページ)を参照して、ボイスワープ転送モードに設定し直してください。
- 2 転送を停止するときは、もう一度1秒以上でかけるボタンを押す  
でかけるボタンが消灯します。  
ITX92BTがボイスワープセンタに自動的に電話をかけて、転送サービスを停止します。

### お知らせ

- ・でかけるボタンを押したあと、もう一度押すときは、1秒以上待ってから押してください。
- ・購入時は、でかけるボタンがロックされています。 ボタンを6秒以上押して、ロックを解除してください(☎5-68ページ)。

# 電話中に別の電話番号へ転送する

(通信中転送)

通話中にもう一人を呼び出して、現在の通話をそちらに転送します。

## ポイント

☑ 利用条件

INSネット64 フレックスホン 通信中転送	
追加契約	フレックスホンの通信中転送
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	—
その他	転送中はBチャンネル1本のみを使用するので、転送中でも、もう1本のチャンネルを別の電話や通信で使用できます。 通信中転送ができるのは、着信した電話を第三者に転送する場合です。

## 設定 通信中転送を設定する

通信中転送を使用するように設定します。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から[その他の設定] を選択する
- 5 通信中転送を選択する  
「通信中転送を使用する」をチェックします。



「通信中転送を使用する」をチェックします。

通信中転送  
☑ 通信中転送を使用する(B)

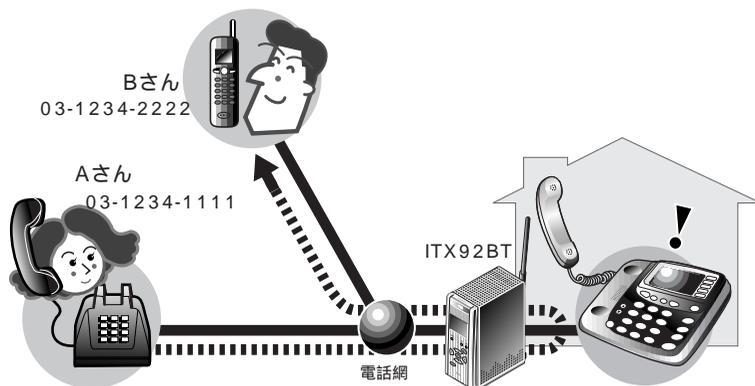
(初期値 チェックなし)

- 6 [OK] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## 操作 通話中に転送する

通話中にフッキングしたあと、新しい相手呼び出します。



### 1 Aさんとの通話中にBさん呼び出す

- 1) フッキングする  
Aさんには保留音が聞こえます。
- 2) 「ブブブ」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルする

### 2 Bさんと会話する(省略可)

### 3 転送する

- 1) フッキングする
- 2) 「ブブブ」という音が聞こえたら、受話器を戻す  
AさんとBさんが通話できます。

## お願い

フッキングしたあと、すぐに次の操作をしないと、通話に戻ります。「ブブブ」音が止んだときは、もう一度フッキングしてください。

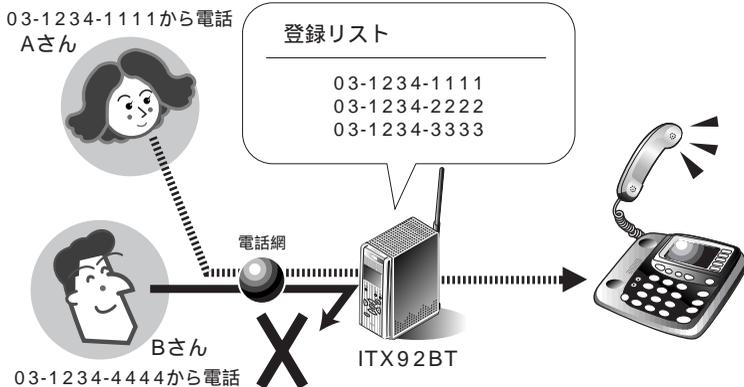
## お知らせ

- ・電話機から設定することができます。  
No.28：通信中転送(☎5-109ページ)
- ・転送先が応答する前に転送(応答前通信中転送)することもできます。転送先の電話番号をダイヤルしたあと、相手が電話に出る前にフッキングしてから受話器を戻してください。ただし、転送先がアナログ回線でナンバー・ディスプレイを契約している場合は、応答前通信中転送は利用できません。
- ・うまく転送できないときは、ダイヤル桁間タイマの時間を長くして試してみてください。  
らくらくアシスタントで設定する場合(☎5-9ページ)  
電話機から設定する場合 No.7：ダイヤル桁間タイマ(☎5-105ページ)

# 電話を受ける相手を限定する

(INSなりわけ識別着信/疑似識別着信)

特定の相手からの電話だけを着信させ、ほかの電話は一切受け付けないようにします。INSなりわけサービスのセキュリティ機能(INSなりわけ識別着信)と、ITX92BTの疑似識別着信があります。



## ポイント

相手の電話番号をあらかじめ登録しておきます。電話がくると相手の電話番号を確認し、登録された電話番号と一致した場合のみ着信させます。

疑似識別着信の場合は、ナンバー・ディスプレイを使って相手の電話番号を確認するので、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。相手の電話番号は、ITX92BTに登録します。一方、INSなりわけ識別着信の場合は、相手の電話番号をINSネット64に登録します。登録した相手からの電話の場合、「識別着信情報」がITX92BTに通知されます。この情報を使って識別着信を行います。

- INSなりわけ識別着信(INSネット64)/疑似識別着信(ITX92BT機能)の違い

	INSネット64 INSなりわけサービス セキュリティ機能 (INSなりわけ識別着信)	ITX92BT 疑似識別着信
追加契約	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	-	-
利用条件	ITX92BTは「スティミュラスプロトコル(キーパッドプロトコル)手順」をサポートしています。	INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの着信は識別できません。
その他	INSネット64に相手の電話番号を登録します。登録方法などについては、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	ITX92BTの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録できます。

## お願い

識別着信と選択キャッチホンを同時に利用することはできません。

## お知らせ

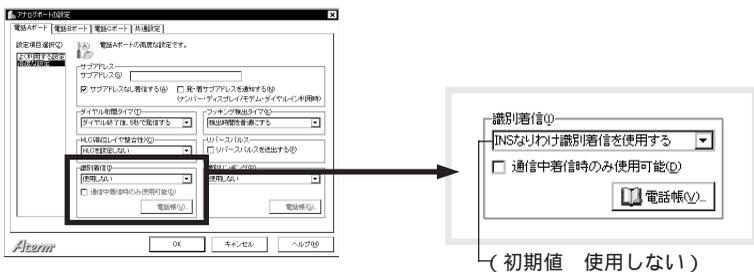
- ・INSなりわけでは、セキュリティ機能のほかに、以下の機能を利用できます。  
識別リング機能(☎ 5-87ページ)  
選択キャッチホン機能(☎ 5-92ページ)
- ・識別着信番号として登録した番号は、すべてのアナログポートで共用です。
- ・登録した番号と通知された番号は桁数の末尾から照合され、桁数の短い方と一致したときに着信を受け付けます。

## 設定 step 1 識別着信の方法を設定する

INSなりわけサービスの識別着信(INSネット64)と疑似識別着信の、どちらを利用するかを設定します。ポートごとに設定できるので、ファクスには識別着信を利用しないといった設定が可能です。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]/[電話Cポート]タブをクリックする  
設定するポートのタブをクリックします。
- 4 設定項目から[高度な設定]を選択する
- 5 識別着信の方法を設定する

- 1 「INSなりわけ識別着信を使用する」または「疑似識別着信を使用する」を選択します。
- 2 話中に別の着信があったときだけ識別着信させたい場合は、「通信中着信時のみ使用可能」をチェックします。



- 6 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## 設定 step 2 電話番号を登録する

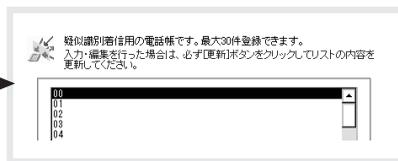
INSなりわけ用の電話番号を登録する場合

INSなりわけ用の電話番号の登録は、電話機から行います。詳細はNTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

## 疑似識別着信用の電話番号を登録する場合

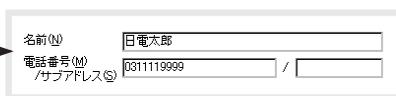
疑似識別着信の場合、着信を許可する電話番号を疑似識別着信用の電話帳に登録します。30件まで登録可能です。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [電話帳機能の設定] ボタンをクリックする
- 3 [疑似識別着信] タブをクリックする
- 4 一覧から空いている番号を選択する  
一覧の中で空いている番号をクリックします。



## 5 名前・電話番号・サブアドレスを入力する

- 1) 相手の名前を入力する
- 2) 電話番号(市外局番から)を入力する
- 3) 必要ならサブアドレスを入力する



- 6 [更新] ボタンをクリックする
- 7 続けてほかの番号を登録するときは、手順4～6を繰り返す
- 8 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お願い

- ・ 相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきた場合、電話帳に登録してあってもその相手を着信させることはできません。
- ・ 疑似識別着信を使用する設定を選んだ場合、疑似識別着信用の電話帳に電話番号を1件も登録しないと、どこからの着信も受け付けなくなります。

## お知らせ

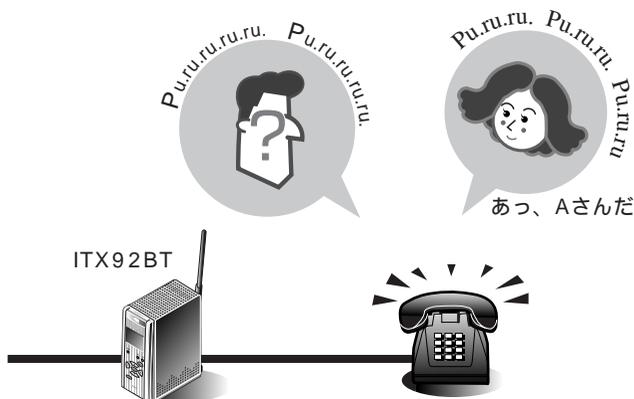
- ・ 登録済みの電話番号を変更したい場合は、変更する番号を手順4で選択し、新しい電話番号に変更したあと、[更新]ボタンをクリックしてください。
- ・ 登録済みの電話番号を削除したい場合は、削除する番号を手順4で選択したあと、[削除]ボタンをクリックしてください。
- ・ 疑似識別着信用の電話番号は疑似選択キャッチホンと共用です。
- ・ 電話機から設定することができます。下記を設定します。  
No.3 : 識別着信(☎5-105ページ/識別着信の方法をご自分の設定に合わせて選択します)  
話し中の時だけ識別着信する場合は、No.28: 通信中転送(☎5-109ページ)  
疑似識別着信する場合は、No.45: 疑似識別着信用電話番号(☎5-113ページ)

# 特定の相手からの着信音を変える

(INSなりわけ識別リングング/疑似なりわけ)

特定の相手からの電話を、通常とは異なる着信音でお知らせします。着信音で相手  
がわかります。

INSなりわけサービスの識別リングング機能と疑似なりわけがあります。



“ブルルルル、ブルルルル” 普通の着信音

“ブルル、ブルル、ブルル” Aさんからの電話がすぐわかる

## ポイント

なりわけする相手の電話番号をあらかじめ登録しておくこと、その相手からの電話の場合に通常とは異なる着信音を鳴らします。

疑似なりわけの場合は、ナンバー・ディスプレイを使って相手の電話番号を確認するので、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。相手の電話番号は、ITX92BTに登録します。一方、INSなりわけの識別リングング機能の場合は、相手の電話番号を交換機に登録します。登録した相手からの電話の場合、「識別着信情報」がITX92BTに通知されます。この情報を使って、なりわけを行います。

☑ INSなりわけ識別リングング(INSネット64)/疑似なりわけ(ITX92BT機能)の違い

	INSネット64 INSなりわけサービス 識別リングング機能	ITX92BT 疑似なりわけ
追加契約	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	-	-
利用条件	ITX92BTは「スティミュラスプロトコル(キーパッドプロトコル)手順」をサポートしています。	INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの着信をなりわけすることはできません。
その他	INSネット64に相手の電話番号を登録します。登録方法などについては、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	ITX92BTの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録できます。

## 👁️ お願い

電話機側で着信音をメロディに設定している場合は、なりわけできません。なりわけをご利用になる場合は、通常の着信音にしてください。

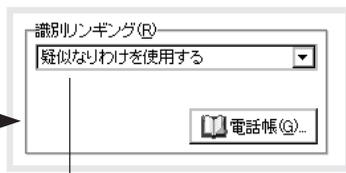
## 📎 お知らせ

- ・内線呼出信号をSIR着信音(☞5-22ページ)に設定するとINSなりわけ識別リングング/疑似なりわけの着信音は同じになります。
- ・INSなりわけでは、識別リングング機能のほかに、以下の機能を利用できます。  
セキュリティ機能(☞5-82ページ)  
選択キャッチホン機能(☞5-92ページ)
- ・識別着信番号として登録した番号は、すべてのアナログポートで共用です。
- ・登録した番号と通知された番号は桁数の末尾から照合され、桁数の短い方と一致したときに着信を受け付けます。

## 設定 step 1 なりわけの方法を設定する

INSなりわけの識別リングング(INSネット64)と疑似なりわけの、どちらを利用するかを設定します。ポートごとに設定できるので、ファクスにはなりわけを利用しないといった設定が可能です。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [電話Aポート]/[電話Bポート]/[電話Cポート]タブをクリックする  
設定するポートのタブをクリックします。
- 4 設定項目から[高度な設定]を選択する
- 5 識別リングングの方法を設定する  
「INSなりわけを使用する」または「疑似なりわけを使用する」を選択します。



(初期値 使用しない)

- 6 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## 設定 step 2 電話番号を登録する

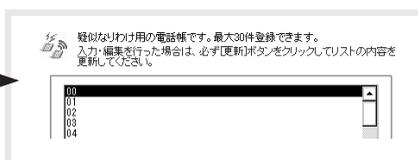
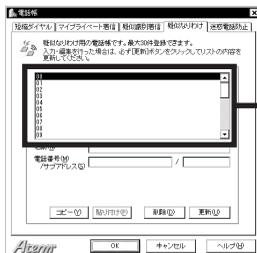
INSなりわけ用の電話番号を登録する場合

INSなりわけ用の電話番号の登録は、電話機から行います。詳細はNTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

## 疑似なりわけ用の電話番号を登録する場合

疑似なりわけの場合、特別の着信音で鳴らす電話番号を疑似なりわけ用の電話帳に登録します。30件まで登録可能です。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [電話帳機能の設定] ボタンをクリックする
- 3 [疑似なりわけ] タブをクリックする
- 4 一覧から空いている番号を選択する  
一覧の中で空いている番号をクリックします。



## 5 名前・電話番号・サブアドレスを入力する

- 1) 相手の名前を入力する
- 2) 電話番号(市外局番から)を入力する
- 3) 必要ならサブアドレスを入力する



- 6 [更新] ボタンをクリックする
- 7 続けてほかの番号を登録するときは、手順4～6を繰り返す
- 8 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お願い

相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきた場合、電話帳に登録してあってもその相手をなりわけることはできません。

## お知らせ

- ・登録済みの電話番号を変更したい場合、変更する番号を手順4で選択し、新しい電話番号に変更したあと、[更新]ボタンをクリックしてください。
- ・登録済みの電話番号を削除したい場合、削除する番号を手順4で選択したあと、[削除]ボタンをクリックしてください。
- ・電話機から設定することができます。  
No.14：識別リングング(☎5-106ページ)  
疑似なりわけする場合は、No.44：疑似なりわけ用電話番号(☎5-113ページ)

# キャッチホンを受け付ける相手を限定する

## (選択キャッチホン/疑似選択キャッチホン)

特定の相手から電話がかかってきた場合は、通話中でも割込音を鳴らしてお知らせします。ほかの相手からのキャッチホンは受け付けません。INSなりわけサービスの選択キャッチホン機能と、ITX92BTの疑似選択キャッチホンがあります。

### ポイント

相手の電話番号をあらかじめ登録しておきます。電話がくると、相手の電話番号を確認し、登録された電話番号と一致した場合のみ通話中でも着信させます。

- INSなりわけ選択キャッチホン(INSネット64)/疑似選択キャッチホン(ITX92BT機能)の違い

	INSネット64 INSなりわけサービス 選択キャッチホン機能	ITX92BT 疑似選択キャッチホン
追加契約	INSなりわけサービス INSキャッチホン	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、空いているポートで通話や通信ができます。	B1・B2チャンネルを両方使うため、キャッチホンが入ったときは、ほかのポートは使用できません。
利用条件	ITX92BTは「スティミュラスプロトコル(キーパッドプロトコル)手順」をサポートしています。	・INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの選択キャッチホンは受け付けられません。 ・ナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。
その他	INSネット64に相手の電話番号を登録します。登録方法などについては、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	ITX92BTの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録できます。

### お願い

選択キャッチホンと識別着信を同時に利用することはできません。

## お知らせ

INSなりわけでは、選択キャッチホン機能のほかに、以下の機能を利用できます。  
セキュリティ機能 (☎5-82ページ)  
識別リングング機能 (☎5-87ページ)

### **設定** step 1 キャッチホンの方法を設定する

INSなりわけ選択キャッチホンを利用するときは「INSキャッチホン」を、疑似選択キャッチホンを利用するときは「疑似キャッチホン」を設定します(☎5-46ページ)。

### **設定** step 2 識別着信の方法を設定する

INSなりわけサービスの選択キャッチホンを利用するときは「INSなりわけ識別着信」を、疑似選択キャッチホンを利用するときは「疑似識別着信」を設定します(☎5-82ページ)。

### **設定** step 3 電話番号を登録する

#### INSなりわけ用の電話番号を登録する場合

INSなりわけ用の電話番号の登録は、電話機から行います。詳細はNTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

#### 疑似選択キャッチホン用の電話番号を登録する場合

疑似選択キャッチホンの場合は、着信を許可する電話番号を、疑似識別着信用の電話帳に登録します。30件まで登録可能です。

登録方法は、「疑似識別着信用の電話番号を登録する場合」(☎5-85ページ)をお読みください。

## お知らせ

電話機から設定することができます。

No.2 : キャッチホン(☎5-105ページ)

No.28 : 通信中転送(☎5-109ページ/話し中の時だけ識別着信したいときに追加設定)

疑似識別着信する場合は、No.45 : 疑似識別着信用電話番号(☎5-113ページ)

# 迷惑電話をシャットアウトする

(迷惑電話おことわりサービス/迷惑電話防止)

迷惑電話やいたずら電話を着信させないようにします。登録しておけば、相手から電話がかかってきても着信音が鳴りません。

INSネット64の迷惑電話おことわりサービスと、ITX92BTの迷惑電話防止があります。

## ポイント

- 迷惑電話おことわりサービス(INSネット64)/迷惑電話防止(ITX92BT機能)の違い

	INSネット64 迷惑電話おことわりサービス	ITX92BT 迷惑電話防止
追加契約	迷惑電話おことわりサービス6/ 迷惑電話おことわりサービス30	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの の違い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迷惑電話がかかってきたときにすぐに登録します。</li> <li>・相手にはメッセージが流れます。</li> <li>・登録できる最大件数は、迷惑電話おことわりサービス6の場合は6件、迷惑電話おことわりサービス30の場合は30件です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迷惑電話がかかってきたときにすぐに登録する方法とあとから登録する方法があります。</li> <li>・相手には話中音が聞こえます。</li> <li>・登録できる最大件数は20件です。</li> </ul>
利用条件	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの着信を拒否することはできません。</li> <li>・相手が発信者番号通知をしていない場合、電話番号を登録していても迷惑電話防止機能は働きません。ただし、発信者番号を通知しない着信すべてを拒否することは可能です。</li> <li>・公衆電話や表示圏外からの電話を拒否することもできます。</li> </ul>
その他	迷惑電話があったらすぐにINSネット64に登録する必要があります。登録方法などについては、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	-

## 設定 迷惑電話おことわりサービスの場合

迷惑電話おことわりサービスの場合は、相手から電話があったらすぐに電話機から登録操作を行います。登録方法は、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

## 設定 迷惑電話防止の場合(すぐに登録する)

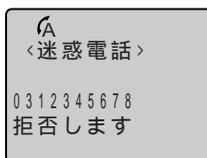
相手から電話があったらすぐ登録する方法です。

1 受話器をあげる

2 \* \* 5 2 を順に押す



3 1 を押す



4 # を押す

5 受話器を戻す

## お願い

- ・相手が電話番号を通知しなかった場合は、手順2で「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」が表示され、手順3で「拒否しますか?」というメッセージが表示されます。[#]を押すと迷惑電話に登録できますが、以降はそれぞれの種類の電話をすべて受け付けなくなります。ご注意ください。
- ・相手が電話番号を通知しない場合も迷惑電話防止として登録されますが、非通知の理由が同じ電話はすべて拒否することになります。たとえば、相手が公衆電話からかけていた場合にこの操作をすると、ほかの人が公衆電話からかけた電話も受け付けなくなります。ご注意ください。

## 設定 迷惑電話防止の場合(登録しておく)

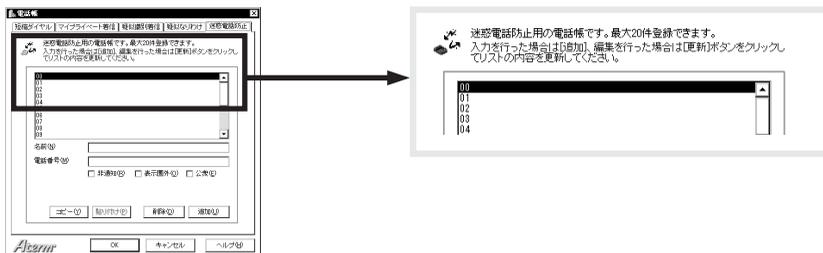
相手の電話番号がわかる場合は、あらかじめ登録しておくこともできます。

1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する

2 [電話帳機能の設定] ボタンをクリックする

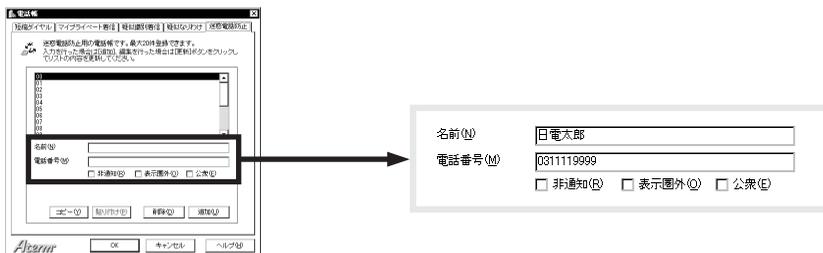
3 [迷惑電話防止] タブをクリックする

- 4 一覧から空いている番号を選択する  
一覧の中で空いている番号をクリックします。



- 5 名前・電話番号を入力する

- 1) 相手の名前を入力する
- 2) 電話番号(市外局番から)を入力する



- 6 [追加] ボタンをクリックする
- 7 続けてほかの番号を登録するときは、手順4～6を繰り返す
- 8 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## 👁️ お願い

迷惑電話防止で電話番号を登録していても、相手が自分の電話番号を通知してこない場合は、迷惑電話防止機能は動きません。ご注意ください。

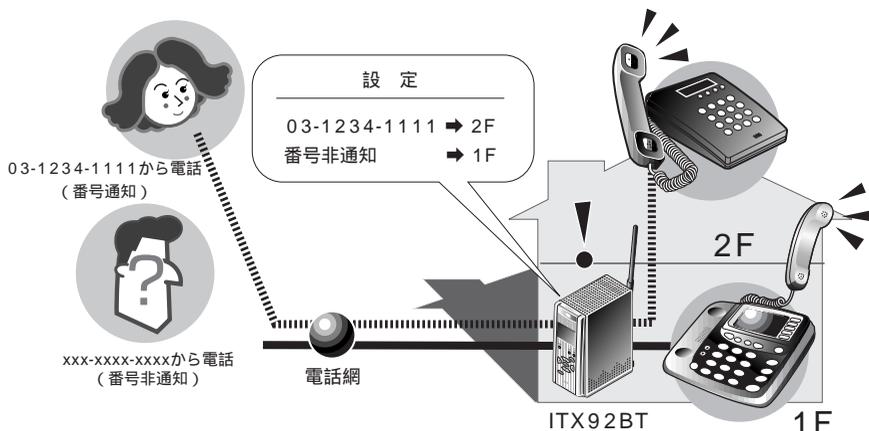
## お知らせ

- ・自分の電話番号を通知してこない電話の着信を拒否するときは、手順5で電話番号を入力する代わりに、「非通知」・「表示圏外」・「公衆」のいずれかをチェックしてください。「非通知」は自分の電話番号を通知しない着信、「表示圏外」は電話番号を通知できない地域や機種からの着信、「公衆」は公衆電話からの着信です。
- ・登録済みの電話番号を変更したい場合は、手順4で変更する番号を選択し、新しい電話番号に変更したあと、[更新]ボタンをクリックしてください。
- ・登録済みの電話番号を削除したい場合は、手順4で削除する番号を選択したあと、[削除]ボタンをクリックしてください。
- ・電話機から設定することができます。  
No.51：迷惑電話防止の設定(☎5-115ページ)

# 相手によって着信させる電話機を指定する

(マイプライベート着信)

職場からの電話は仕事部屋へ、子供の友達からの電話は子供部屋へと、かけてくる相手に応じて着信させる電話機を指定することができます。



電話機能

## ポイント

相手の電話番号と着信させるポートをあらかじめITX92BTに登録しておきます。電話がくると、相手の電話番号を確認し、登録されたポートに着信させます。

利用条件

マイプライベート着信	
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの着信を識別することはできません。</li> <li>識別着信を使用している場合、登録していない電話や電話番号を通知してこない電話は着信させません。</li> </ul>
その他	-

5

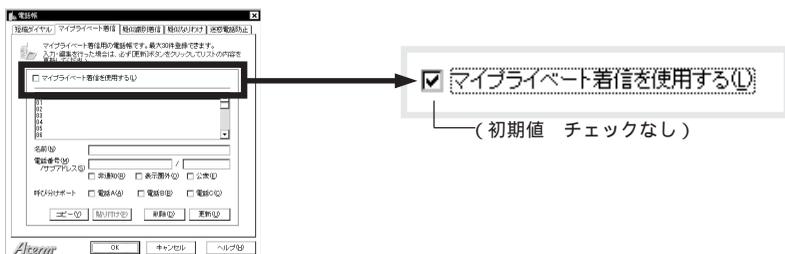
相手によって着信させる電話機を指定する  
(マイプライベート着信)

## 設定 step 1 マイプライベート着信を設定する

マイプライベート着信を使用するように設定します。

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [電話帳機能の設定] ボタンをクリックする
- 3 [マイプライベート着信] タブをクリックする
- 4 一覧から空いている番号を選択する

「マイプライベート着信を使用する」をチェックします。



- 5 [OK] ボタンをクリックする

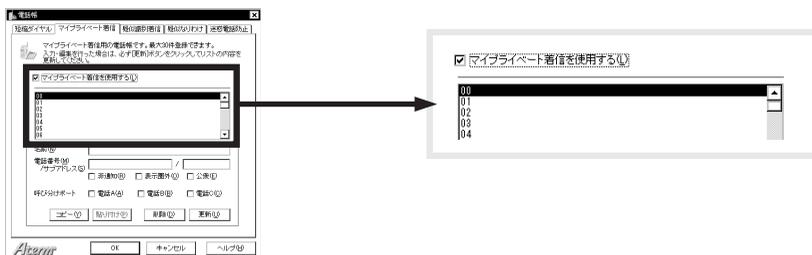
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## 設定 step 2 マイプライベート着信用の電話番号を登録する

マイプライベート着信させる電話番号と着信ポートを登録します。30件まで登録可能です。

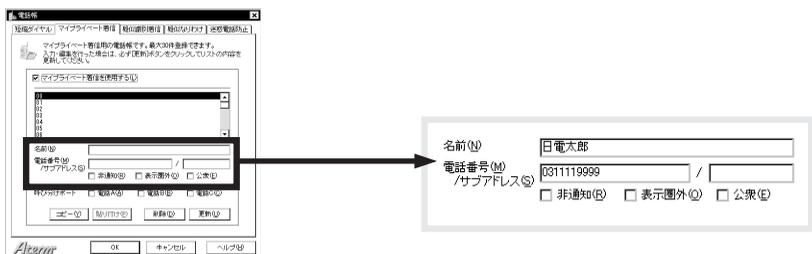
- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [電話帳機能の設定] ボタンをクリックする
- 3 [マイプライベート着信] タブをクリックする

- 4 一覧から空いている番号を選択する  
一覧の中で空いている番号をクリックします。

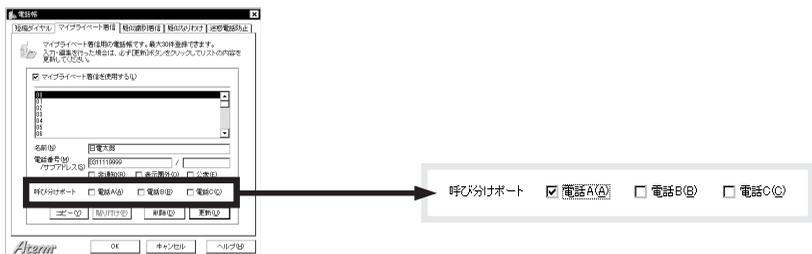


- 5 名前・電話番号・サブアドレスを入力する

- 1) 相手の名前を入力する
- 2) 電話番号(市外局番から)を入力する
- 3) 必要ならサブアドレスを入力する



- 6 ポートを選択する  
着信させるポートをチェックします。



- 7 [更新] ボタンをクリックする
- 8 続けてほかの番号を登録するときは、手順4～7を繰り返す
- 9 [OK] ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

- ・発信者番号を通知してこない電話を受ける着信ポートを設定するときは、手順5で電話番号やサブアドレスを入力する代わりに、「非通知」・「表示圏外」・「公衆」のいずれかをチェックしてください。「非通知」は自分の電話番号を通知しない着信、「表示圏外」は電話番号を通知できない地域や機種からの着信、「公衆」は公衆電話からの着信です。
- ・登録済みの電話番号を変更したい場合は、変更する番号を手順4で選択し、新しい電話番号に変更したあと、[更新]ボタンをクリックしてください。
- ・登録済みの電話番号を削除したい場合は、削除する番号を手順4で選択したあと、[削除]ボタンをクリックしてください。
- ・i・ナンバーやダイヤルインサービスにより複数の電話番号をご利用の場合は、マイプライベート着信で登録したポートに割り当てられた着信電話番号を相手に伝えてください。これ以外の番号に電話をかけた場合は、マイプライベート着信になりません。
- ・電話機から設定することができます。下記を設定します。  
No.36：マイプライベート着信(☎5-110ページ)  
No.43：マイプライベート着信の電話番号と着信ポート(☎5-113ページ)

# 特定の電話だけを転送する (識別着信転送)

特定の相手からの電話だけを転送します。

## ポイント

識別着信と着信転送を組み合わせるため、識別着信(INSなりわけ識別着信/疑似識別着信)で登録した相手からの電話のみを転送する機能です。転送方法には、着信転送または疑似着信転送を使います。

相手の識別の方法と転送の方法	INSなりわけサービスで相手を識別し、着信転送で転送する	INSなりわけサービスで相手を識別し、疑似着信転送で転送する	疑似識別着信で相手を識別し、疑似着信転送で転送する
追加契約	INSなりわけサービス着信転送	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
利用条件	着信させる電話番号をINSネット64に登録	着信させる電話番号をINSネット64に登録	着信させる電話番号をITX92BTに登録

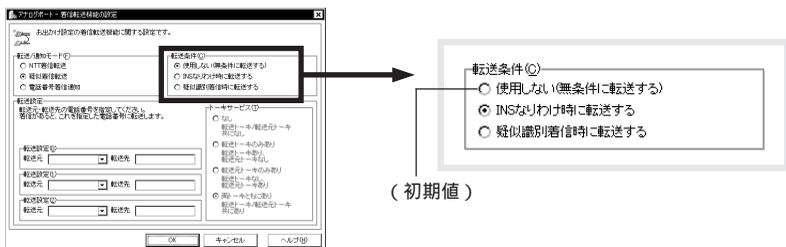
## 設定

### step 1 着信転送の設定をする

転送条件や転送元・転送先の電話番号など、INSなりわけ時転送または疑似識別着信転送の設定をします。

「着信転送または疑似着信転送を利用する場合」(P5-71ページ)の設定をします。ただし、手順8で以下のいずれかを設定してください。

- ・INSなりわけサービスを利用する場合は、「INSなりわけ時に転送する」
- ・疑似識別着信を利用する場合は、「疑似識別着信時に転送する」



## step 2 疑似識別着信用の電話番号を登録する

Step1で「疑似識別着信時に転送する」を選択した場合は、「電話を受ける相手を限定する(INSなりわけ識別着信 / 疑似識別着信)」の「疑似識別着信用の電話番号を登録する場合」(☎5-85ページ)で設定します。

### 識別着信転送を開始 / 停止する

でかけるボタンを押して転送を開始します。液晶ディスプレイに「着信転送」と表示されることを確認してください。「おやすみ」などお出かけ設定の別のモードが表示されたときは、「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」のStep2(☎5-66ページ)を参照して、電話着信転送モードに設定し直してください。

- 1 でかけるボタンを1秒以上押す  
でかけるボタンがオレンジ色に点灯し、以降、登録している電話番号からの着信のみが転送されます。
- 2 転送を停止するときは、でかけるボタンをもう一度1秒以上押す  
でかけるボタンが消灯します。

### お知らせ

- ・でかけるボタンを押したあと、もう一度押すときは、1秒以上待ってから押してください。
- ・購入時は、でかけるボタンがロックされています。  
(MENU)ボタンを6秒以上押して、ロックを解除してください(☎5-68ページ)。
- ・電話機から設定することができます。  
No.37：お出かけ設定(☎5-110ページ / 電話着信転送モードにする)  
No.41：着信転送(☎5-111ページ)  
No.29：転送条件(☎5-109ページ / 識別着信の方法をご自分の設定に合わせて選択します)  
No.32：着信転送元アドレス・サブアドレス(☎5-110ページ)  
No.30：着信転送先アドレス(☎5-109ページ)  
疑似識別着信する場合は、No.45：疑似識別着信用電話番号(☎5-113ページ)

# 電話機での設定一覧

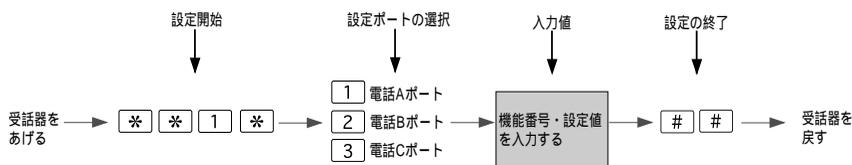
電話番号や接続機器の種別など、電話機でらくらくアシスタントと同じ内容の設定をすることができます。パソコンを使わないときなどにご利用ください。電話機での設定状況はITX92BTのディスプレイで確認しながら、正しく設定してください。

## お知らせ

- ・ITX92BTにパソコンを接続した場合は、らくらくアシスタントを使って簡単に設定することができます。
- ・電話機能について、詳しくは「電話機能」(P.5-4ページ)を参照してください。

## アナログポート個別の設定項目 ●●●●●●●●●●●●●●●●

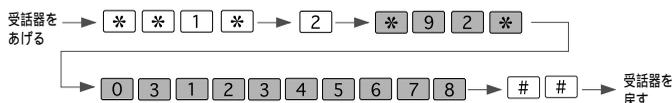
アナログポート(電話A・B・Cポート)ごとに設定する機能です。  
各機能の入力値を、以下の  部分に当てはめてダイヤルを順番に押ししてください。

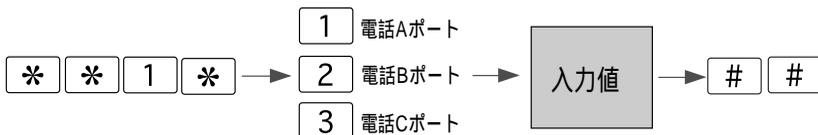


例1: 電話Aポートに電話機を接続する場合



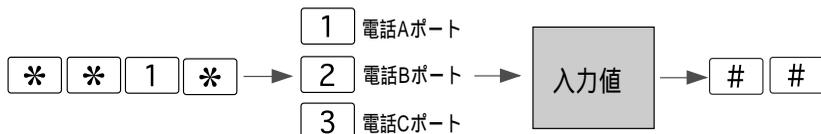
例2: 電話Bポートに発信者通知番号(03-12345678)を登録する場合





設定内容欄の \* は初期値を示しています。

No.	機能	設定内容	入力値
1	アナログポート接続機器	電話機*	* 0 1 * → 0
		FAX/モデム/ファクス付き電話機	* 0 1 * → 1
		なし	* 0 1 * → 2
2	キャッチホン	使用しない*	* 0 2 * → 0
		INSキャッチホン	* 0 2 * → 1
		疑似キャッチホン	* 0 2 * → 2
3	識別着信	使用しない*	* 0 3 * → 0
		INSなりわけ識別着信	* 0 3 * → 1
		疑似識別着信	* 0 3 * → 2
		INSなりわけ識別着信 選択キャッチホン	* 0 3 * → 3
		疑似識別着信 選択キャッチホン	* 0 3 * → 4
4	HLC	使用しない*	* 0 4 * → 0
		使用する	* 0 4 * → 1
		使用する(着信判定なし)	* 0 4 * → 2
5	グローバル着信	着信する*	* 0 5 * → 0
		着信しない	* 0 5 * → 1
6	サブアドレスのない着信	着信する*	* 0 6 * → 0
		着信しない	* 0 6 * → 1
7	ダイヤル桁間タイマ	5秒*	* 0 7 * → 0
		9秒	* 0 7 * → 1
		11秒	* 0 7 * → 2
		13秒	* 0 7 * → 3
8	フッキング検出タイマ	0.03秒～1秒	* 0 8 * → 0
		0.3秒～1秒*	* 0 8 * → 1
		0.5秒～1.5秒	* 0 8 * → 2

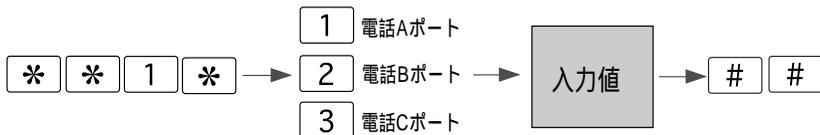


設定内容欄の \* は初期値を示しています。

No.	機能	設定内容	入力値
9	発信者番号通知	発信者番号を通知しない	* 0 9 * → 0
		発信者番号を通知する	* 0 9 * → 1
		INSネット64の申込内容に従う*	* 0 9 * → 2
10	発・着サブアドレス ( 1 )	付けない*	* 1 1 * → 0
		付ける	* 1 1 * → 1
11	受話音量	小	* 1 2 * → 0
		中*	* 1 2 * → 1
		大	* 1 2 * → 2
12	リバースパルス送出	送出しない*	* 1 3 * → 0
		送出する	* 1 3 * → 1
13	通話中の受話音量変更	変更しない( * # 無効 )*	* 1 4 * → 0
		変更する( * # 有効 )	* 1 4 * → 1
14	識別リングング	使用しない*	* 1 5 * → 0
		INSなりわけ	* 1 5 * → 1
		疑似なりわけ	* 1 5 * → 2
15	CTI機能	使用しない*	* 1 6 * → 0
		使用する	* 1 6 * → 1
16	内線呼出信号	通常着信音*	* 1 7 * → 0
		SIR着信音	* 1 7 * → 1
17	キャッチホン・ ディスプレイ( 1 )	使用しない*	* 1 8 * → 0
		使用する	* 1 8 * → 1
18	ダイヤルインサービス利用時の 着信番号の割り当て ( 8件の着信番号から選択 ) ( 2 )	割り当て/解除/番号参照	* 9 1 * → 下記
		設定中に、割り当ててる番号を次のボタンで表示します。 <input type="button" value="0"/> : 割り当ててる/解除する( 2 ) <input type="button" value="1"/> : 現在の番号の続き <input type="button" value="3"/> : 次の番号 <input type="button" value="2"/> : 現在の割り当て状況 <input type="button" value="4"/> : 前の番号	

1: 電話A・Bポートのみに設定できます。

2: 着信番号が割り当てられると、ITX92BTの液晶ディスプレイ上で、着信アドレス番号の後ろに  
が表示されます。割り当てられているかどうかは、液晶ディスプレイで確認してください。



設定内容欄の \* は初期値を示しています。

No.	機能	設定内容	入力値
19	i-ナンバー以外での発信者通知番号	電話番号( 32ケタまで。 市外局番から入力する )	* 9 2 * → 電話番号
20	自己サブアドレス	サブアドレス( 19ケタまで )	* 9 3 * → サブ アドレス
21	i-ナンバー利用時の i-ナンバー情報の割り当て	i-ナンバー情報 1	* 9 4 * → 1
		i-ナンバー情報 2	* 9 4 * → 2
		i-ナンバー情報 3	* 9 4 * → 3
22	i-ナンバー利用時の発信者通知番号 ( 3 )	i-ナンバー情報 1	* 9 5 * → 1
		i-ナンバー情報 2	* 9 5 * → 2
		i-ナンバー情報 3	* 9 5 * → 3
23	情報通知サービス ( 4 )	使用しない*	* 1 0 * → 0
		ナンバー・ディスプレイ	* 1 0 * → 1
		モデム・ダイヤルイン	* 1 0 * → 2
		アナログ・ダイヤルイン	* 1 0 * → 3
		ナンバー・ディスプレイ & モデム・ダイヤルイン	* 1 0 * → 4

3: i-ナンバー情報の電話番号を設定( No.46 ☞ 5-114ページ )してから設定してください。

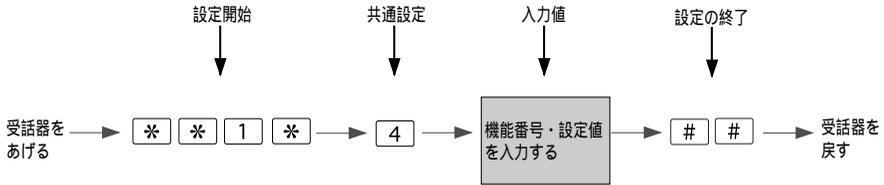
4: 電話A・Bポートにのみ設定できます。

アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルイン使用時の内線指定番号の設定は、i-ナンバー使用時( \* 9 0 1 \* ☞ 5-114ページ )、i-ナンバー未使用時( \* 8 0 \* ☞ 5-111ページ )で行います。

# アナログポート共通の設定項目-1

全アナログポートに共通の機能です。

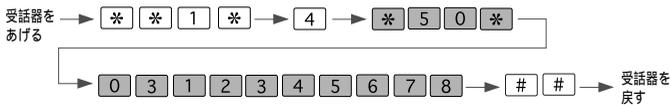
各機能の入力値を、以下の  部分に当てはめて設定します。



## 例1: 内線通話・内線転送の使用を設定する場合



## 例2:短縮ダイヤル0番に「03-12345678」を登録する場合





設定内容欄の \* は初期値を示しています。

No.	機能	設定内容	入力値
24	停電時の着信( 1 )	着信ブザー	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</span>
		着信リング*	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span>
		着信なし	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span>
25	優先着信ポート( 2 )	優先なし*	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</span>
		電話Aポートを優先	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span>
		電話Bポートを優先	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span>
		電話Cポートを優先	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span>
26	内線通話・内線転送	使用しない	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">4</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</span>
		使用する*	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">4</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span>
27	三者通話	使用しない*	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</span>
		三者通話	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span>
		疑似三者通話	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span>
28	通信中転送	使用しない*	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">6</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</span>
		使用する	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">6</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span>
29	転送条件	無条件転送*	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</span>
		INSなりわけ機能による転送	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span>
		識別着信転送	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span>
30	着信転送先アドレス	着信転送先( 0 )	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → 転送先(0) 電話番号
		着信転送先( 1 )	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → 転送先(1) 電話番号
		着信転送先( 2 )	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → 転送先(2) 電話番号
31	電話番号転送先メールアドレス( 3 )	転送先メールアドレス( 0 )	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → 転送先(0) メールアドレス
		転送先メールアドレス( 1 )	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">6</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → 転送先(1) メールアドレス
		転送先メールアドレス( 2 )	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">7</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">*</span> → 転送先(2) メールアドレス

1: 停電時は、電話Aポートにだけ着信します。

2: アナログポート接続機器選択で「なし」に設定したアナログポートは選択できません。

3: メールアドレスは、「文字コード一覧表( ☎ 8-39ページ )」を参照して入力してください。



設定内容欄の \* は初期値を示しています。

No.	機能	設定内容	入力値
32	着信転送元アドレス+サブアドレス ( 4 )	着信転送元アドレス( 0 )	* 4 0 * → 転送元(0)電話番号を入力 i・ナンバー情報1のときは * 4 0 * → 1
		着信転送元アドレス( 1 )	* 4 1 * → 転送元(1)電話番号を入力 i・ナンバー情報2のときは * 4 1 * → 2
		着信転送元アドレス( 2 )	* 4 2 * → 転送元(2)電話番号を入力
		着信転送元サブアドレス( 0 )	* 4 3 * → 転送元(0)サブアドレスを入力
		着信転送元サブアドレス( 1 )	* 4 4 * → 転送元(1)サブアドレスを入力
		着信転送元サブアドレス( 2 )	* 4 5 * → 転送元(2)サブアドレスを入力
33	短縮番号	アドレス部分( 5 )	* 5 0 * → 電話番号を入力 * 5 9 *
		サブアドレス部分( 6 )	* 6 0 * → サブアドレスを入力 * 6 9 *
34	累積料金表示・初期化	表示 初期化	* 7 0 * → 1
35	発信時アドレスLCD表示	表示しない	* 7 1 * → 0
		表示する *	* 7 1 * → 1
36	マイプライベート着信	使用しない *	* 7 2 * → 0
		使用する	* 7 2 * → 1
37	お出かけ設定	おやすみモード *	* 7 3 * → 1
		電話着信転送モード	* 7 3 * → 2
		ボイスワープ転送モード	* 7 3 * → 3
		フラッシュモード	* 7 3 * → 4
38	ボイスワープ転送モード	無条件転送 *	* 7 4 * → 1
		無応答時転送	* 7 4 * → 2
		話中時転送	* 7 4 * → 3
		無応答または話中時転送	* 7 4 * → 4

4: 着信番号の設定もあわせて行ってください。

5: [5] [0] ~ [5] [9] は、短縮番号0~9に対応しています。

6: [6] [0] ~ [6] [9] は、短縮番号0~9に対応しています。



設定内容欄の \* は初期値を示しています。

No.	機能	設定内容	入力値
39	# 発信	発信しない	* 7 5 * → 0
		発信する *	* 7 5 * → 1
		[ # ]# で発信する	* 7 5 * → 2
40	i-ナンバー	使用しない *	* 7 6 * → 0
		使用する	* 7 6 * → 1
41	着信転送	着信転送 転送トーク・転送元 トーク共になし	* 2 7 * → 1 → # * → 0
		着信転送 転送トークあり 転送元トークなし	* 2 7 * → 1 → # * → 1
		着信転送 転送トークなし 転送元トークあり	* 2 7 * → 1 → # * → 2
		着信転送 転送トークあり 転送元トークあり	* 2 7 * → 1 → # * → 3
		疑似着信転送 *	* 2 7 * → 2
		電話番号着信通知	* 2 7 * → 3
42	着信番号	契約者回線番号	* 8 0 * → # ( * → ( 8 ) ) <small>契約者回線番号を入力</small>
		ダイヤルイン番号 ( 7 )	* 8 1 * → # ( * → ( 8 ) ) <small>ダイヤルイン番号を入力</small> * 8 7 *

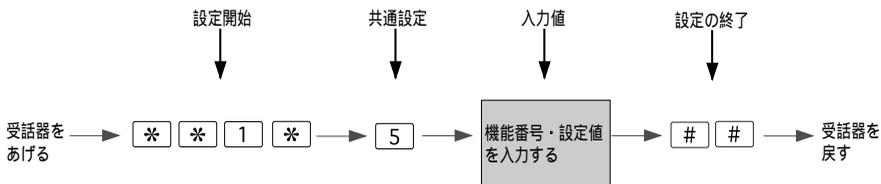
7: 8 1 ~ 8 7 は、ダイヤルイン番号1~7に対応しています。

8: アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルイン使用時に内線指定番号を指定できます(省略可。省略するときは \* を入力しない)。電話A・Bポートにのみ設定できます。

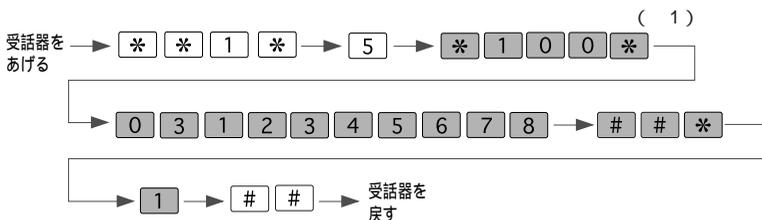
## アナログポート共通の設定項目-2 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

全アナログポートに共通の機能です。

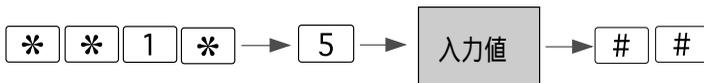
各機能の入力値を、以下の          部分に当てはめて設定します。



例1: マイプライベート着信で電話番号(03-12345678)を電話Aポートに着信するように登録する場合



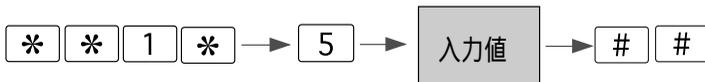
1: 1 0 0 ~ 1 2 9 は、マイプライベート着信の登録番号00~29に対応しています。



No.	機能	設定内容	入力値
43	マイプライベート着信の電話番号と着信ポート	特定の電話番号を電話A/B/Cポートに着信させる	<p style="text-align: right; font-size: small;">1: 電話Aポート 2: 電話Bポート 3: 電話Cポート</p>
		特定の電話番号・サブアドレスを電話A/B/Cポートに着信させる	<p style="text-align: right; font-size: small;">1: 電話Aポート 2: 電話Bポート 3: 電話Cポート</p>
		非通知からの着信を電話A/B/Cポートに着信させる	<p style="text-align: right; font-size: small;">1: 電話Aポート 2: 電話Bポート 3: 電話Cポート</p>
		公衆電話からの着信を電話A/B/Cポートに着信させる	<p style="text-align: right; font-size: small;">1: 電話Aポート 2: 電話Bポート 3: 電話Cポート</p>
		表示圏外の着信を電話A/B/Cポートに着信させる	<p style="text-align: right; font-size: small;">1: 電話Aポート 2: 電話Bポート 3: 電話Cポート</p>
44	疑似なりわけ用電話番号 ( 1 )	アドレスの設定	<p style="text-align: right; font-size: small;">電話番号を入力 → #</p>
		アドレス・サブアドレスの設定	<p style="text-align: right; font-size: small;">電話番号を入力 → # * → サブアドレスを入力</p>
45	疑似識別着信用電話番号 ( 2 )	アドレスの設定	<p style="text-align: right; font-size: small;">電話番号を入力 → #</p>
		アドレス・サブアドレスの設定	<p style="text-align: right; font-size: small;">電話番号を入力 → # * → サブアドレスを入力</p>

1: 200 ~ 229 は、識別リング登録番号00～29に対応しています。電話番号は32ケタまで、サブアドレスは19ケタまで入力できます。

2: 300 ~ 329 は、選択キャッチホン登録番号00～29に対応しています。電話番号は32ケタまで、サブアドレスは19ケタまで入力できます。



No.	機能	設定内容	入力値
46	i-ナンバー情報と電話番号	i-ナンバー情報1の電話番号参照・設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 電話番号 <span style="font-size: 1.2em;">→</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">#</span> ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> ( 3 ) )
		i-ナンバー情報2の電話番号参照・設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 電話番号 <span style="font-size: 1.2em;">→</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">#</span> ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> ( 3 ) )
		i-ナンバー情報3の電話番号参照・設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 電話番号 <span style="font-size: 1.2em;">→</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">#</span> ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> ( 3 ) )
47	ボイスワープ設定	停止用電話番号の設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 停止用電話番号を入力
		無条件転送の起動電話番号の設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 起動電話番号を入力
		無応答時転送の起動電話番号の設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 起動電話番号を入力
		話中時転送の起動電話番号の設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 起動電話番号を入力
		無応答 / 話中時転送の起動電話番号の設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 起動電話番号を入力
		自己アドレスの設定	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*</span> <span style="font-size: 1.2em;">→</span> 契約者回線番号を入力

3: アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルイン使用時に内線指定番号を指定できません(省略可。省略するときは\*を入力しない)。電話A・Bポートにのみ設定できます。





## 6 章 らくらくアシスタントでできること

らくらくアシスタント一覧.....	6-2
らくらくアシスタントの使いかた .....	6-4
ITX92BT をバージョンアップする .....	6-6

# らくらくアシスタントでできること らくらくアシスタント一覧

ここまでで、電話やインターネットの機能は使えるようになったはずですが、しかしAtermにはまだまだたくさんの機能があります。らくらくアシスタントを使うと、さまざまな機能や便利なサービスが使えるようになります。

らくらくアシスタントでどんなことができるか、メニュー画面を使って説明しましょう。

< まず、電話とインターネットをできるようにしよう >

## [ アナログポートの簡単設定 ]

電話を使うための基本的な設定を行います。これは4章ですすでに使いました。

## [ インターネット接続の設定 ]

インターネット接続のためにパソコンの設定を行います。これは3章ですすでに使いました。

## [ BIGLOBEへのサインアップ (Windows版) ]

インターネットサービスプロバイダBIGLOBEへの入会手続きを、オンラインで行います。( [3章『Windowsのパソコンでインターネット』3-33ページ](#) )

< ターミナルアダプタの詳細設定をしよう >

## [ アナログポートの詳細設定 ]

電話Aポート、電話Bポート、電話Cポートの詳細設定を行います。キャッチホン・ディスプレイや内線通話など電話関係のサービスや機能を利用する場合に使います。( [5章『電話やファクスを使うための設定をしよう\(応用編\)』5-2ページ](#) )

## [ データポートの詳細設定 ]

シリアルポートとUSBポートの詳細設定を行います。自動切断に関する設定やリソースBODなど、データ通信関係の機能を利用する場合に使います。( [添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』「データ通信」](#) )

## [ INS回線の電話番号の設定 ]

使用する電話番号を登録します。[ アナログポートの簡単設定 ] で入力した電話番号を変更したり、iナンバーやダイヤルイン番号でシリアルポートやUSBポートに着信させる場合に使います。( [5章『電話やファクスを使うための設定をしよう\(応用編\)』5-2ページ](#) )

## [ 電話帳機能の設定 ]

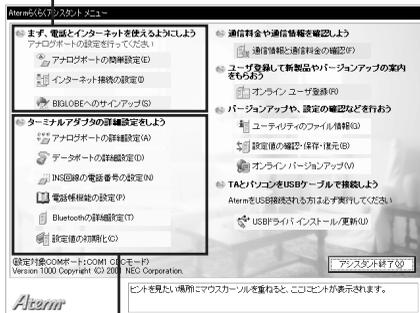
短縮ダイヤル用、マイプライベート着信用、疑似識別着信用、疑似なりわけ用、迷惑電話防止用などの電話帳に電話番号を登録します。( [5章『電話やファクスを使うための設定をしよう\(応用編\)』5-2ページ](#) )

## [ Bluetooth™の詳細設定 ]

Bluetoothポートを使用するのに必要な設定です。( [3章『Windowsのパソコンでインターネット』3-52ページ](#) )

## [ 設定値の初期化 ]

ITX92BTで設定した内容をご購入時の状態に戻します。ただし、電話帳、着信番号、通知番号、内線指定番号、着信転送番号などは設定した値が残ります。( [7-15ページ](#) )



< 通信料金や通信情報を確認しよう >

[ 通信情報と通信料金の確認 ]

通信料金や、最後にかかってきた相手の電話番号や、最後にかけた相手の電話番号などを表示します。( 添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』Atermのその他の機能 - AtermITX92BTの現在の状態を確認する )

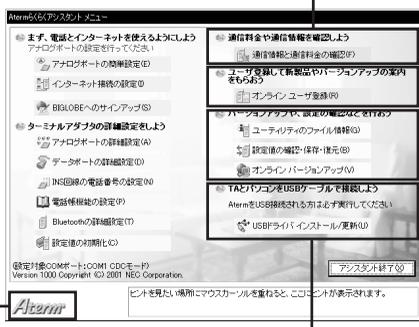
< ユーザ登録して新製品やバージョンアップの案内をもらおう >

[ オンラインユーザ登録 ]

AtermのホームページAtermStationに接続して、ユーザ登録を行います( 添付CD-ROM 8-4 4 ページ )。登録しておくと、新製品情報やバージョンアップ情報など、Atermに関する役立つ情報が電子メールで届きます。

< Atermのボタン >

インターネットに接続し、Atermのホームページ「AtermStation」( 添付CD-ROM 8-4 4 ページ ) を表示します。



< バージョンアップや、設定の確認・保存・復元を行おう >

[ ユーティリティのファイル情報 ]

ITX92BTを構成するユーティリティ類のファイル一覧やそのバージョンを表示します。( 添付CD-ROM ユーティリティ類のバージョンを確認する 6-7 ページ )

[ 設定値の確認・保存・復元 ]

設定内容の確認、ディスクへのバックアップ・復元を行います。パソコンを買い換えたり、OSをインストールし直したりしたとき、誤って設定を変更してしまった場合などにお使いください。( 添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』Atermのその他の機能 - AtermITX92BTの設定内容を確認・記録する )

[ オンラインバージョンアップ ]

最新のユーティリティやファームウェアをAtermStationからダウンロードし、AtermITX92BTをバージョンアップします。( 添付CD-ROM 6-6 ページ )

らくらくアシスタントでできること

# らくらくアシスタントの使いかた

ここでは、らくらくアシスタントの起動・終了のしかた、基本的な設定方法を説明します。

## らくらくアシスタントでの設定のしかた 1 ●●●●●●●●●●

らくらくアシスタントは、ITX92BTのシリアルポートまたはUSBポートに接続されているパソコンからでも、BT01Uに接続されているパソコンからでも、設定することができます。

ただし、BT01Uに接続されているパソコンから、らくらくアシスタントを起動するには、BT01UとITX92BTのBluetooth™接続を行う必要があります(☞3-20ページ)。



らくらくアシスタントでできること

6

らくらくアシスタントの使いかた

## 👁️ お願い

- ・らくらくアシスタントをインストールしていない方は、以下のページを参照して、インストールを行ってください。  
「Step2 らくらくアシスタントをインストールする」(☞3-4ページ)
- ・らくらくアシスタントを使う場合は、データポートを使用するほかのアプリケーションを終了してください。UIメールEXをタスクトレイに常駐させている場合も、必ずして終了させてください。

## らくらくアシスタントを起動させる



1 [スタート ボタンをクリックし、[プログラム]-[AtermITX92BTユーティリティ]-[Atermらくらくアシスタント]を選択する

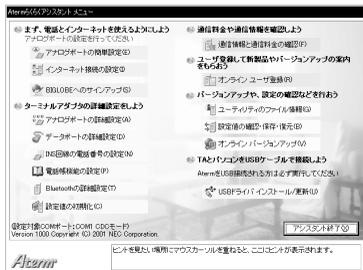
らくらくアシスタントが起動します。Bluetoothポート使用の場合は、ITX92BTとBT01U間をBluetooth™接続しておきます。(☞P3-20ページ「ITX92BTとBluetooth™接続する」)

2 下記の画面が表示されたときは、次へ ボタンをクリックする



3 メニュー画面から設定したい項目のボタンをクリックする

[らくらくアシスタントメニュー画面]



4 必要な項目を選択・入力する

5 設定が終了したら OK ボタンをクリックする

設定内容がITX92BTに書き込まれ、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

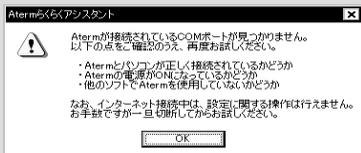
6 らくらくアシスタントを終了するときには [アシスタント終了] ボタンをクリックする

7 [はい] ボタンをクリックする

らくらくアシスタントのできること

## お願い

らくらくアシスタントのメニュー画面でいずれかのボタンを押したときに次の画面が表示される場合は、以下の点を確認したあと、[OK] ボタンをクリックしてください。



- RS-232CケーブルまたはUSBケーブルはITX92BTとパソコンのポートに正しく接続されていますか？
- ITX92BTの電源は入っていますか？
- Bluetoothポート接続の場合、Bluetooth™接続されていますか？
- らくらくバージョンアップやUIメールEXなど、Atermのソフトウェアが起動している場合やUSBネットワークを使用している場合は終了させてください。タスクトレイに常駐している場合は必ずして終了させてください。

## 6

らくらくアシスタントの使いかた

らくらくアシスタントでできること

## ITX92BTをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェア(ITX92BTを動かすソフトウェアのこと)を最新のものにバージョンアップすることによって、ITX92BTに新しい機能を追加したり、場合によってはITX92BTの動作を改善したりします。

### お願い

- ・ Bluetoothポート接続ではバージョンアップすることができません。ITX92BTに直接ケーブルに接続しているポートのみバージョンアップすることができます。USBケーブルで接続する場合は、USBドライバをインストールする必要があります。(  3-27ページ )
- ・ このバージョンアップはNEC独自に提供するサービスであり、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- ・ バージョンアップには専用のユーティリティ(らくらくバージョンアップ)が動作することが必要です。お客様のご使用状況によっては、ご利用いただけない場合があります。
- ・ バージョンアップを行う前に、現状の設定値を保存しておくことをおすすめします(  添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』Atermのその他の機能」- AtermITX92BTの設定内容を確認・記録する )。
- ・ バージョンアップ用ソフトウェア入手の際の通信費は、お客様のご負担となります。
- ・ バージョンアップを行う前にすべての通信を終了させてください。
- ・ バージョンアップを行う前に、バージョンアップで使用しないITX92BTに直接接続しているデータポートのケーブルを抜いてください。複数のデータポートが接続されている場合、ダウンロードに失敗する場合があります。バージョンアップが終了したら、抜いたケーブルを再度差し込んでください。

## ユーティリティ類のバージョンを確認する

- 1 らくらくアシスタントを起動する
- 2 メニュー画面の[ユーティリティのファイル情報]ボタンをクリックする  
インストールされているファイルの一覧が表示されます。
- 3 [終了]ボタンをクリックする  
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

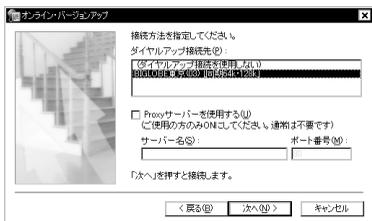
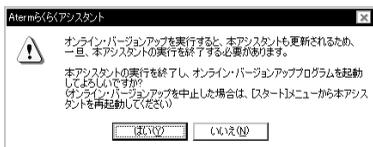


(画面のユーティリティ情報は一例です)  
バージョンや説明を確認できます。

## オンラインバージョンアップ

最新のユーティリティやファームウェアをAtermStation(☞[8-44ページ](#))からダウンロードし、インストールやバージョンアップまでの一連の作業を自動的に行います。

- 1 らくらくアシスタントを起動する
- 2 メニュー画面の[オンラインバージョンアップ]ボタンをクリックする
- 3 [はい]ボタンをクリックする
- 4 [次へ]ボタンをクリックする
- 5 インターネットへ接続するための接続先を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



- 6 以降は画面に従ってバージョンアップする

## ユーティリティを手動でバージョンアップする

最新版の各種ユーティリティをダウンロードし、手動でバージョンアップすることもできます。

- 1 AtermStationのメニューから[バージョンアップメニュー]をクリックする
- 2 機種とパソコンのOSを選択し、[JUMP!]をクリックする
- 3 ユーティリティをダウンロードし、パソコンに保存する
- 4 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする  
インストールが始まります。詳細は各ユーティリティのセットアップのページやAtermStationの説明をお読みください。

## ITX92BTを手動でバージョンアップする

最新版のファームウェアをダウンロードし、ITX92BTをバージョンアップします。必ず、お使いの機種に合ったファームウェアをダウンロードしてください。

### お願い

- ・ファームウェアをバージョンアップするときは、ユーティリティやUSBドライバも最新のものにバージョンアップしてください。
- ・バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと常駐しているアプリケーションを終了させてください。

- 1 AtermStationから最新ファームウェアをダウンロードする
  - 1) AtermStationのメニューの「バージョンアップメニュー」で機種とOSを選択する
  - 2) [JUMP!]ボタンをクリックして最新ファームをダウンロードし、パソコンに保存する
- 2 バージョンアップを起動する  
[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]-[AtermITX92BTユーティリティ]-[Atermらくらくバージョンアップ]を選択します。  
オートバージョンアップ機能付きの場合は、アイコンをダブルクリックするだけでバージョンアップが開始されません。

### 3 [次へ] ボタンをクリックする



### 4 [次へ] ボタンをクリックする

### 5 ダウンロードしたファイルをファイル名に指定し、[次へ] ボタンをクリックする



### 6 [実行] ボタンをクリックする

バージョンアップを開始します。  
バージョンアップ中はITX92BTの  
POWERランプが赤く点灯します。



### 7 バージョンアップが終了したら[終了] ボタンをクリックする

次の画面が表示され、ITX92BTの  
POWERランプが緑色に点灯したら、  
[終了] ボタンをクリックします。



## お願い

- バージョンアップ中は、ITX92BTの電源を切らないでください。
- AtermITX92BT用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、ITX92BTが動作しなくなります。
- Windows2000をUSBポートに接続して、着信接続\*を設定している方は、バージョンアップを始める前に着信接続アイコンを削除してください。着信接続アイコンがあると、バージョンアップに失敗する場合があります。着信接続アイコンは、バージョンアップ後に作成し直してください。

\* 着信接続とは、Windows2000で「スタート」->「コントロールパネル」->「ネットワークとダイヤルアップ接続」で「新しい接続の作成」を行うことによって、外部からの着信を受け付けることができるようにする機能です。着信接続を設定すると、「ネットワークとダイヤルアップ接続」フォルダ内に着信接続アイコンが作成されます。

## こんなときは

バージョンアップの途中で何らかの障害が発生した場合は、[ OK ]ボタンをクリックして、もう一度バージョンアップ操作をしてください。それでもうまくいかない場合は、次の操作を行います(強制ローダモード)。

- 1) ITX92BTに接続しているシリアルケーブル、USBケーブルをすべて抜く
- 2) ディップスイッチの2～6をONに、それ以外をOFFにする
- 3) ITX92BTの電源を切って、再び入れ直す
- 4) ITX92BTのでかけるボタンのランプがオレンジ色で点灯するのを確認する
- 5) POWERランプが赤く点滅するのを確認したら、ディップスイッチを元に戻す
- 6) ITX92BTの電源を切って、再び入れ直す
- 7) ITX92BTのPOWERランプが赤く点灯し、しばらくすると赤点滅するのを確認する
- 8) 手順1で抜いたケーブルを元通りにつなぐ
- 9) しばらくバージョンアップをもう一度行う

バージョンアップするファームウェアがないときは、添付CD-ROMの中にあるファームウェアを入れます。

- 1) 添付のCD-ROMをセットし、メインメニュー画面が表示されたら[ CD-ROMを終了 ]をクリックする
- 2) 6-8ページ「ITX92BTを手動でバージョンアップする」の手順2を行う
- 3) 「Aterm ITX92BTのバージョンアップ情報が取得できません」と画面に表示されるので[ OK ]ボタンをクリックする
- 4) 「ITX92BTを手動でバージョンアップする」の手順3、4を行う
- 5) 「ITX92BTを手動でバージョンアップする」の手順5でファイル名にCD-ROMの中にあるFWフォルダからbinファイル(ファームウェア)を指定する
- 6) 「ITX92BTを手動でバージョンアップする」の手順6、7を行う

例) CDドライブ名がQでファイル名がITX92BT100.binの場合、

Q:¥FW¥Itx92bt100.binとなります

## お知らせ

ITX92BTの機能がバージョンアップされ、取扱説明書の記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書もバージョンアップされ、pdfファイル形式でAtermStationに公開されます。最新の取扱説明書が必要なときは、こちらをあわせてダウンロードしてください。

# 7 章 お困りのときには

Aterm がうまく動かない、操作しても違う結果になる・・・。  
こんなときにお読みください。

トラブルシューティング .....	7-2
ITX92BT を購入時の状態に戻す（初期化）.....	7-15
ITX92BT が故障していないか確認する（自己診断）.....	7-18

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。  
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。  
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

# トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、ITX92BTを初期化し(☞7-15ページ) 初めから設定し直してみてください。販売店またはAterm(エーターム)インフォメーションセンター(☞8-46ページ)でもお問い合わせにお応えしております。

なお、パソコンに接続してお使いの方は、添付CD-ROMに収録されている『お困りのときには』もあわせてご利用ください。

- ・ 設置に関するトラブル
- ・ 電話に関するトラブル
- ・ ファクス、ファクス付き電話機に関するトラブル
- ・ モデム通信(アナログポート)に関するトラブル
- ・ Bluetooth™接続に関するトラブル
- ・ その他のトラブル

- ☞本ページ
- ☞7-5ページ
- ☞7-9ページ
- ☞7-10ページ
- ☞7-10ページ
- ☞7-13ページ

## ■ 設置に関するトラブル ■

	症状	原因と対策
AtermITX92BTの電源を入れたとき	POWERランプが点灯せず、液晶ディスプレイに何も表示されない	電源が入っていません。 電源コードがはずれている 電源コードを壁の電源コンセントに差し込んでください。 電源スイッチが入っていない 電源スイッチの[ I ]オン側を押してください。 電源コードがパソコンのコンセントに差し込まれている 電源は壁の電源コンセントに差し込んでください。パソコンの電源が切れるとITX92BTの電源も切れてしまいます。また、ITX92BTに電池を入れている場合、パソコンの電源を切ると停電モードになり、電池が消耗します。
	POWERランプが点灯し、しばらくすると赤く点滅する(液晶ディスプレイに「強制ローダ コマンド待機中」と表示される)	フラッシュROMに書かれているプログラム(ファームウェア)が消えています。 1) ITX92BTに接続しているシリアルケーブル、USBケーブルをすべて抜く 2) ディップスイッチをご自分の設定位置にする(「ディップスイッチ」☞8-23ページ) 3) ITX92BTの電源を切って、再び入れ直す 4) ITX92BTのPOWERランプが赤く点灯し、しばらくすると赤点滅するのを確認する 5) 1)で抜いたケーブルを元通りにつなぐ 6) しばらくバージョンアップを行う 添付のCD-ROMをセットし、メインメニュー画面が表示されたら[ CD-ROMの終了 ]をクリックする 6-8ページ「ITX92BTを手動でバージョンアップする」の手順2を行う 「Atermのバージョンアップ情報が取得できません」と画面に表示されるので[ OK ]ボタンをクリックする

(続く)

症状	原因と対策
電源を入れたとき (続き)	<p>「ITX92BTを手動でバージョンアップする」の 手順3、4を行う</p> <p>「ITX92BTを手動でバージョンアップする」の 手順5でファイル名にCD-ROMの中にあるFW フォルダからbinファイル(ファームウェア)を 指定する</p> <p>例)C Dドライブ名がQでファイル名が ITX92BT100.BINの場合、 Q:¥ FW¥ Itx92bt100.binとなります</p> <p>「ITX92BTを手動でバージョンアップする」の 手順6、7を行う</p>
MSGランプが点滅している	<p>BIGLOBEのメール着信通知サービスに加入して いる場合は、電子メールが届いたことをお知らせし ています。</p> <p>UIメールが届いたことをお知らせしています。 『UIメールEX』を使って消灯させることができ ます。または、電話機の受話器を上げて、<input type="button" value="＊"/><input type="button" value="0"/>とダイヤルすると消灯します。</p>
通信していないのにDATAラ ンプが点灯する	<p>DOS/V機などを使用している場合で、誤ってパソコン のプリンタポート(25ピンコネクタ)に接続している 接続しているパソコンのコネクタがCOMポ ート(シリアルポート)かどうか、パソコンの取扱 説明書で確認してください。</p> <p>一部のパソコンでは、パソコンの電源を切っても SD信号を出している機種があります</p> <p>パソコンの電源コードを抜けば消えます。通信 中に支障がなければそのままお使いください。</p>
通信していないのにDATAラ ンプがほんのり点灯する	<p>お使いのパソコンがPC98-NX Mate(Windows2000) の場合、通信していないときでもDATAランプが暗く点灯 しますが、故障ではありません。</p>
液晶ディスプレイに「回線障害 レイヤ1ダウン」と表示される	<p>INSネット64とITX92BTの間で基本的なやりとり (レイヤ1同期)ができていない</p> <p>INS回線ケーブルがはずれている</p> <p>ITX92BTと回線コンセント(またはローゼッ ト)を添付の回線ケーブルで接続してください。</p> <p>回線の極性が反転している</p> <p>背面のINS回線リバーススイッチを反対側に切 り替えてください。</p> <p>INSネット64への切り替えが完了していない</p> <p>INSネット64への切り替えが完了しているか NTT東日本・NTT西日本に確認してください。</p> <p>電話回線にガスの自動検針器が接続されている(ア ナログ回線から変更した場合)</p> <p>ガス供給業者に問い合わせ、接続されている場 合は撤去してもらってください。</p> <p>ITX92BTが故障している</p> <p>自己診断(7-18ページ)を行い、ITX92BT が故障していないか確認してください。自己診 断の結果が正常な場合は、NTT東日本・NTT西日 本にご相談ください。</p>

症状		原因と対策
電源を入れたとき	液晶ディスプレイに「回線障害 レイヤ2ダウン」と表示される	INSネット64とITX92BTの間で基本的なやりとり (レイヤ2同期)ができていない INSネット64への切り替えが完了していない INSネット64への切り替えが完了しているか NTT東日本・NTT西日本に確認してください。 電話回線にガスの自動検針器が接続されている(ア ナログ回線から変更した場合) ガス供給業者に問い合わせ、接続されている場 合は撤去してもらってください。 ITX92BTが故障している 自己診断(☞7-18ページ)を行い、ITX92BT が故障していないが確認してください。自己診 断の結果が正常な場合は、NTT東日本・NTT西日 本にご相談ください。
CD-ROMのメ ニュー画面が表示 されない		添付CD-ROMのメニュー画面をもう一度出したい WindowsMeの場合 1) [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]- [アクセサリ]-[エクスプローラ]を選択する。 2) [CD-ROM]ドライブをダブルクリックする 3) menu.exeをダブルクリックする Windows98の場合 1) [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム] -[エクスプローラ]を選択する 2) [CD-ROM]ドライブをダブルクリックする 3) menu.exeをダブルクリックする
添付のCD-ROM 「BTSTARユー ティリティ集」を パソコンにセット したとき	メニュー画面を表示したくな い	CD-ROMをセットすると、メニュー画面が表示され るように設定されています 表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメ ニューを消してください。 ・不要な場合はメニューの[終了]をクリックします。 ・WindowsMe/98/2000の場合、Shiftキーを押し ながらCD-ROMをセットします。 ・WindowsMe/98の場合、CD-ROMを入れたとき に最初の画面が表示されないようにできます(ほ かのCD-ROMでも表示されなくなります)。 1) [コントロールパネル]の[システム]をダブルク リックする 2) [デバイスマネージャ]タブの[CD-ROM]をダブ ルクリックする 3) 使用するCD-ROMドライブをクリックし、[プロ パティ]ボタンをクリックする 4) [設定]タブをクリックする 5) [オプション]の[自動挿入]または「挿入の自動通 知」のチェックをはずす 6) [OK]ボタンをクリックし、WindowsMe/98を 再起動する

症状	原因と対策
落雷に対する対策をしたい	回線や電源コードから入り込むノイズ(雷など)から装置を保護するために、アース線の接続と、落雷プロテクタの使用をお勧めします。落雷プロテクタは、別売りオプションとして用意されています。また、アース線は別途ご用意ください。ただし、落雷プロテクタを使用している場合、落雷の程度によっては二次災害を防止するために装置内の一部分が破壊されることがあります。また、ケーブルは絶対に屋外に出さないように配線してください。なお、落雷などの天災地変による故障の場合は、保障期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。

## ■ 電話に関するトラブル ■

症状	原因と対策
電話をかけるとき 受話器を上げても音がしない	ITX92BTの電源が入っていない 電源コードを壁の電源コンセントに差し込んでください。 電源スイッチの「I(オン)」を押した状態にしてください。 電源コードをパソコンのコンセント(サービスコンセント)に差し込んでいる場合は、壁の電源コンセントに接続し直してください。 ITX92BTと電話機が正しく接続されていない ITX92BTのアナログポートと電話機の回線(LINE)コネクタを電話機に添付されているケーブルで接続してください。
受話器を上げると「ブーブー」という音がする	INSネット64とITX92BTの間で基本的なやりとり(レイヤ1同期)ができていない 「電源を入れたとき」液晶ディスプレイに「回線障害 レイヤ1ダウン」と表示される。の欄を参照し、同様の対処を行ってください。 アナログポートを「使用しない」にしている アナログポートを使用可能にします。 受話器を上げて <b>[*][*][1][*][ポート番号]</b> <b>[*][0][1][*][接続機器の種類][#][#]</b> を押し、受話器を戻します。 ポート番号      接続機器の種類 1:電話Aポート      1:電話 2:電話Bポート      2:FAX/モデム/ファクス付き電話機 3:電話Cポート
電話をかけることができない  (続く)	電話機の設定がトーン(PB)になっていない 電話機の取扱説明書を参照して、ダイヤル方式をトーン(PB)へ切り替えてください。 疑似キャッチホン、疑似着信転送、疑似三者通話中である 疑似キャッチホン、疑似着信転送、疑似三者通話中は、Bチャンネルを2つ使用するので別の電話はかけられません。

症状	原因と対策
電話をかけるとき (続き)	128kbpsマルチリンクPPP通信をしている 128kbpsマルチリンクPPP通信中はBチャネルを2つ使用するので、電話はかけられません。 「リソースBOD」の設定とINSネット64契約「通信中着信通知」の契約を行い、電話をかけられるようにすることをお勧めします。 データポート(シリアルポート/USBポート/Bluetoothポート)を使ってマルチアクセスしている マルチアクセス中は、Bチャネルを2本使用しているため電話はかけられません。
[#]を含む電話番号をかけることができない	初期状態では、[#]をダイヤルすると発信するように設定されています。 らくらくアシスタントで[#]で発信しないようにするか、または2回続けて[#]を押すと発信するように設定を変更します。
電話をかけたときに、相手とつながるまでの時間が長くかかる	ダイヤル桁間タイマが働いて、最後にダイヤルしてから発信するまで5秒以上かかっている ダイヤル後、電話機の[#]を押すとすぐに発信します。
ACR機能付き電話機を使用したときに、電話が繋がらない	ACR機能付き電話機を使用しているとダイヤルしている途中で発信する ダイヤル桁間タイマを5秒(初期状態)より長くします。 受話器を上げて[*][*][1][*][ポート番号][*][0][7][*][時間][#][#]を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号      時間 1:電話Aポート              1: 5秒    3: 11秒 2:電話Bポート              2: 9秒    4: 13秒 3:電話Cポート
電話がかかってきたとき	ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルイン対応の電話機を接続していないのにも関わらず、ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルインの設定をしている上記サービスを「使用しない」に設定してください。  着信音が鳴っているが、受話器を上げたのに通話できない。または電話をかけて相手が応答すると電話が切れる 電話機に秘話回路を内蔵している 秘話回路とはブランチ接続(1つのアナログポートに複数台の電話機が接続されること)されている電話機の中の1台が使用中は、他の電話機に通話内容が聞こえないようにする回路です。ブランチ電話機使用中の検出電圧が高いと、秘話回路が働くことがあります。電話機の取扱説明書を参照して、秘話回路を使用しないように設定してください。  電話がかかってきても着信音が鳴らない 着信音が鳴らない原因はさまざまですが、設定に誤りがあることがあります。以下の設定を確認してください。なお、購入時は、すべてのアナログポートが呼び出される(=着信音が鳴る)ように設定されていて、設定によって着信する条件が追加されます。ITX92BTを (続き)

症状	原因と対策
<p>電話がかかってきたとき</p> <p>(続き)</p>	<p>いったん購入時の状態に戻し、呼び出されることを確認してから再度設定すると、設定の誤りを見つけやすくなります。ただし、設定した内容(電話番号など)はすべて無効になりますのでご注意ください。</p> <p>「ITX92BTを購入時の状態に戻す」(図7-15ページ)</p> <p>お出かけ設定(おやすみモード、電話着信転送モード、ボイスワープ転送モード、フラッシュモード)が設定されている</p> <p>フラッシュモードが設定されていると、でかけるボタンがオレンジ色に点滅して着信を知らせますが、電話機の着信音は鳴りません。電話着信転送モード(着信転送、疑似着信転送)またはボイスワープ転送モードが設定されていて、設定した転送条件が一致したときは、着信音を鳴らさずに転送します。着信音を鳴らして電話をとりたいときはお出かけ設定を解除してください。</p> <p>・i-ナンバーまたはダイヤルイン番号の呼び分けがうまくいかない</p> <p>・i-ナンバーまたはダイヤルイン番号をもう一度正しく設定し直してください。</p> <p>「i-ナンバー」(図5-24ページ)</p> <p>「ダイヤルインサービス」(図5-27ページ)</p> <p>ダイヤルイン契約している場合は、グローバル着信の設定が間違っている</p> <p>INSネット64で契約した「グローバル着信を利用する/利用しない」の内容と、ITX92BTの設定内容を合わせてください。</p> <p>優先着信ポートが指定されている</p> <p>優先着信指定されたアナログポートが空いているときは、そのアナログポートだけが呼び出され、ほかのポートには着信しません。優先着信の必要がないときは、指定しないでください。</p> <p>識別着信(INSなりわけ、疑似識別着信)が設定されている</p> <p>識別着信が設定されていると、登録した相手から以外は着信しなくなります。必要がないときは、識別着信を設定しないでください。</p> <p>サブアドレスが違っている</p> <p>相手側(INSネット64加入者)が指定したサブアドレスが、自分側のITX92BTに設定されているサブアドレスと違っています。サブアドレスを使用しないときは、サブアドレスに何も入力せず、「サブアドレスなし着信する」を設定してください。</p> <p>HLC(高位レイヤ整合性)が一致しない</p> <p>相手側(INSネット64加入者)が設定したHLCが、自分側のITX92BTに設定されているHLCと違っています。「HLCを設定しない」にしてください。</p>

症状	原因と対策
電話がかかってきたとき	<p>電話機とファクスをつないでいるが、ファクスが先に応答してしまい、電話機で電話を取れない</p>
その他のとき	<p>留守番電話機などで相手が受話器を置いても電話が切れない</p> <p>留守番電話機が回線切断時のリバースパルスを検出して切断するしくみになっている 相手切断時にITX92BTからリバースパルスを出すように設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) らくらくアシスタントを起動する</li> <li>2) [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする</li> <li>3) 留守番電話機を接続しているポート(電話Aポートまたは電話Bポート、電話Cポート)のタブをクリックする</li> <li>4) [高度な設定] を選択し、「リバースパルスを送出する」をチェックする</li> </ol>
電話を転送できない	<p>携帯電話やPHSの電源が切れているか、圏外になっている 携帯電話やPHSが使用できることを確認してください。</p> <p>i・ナンバーを契約しているのに、「i・ナンバーを使用しない」設定になっている i・ナンバーを契約している場合は、「i・ナンバーを使用する」を設定してください。</p>
使用中ランプ表示付き電話アクセサリが使用できない	ITX92BTでは、使用中ランプ表示付き電話アクセサリは使用できません。
停電時に電話が使えない	<p>停電用の電池がセットされていません。</p> <p>停電時にも電話が使えるようにするには、電池ホルダーに電池をセットしておきます(☞8-26ページ)。電池をセットしておくで、電源が切れたときにITX92BTは自動的に停電モードに入ります。停電モードでは、電話Aポートに接続した電話機を使うことができます。ただし、お客様の環境によっては使用できないこともあります。</p>

## ■ ファクス、ファクス付き電話機に関するトラブル ■

症状		原因と対策
ファクス通信ができない	ファクス通信ができない	<p>電話が使えないときの症状が当てはまる場合があります。対策は、ファクスの場合でも同じです。「電話が使えない」の欄を参照してください。</p> <p>相手のファクスがG4タイプのファクスであるアナログポートに接続したファクスは、G3モードに対応していないG4タイプのファクスとは通信できません。</p> <p>ファクスの回線種別を自動選択する機能がONになっている</p> <p>INSネット64に接続したターミナルアダプタでは、ファクスの回線種別を自動選択する機能は使用できません。ファクスの取扱説明書を参照して、回線種別のトーン(PB)を手動で設定してください。</p> <p>データポートからはファクス通信できません アナログポートに接続してご使用ください。</p>
	ファクスに着信できない	<p>アナログポートの接続機器が「電話機」に設定されている</p> <p>「ファクス/モデム/ファクス付き電話機」に設定します。</p> <p>受話器を上げて <b>[*][*][1][*]</b> [ポート番号] <b>[*][0][1][*]</b> [接続機器の種別] <b>[#][#]</b> を押し、受話器を戻します。</p> <p><u>ポート番号</u>                      <u>接続機器の種別</u></p> <p>1:電話Aポート                1:電話 2:電話Bポート                2:FAX/モデム/ファクス付き電話機 3:電話Cポート</p> <p>Fネットの無鳴動着信機能を利用している 無鳴動着信を行うには、アナログポートから特殊な周波数をファクスに出さなければなりません。ITX92BTは対応していないため、無鳴動着信を利用できません。</p>
	実際には着信していないのにファクスに自動着信することがある、またはファクスから発信できない	<p>ノイズにより誤って無鳴動着信をしている パソコンを接続している場合、パソコンにもアース線を接続してください。 ファクスの設定を無鳴動着信しないように変更してください。</p>
	ファクスで発信しても相手から切断される	<p>相手側のターミナルアダプタの設定が誤っている 相手側のターミナルアダプタの設定を確認してもらってください。</p>

## ■ モデム通信（アナログポート）に関するトラブル ■

症状		原因と対策
モデム通信できない、速度が遅い	モデム通信できない	<p>「電話が使えない」の「受話器を上げると「ブーブー」という音がある」の欄を参照し、同じ対策を行ってください。</p> <p>パソコン上のモデムの設定がトーン(PB)になっていない</p> <p>モデムの取扱説明書を参照して、ダイヤル方式をトーン(PB)へ切り替えてください。</p> <p>ITX92BTの受話音量がモデムと合わない</p> <p>受話音量を「小」または「大」に変更してみてください。</p> <p>モデムがダイヤルトーンを検出できていない</p> <p>モデムの取扱説明書をご覧になり、パソコン上のモデムの設定を「ダイヤルトーンを無視する」にしてください。</p> <p>モデムをデータポートに接続している</p> <p>データポートではモデム通信はできません。アナログポートに接続してください。</p>
	モデムの速度が遅い	<p>回線が込み合っている</p> <p>回線状態によっては、通信スピードが上がらない場合があります。一度切断してから再度通信してみてください。</p> <p>モデムの送出レベルが低い</p> <p>モデムの取扱説明書を参照して、モデムの送出レベルを上げてください。</p>

## ■ Bluetooth™ 接続に関するトラブル ■

以下「らくらくアシスタント(注)」と表記されているときは、ITX92BTのシリアルポートまたはUSBポートにパソコンをつないでください。

症状		原因と対策
BT01UとパソコンをUSBケーブルでつないだら、パソコンの動きが一時的に鈍くなる	マウスの動きが鈍い	<p>パソコンがBT01Uの認識を行っています。長い時で約数十秒かかりますが、認識後は正常に戻ります。</p>
Bluetooth(TM) PC Driverユーティリティを起動すると、「Bluetooth API初期化失敗」と表示される		<p>BT01Uとパソコンに、USBケーブルが正しく接続されていません。</p> <p>BT01UとパソコンのUSBポートを添付のUSBケーブルで接続してください。</p> <p>BT01Uのドライバが正しくパソコンにインストールされていません。</p> <p>3-22ページでドライバの確認を行い、不足の場合は、正しくインストールしてください。</p> <p> お困りのときには <a href="#">html</a> のBluetooth™ 接続に関する問題</p>
リモートデバイスからITX92BTを見つけない	(続く)	<p>ITX92BTに正しくBluetooth™ の設定がされていません。</p> <p>液晶ディスプレイに  マークがあるときはパスキーが設定されていません。</p>

症状		原因と対策
リモートデバイスからITX92BTを見つけることができない (続き)		<p>パスキーを設定してください(☞3-8ページ)。</p> <p>ITX92BTに登録したパスキーとBluetooth™接続時にリモートデバイスのパスキーとして入力しているパスキーが一致していない</p> <p>パスキーが一致していないとBluetooth™接続はできません。ITX92BTのパスキーを確認してください。</p> <p>Bluetoothポートの動作モードが使えるように設定されていない。</p> <p>動作モードを動作可能に設定してください。</p> <p>これらの設定は、らくらくアシスタント(注)の「Bluetoothの詳細設定」または、ITX92BT前面の操作ボタンで設定します。</p> <p>ITX92BTとBT01Uの電波の距離が遠い</p> <p>Bluetooth接続可能な距離は、直線見通し約100m以内ですが、建物が鉄筋壁、防音壁、断熱壁または電波を出すその他の機器の有無により電波が届かないことがあります。その場合は下記のようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BT01Uの正面(☞1-13ページ)をITX92BTに向けてください。</li> <li>・BT01UとITX92BTの距離を近づけてください。</li> </ul>
	一度は見つけることができたのに、見つめることができない	<p>ITX92BTとBT01Uの間の電波の状態が良くありません。そのときの環境により見つめることができない時があります。</p> <p>再度、デバイス探索をしてください。それでもうまくいかない場合は、ITX92BTとBT01Uを近づけてください。</p>
[ サービスブラウザ ] ボタンをクリックすると、「ブラウザに失敗しました」画面が表示される		<p>Bluetooth(TM) PC Driverユーティリティを再起動し、再度 [ サービスブラウザ ] ボタンをクリックしてください。</p> <p>ITX92BTのリモートデバイスのリンク履歴 (アドレス・デバイス名) から対象のBT01Uのデバイスを削除してください。リンク履歴の削除は、らくらくアシスタント(注)の「Bluetoothの詳細設定」のリモートデバイスのリンク履歴 (アドレス・デバイス名) からそのリモートデバイスを削除してください。</p>
[ 接続 ] ボタンをクリックすると、「このサービスのサブチャンネルが取得できませんでした」画面が表示される		<p>Bluetooth(TM) PC Driverユーティリティを再起動し、再度 [ 接続 ] ボタンをクリックしてください。</p> <p>ITX92BTのリモートデバイスのリンク履歴 (アドレス・デバイス名) から対象のBT01Uのデバイスを削除してください。リンク履歴の削除は、らくらくアシスタント(注)の「Bluetoothの詳細設定」のリモートデバイスのリンク履歴 (アドレス・デバイス名) からそのリモートデバイスを削除してください。</p>
ITX92BTとBluetooth™接続できない	(続く)	<p>パスキーが設定されていません。</p> <p>液晶ディスプレイにマークがあるときはパスキーを設定してください。</p>

	症状	原因と対策
ITX92BTとBluetooth™接続できない	(続き)	<p>ITX92BTに登録したパスキーとBluetooth™接続時にBT01U(リモートデバイス)に入力しているパスキーが一致していません。</p> <p>パスキーを確認し、一致していないときは、パスキーを再設定してください。(P.3-8ページ)</p> <p>ITX92BTの動作モードが使えるように設定されていない。</p> <p>動作モードを動作可能に設定してください。</p> <p>BT01U以外のリモートデバイスとの接続の時に、ITX92BTに暗号化モードを使用するように設定している。</p> <p>BT01U以外のリモートデバイスと接続するときは、暗号化モードを使用しないに設定してください。</p> <p>これらの設定は、らくらくアシスタント(注)の「Bluetoothの詳細設定」または、ITX92BT前面の操作ボタンで設定します。</p> <p>履歴に保持するリモートデバイス情報の上限数を超えています。</p> <p>複数台のBluetooth™デバイスから接続を行う場合は、らくらくアシスタント(注)の「Bluetoothの詳細設定」で、履歴に保持するリモートデバイス情報の上限数を接続する可能性のある台数分に設定してください。</p> <p>Bluetooth™接続するITX92BTが間違っているBluetooth™は無線なので、デバイス探索を行うと、近隣のBluetooth™デバイスや別のITX92BTが検索されることがあります。自分のITX92BTを確実に区別するために、ITX92BTに独自のデバイス名を登録することをお勧めします。登録時はらくらくアシスタント(注)の「Bluetoothの詳細設定」で設定します。</p>
以前接続したことがあるITX92BTに接続しようとしているのに、Bluetooth™接続時にパスキーの入力画面が表示される		<p>ITX92BT側のリモートデバイスのリンク履歴(アドレス・デバイス名)から、デバイス(BT01U)が削除されている</p> <p>一度Bluetooth™接続すると、両方に共通のリンクキーができます。ただし、どちらか一方でもリンクキーが失われている場合は、パスキーの入力が必要となります。ITX92BTのリンクキーの有無の確認は、らくらくアシスタント(注)の「Bluetoothの詳細設定」で、リモートデバイスのリンク履歴(アドレス・デバイス名)にBluetooth™接続したい相手のデバイスアドレスがあるかどうかで確認することができます。</p>
ITX92BTのパスキーを変更したのに、Bluetooth™接続する際に、BT01U(Bluetooth™機器)側で入力するITX92BTのパスキーを聞かれない	ITX92BTのリンク履歴(アドレス・デバイス名)にデバイス(BT01U)が残っている	<p>ITX92BTのデバイスアドレスとパスキーを指定してBT01UとITX92BTをいったんBluetooth™接続すると、両方に共通のリンクキーが自動的に作成され、以降はこのリンクキーを使用してBluetooth認証を行います。パスキーを変更しても、パスキー入力画面が表示されないのは、リンクキーを使用して自動的にBluetooth認証が行われているためです。Bluetooth認証をやり直したい場合は、ITX92BTのリモートデバイスのリンク履歴(アドレス・デバイス</p>

症状		原因と対策
		名)から、Bluetooth認証をやり直すデバイスを削除してください。 ITX92BTのパスキーを変更したときは、らくらくアシスタント(注)の「Bluetoothの詳細設定」のリモートデバイスのリンク履歴(アドレス・デバイス名)からそのリモートデバイスを削除してください。
Bluetooth(TM) PC Driverユーティリティの、[デバイス探索]、[サービスブラウズ]、[接続ボタン]を押したが、なかなか終了しない		タスクトレイにあるBluetooth(TM) PC Driverユーティリティのアイコンを右クリックして「Bluetooth(TM)タスクマネージャーの終了」を選択し、ユーティリティをいったん終了させます。再度ユーティリティを起動してから操作をやり直してください。
「Bluetoothの詳細設定」のリモートデバイスのリンク履歴(アドレス・デバイス名)内に見知らぬデバイスアドレスがある		不正なアクセスをされている可能性があります。そのリンク履歴を削除し、パスキーを変更してください。パスキーは不用意に他人には教えないでください。また、履歴に保持するリモートデバイス情報の上限数は必要最小限の数に設定してください。この値を必要数にすることで不正アクセスを最小限に抑えることができます。リモートデバイスのリンク履歴(アドレス・デバイス名)及び履歴に保持するリモートデバイス情報の上限数の確認はらくらくアシスタントの「Bluetoothの詳細設定」で設定します。
Bluetooth(TM) PC Driver ユーティリティを起動したままBT01UのUSBケーブルを抜き差ししてしまった	マウスカーソルが止まったり、パソコンの動きが遅くなる	Bluetooth™を使用中は決してUSBケーブルを抜かないでください。 パソコンを再起動させてください。USBケーブルは必ずBluetooth(TM) PC Driver ユーティリティを終了させてから抜いてください(☞P.3-24ページ)。
BT01UをBluetooth™機能内蔵パソコンや他のBluetooth™機器とつなぐことができますか?		つながないでください。パソコンのBluetooth™機能が利用できなくなります。

## ■ その他のトラブル ■

症状		原因と対策
ITX92BTが正常に動作しないが、原因がわからない		ITX92BTが正常に動作しない場合、設定に誤りがあることが多いようです。現在の設定内容の一覧を表示したり、プリントしたりして確認してみてください。 「AtermITX92BTの設定内容を確認・記録する」(☞『データ通信ガイド』Atermのその他の機能)どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し、最初から設定し直す方法もあります。 「ITX92BTを購入時の状態に戻す」(☞P.7-15ページ)
料金がおかしい	累積料金と実際の電話料金が異なる  (続く)	「INSTタイムプラス」・「INSTテレホーダイ」・「i・アイプラン」・「フレッツ」・「ISDN」などのサービスに加入していたり、PHS網など他事業者経由で通信を行っている

症状		原因と対策
料金がおかしい	(続き)	<p>累積料金と実際の請求額は異なります。ITX92BTでは切断時に網から通知された金額をそのまま表示し、累積料金として計算しています。また、PHS網やNCC網などの他事業者と通信を行うと、料金情報がネットワークから送出不されるため、累積料金と実際の請求額が異なることとなります。</p> <p>ITX92BTの電源を切る、または初期化した累積料金は、ITX92BTの電源を切ったり、初期化したりすると、0円や前回保存した値に戻ってしまいます。また、らくらくアシスタントなどで累積料金を表示したあとに設定値を保存すると、表示されていた累積料金の値も保存されます。</p>
電源を切ったとき	液晶ディスプレイの「RDY」の表示が消えない	<p>一部のパソコンでは、パソコンの電源を切ってもER信号がOFF(オフ)にならない</p> <p>通信が切断されていません。「RDY」の表示を消すには、パソコンの電源コンセントを抜いてください。また、このようにしても、液晶ディスプレイに「B1」または「B2」のいずれかが表示されたままになっている場合は、通信が切断されません。ITX92BTとINSネット64を接続しているケーブルを抜いて、30秒程待ってから再び差し込んでください。これで通信が切断されます。</p>
停電時に動作しない	でかけるボタンを押しても、お出かけ設定できなく(でかけるボタンが点灯しない)	<p>でかけるボタンがロックされています。ITX92BTの(MENU)ボタンを6秒以上押し続けてください。</p>
	POWERランプが点滅しない	<p>ITX92BTの電源スイッチがOFF[ ]になっている電源スイッチが[   ]オン)になった状態でないと停電モードが使えません。[   ]オン)にしてください。</p> <p>電池がセットされていない、または+ - を間違えてセットしている</p> <p>電池を正しくセットしてください。</p> <p>電池の容量がなくなっている</p> <p>電池を交換してください。</p>
	電話をかけることができない	<p>電話Bポート電話Cポートに電話機を接続している停電時に使用できるアナログポートは電話Aポートだけです。電話機を電話Aポートに接続してください。</p>
	電池がすぐになくなる	<p>電話Bポート電話Cポートの電話機の手話器を上げている</p> <p>手話器を置いてください。</p> <p>S点ユニットに他のISDN通信機器を接続しているS点ユニットにも給電されるので、S点ユニットを使用していると使用時間が短くなります。</p>
購入したときの状態に戻したい、ITX92BTの設定を最初からすべてやり直したい		<p>ITX92BTの設定値を購入時の状態に戻します。ただし、今までで設定した内容は無効になりますのでご注意ください。</p> <p>「ITX92BTを購入時の状態に戻す」(☎7-15ページ)</p>
海外で使用したい		<p>Atermシリーズは日本国内のISDN(INSネット64)で使用することを前提としているため、海外では使用できません。</p>

# ITX92BTを購入時の状態に戻す(初期化)

初期化とは、ITX92BTに設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。ITX92BTがうまく動作しない場合や今までとは違う回線を使う場合などは、ITX92BTを初期化して初めから設定し直すことをおすすめします。

## ポイント

初期化の方法には以下の4通りがあります。

- ・らくらくアシスタントで初期化する
- ・ITX92BT前面の操作ボタンで初期化する
- ・電話機から初期化する
- ・ITX92BTのディップスイッチで初期化する

初期化する前に、現在の設定内容を保存しておくことができます(添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』Atermのその他の機能 - AtermITX92BTの設定内容を確認する)。

## お知らせ

- ・らくらくアシスタント以外の方法で初期化をすると、ITX92BTのパスキーがクリアされて、Bluetooth™接続することができなくなります。ITX92BTの再設定をしてください。「パスキーを登録する(添付3-8ページ)」
- ・ATコマンドを使用して初期化することもできます。ATコマンドについて詳しくは、添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』ATコマンド解説」を参照してください。



## 操作

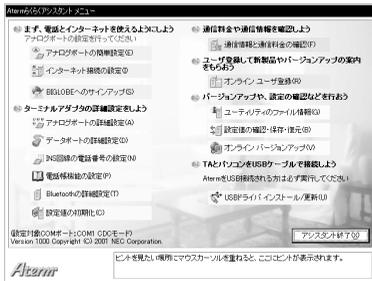
## らくらくアシスタントで初期化する

らくらくアシスタントを使って初期化を行います。

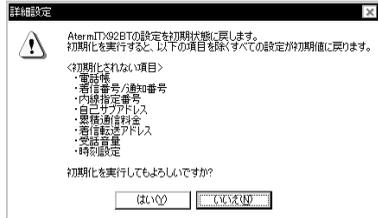
### 1 らくらくアシスタントを起動する

Bluetoothポート使用の場合は、ITX92BTとBT01U間をBluetooth™接続しておきます。(「[3-20ページ](#)「ITX92BTとBluetooth™接続する」)  
[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] AtermITX92BTユーティリティ [Atermらくらくアシスタント] を選択する

### 2 [設定値の初期化] をクリックする



### 3 [はい] をクリックする

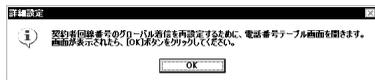


### 4 [OK] をクリックする

・i・ナンバーを使用する場合



・i・ナンバーを使用しない場合



### 5 電話番号を再設定する

### 6 [OK] をクリックする

### 7 [アシスタント終了] をクリックする



## 操作

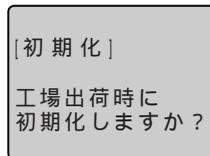
## 操作ボタンで初期化する

ITX92BT前面の操作ボタンを使って初期化を行います。

### 1 [MENU] ボタンを押す

### 2 [ ] ボタンを押して [初期化] を反転表示させ、[ENTER] ボタンを押す

### 3 [工場出荷時] に矢印を合わせ、[ENTER] ボタンを押す



### 4 [ENTER] ボタンを押す

キャンセルする場合は [CLR] ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

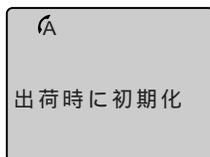
7  
ITX92BTを購入時の状態に戻す  
(初期化)

## 操作 電話機から初期化する

電話機のボタンを使って初期化を行います。

1 受話器をあげる

2 \* \* 9 8 \* と押す



3 # を押す

初期化が行われ、通常の画面に戻ります。

4 受話器を戻す

## 操作 ディップスイッチで初期化する

ITX92BTのディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、電池ケースの中にあります。

1 ITX92BTの電源を切る

2 電池カバーを開け、電池が入っている場合は電池を抜き出す

3 ディップスイッチの4～6をONにする

電池カバーを開け、つまようじなど先の細いものでディップスイッチをONの側に倒します。



4 ITX92BTの電源を入れる

5 電源を入れてから3秒後にITX92BTの電源を切る

6 ディップスイッチをもとに戻す

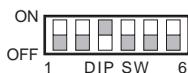
7 ITX92BTの電源を入れる

# ITX92BTが故障していないが確認する (自己診断)

自己診断を行うと、ITX92BTが故障していないかを確認することができます。

## 操作

- 1 ディップスイッチの3だけをONにし、ほかはOFFにする



- 2 ITX92BTの電源を切る

- 3 ITX92BTの電源を入れる

自己診断が行われます。液晶ディスプレイに「シンダンテスト」と表示されます。正常に終了すると、「ピピピ…」と鳴った後にMSGランプが緑色に点滅し、液晶ディスプレイに「シンダンテストOK」と表示されます。

- 4 診断を終了するときは、電源を切ってディップスイッチの設定をもとに戻してから、再度電源を入れる

## お願い

- ・自己診断を行っている最中に、電源を切らないでください。電源を切るとバックアップしている設定内容が正しく保持されないことがあります。
- ・自己診断で異常が発見されるとMSGランプが赤色に点灯し、ブザーが鳴り続けます。異常があった場合は、最寄りのNEC保守サービス受付拠点に修理を依頼してください (☞ 8-40ページ)。

7

ITX92BTが故障しているかどうか確認する  
(自己診断)

# 8 章 付 録

液晶ディスプレイの表示一覧 .....	8-2
バックライトの点灯モードを設定する .....	8-6
操作ボタンの機能一覧 .....	8-8
液晶ディスプレイに通信料金を表示する .....	8-10
ファームウェアのバージョンや USB の通信モードを確認する ...	8-12
液晶ディスプレイのコントラストを調整する .....	8-13
切断理由・診断情報・生成源表示一覧 .....	8-14
製品仕様 .....	8-19
別売りオプション .....	8-25
停電対策 .....	8-26
ターミナルアダプタの増設 ( S 点ユニット / 高機能 S 点ユニット ) .....	8-31
DSU 機能の切り離し ( DSU 切り離しユニット ) .....	8-33
ホームテレホン / ビジネスホンの接続 .....	8-34
おすすめプロバイダ BIGLOBE のご紹介 .....	8-36
文字コード一覧表 .....	8-39
修理について .....	8-40
ホームページ AtermStation のご案内 .....	8-44
Aterm に関するお問い合わせ先 .....	8-46
NECPC クリーンスポットの訪問サービス .....	8-47

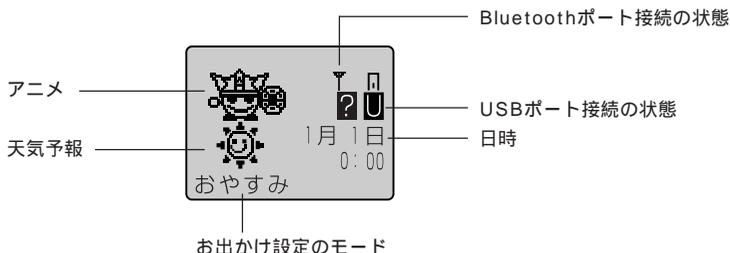
Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。  
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。  
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。



# 液晶ディスプレイの表示一覧

ITX92BT前面の液晶ディスプレイに表示されるアイコンやメッセージの意味を一覧で示します。

## 通常時



機能名	表示内容
アニメ	選択したアニメです。ITX92BTには、以下のアニメが用意されています。工場出荷時は「BOY」に設定されています。[表示なし]を選択した場合は、何も表示されません。
	 BOY
	 猫
	 カエル
	ペンギン
	 ロボット
	 犬
	- 表示なし

機能名	表示内容	
Bluetoothポート 接続の状態	Bluetoothポート接続の状態を示します。	
		電源を入ると約20秒間表示されます。 Bluetooth™を使用できるように準備中です。
		パスキーが設定されていません。
		接続を開始します。
		接続が完了しました(ER OFF状態)。
		接続が完了しました(ER ON状態)。
USBポート接続の状態	USBポート接続の状態を示します。	
		パソコンをUSBポート接続すると表示されます。
		USBポートを使用中(らくらくアシスタントで設定しているとき、アプリケーションがUSBを認識したとき、および通信中のときなど)に表示されます。
天気予報	BIGLOBEのAterm天気通知サービスから通知された天気予報を表示します。このサービスはBIGLOBEの有償サービスです。またBIGLOBE接続会員以外の方もサービス料金のみでご利用できます(サービスの詳細についてはBIGLOBEに☎8-36ページ)お問い合わせください。	
		晴れ
		曇り
		雨
		雪
		晴れのち曇り(矢印は「のち」を示します)
		晴れ時々曇り(縦棒は「時々」を示します)
日時	上段に日付、下段に時刻を表示します。	
お出かけ設定のモード	現在選択されているお出かけ設定のモードを示します。	
	おやすみ	おやすみモード
	電話転送	電話着信転送モード
	ボイスワープ フラッシュ	ボイスワープ転送モード フラッシュモード

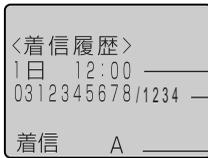
## 電子メール着信時



電子メール着信通知

アイコン	表示内容
	BIGLOBEに電子メールが届くと、このように表示されます(使用するには、BIGLOBEへの申し込みが必要です。詳細については『データ通信ガイド』Atermで使えるメール機能」を参照してください)。
	UUIメールが届くと、このように表示されます。詳細については『データ通信ガイド』Atermで使えるメール機能」を参照してください。

## 着信履歴表示時



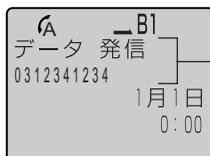
着信日時

相手の電話番号とサブアドレス

着信したポート

メッセージ	表示内容
着信日時	着信した日付と時刻が表示されます。
相手の電話番号とサブアドレス	電話をかけてきた相手の電話番号が表示されます。相手がサブアドレスを指定してかけてきた場合は、サブアドレスが表示されます。
着信したポート	着信したポートが表示されます。

## 通信時



通信状態に関するメッセージ

(これはデータ通信を開始したときの画面です)

メッセージ	表示内容
電話A発信 0311112222	発信しているアナログポートと発信先の電話番号が表示されます(これは電話Aポートから発信した場合の例です)。
電話 着信 0311113333	電話の着信と、相手の電話番号が表示されます。 INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、電話の相手がISDN回線・携帯電話・PHSなどからかけてきている場合は、ITX92BTの液晶ディスプレイに相手の電話番号を表示します。
電話 着信 P:非通知	ナンバー・ディスプレイ使用時に、相手が電話番号を通知してこなかった場合に表示されます。
電話 着信 C:公衆電話	ナンバー・ディスプレイ使用時に、相手が公衆電話からかけてきた場合に表示されます。
電話 着信 O:表示圏外	ナンバー・ディスプレイ使用時に、相手が電話番号を通知できない地域や機種からかけてきた場合、または発信者番号通知を設定していない場合に表示されます。
電話B切断 016 396円	通話を切断したときに、通話していたアナログポートと切断理由、通信料金が表示されます。課金されない場合は通信料金は表示されません。切断理由については「切断理由表示一覧」(P.8-14ページ)を参照してください。
転送しました	着信転送を使用している場合に、正常に転送できたときに表示されます。
転送失敗	着信転送を使用している場合に、転送できなかったときに表示されます。
電話 着信 内線A B	内線で電話をかけたときに表示されます。
データ発信 0312341234	データ通信をこちらから開始したときに、相手の電話番号とともに表示されます。
データ着信 0311113333	データ通信を相手からの着信によって開始したときに、かけてきた相手の電話番号とともに表示されます。
データ着信 O:表示圏外	ナンバー・ディスプレイ使用時に、データ通信を開始した相手が発信者番号通知を設定していない場合に表示されます。
データ切断 016 1680円	データ通信を切断したときに、切断理由と通信料金が表示されます。課金されない場合は通信料金は表示されません。切断理由については「切断理由表示一覧」(P.8-14ページ)を参照してください。

# バックライトの点灯モードを設定する

液晶ディスプレイのバックライトには、以下の5つの点灯モードがあります。Atermの使いかたに合わせて設定を変更してください。

常に消灯

バックライトは点灯しません。

常に点灯

バックライトが常時点灯します。ただし、停電モードのときは点灯しません。

自動(初期値)

電話の発信・着信中にだけ点灯し、通常は消えています。ただし、停電モードのときは発信・着信があっても点灯しません。

自動+データ通信中は常に点灯

電話の発信・着信中のほか、データ通信中にも点灯します。

AUTOモード+Bチャネル使用中は常に点灯

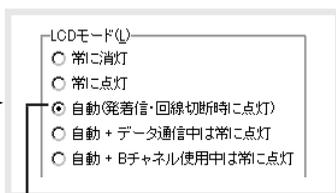
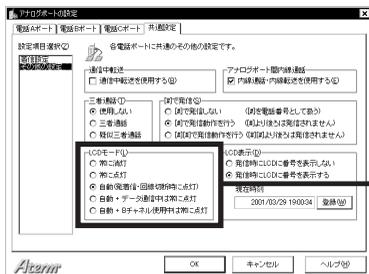
電話の発信・着信中のほか、電話の通話中とデータ通信中にも点灯します。



## 点灯モードを設定する

- 1 らくらくアシスタントのメニュー画面を表示する
- 2 [アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする
- 3 [共通設定] タブをクリックする
- 4 設定項目から[その他の設定] を選択する

## 5 LCDモードでバックライトの点灯モードを選択する



(初期値)

## 6 [OK] ボタンをクリックする

## 7 らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

## お知らせ

電話機から設定することができます。

No.49：液晶ディスプレイのバックライト設定(☎5-115ページ)

# 操作ボタンの機能一覧

ITX92BT前面の操作ボタンを使用して設定・操作できる機能を一覧で示します。

機能名	内 容		参照先
料金表示	今までにかけた通信料金の合計をポートごとに表示します。		8-10ページ
E-Mail通知	BIGLOBEに電子メールが届くと、液晶ディスプレイに表示してお知らせします( BIGLOBEで追加の申し込みが必要です )。		『データ通信ガイド』Atermで使えるメール機能」
着信履歴	履歴表示	今までにかかってきた電話の相手や電話番号、着信した時刻などの着信履歴を液晶ディスプレイに表示します( 最新の50件分まで )。また、表示されている相手に電話をかけることもできます。	5-15ページ
	ポート選択	着信履歴発信をする場合に、使用する電話のポートを変更します。	5-17ページ
Bluetooth	BD_ADDR	ITX92BTのデバイスアドレスを表示します。	3-21ページ
	BD_NAME	ITX92BTのデバイス名を表示します。	
	動作モード	ITX92BTのBluetoothポートが使えるかどうかを参照や設定することができます。初期値はOFF( パスキーが設定されていない場合 )	
	パスキー	パスキーの参照や設定することができます。	
	暗号化	ITX92BTとBT01Uとの無線間のデータを暗号化するかどうかを参照や設定することができます。初期値はOFF( 暗号化しない )。	
お出かけ設定	外出時や就寝時などに利用するお出かけ設定のモード( おやすみモード / 電話着信転送モード / ボイスワープ転送モード / フラッシュモード )を選択します。		5-64ページ
アニメ設定	液晶ディスプレイに表示するアニメを選択します( アニメを表示しないようにすることもできます )。		2-10ページ
LCD履歴表示	液晶ディスプレイに表示された内容を確認できます。直前から過去6件までの内容が保存されていて、◀ ▲ ▶ ボタンまたは ◀ ▼ ▶ ボタンで表示を切り替えることができます。		
日時設定	液晶ディスプレイに表示される日付と時刻を設定します。		2-9ページ
日時初期化	ITX92BTを購入時の状態に戻します。		7-15ページ

機能名	内 容	参照先
バージョン	ITX92BTのバージョンやUSBポート接続の通信モードを液晶ディスプレイに表示します。	8-12ページ
コントラスト調整	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	8-13ページ
通信速度切り替え	128kbpsマルチリンクPPP通信中に、通信速度(128kbps 64kbps)を切り替えます。	『データ通信ガイド』『データ通信』
天気予報の表示	BIGLOBEのAterm天気通知サービスを利用して、天気予報を液晶ディスプレイに表示します( BIGLOBEで追加の申し込みが必要です )。	『データ通信ガイド』『Atermのその他の機能』

# 液晶ディスプレイに通信料金を表示する

今までにかけた通信料金の合計をポートごとに表示します。

また、すべてのポートの累積料金を電話機のボタンを使ってクリアすることができます。

## ポイント

累積料金はいつでもクリアできます。クリアすると、再び0円からカウントされます。

たとえば、毎月初めに累積料金をクリアして月ごとの料金の概算を知る、という使いかたができます。

## 操作 累積料金を表示する

ITX92BT前面の操作ボタンまたは電話機のボタンを使って、各ポートの累積料金を表示できます。

操作ボタンを使って表示する

1  ボタンを押す

2  ボタンまたは  ボタンを押して「料金表示」を反転表示させ、  
 ボタンを押す



ポートごとの累積料金が表示されます。



3  ボタンまたは  ボタンを押して、表示するポートを切り替える

 ボタンを押すたびに、シリアル  
USB Bluetooth 電話A 電話B  
電話Cの順にポートが切り替わります。

 ボタンを押して戻ることができます。

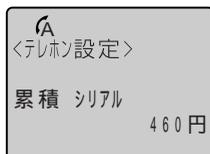
4  ボタンを押す  
通常の表示に戻ります。

## 電話機のボタンを使って表示する

1 受話器をあげる

2 \* \* 1 \* 4 \* 7 0  
\* を押す

累積料金が表示されます。



3 \* を押して、表示するポートを切り替える

\* を押すたびに、シリアル USB Bluetooth 電話A 電話B 電話Cの順にポートが切り替わります。

4 # # を押す

5 受話器を戻す  
通常の表示に戻ります。

## お知らせ

使用中のポートがあるときは、電話機から累積料金を表示することはできません。また、表示中は電話の発着信はできません。

## 操作 累積料金をクリアする

1 受話器をあげる

2 \* \* 1 \* 4 \* 7 0  
\* を押す

累積料金が表示されます。



3 1 を押します。

すべてのポートの累積料金がクリアされます。

4 # # を押す

5 受話器を戻す  
通常の表示に戻ります。

## お知らせ

- 表示される累積料金は通話ごとにINSネット64から通知される料金を累積したものです。INSテレホーダイなどをご利用の場合、実際の請求額とは異なります。
- 累積料金の表示・クリアは、らくらくアシスタントのメニュー画面 [通信情報と通信料金の確認]で行うこともできます(『データ通信ガイド』Atermのその他の機能 - AtermITX92BTの現在の状態を確認する)。

# ファームウェアのバージョンやUSBの通信モードを確認する

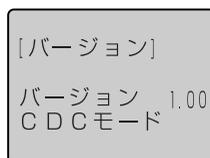
ITX92BTのファームウェアのバージョンや、設定されているUSBの通信モードを、液晶ディスプレイに表示して確認することができます。

## 設定 バージョンや通信モードを確認する

- 1  ボタンを押す
- 2  ボタンを押して[バージョン]を反転表示させ、 ボタンを押す



ファームウェアのバージョンと、USBの通信モード(CDCモードまたはAtermモード)が表示されます。



- 3  ボタンを押す  
通常の表示に戻ります。

## お知らせ

表示されるバージョン番号は、お使いのファームウェアによって異なります。

# 液晶ディスプレイのコントラストを調整する

ITX92BTの前面にある液晶ディスプレイが見えにくい場合などは、液晶ディスプレイのコントラストを調整することができます。

## 設定 コントラストを調整する

液晶ディスプレイのコントラストを調整するには、ITX92BT前面の操作ボタンを使います。

1  ボタンを押す

2  ボタンを押して「コントラスト調整」を反転表示させ、 ボタンを押す



3  ボタンまたは  ボタンを押してコントラストを変更する

 ボタンを押すと表示が濃くなり、

 ボタンを押すと表示が薄くなります。



4  ボタンを押す  
コントラストが変更されます。

# 切断理由・診断情報・生成源表示一覧

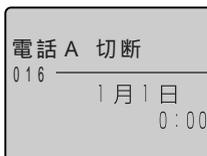
ITX92BTが通信を切断した理由などをらくらくアシスタントやATコマンドで表示することができます。

## 操作 切断理由などを見る

- 1 らくらくアシスタントを起動し、[ 通信情報と通信料金 ] ボタンをクリックする
- 2 [ 高度な情報 ] ボタンをクリックする

## お知らせ

- ・らくらくアシスタントでの表示内容については、添付CD-ROMに収録されている『データ通信ガイド』の「Atermのその他の機能 - AtermITX92BTの現在の状態を確認する」をご覧ください。またATコマンドでの表示方法は、同じく『データ通信ガイド』の「データ通信-ATコマンド」をご覧ください。
- ・切断理由は、通話 / 通信が切断されたときに、ITX92BTの液晶ディスプレイにも表示されます。



切断理由

## 切断理由表示一覧

	AT#Cコマンド表示 らくらく表示	理由種別
正常クラス	001	欠番
	002	中継ルートなし
	003	相手ルートなし
	006	チャンネル不許可
	007	設定済みのチャンネルへ着呼
	016	正常切断
	017	着ユーザビジー
	018	着ユーザ応答なし
	019	相手ユーザ呼び出し中、応答なし
	020	加入者不在
	021	相手ユーザ通信拒否
	022	相手加入者端末番号変更
	026	選択されなかったユーザの切断復旧
	027	相手端末故障中
028	無効番号フォーマット(不完全番号)	

	AT#Cコマンド表示 らくらく表示	理由種別
リソース使用 不可クラス	029	ファシリティ拒否
	030	状態問い合わせ応答
	031	その他
	034	利用可回線 / チャネルなし
	038	網故障
	041	一時的故障
	042	交換機輻辳
	043	アクセス情報破棄
サービス提供 不可クラス	044	要求回線 / チャネル利用不可
	047	その他
	049	QOS利用不可
	050	要求されたファシリティ未契約
	057	伝達能力不許可
サービス 未提供クラス	058	現在利用不可伝達能力
	063	その他
	065	未提供伝達能力指定
	066	未提供チャネル種別指定
	069	未提供ファシリティ要求
無効メッセ ージクラス	070	制限デジタル情報能力のみ可能
	079	その他
	081	無効呼番号使用
	082	無効チャネル番号使用
	083	指定された中断呼識別番号未使用
	084	中断呼識別番号使用中
	085	中断呼なし
	086	指定された中断呼はすでに切断復旧済み
	087	ユーザはCUGのメンバーではない
	088	端末属性不一致
手順誤り クラス	091	無効中継網選択
	095	その他
	096	必須情報要素不足
	097	メッセージ種別未定義
	098	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ種別未定義
	099	情報要素未定義または未提供
	100	情報要素の内容が無効
	101	呼状態とメッセージ不一致
	102	タイマ満了の回復
インタ ワーキング	111	その他
	127	その他

## 診断情報表示一覧

AT¥L1コマンド表示 らくらく表示	診断情報
000	本ポートは正常に着信を受け付けました。
201	本ポートは使用中のため着信を受け付けませんでした。
211	本ポートの着信番号設定とINSネット64からの宛先番号が一致していないため着信を受け付けませんでした。着信番号設定を確認してください。
212	本ポートのグローバル着信設定が「着信しない」に設定されているため、グローバル着信を受け付けませんでした。グローバル着信設定を確認してください。
213	本ポートの自己サブアドレス設定とINSネット64からの宛先サブアドレスが一致していないため着信を受け付けませんでした。自己サブアドレス設定を確認してください。
214	本ポートのサブアドレスなし着信設定が「着信しない」に設定されているため、サブアドレスなし着信を受け付けませんでした。サブアドレスなし着信設定を確認してください。
215	本ポートの識別着信設定が「着信する」になっており、識別番号設定に相手からの発信番号と一致するものがなかったため着信を受け付けませんでした。識別着信設定、および識別番号設定を確認してください。
221	着信があったポートのHLC設定がINSネット64からの着信通知のなかのHLCと一致しませんでした。HLCの設定を確認してください。
231	パケット端末からの着信がきましたが、着信を拒否しました。
301	スティルスコールバック要求の着信がきましたが、着信を受けることができませんでした。スティルスコールバックが「使用する」になっているか設定を確認してください。
302	スティルスコールバック要求に対してサーバ側がかけ直しているときに、別の着信がありましたが、その着信を拒否しました。
311	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力情報転送速度が64kbps以外の着信でした。
312	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力ユーザ情報レイヤ1プロトコルが違っていました。
313	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力ユーザ速度が56kbpsでしたので着信を拒否しました。
321	INSネット64からの着信通知の中にLLC速度情報が含まれていなかったため、着信を拒否しました。
322	INSネット64からの着信通知の中のLLCユーザ速度が本TAの受けられない速度でした。通信相手機器を確認してください。

AT¥L1コマンド表示 らくらく表示	診断情報
323	INSネット64からの着信通知の中のLLCユーザ速度が本TAの速度設定と不一致でした。「着信速度チェックしない」に設定し、通信速度が異なるパソコン同士でも通信できるようにしてください。
324	INSネット64からの着信通知の中のLLC同期 / 非同期が同期であるが、速度が64kbps以外の着信のため拒否しました。
325	INSネット64からの着信通知の中のLLC中間速度が本TAの受けられない速度のため拒否しました。
326	INSネット64からの着信通知の中のLLCフロー制御が本TAの設定と不一致でした。本TAのフロー制御方式設定をしてください。
327	INSネット64からの着信通知の中のLLCストップビット長、データビット長、パリティ情報が本TAの設定と不一致でした。通信相手と設定を合わせてください。
331	G4ファクシミリからの着信でした。相手側の装置を確認してください。
341	データポート通信中、またはアナログポート通信中で2チャンネル使用中のため着信が受け付けられませんでした。
361	応答平均化機能が「使用する」に設定されており、着信できないため、着信を無視しました。
371	電子メール着信通知またはUIメール着信通知がありました。
401	停電時のアナログ着信設定が「着信しない」になっているため、着信を受け付けませんでした。停電時着信設定を確認してください。
402	停電中のため電話Bポート、電話Cポートへの着信は受け付けませんでした。
411	アナログポートの設定が「使用しない」になっているため、着信を受け付けませんでした。アナログポート設定を確認してください。
421	内線通話中にチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
422	使用していないアナログポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
423	疑似キャッチホン設定ポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
424	キャッチホンなしの設定ポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
431	優先着信ポートの設定がされているため、優先着信ポートが着信を受けました。そのため、優先着信ポートでないアナログポートには着信しませんでした。
999	その他の理由

## 生成源表示一覧

AT#Cコマンド表示 らくらく表示	場 所
00	ユーザ自身
01	ユーザが直接接続する私設網
02	ユーザが直接接続する国内網
03	中継網
04	相手ユーザが直接接続する国内網
05	相手ユーザが直接接続する私設網
07	国際網
10	インタワーキング先の網

# 製品仕様

## 仕様一覧

### ITX92BT

項目		諸元	備考	
接続回線		INSネット64 OCNエコノミー回線		
交換形態		データポート:回線交換 アナログポート:回線交換		
使用チャンネル		Bチャンネル		
インタフェース形態および レイヤ1起動種別		P-MP常時またはP-MP呼毎契約	INSネット64接続の 場合	
回線 インタ フェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック(RJ-11)	DSU内蔵	
	伝送方式	2線、時分割伝送方式		
	伝送路速度	320kbps		
	伝送路符号	AMI符号		
	DSU折り返し機能	あり		
パソコン インタ フェース	呼接続機能	ATコマンド		
	無線 (Blue tooth)	通信方式	Bluetooth™1.0B	・規格による速度を示 すものであり、実効速 度は異なります。 ・電波の特性上、設定 場所や通信相手に よっては通信距離や 速度は異なります。
		最大通信速度	約720kbps(非対称型通信時) 約430kbps(対称型通信時)	
		出力クラス	Class1対応	
	通信距離	見通し100m	・電波の特性上、設定 場所や通信相手に よっては通信距離や 速度は異なります。	
対応profile	Generic Access Profile Service Discovery Application Profile Serial Port Profile			
(続く)	USB	通信速度(kbps)	非同期: 1.2、2.4、9.6、14.4、 19.2、(28.8、38.4、57.6) 非同期/同期PPP変換: 64 128kマルチリンクPPP: 128 PIAFS: 32、64	( )はV.110規格外
		パソコン速度	12Mbps	

項目		諸元	備考	
(続き) パソコン インタ フェース	RS-232C	機械的条件	D-Sub9ピンコネクタ	
		電気的条件	V.28	
		回路定義	V.24	
		通信速度 (kbps)	非同期: 1.2、2.4、4.8、9.6、14.4、 19.2、(28.8、38.4、57.6) 同期 / 非同期PPP変換: 64 128kマルチリンクPPP: 128 PIAFS: 32、64	・( )はV.110規格外 ・同期は同期PPP変換 ・128KはMPのみ
		パソコン速度 (kbps)	非同期: 1.2、2.4、4.8、9.6、14.4、 19.2、(28.8、38.4、 57.6、115.2、230.4)	
	速度整合方式	ITU-T V.110方式		
サービス機能	発信者番号、着信番号			
	自己サブアドレス 短縮ダイヤル 最大10箇所(注1) 疑似識別着信 最大30箇所(注1) 発信者番号通知 非同期 / 同期PPP変換 128kbpsマルチリンクPPP(注2) BOD機能 応答平均化 ユーザ間情報通知 無通信監視タイマ 強制切断タイマ 電子メール着信通知 遊遊メール UIメール 回線状態・通信料金表示 着信履歴表示(注3) PIAFS対応(注4) OCNエコノミー対応(注4) マルチアクセス ITMUX スタイルスコールバック(注4) USBネットワーク(注4) CTI機能(注4) 優先着信ポート i-ナンバー対応 SmartWakeUp!機能対応(注2)	(注1)データポートと アナログポートで共 用しています。  (注2)Bluetoothポー トでは対応していま せん。  (注3)USBポートのみ (注4)Bluetoothポー トでは、バージョン アップにて対応予定		
アナログ装置 インタフェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック(RJ-11)		
	基本機能	ポート数: 3ポート 受信ダイヤル: PBのみ ブランチ接続: 可(注5) 供給電圧: 約4.8V(無負荷時)	(注5) ・ナンバー・ディスプ レイ対応機器をブラ ンチ接続した場合、ナ ンバー・ディスプレイ ができません。 ・1つのポートに3台 まで接続可。 (合計容量: 3 $\mu$ F / 2k 以下)	
(続く)				

項目	諸元	備考
(続き) アナログ装置 インタフェース	アナログポート サービス機能  アナログポート使用可 / 不可選択 端末機種選択: 電話(音声) G3FAX(3.1kHz オーディオ) 発信者番号、着信番号 自己サブアドレス 発信者番号通知 内線通話・内線転送 優先着信ポート 短縮ダイヤル 最大10箇所(注6) 疑似識別着信 最大30箇所(注6) ダイヤル桁間タイマ 疑似キャッチホン 疑似三者通話 疑似着信転送 お出かけ設定 i-ナンバー対応 フレックスホン対応 INSボイスワープ対応 INSなりわけサービス グローバル着信選択 アナログ・ダイヤルイン モデム・ダイヤルイン INSナンバー・ディスプレイ対応 キャッチホン・ディスプレイ対応 着信履歴表示 / 着信履歴先発信 迷惑電話防止 最大20箇所 疑似なりわけ 最大30箇所 マイプライベート着信 最大30箇所 選択キャッチホン 識別着信転送 フッキング検出タイマ リバースパルス送出 テレホンUIメール テレホン遊遊メール	(注6)データポート とアナログポートで 共用しています。
停電モード	アルカリ乾電池  待ち受け時間 約4時間 通話 約2時間	
	ニカド電池  待ち受け時間 約40分 通話 約20分 2日でフル充電	別売りオプション品
診断機能	自己診断試験	
ヒューマン インタフェース	バックライト液晶ディスプレイ 状態表示LED×3 でかけるボタン 操作ボタン ディップスイッチ INS回線リバーススイッチ	

項目		諸元	備考
利用可能OS		Windows Millennium Edition 日本語版 Windows 98 Second Edition 日本語版 Windows 98 日本語版 Windows 2000 Professional 日本語版	
電源		AC100 ± 10V、50 / 60Hz	
使用条件	温度 湿度	0 ~ 40 10 ~ 90%	結露しないこと
外形寸法 (W × H × D)		(W)58 × (H)172 × (D)133mm	突起部分を除く
質量		約0.5kg	乾電池・オプション品除く
消費電力		約8.0W(最大)	

## BT01U

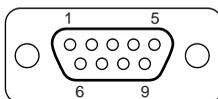
項目		諸元	備考
端末インターフェース		USB	
無線インターフェース	通信方式	Bluetooth™1.0B	
	最大通信速度	約720kbps(非対称型通信時) 約430kbps(対称型通信時)	・規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。 ・電波の特性上、設定場所や通信相手によっては通信距離や速度は異なります。
	出力クラス	Class1対応	
	通信距離	見通し100m	・電波の特性上、設定場所や通信相手によっては通信距離や速度は異なります。
	対応profile	Generic Access Profile Service Discovery Application Profile Serial Port Profile	
利用可能OS		Windows Millennium Edition 日本語版 Windows 98 Second Edition 日本語版 Windows 2000 Professional 日本語版	
電源		AC100 ± 10V 50 / 60Hz(ACアダプタ使用時)または、DC5V(パソコンからUSB給電)	
使用条件	温度 湿度	0 ~ 40 10 ~ 90%	結露しないこと
外形寸法 (W × H × D)		約(W)57 × (H)57 × (D)23mm	ACアダプタ、スタンド等は除く
質量		約0.05kg(本体のみ) ACアダプタ 0.35kg	
消費電力		約3W(最大)	



# D-SUB 9ピンインタフェース

## コネクタ形状

9ピンコネクタ(メス型)



ピン番号	信号方向 パソコン ITX92BT	名称	機能
シェル	(FG)	保安用接地	装置のフレームアースです。
1	CD	キャリア検出	ITX92BTが、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON: パソコンにデータ受信を要求します。 OFF: パソコンにデータ受信を要求しません。
2	RD	受信データ	ITX92BTからパソコンへ送られるデータです。
3	SD	送信データ	パソコンからITX92BTへ送られるデータです。
4	ER	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します。 ON: パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します。 OFF: パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します。
5	SG	信号用接地	相互接続回路に基準電位をあたえます。
6	DR	データセットレディ	ITX92BTが動作準備ができているかどうかを示します。 ON: パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します。 OFF: パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します。
7	RS	送信要求	データ送信許可を要求します。 ON: データ送信許可を要求します。 OFF: データ送信許可を要求しません。
8	CS	送信可	データ送信可能かどうかを示します。 ON: データ送信が可能です。 OFF: データ送信してはいけません。
9	CI	被呼表示	パソコンに着信していることを示します。 ON: 着信があることを示します。 OFF: 着信がないことを示します。

# 別売りオプション

オプションとして次の商品を用意しています。

## AtermITX用Ni-Cdバッテリーパック( PC-IT/B02 )

停電モード用充電式ニカド電池パックです。

「停電対策」( 8-26ページ )

## S点ユニット( PC-IT/U03 )

ターミナルアダプタやISDN通信機器を増設するときに使います。

「ターミナルアダプタの増設( S点ユニット / 高機能S点ユニット )」( 8-31ページ )

## 高機能S点ユニット( PC-IT/UX2 )

ターミナルアダプタやISDN通信機器を増設するときに使います。ほかのターミナルアダプタに接続した電話機との内線通話ができます。

「ターミナルアダプタの増設( S点ユニット / 高機能S点ユニット )」( 8-31ページ )

## DSU切り離しユニット( PC-IT/US1 )

ITX92BTからDSU機能を切り離すときに使います。

「DSU機能の切り離し( DSU切り離しユニット )」( 8-33ページ )

## USBケーブル( PC-IT/K02 )

ITX92BTをパソコンのUSBポートに接続するためのケーブル( 約2m )です。

## 落雷プロテクタ( PC-IT/SP01 )

INSネット64のモジュラジャックとITX92BTの間に接続し、ITX92BTを雷から保護します。

## AtermBT01U for DESKTOP( PC-ITX/BT01U( D ) )

## AtermBT01U for MOBILE( PC-ITX/BT01U( M ) )

2台のBT01Uを接続したそれぞれのパソコン間でファイル共有やプリンタ共有することができます。

# 停電対策

ITX92BTに電池を入れておくと、停電時も電話が使用できます。

## ポイント

停電するとITX92BTは使用できなくなり、通話中でも通話が切断されます。電池を入れておくと、停電時には自動的に停電モードに切り替わって動作します。

ITX92BTでは、ニカド電池パックまたは単3アルカリ乾電池が使用できます。

使用できるポート：電話Aポート、シリアルポート、USBポートまたはBluetoothポート、S点ユニット

電源不要なもの、またはバッテリーなどで動作する機器を使用してください。電子メール着信通知や遊遊メール、UIメールも利用できます。

電池使用時の連続動作可能時間の目安(電話Aポートのみを利用する場合)

電池	連続待ち受け時間	連続通話時間
ニカド電池パック(フル充電時)	約40分	約20分
単3アルカリ乾電池(新品)	約4時間	約2時間

## お願い

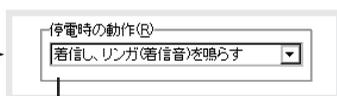
- ・停電中は、電話Bポート、電話Cポートの電話機の受話器をあげても使用できません。また、電池の消耗が早くなりますので、受話器は置いたままにしておいてください。
- ・S点ユニット、シリアルポート、USBポートまたはBluetoothポートに機器を接続すると、電池の消耗が早くなります。停電中は、不要な機器をはずしておいてください。
- ・停電モード中に電池が消耗し、ITX92BTが使用できなくなった状態で停電から復旧した場合、その後ITX92BTを使用できなくなることがあります。このようなときは、ITX92BTの電源を切り、電池を取り外してから、もう一度電源を入れてください。

## 設定

停電モード中に着信を受け付けるかどうかを選択できます。また、着信時にリング(着信音)とブザーのどちらを鳴らすかを選択できます。

らくらくアシスタントで設定する場合

- 1 メニュー画面 [アナログポートの詳細設定] [電話Aポート] タブ [設定項目選択] のよく利用する設定 を選択する
- 2 停電時の動作を選択する  
[停電時の動作] から [着信し、リングを鳴らす] [着信し、ブザーを鳴らす] [着信しない] のいずれかを選択します。

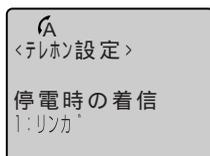


(初期値)

- 3 [OK] をクリックする

電話機から設定する場合

- 1 受話器をあげる
- 2 \* \* 1 \* 4 \* 2 2 \* を押す
- 3 設定内容の番号を押す  
0 : 着信を受け付け、ブザーを鳴らす  
1 : 着信を受け付け、リングを鳴らす (初期値)  
3 : 着信を受け付けない
- 4 # # を押す
- 5 受話器を戻す

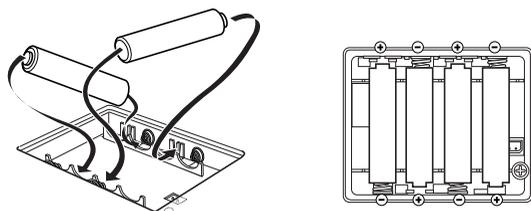




### 3 電池を入れる

単3アルカリ乾電池の場合

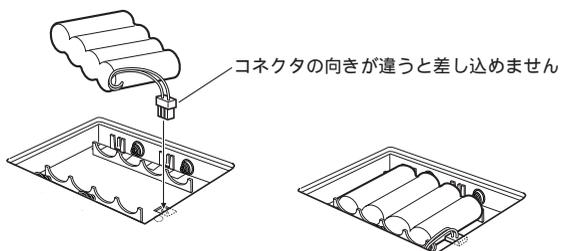
市販の単3アルカリ乾電池(4本)を、+ - の向きを間違えないように図のようにセットしてください。



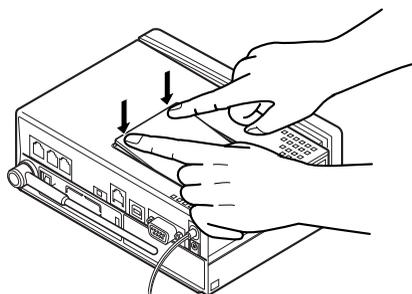
ニカド電池パックの場合

別売りのニカド電池パック(品番: PC-IT/B02)のコネクタ部をITX92BTに差し込んでから、電池パックをはめ込みます。

電池パックをはめ込んでから、コードを電池のすきまに押し込んでください。



### 4 電池カバーを閉じる



### 5 ITX92BTの電源を入れる

ニカド電池パックの場合は充電が始まり、約2日間で完全に充電されます。停電モードでニカド電池パックを使用すると、停電復旧後、ふたたび自動的に充電します。

## お願い

- ・電池を入れてご利用になる場合は特に、直射日光・高温・多湿の場所にITX92BTを設置しないようご注意ください。
- ・電池を入れた側を発熱する機器の近くに置かないでください。
- ・通風口をふさがないでください。
- ・ご使用の電池の利用上の注意をよく守ってお使いください。
- ・ニカド電池パックの寿命は、通常のご利用で約2年間です。いざという場合に備えて、早めの交換をおすすめします。
- ・3カ月に1回程度は、電池カバーをあけて電池の点検を行うことをおすすめします。アルカリ乾電池の場合、長期間入れたままにしておくと、電池の液もれが起ることがあります。

アルカリ乾電池は、使用の有無にかかわらず1年で交換してください。なお、電池の交換忘れを防止するため、アルカリ乾電池は停電してからセットすることをおすすめします。

## お知らせ

- ・停電モードでアルカリ乾電池使用の場合、ITX92BT前面のPOWERランプの点滅がゆっくり(1秒間に1回)になったときは、電池の容量がなくなってきています。通話/通信が途中で切断される可能性があるため、早めに電池を交換してください。
- ・ニカド電池パックを充電しても、停電モード時の動作が不安定になる場合は、電池の寿命です。新しいニカド電池パックに交換してください。
- ・停電時にニカド電池パックの電池が切れた場合は、単3アルカリ乾電池をご利用ください。

### 危険

アルカリ乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



### 使用済みニカド電池について

ITX92BTを破棄する場合は、ニカド電池パックを取り出してください。取り出したニカド電池パックや寿命に達して交換したニカド電池パックは、貴重な資源となりますので、ITX92BTまたはニカド電池パックをお買い上げの販売店もしくはお近くのニカド電池リサイクル協力店にお持ちください。



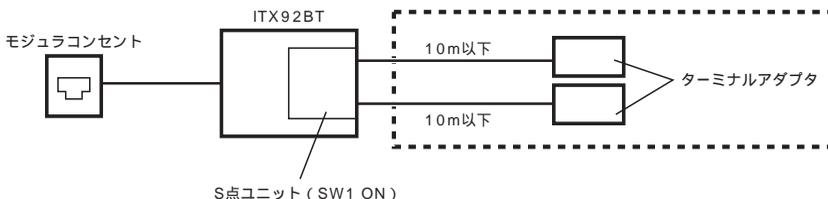
# ターミナルアダプタの増設

(S点ユニット/高機能S点ユニット)

INSネット64にほかのターミナルアダプタやISDN通信機器を増設するときは、別売りのS点ユニットまたは高機能S点ユニットをお使いください。最大7台までのターミナルアダプタやISDN通信機器を増設できます。

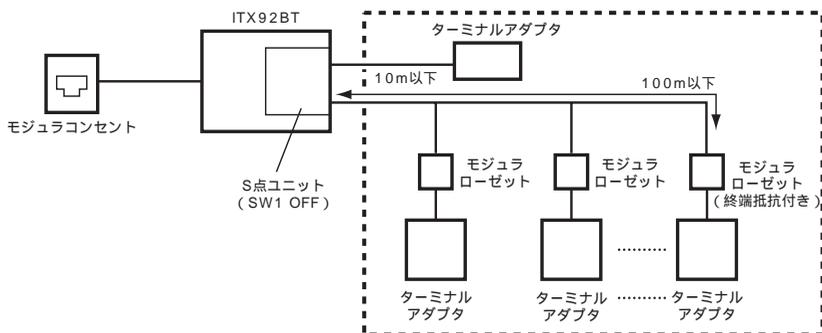
## 2台までのターミナルアダプタを増設する場合

S点ユニットまたは高機能S点ユニットの2つのモジュラジャックには、2台までのターミナルアダプタを接続できます。



## 3台以上のターミナルアダプタを増設する場合

3台以上のターミナルアダプタを増設するには、モジュラローゼットを使用します。



## S点ユニット(PC-IT/U03)について

ITX92BTに、別のターミナルアダプタやISDN通信機器を増設できます。ITX92BTのS点ユニットスロットにS点ユニットを差し込んで利用します。S点ユニットはモジュラジャックを2個装備しているため、2台までは簡単に増設できます。

また、ITX92BTに取り付けて、自分自身のDSU機能を切り離すことができます。DSU機能を切り離すと、DSUやほかのターミナルアダプタにITX92BTを接続できるようになります。

S点ユニットの取り付けかた、使用方法については、S点ユニット添付の取扱説明書をお読みください。

## 高機能S点ユニット(PC-IT/UX2)について

ITX92BTに、別のターミナルアダプタやISDN通信機器を増設できます。高機能S点ユニットの場合は、さらに増設したターミナルアダプタに接続した電話機やパソコン同士で、内線通話(通信)や内線転送ができるホームネットワークを構築できます。

ITX92BTのS点ユニットスロットに高機能S点ユニットを差し込んで利用します。高機能S点ユニットはモジュラジャックを2個装備しているため、2台までは簡単に増設できます。

ホームネットワークモードを利用すると、各ターミナルアダプタに接続している電話機同士で内線通話・通信や内線転送ができるようになります。

高機能S点ユニットの取り付けかた、使用方法については、高機能S点ユニット添付の取扱説明書をお読みください。

## お願い

- ・DSUを切り離すだけの場合は、「DSU切り離しユニット」(PC-IT/US1)をお使いください。
- ・S点ユニットカバーを取りはずした際に、異物をスロット内部に入れないでください。故障の原因になります。
- ・ハンダ面にふれないようにしてください。けがをするおそれがあります。

## お知らせ

### 高機能S点ユニットで、ホームネットワークを使用する場合のグループ番号の設定について

- ・i・ナンバーを使用するとき  
グループ番号7、8、9はi・ナンバー用として確保されています。子TAがグループ番号7で発信すると、親TAはi・ナンバー情報1で子TAへ着信をかけます。子TAがグループ番号8で発信すると、親TAはi・ナンバー情報2で子TAへ着信をかけます。また、子TAがグループ番号9で発信すると、親TAはi・ナンバー情報3で子TAへ着信をかけます。i・ナンバーをご利用の場合は、グループ番号7、8、9でお使いください。

グループ番号0～6で発信すると、着側TAの全ポートが着信することになります。

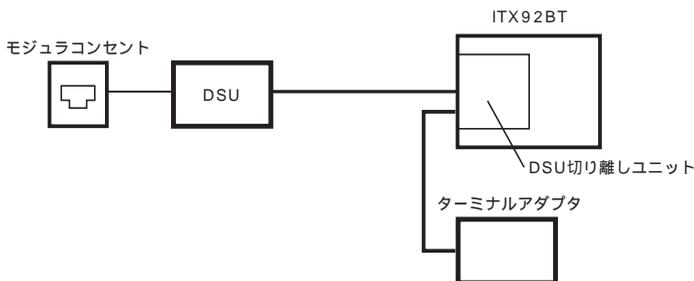
- ・i・ナンバーを使用しないとき  
グループ番号0～7までは契約者回線番号、ダイヤルイン番号を登録できます。

# DSU機能の切り離し (DSU切り離しユニット)

ITX92BTからDSU機能を切り離すには、DSU切り離しユニット( PC-IT/US1 )を使用します。

## ポイント

DSUは、ターミナルアダプタなどの通信用端末をINSネット64に接続するために必要な装置(機能)ですが、ITX92BTにはDSU機能が内蔵されているため、DSUは通常必要ありません。ただし、ほかのISDN対応端末を増設する場合など、DSU機能をITX92BTとは切り離したいときには、DSU切り離しユニットを使用します。



DSU切り離しユニットは、ITX92BTのS点ユニットスロットに差し込んで利用します。DSU切り離しユニットの取り付けかた、使用方法については、DSU切り離しユニット添付の取扱説明書をお読みください。

## お願い

- ・ S点ユニットカバーを取りはずした際に、異物をスロット内部に入れないでください。故障の原因になります。
- ・ ハンダ面にふれないようにしてください。けがをするおそれがあります。

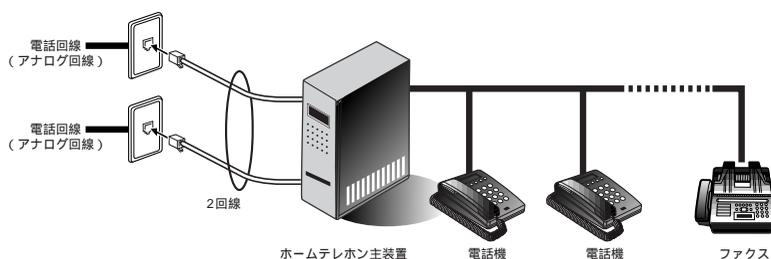
# ホームテレホン/ビジネスホンの接続

ホームテレホンやビジネスホン(ボタン電話装置)を、ITX92BTに接続することができます。

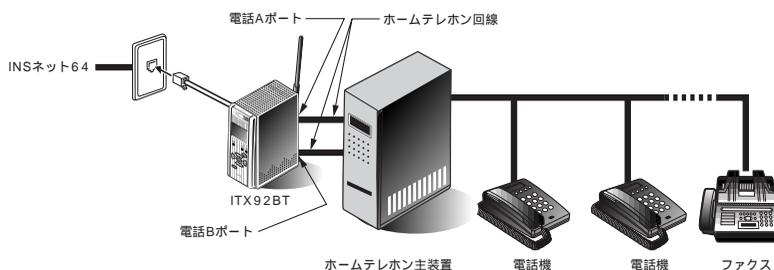
## 接続方法

1本のINSネット64で、電話回線(アナログ回線)2本分を収容することができます。

### 電話回線(アナログ回線)の場合



### INSネット64の場合



\* ホームテレホン主装置に接続する際は、電話Aポートと電話Bポートに接続してください。



# ビックロフ おすすめプロバイダBIGLOBEのご紹介

インターネットを利用するには、インターネットプロバイダに加入する必要があります。プロバイダをお探してしたら、Atermの便利な機能が使えるBIGLOBEをおすすめします。

## BIGLOBEって？

インターネットプロバイダは、インターネット接続のための環境を提供するサービス会社です。インターネットプロバイダと契約すると、自宅からインターネットプロバイダのアクセスポイントに電話をかけるだけで、インターネットを利用できるようになります。BIGLOBEは国内屈指の規模を誇る、総合型インターネットプロバイダです。接続メニューの豊富さ・新技術への対応・会員サポートの充実など、あらゆる面で高水準のサービスを提供しております。



BIGLOBEのトップページ 画面は平成13年4月現在のものです)

URL: <http://www.biglobe.ne.jp/>

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## BIGLOBEへの入会方法

BIGLOBEに入会する方法はいろいろありますが、「らくらくアシスタント」を使って、いくつかの質問に答えながら、その場ですぐに入会することができます。

「BIGLOBEへのオンラインサインアップ」(  3-33ページ )

# 文字コード一覧表

電話番号着信通知(☎5-69ページ)を利用する場合など、電話機からメールアドレスなどを入力するときは、以下の文字コード一覧表を使って入力します。入力したい文字のコードを順番に押してください。

## ■ 文字コード一覧表 ■

文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード
ア	11	イ	12	ウ	13	エ	14	オ	15
カ	21	キ	22	ク	23	ケ	24	コ	25
サ	31	シ	32	ス	33	セ	34	ソ	35
タ	41	チ	42	ツ	43	テ	44	ト	45
ナ	51	ニ	52	ヌ	53	ネ	54	ノ	55
ハ	61	ヒ	62	フ	63	ヘ	64	ホ	65
マ	71	ミ	72	ム	73	メ	74	モ	75
ヤ	81	(	82	ユ	83	)	84	ヨ	85
ラ	91	リ	92	ル	93	レ	94	ロ	95
ワ	01	ヲ	02	ン	03	。	04	。	05
A	16	B	17	C	18	D	19	E	10
F	26	G	27	H	28	I	29	J	20
K	36	L	37	M	38	N	39	O	30
P	46	Q	47	R	48	S	49	T	40
U	56	V	57	W	58	X	59	Y	50
Z	66	?	67	!	68	-	69	/	60
¥	76	&	77	—	78	,	79	%	70
*	86	#	87	スペース	88	.	89	@	80
1	96	2	97	3	98	4	99	5	90
6	06	7	07	8	08	9	09	0	00
訂正	**	頁めくり	* 1	-	* 2	前回のデータ	* 3	[	* 4
大/小文字	* 5	]	* 6	スペース	* 8	—	* 91	;	* 92

## お知らせ

- ・英字の大文字 / 小文字を切り替えるには、**[\*]** **[5]** を押します。
- ・数字を入力するには、**[\*]** **[8]** を押します。

## 修理について

### ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ホームページAtermStationのご案内

### ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

**INFORMATION - お知らせ -**

新製品発売のお知らせや、バージョンアップのお知らせ、各種キャンペーンなどのお知らせを掲載しています。

**FEATURE ARTICLES - 特集 -**

Atermに関する新しい機能についての使い方や活用のアイデアを、イラストタッチで初心者にもわかりやすく説明しています。

**LINE UP - 新商品 -**

Atermのラインアップや新商品の特長・仕様を説明します。

**VERSION UP - バージョンアップ -**

Aterm各機種の最新のソフトウェア(ユーティリティ、モデム定義ファイル、ウィザード、ファームウェアなど)やマニュアルの最新データを提供しています。オンラインバージョンアップを行う場合は、ここから最新のファームウェアをダウンロードすることもできます。

**SUPPORT DESK - サポートデスク -**

オンラインユーザ登録のコーナーのほか、最新の各種サポート情報が掲載されています。トラブル発生時などに役立ちます。

**TOPICS - トピックス -**

各種サービスについての動作確認済み機種のリスト、接続確認済みプロバイダリストなどの情報を掲載しています。

# Atermに関するお問い合わせ先

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

# NEC PCクリーンスポットの訪問サービス

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

# 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付のCD-ROM『BTSTARユーティリティ集』の『用語解説』を参照してください。

## アルファベット順

**ATコマンド**:米国ヘイズ社が開発した、モデムやターミナルアダプタを制御するためのコマンド。「AT」という文字列で始まることから、こう呼ばれている。

**Bチャンネル**(B1チャンネル・B2チャンネル):ISDN回線の情報チャンネル(64kbps)。INSネット64にはB1・B2という2本のBチャンネルがあり、電話をしながらインターネットに接続するなど、同時に2つの通信/通話を行うことができる。

**Bluetooth**:2.4GHzの周波数帯域を使った省電力、短距離を意識した無線通信規格。パソコンや周辺機器などをケーブルを使用しないで接続することができる。

**bps**:bit per secondの略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。

**CCLファイル**:MacOSで使用するモデム設定用のソフトウェア。

**COMポート**:パソコンのシリアルポートのこと。複数ある場合は、COM1、COM2などと表示される。

**DNS**:Domain Name Systemの略。インターネットなど、TCP/IPを使ったネットワーク上でIPアドレスとドメイン名を相互変換するデータベースシステム。

ディーエスユー

**DSU**:Digital Service Unitの略。INSネット64とターミナルアダプタ・ISDN電話機などを接続するときのインタフェースとなる装置。

**ER信号**:Equipment Readyの略。RS-232Cインタフェースでやりとりされる信号の1つ。接続されているパソコンが動作可能な状態であることを示す。

**ID**:Identificationの略。セキュリティの目的で、特定の利用者であることを区別するために使用する記号や名前。ネットワークへログインするときに、パスワードと組み合わせる使用が多い。

**IP**:Internet Protocolの略。インターネット接続などで使われる。一般的にTCP/IPと呼ばれているプロトコルの1つ。

**IPアドレス**:インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bitの値をもち、8bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する(例:192.168.0.10)。

**PDFファイル**:アドビシステムズ株式会社の提供する「Acrobat Reader」で閲覧することができる文書形式。「Acrobat Reader」はアドビシステムズ株式会社のホームページより無償でダウンロードできる。添付のCD-ROM『BTSTARユーティリティ集』にも収録されている。

PPP: Point to Point Protocolの略。遠隔地にある2台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線やINSネット64を使ってインターネット接続するために使われる。

アールエスニイサンニイシー

RS-232C: シリアル(データをビット単位で順次転送するタイプ)インタフェースの規格。主にターミナルアダプタ/モデムなどの周辺機器とパソコンとを接続するために使用する。

エステー

S/T点端子: DSUとターミナルアダプタ/ISDN電話機などを接続するためのインタフェース。

URL: Uniform Resource Locatorの略。インターネット上のリソース(データなど)の場所とプロトコルを指定するための書式。一般にホームページ(Web)アドレスと呼ばれているものはその一例。

USB: Universal Serial Busの略。パソコンの周辺機器を数珠つなぎ式またはハブを使った星形に接続できる高速のインタフェース。

WWW: World Wide Webの略。

## あ行

アカウント: コンピュータネットワークの中で特定のサービスを利用するために利用者に与えられるID。

アクセスポイント: プロバイダ(またはパソコン通信サービス)が各地に設けているダイヤルアップ接続するための電話番号。

インストール: パソコンの周辺機器やソフトウェアを実際に使えるようにすること。ソフトウェアは、CD-ROMやフロッピーディスクなどの媒体からパソコン本体のハードディスクに、インストーラと呼ばれるプログラムを使ってコピーされる。セットアップともいう。

オンラインサインアップ: パソコンからアナログ回線/INSネット64を通じてプロバイダ(パソコン通信サービス)などへの入会・契約手続きを行うこと。

## か行～さ行

自己解凍形式: 圧縮ファイルにそのファイルの解凍プログラムを加えて実行形式のファイルにしたもの。そのファイルを実行すると、圧縮ファイルが自動的に解凍するので、解凍用のプログラムを必要としない。

終端抵抗: ターミネータともいう。S/T点に複数のターミナルアダプタ/ISDN電話機などをバス配線するとき最後の部分に付ける部品。通常はターミナルアダプタなどに内蔵されており、スイッチであり/なしを切り替えられる場合が多い。

初期化: ハードウェアやソフトウェアの設定値を初期状態に戻すこと。工場出荷時の値に戻す、登録した電話番号などは残したまま初期状態に戻すなどいくつかの初期化方法がある。

シリアルポート: シリアル(データをビット単位で順次転送するタイプ)インタフェース規格。ターミナルアダプタ/モデムなどの周辺機器とパソコンとの接続に利用される。

## た行～な行

ダイヤルアップ:プロバイダのアクセスポイントやRASサーバーに電話をかけ、INSネット64やアナログ回線を介してネットワークに接続すること。

同期通信:送信側と受信側でタイミングを合わせるための信号を加えてデータ通信すること。ほとんどのプロバイダとの接続ではPPPによる同期通信を行う。

ドメイン名・ドメインネーム:インターネットなどのネットワークに参加している組織などに一定の書式で名前を付けたもの。さらに、その組織内のコンピュータにはIPアドレスに対応したホスト名が付けられている。例えば、URL「http://www.nec.co.jp/」の「nec.co.jp」の部分がドメイン名にあたる。

## は行

バス配線:複数のISDN通信機器をISDN回線のS/T点に接続すること。最大8台まで。

非同期通信:送信データの前後にそれらを示すビット列を加えて通信する方法。受信側とタイミングをあわせる必要がない。パソコンのシリアルポートでは通常非同期通信ができる。

ファームウェア:ハードウェアを動作させるために、ハードウェアにあらかじめ組み込まれているソフトウェア。

ブラウザ:ホームページを見るためのアプリケーション。Internet ExplorerやNetscape Navigatorがよく使われている。

ブランチ接続:1つのポートをコネクタなどで分岐させて複数の機器を接続すること。

プリンタポート:パソコンに備わっている、プリンタ接続用のコネクタ。Macintoshのプリンタポートはモデムポートと同じように使用できる。

プロトコル:通信規約。システム(コンピュータやネットワーク)同士が正しく通信できるようにするための約束。

プロバイダ:インターネット接続をサービスする通信事業者。

ホームページ:インターネットのWWWを一般的に指す言葉。本来は、WWWサーバーのURLを指定して、最初に表示されるページを指す。

## ま行～

モデム定義ファイル:Windowsで使用するモデム設定用のソフトウェア。

ユーザID:IDと同じ。

ルータ:複数のネットワークを相互接続し、データの転送先や経路を選択する装置。











おかけ設定で「INSボイスワープ転送モード」を選択した場合

INSボイスワープ転送モードの設定																					
転送開始モード	<table border="0"> <tr> <td>無条件に転送*</td> <td>[</td> <td>起動電話番号</td> <td>]</td> </tr> <tr> <td>無応答時に転送</td> <td>[</td> <td></td> <td>]</td> </tr> <tr> <td>話中時に転送</td> <td>[</td> <td></td> <td>]</td> </tr> <tr> <td>無応答 / 話中時に転送</td> <td>[</td> <td></td> <td>]</td> </tr> <tr> <td>停止用電話番号</td> <td>[</td> <td></td> <td>]</td> </tr> </table>	無条件に転送*	[	起動電話番号	]	無応答時に転送	[		]	話中時に転送	[		]	無応答 / 話中時に転送	[		]	停止用電話番号	[		]
無条件に転送*	[	起動電話番号	]																		
無応答時に転送	[		]																		
話中時に転送	[		]																		
無応答 / 話中時に転送	[		]																		
停止用電話番号	[		]																		
契約電話番号	[		]																		

その他の設定	
通信中転送	使用しない*      使用する
アナログポート間内線通話	内線通話・内線転送を使用する*      使用しない
三者通話	使用しない*      三者通話      疑似三者通話
[#]で発信	[#]で発信しない      [#]で発信*      [#][#]で発信
LCDモード	常に消灯      常に点灯 自動( 発着信・回線切断時に点灯 ) 自動+データ通信中は常に点灯 自動+Bチャンネル使用中は常に点灯
LCD表示	発信時にLCDに番号を表示しない 発信時にLCDに番号を表示する*











電話帳

短縮ダイヤル			
短縮ダイヤル	名前	電話番号	サブアドレス
短縮ダイヤル00			
短縮ダイヤル01			
短縮ダイヤル02			
短縮ダイヤル03			
短縮ダイヤル04			
短縮ダイヤル05			
短縮ダイヤル06			
短縮ダイヤル07			
短縮ダイヤル08			
短縮ダイヤル09			

マイプライベート着信										
マイプライベート着信		利用しない*			利用する					
	名前	電話番号	サブアドレス	非通知	表示圏外	公衆	A	B	C	
00										
01										
02										
03										
04										
05										
06										
07										
08										
09										

疑似識別着信			
	名前	電話番号	サブアドレス
00			
01			
02			
03			
04			
05			
06			
07			
08			
09			



# 索引

## [ 記号・数字 ]

#発信 ..... 2-12, 5-10  
186/184 ..... 5-53  
25 ピン変換コネクタ ..... 3-31

## [ A ~ Z ]

Acrobat Reader ..... 10  
ACR 内蔵電話機 ..... 2-12  
AC アダプタ ..... 1-7  
AtermStation ..... 6-3, 8-44  
Aterm モード ..... 3-25, 3-32  
AT コマンド ..... 用語-1  
B1 チャンネル ..... 1-3, 1-9, 用語-1  
B2 チャンネル ..... 1-3, 1-9, 用語-1  
BIGLOBE ..... 3-33, 8-36  
Bluetooth ..... 1-2, 8-8  
    ~ 認証 ..... 3-24  
    ~ 通信 ..... 3-6  
    ~ の詳細設定 ..... 3-52  
    ~ ポート接続 ..... 1-2, 3-2  
    ~ ポート接続の状態 ..... 8-3  
Bluetooth(TM)PC Driver ユーティリティ  
    ..... 3-10  
    ~ の終了 ..... 3-23  
    ~ の詳細設定 ..... 3-46  
Bluetooth ポート接続の切断 ..... 3-23  
bps ..... 用語-1  
BS デジタルTV チューナ ..... 2-3, 4-9  
BTSTAR ネットワーク ..... 7  
B チャンネル ..... 1-3, 用語-1  
CCL ファイル ..... 用語-1  
CDC モード ..... 3-25, 3-32  
CD-ROM ..... 1-7  
COM ポート ..... 3-31, 用語-1  
DATA ランプ ..... 1-8  
DC ジャック ..... 1-13  
DNS ..... 用語-1  
DSU ..... 1-2, 8-33, 用語-1  
CTI 機能 ..... 3-3  
D-SUB 9 ピンインタフェース ..... 8-24  
ER 信号 ..... 1-9, 用語-1  
html ファイル ..... 10, 1-7  
i・ナンバー ..... 1-18, 5-24, 5-111  
ID ..... 用語-1  
INS 回線の電話番号の設定 ..... 5-2  
INS 回線リバーススイッチ ..... 1-10, 2-8  
INS キャッチホン ..... 5-46, 5-105  
INS なりわけサービス ..... 5-82, 5-92  
INS なりわけ識別着信 ..... 5-82, 5-105  
INS ナンバー・ディスプレイ  
    ..... 1-19, 5-57, 5-107  
INS ナンバー・リクエスト ..... 5-57  
INS ネット64 ..... 1-18, 2-2  
INS ボイスワープ ..... 5-64, 5-76  
INS ボイスワープ・セレクト ..... 5-64, 5-76  
IP アドレス ..... 用語-1  
ITMUX ..... 1-5, 3-3  
LCD 履歴表示 ..... 8-8  
MSG ランプ ..... 1-8  
NEC PC クリーンスポット ..... 8-47  
OCN エコノミー ..... 3-3  
PIAFS ..... 3-3  
PDF ファイル ..... 10, 1-7, 用語-1  
POWER ランプ ..... 1-8  
PPP ..... 用語-2  
RS-232C ..... 用語-2  
S/T 点端子 ..... 用語-2  
SIR 着信音 ..... 5-22  
SmartWakeUp! サービス ..... 1-5, 8-38  
S 点ユニット ..... 8-25, 8-31  
TA ..... 1-2

URL .....	用語-2
USB ドライバ .....	3-27
~のインストール .....	3-27
~の削除 .....	3-29
USB ネットワーク .....	3-3
USB の通信モード .....	3-25, 8-12
USB ポート接続 .....	3-2, 3-25
WWW .....	用語-2

## [ ア行 ]

相手を限定する	
キャッチホンの~ .....	5-92
転送する~ .....	5-102
電話を受ける~ .....	5-82
アカウント .....	用語-2
アクセスポイント .....	3-38, 用語-2
アース線接続端子 .....	1-10, 2-6
アナログ・ダイヤルライン .....	5-35, 5-107
アナログ回線 .....	1-2
アナログ通信機器 .....	1-2
アナログポート .....	1-11, 2-13, 5-105
アナログポートの簡単設定 .....	4-11, 6-2
アナログポートの詳細設定 .....	5-2, 6-2
アニメ設定 .....	2-10
アルカリ乾電池 .....	8-26, 8-29
アンテナ .....	1-10, 3-9
インストール .....	用語-2
Bluetooth(TM)PC Driver ユーティリ ティの~ .....	3-10
BT01U用ドライバの~ .....	3-14, 3-15, 3-16
USB ドライバの~ .....	3-27
らくらくアシスタントの~ .....	3-4
モデム情報の~ .....	3-35
インターネット	
~の接続を切断 .....	3-42
~のセットアップ .....	3-37
~へ接続する .....	3-40
~へ接続できない .....	3-45
インターネット接続の設定 .....	3-37, 6-2
インターネットプロバイダ .....	8-36
インフォメーションサービス .....	8-46
受ける	
キャッチホンを~ .....	5-48, 5-62

電話を~ .....	2-12
液晶ディスプレイ .....	1-8, 8-2
応答設定 .....	3-50
お出かけ設定 .....	5-64, 5-68, 8-8
お問い合わせ先 .....	8-46
オプション品 .....	8-25
オンラインサインアップ .....	3-33, 6-2
オンラインバージョンアップ .....	6-7
オンラインユーザ登録 .....	6-3

## [ カ行 ]

回線接続装置 .....	1-2
確認する	
BT01Uのドライバがインストールされ ているか~ .....	3-19
USBの通信モードを~ .....	3-27, 8-12
設定内容を~ .....	6-3
ファームウェアのバージョンを~ ..	8-12
ユーティリティ類のバージョンを .....	6-7
かける	
サブアドレスを付けて~ .....	5-43
短縮ダイヤルで~ .....	5-13
着信履歴から~ .....	5-15
電話を~ .....	2-11
疑似キャッチホン .....	5-46, 5-105
疑似三者通話 .....	5-49, 5-109
疑似識別着信 .....	5-82
疑似識別着信用の電話番号 .....	5-85, 5-113
疑似選択キャッチホン .....	5-92
疑似着信転送 .....	5-69, 5-111
疑似なりわけ .....	5-87, 5-113
疑似なりわけ用の電話番号 .....	5-90, 5-113
キャッチホン .....	5-46, 5-105
~の相手を限定する .....	5-92
~を受ける .....	5-48, 5-62
キャッチホン・ディスプレイ ..	5-61, 5-106
キャリングケース .....	1-7, 3-12
強制ローダモード .....	1-9, 6-10
グローバル着信 .....	4-10, 5-27, 5-105
購入時の状態に戻す .....	7-15
コントラスト .....	8-13

## [ サ行 ]

再発信	3-41
サブアドレス	5-43, 5-45
三者通話	5-49, 5-109
識別着信転送	5-102
識別着信の方法	5-84
識別リング	5-87
自己解凍形式	用語-2
自己サブアドレス	5-44, 5-107
自己診断	7-18
終端抵抗	用語-2
修理先一覧	8-41
受話音量調節	5-11
初期化	5-115, 7-15, 用語-2
シリアルポート	1-11, 用語-2
シリアルポート接続	3-31
診断情報	8-16
スタンド固定シール	1-7, 3-12
スティルスコールバック	3-3
製造番号	1-11
生成源表示	8-18
接続する	
Bluetooth™ 接続	3-20
INS ネット 64 へ	2-2
インターネットへ	3-40
電話を	2-3
パソコンを	3-6, 3-25, 3-31
ビジネスホンを	8-34
ファクスを	2-3
ホームテレホンを	8-34
モデムを	2-5
切断理由	8-14
設定する	
i・ナンバーを	5-24
アナログ・ダイヤルインを	5-35
疑似識別着信用の電話番号を	5-85
疑似なりわけ用の電話番号を	5-90
キャッチホン・ディスプレイを	5-61
キャッチホンを	5-46
三者通話を	5-49
識別着信転送を	5-102
識別着信の方法を	5-84
自己サブアドレスを	5-44

ダイヤルインサービスを	5-27
短縮ダイヤルの電話番号を	5-13
通信中転送を	5-80
転送の種類や転送条件を	5-71
電話機から	5-104
電話番号着信通知を	5-73
電話番号を	5-40
なりわけの方法を	5-89
ナンバー・ディスプレイを	5-57
発信者番号通知を	5-53
ボイスワープ転送を	5-77
マイプライベート着信用の電話番号を	5-99
マイプライベート着信を	5-99
迷惑電話防止の電話番号を	5-95
モデム・ダイヤルインを	5-31
優先着信ポートを	5-41
設定値の確認・保存・復元	6-3
設定値の初期化	6-2, 7-15
セットアップの流れ	1-14
全体接続図	1-21
選択キャッチホン	5-92
操作ボタン	1-8, 8-8
増設	8-31

## [ タ行 ]

ターミナルアダプタ	1-2, 8-31
ダイヤルアップ	3-40, 用語-3
ダイヤルイン	1-4, 4-7, 4-8, 4-10, 5-27
ダイヤル桁間タイマ	2-12, 5-9, 5-105
縦置きスタンド	1-7, 3-11
短縮ダイヤル	5-13
着信	
特定の電話機に	5-39
優先的に	5-41
着信音を使い分ける	5-87
着信ダイヤルイン複数選択	5-39
着信転送	5-69
着信履歴	3-42, 5-15, 8-4, 8-8
着信履歴先発信	5-15, 5-17
通信情報と通信料金の確認	6-3
通信速度	8-9
通信中転送	5-80
通信料金	6-3, 8-10

使わないアナログポート	2-13
ディップスイッチ	1-12, 3-26, 7-17, 7-15, 8-23
停電対策	8-26
データポートの詳細設定	6-2
でかけるボタン	1-8, 5-64, 5-68, 5-75, 5-79, 5-103
デバイスアドレス	3-9, 8-8
デバイス探索	3-20
デバイスマネージャ	3-19
天気通知サービス	1-5, 8-9
電子マニュアル	10, 1-7
電子メール着信通知	1-5, 8-38
転送種類や転送条件	5-71
転送する	
条件に応じて～	5-76
通話中に～	5-76, 5-80
電話を～	5-69
特定の相手のみ～	5-102
無応答時に～	5-76
転送トーク	5-70, 5-111
転送元トーク	5-70, 5-111
電池のセット	8-28
添付品	1-6
電話	
～がつながらない	2-11
～に出られない	5-64
～を受ける	2-12
～を受ける相手を限定する	5-82
～をかける	2-11
～を転送する	5-76
電話 A ポート	1-11, 2-3
電話 B ポート	1-11, 2-3
電話 C ポート	1-11, 2-3
電話機能一覧	5-4
電話帳機能の設定	5-2
電話番号	
～を相手に知らせる	5-53
～を設定する	5-40
～を表示する	5-57, 5-61
1 台の電話機で複数の～	5-39
2 つまたは 3 つの～	5-24
複数の～	5-27

電話番号着信通知	5-64, 5-69
同期通信	用語-3
特定の電話機に着信	5-39
ドメイン名	用語-3
トラブルシューティング	7-2

## [ ナ行 ]

内線指定番号	5-33, 5-34, 5-37, 5-38
内線通話	5-18
内線転送	5-20
内線呼出信号	5-22, 5-106
なりわけの方法	5-89
ナンバー・ディスプレイ	5-57
ニカド電池	8-29
日時設定	2-9
ネットワーク転送型	5-76

## [ 八行 ]

バインド	3-21
バスキー	3-8, 7-12
バス配線	用語-3
パソコンとの接続方法	3-2
バックライト	5-115, 8-6
発信音	2-11
発信者番号通知	5-53, 5-106
バージョン	8-12
バージョンアップ	3-3, 6-3
ビジネスホン	8-34
ビッグローブ	3-33, 8-36
非同期通信	3-42, 用語-3
表示する	
各種情報を～	6-3
着信履歴を	5-15
通信料金を～	6-3, 8-10
電話番号を～	5-57, 5-61
ファームウェア	8-12, 用語-3
フッキング	5-7, 5-20, 5-51, 5-52
フッキング検出タイマ	5-7, 5-19, 5-105
ブラウゼ	3-43, 用語-3
プラグアンドプレイ	3-32
フラッシュモード	5-64
ブランチ接続	2-4, 用語-3
プリンタポート	用語-3

フレックスホン	..... 5-46, 5-49, 5-70, 5-80
フレッツ・ISDN	..... 1-19, 7-13
プロトコル	..... 用語-3
プロバイダ	..... 用語-3
別売りオプション	..... 8-25
ボイスワープ転送	..... 5-76, 5-114
ボイスワープ転送モード	..... 5-64, 5-114
訪問サービス	..... 8-47
ホームテレホン	..... 8-34
ホームページ	..... 3-43, 用語-3

### [ マ行 ]

マイプライベート着信	..... 5-98, 5-110
マイプライベート着信用の電話番号	..... 5-99, 5-113
マルチアクセス	..... 1-5
迷惑電話おことわりサービス	..... 5-94
迷惑電話防止	..... 5-94, 5-115
迷惑電話防止の電話番号	..... 5-95
メール着信通知サービス	..... 8-38
文字コード	..... 8-39
モデム	..... 2-5
モデム・ダイヤルイン	..... 5-31, 5-107
モデム定義ファイル	..... 用語-3

### [ ヤ行 ]

ユーザID	..... 用語-3
ユーザ登録	..... 8-44
優先着信ポート指定	..... 5-41, 5-109
ユーティリティのファイル情報	..... 6-3
遊遊メール	..... 5-69, 8-38
呼び分け	..... 5-24, 5-27, 5-31, 5-35

### [ ラ行 ]

落雷プロテクタ	..... 8-25
らくらくアシスタント	
~のインストール	..... 3-4
~の使いかた	..... 6-4
~を起動する	..... 6-5
リバースパルス	..... 7-7
リモートデバイス	..... 3-46
~のプロパティ	..... 3-49
リンクキー	..... 3-24
利用例	..... 4-2
累積料金	..... 8-10
ルータ	..... 用語-3
ローカルデバイス	..... 3-46
~のプロパティ	..... 3-47

### [ ワ行 ]

割込音	..... 5-48
-----	------------

## 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っていません。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたますが、万が一不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本装置の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの纯粹経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) Aterm には初の停電機能を持たせるなど、災害時におけるライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(たとえば落雷や漏電など)により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みにになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。
- (6) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命にかかわる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや、制御等の使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (7) 本装置の対応 OS は、Windows Me/98/2000 (日本語版) です。ただし、対応 OS で使用される場合でも、お客様のパソコンの環境などによっては、すべての動作を保証するものではありません。また、対応 OS 以外で使用される場合は動作の保証はいたしませんのであらかじめご了承ください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。